

外国籍県民のための

服薬情報提供文書

(社)神奈川県薬剤師会

「外国籍県民のための服薬情報提供文書」

※ 目次

※ はじめに

※ 本書の内容について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

※ 翻訳における注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

※ 外国籍県民のための服薬情報提供文書

{	日本語・・・・・・・・	5 ～	47ページ
	英語・・・・・・・・	49 ～	91ページ
	韓国・朝鮮語・・・・・・・・	93 ～	135ページ
	中国語・・・・・・・・	137 ～	179ページ
	タガログ語・・・・・・・・	181 ～	223ページ
	ポルトガル語・・・・・・・・	225 ～	267ページ
	スペイン語・・・・・・・・	269 ～	311ページ

	該当ページ					
	英 語	韓国・朝鮮語	中国語	タガログ語	ポルトガル語	スペイン語
①アクチビア軟膏	49,50	93,94	137,138	181,182	225,226	269,270
②ヘルペシア軟膏	51,52	95,96	139,140	183,184	227,228	271,272
③エスタックイブファイン錠	53～55	97～99	141～143	185～187	229～231	273～275
エスタックイブファイン顆粒	56～58	100～102	144～146	188～190	232～234	276～278
④パブロンエースA X 錠	59～61	103～105	147～149	191～193	235～237	279～281
パブロンエースA X 微粒	62～64	106～108	150～152	194～196	238～240	282～284
⑤ガスター10 <散>	65～67	109～111	153～155	197～199	241～243	285～287
ガスター10 <錠>	68～70	112～114	156～158	200～202	244～246	288～290
⑥ガスター10 S 錠	71～73	115～117	159～161	203～205	247～249	291～293
⑦ザジテンAL 鼻炎カプセル	74～76	118～120	162～164	206～208	250～252	294～296
⑦パブロン 鼻炎カプセルZ	77～79	121～123	165～167	209～211	253～255	297～299
⑧ザジテンAL 鼻炎スプレー	80～82	124～126	168～170	212～214	256～258	300～302
⑨パブロン点鼻Z	83～85	127～129	171～173	215～217	259～261	303～305
⑩ザジテンAL 点眼薬	86～88	130～132	174～176	218～220	262～264	306～308
⑪アイリスアレスト	89～91	133～135	177～179	221～223	265～267	309～311

は じ め に

神奈川県は、全国でも早くから近代化が進められ、それに伴って様々な外国籍の方が往来することで国際性豊かな多様な文化を今に残す国際都市として発展を遂げて参りました。それに伴い、様々な国籍の人々が数多く本県に在住するようになり、それらの人々が快適に暮らせるよう生活基盤づくりが求められております。

昨今の健康志向は日本国民のみならず、外国籍県民の方々においても関心が高く「安定した健康」に対する安心の担保は、県民誰もが等しく望む権利でもあります。一方、医療を担う『薬剤師』は、求められる職務的責務は日々重みを増し、また期待される医療サービスも調剤のみならず、一般用医薬品から福祉相談等、多岐にわたり幅広くより大きなものとなりつつあることは、日々の業務の中において会員の皆様が一番感じられていることと思われまます。

平成 21 年 6 月からは、薬事法の改正により、リスクの高い第 1 類の一般用医薬品の販売に際しては、薬剤師は書面による情報提供が義務づけられることとなります。

これらの状況を踏まえ、当会では 2 ヶ年事業で外国籍県民のためのかかりつけ薬局一般用医薬品服薬指導事業を実施してまいりました。平成 19 年度は服薬指導書の作成に先がけて、外国籍県民の方々が医薬品の使用・選択などの相談に来訪した際の対応マニュアルを作成いたし、20 年度は、主たる第 1 類医薬品の外国語による情報提供文書モデルを作成したところです。

医薬品の適正使用のための情報提供や医師への受診勧奨に的確に結びつくよう、ご活用いただければ幸いに存じます。

最後に、本服薬指導書刊行にあたり、かかりつけ薬局一般用医薬品服薬指導検討委員会委員並びに同委員会作業部会委員諸氏に深く感謝の意を表します。

平成 21 年 3 月

社団法人 神奈川県薬剤師会

会長 田 中 英 昭

本書の内容について

■ ご利用について

平成 21 年 6 月 1 日より改正薬事法が施行となり、一般用医薬品のリスク分類に応じて情報提供の内容・方法・担当すべき専門家が明確化され、揭示・外箱表示・陳列等の販売方法が大きく変わりました。

このことにより、神奈川県薬剤師会では改正薬事法に基づき一般用医薬品の販売の際にご利用いただけるよう、外国籍県民向けの「外国籍県民のための服薬情報提供文書」を作成いたしました。

○改正薬事法の主な変更点

1. 一般用医薬品の販売制度の変更

- ・販売方法
- ・情報提供方法（販売授与時・相談時）
- ・陳列方法
- ・体制確保
- ・郵便等販売に関する規制
- ・従事者の区別
- ・揭示

2 表示

- ・医薬品のリスク区分

この改正により、第 1 類医薬品の販売に際し、薬剤師の情報提供が求められています。（参考※①一般用医薬品の情報提供等【薬剤師法第 36 条の 6 関係】）

本書（外国籍県民のための服薬情報提供文書）は、第 1 類医薬品の中から、独自の調査により販売取扱数の多い 5 成分 12 商品について、各販売メーカーにおける添付文書をもとに、一般用医薬品の情報提供における必要項目を抜粋した上で、6 カ国語を選定し、神奈川県薬剤師会において作成したものです。

言語については、広くご利用いただけるよう 2007 年度における「神奈川県外国人登録者市町村別主要国籍別人員調査表」をもとに、上位の 6 カ国語について選定いたしました。

昨年、神奈川県薬剤師会で作成いたしました、『外国籍県民向け一般用医薬品販売対応マニュアル』及び『人体図ボード』と併せて一般用医薬品の販売の際、コピー等により、ご活用いただければと思います。

また、翻訳につきましては、できるだけ日本語の原文に近づけるように翻訳しておりますが、100%その内容を保証するものではないことを予めご了承ください。必要に応じて各販売メーカーの添付文書をご参照いただけるようお願いいたします。

参考

【新医薬品販売制度の変更】

〈現行〉

業態	専門家	販売可能
薬局	薬剤師	全ての医薬品
薬店	一般	
	薬種商	指定医薬品以外の医薬品
配置	配置販売業者	一定の品目
特例	規定なし	限定的な品目



〈新制度〉

業態	専門家	販売可能
薬局	薬剤師	全ての医薬品
店舗販売	薬剤師又は登録販売者	薬剤師：全ての一般用医薬品 登録販売者：第一類以外の一般用医薬品
配置販売		
卸売販売	原則、薬剤師 特定品目は省令	全ての医薬品

※① 一般用医薬品の情報提供等【薬事法第 36 条の 6 関係】

- ・ 薬局開設者又は店舗販売業者は、薬事法第 36 条の 6 第 1 項の規定により、第一類医薬品を販売し、又は授与する場合、その適正な使用のために必要な情報提供を次に掲げるところにより薬剤師に行わせなければならない。

- 1 当該薬局又は店舗内の情報提供を行う場所において薬剤師が直接情報提供を行うこと。
- 2 医薬品を購入し、又は譲り受けようとする者の当該医薬品の使用が適切であることを確認するための情報提供を行うこと。
- 3 次の①～⑥に掲げる事項について情報提供を行うこと。
 - ① 当該医薬品の名称
 - ② 当該医薬品の成分及び分量
 - ③ 当該医薬品の用法及び用量
 - ④ 当該医薬品の効能又は効果
 - ⑤ 当該医薬品に係る使用上の注意のうち、保健衛生上の危害の発生を防止するために必要な事項
 - ⑥ その他当該医薬品を販売し、又は授与する薬剤師が必要とする事項

薬事法第 36 条の 6 第 1 項の規定により情報提供の際に用いる書面に記載しなければならない事項は、上記の①～⑥のとおりとする。

【一般用医薬品のリスク区分】

分類	第1類医薬品	指定第2類医薬品	第2類医薬品	第3類医薬品
薬事法上の規定	その副作用等により日常生活に支障を来す程度の健康被害を生ずるおそれがある医薬品であって、その使用に關し特に注意が必要なものとして厚生労働大臣が指定するもの ・新一般用医薬品として承認を受けてから厚生労働省令で定める期間を経過しないもの （一般用医薬品としての使用経験が少ない等安全性上特に注意を要する成分を含むもの）	第2類医薬品のうち特に注意をようするものとして指定されたもの	その副作用等により日常生活に支障を来す程度の健康被害を生ずるおそれがある医薬品であって厚生労働大臣が指定するもの ※第一類医薬品を除く（まれに入院相当以上の健康被害が生じる可能性がある成分を含むもの）	第一類及び第二類以外の一般用医薬品 （日常生活に支障を来す程度ではないが、身体の変調・不調が起こるおそれがあるもの）

【リスク区分による販売規制のまとめ】

	第一類	指定第二類	第二類	第三類
販売	・ 薬剤師 ・ 薬剤師の管理指導下の登録販売者等 ・ 対面	・ 薬剤師又は登録販売者 ・ 薬剤師又は登録販売者の管理指導下の一般従事者 ・ 対面（第三類の郵便等販売を除く）		
情報提供	・ 薬剤師 ・ 書面交付 ・ 対面 <義務>	・ 薬剤師 ・ 登録販売者 ・ 対面 <努力義務>	・ 薬剤師 ・ 登録販売者 <規定ないが望ましい>	
相談応需	・ 薬剤師 ・ 対面 <義務>	・ 薬剤師または登録販売者 ・ 対面 <義務>		
管理者	・ 薬剤師 ・ 実務3年以上の登録販売者（要 薬剤師補佐）	・ 薬剤師 ・ 登録販売者		

「この翻訳につきましては、できるだけ日本語の原文に近づけるように翻訳しておりますが、100%その内容を保証するものではないことを予めご了承ください。必要に応じて日本語の添付文書をご参照いただけるようお願いいたします。」

(英語) (English)

Regarding this translation, we did the best we could to match the original Japanese text, however some parts were written in a suitable way to make it understandable to the English readers. Please refer to the Japanese instruction if necessary.

(中国語) (Chinese)

这个翻译是，尽可能的接近日语的原文正翻译成。但是事先表明，由于不能保证 100%的内容准确度，根据需敬请参照日语的添加文书。对此敬请谅解。

(韓国・朝鮮語) (한국・조선어)

이 번역에 대해서는, 될수 있는한 일본어 원본과 가까이 해서 번역하고 있습니다만, 100% 이 내용을 보증 할수는 없으므로 양해를 해주시기 바랍니다. 필요에 대해서는 일본어 첨부 설명서를 참고하여 주시기를 부탁드립니다.

(タガログ語) (Tagalog)

Isinagawa ang pagsasalin na ito na sinunod sa abot ng makakaya ang orihinal na teksto na nasa wikang Hapon, subalit may mga bahagi na isinulat upang madaling maintindihan ng mga mambabasa ng Tagalog. Mangyaring isangguni ang tagubilin na nasa wikang Hapon kung kinakailangan.

(ポルトガル語) (Portuguese)

Apesar de todos os esforços não pode ser traduzido em cem por cento. Esta tradução será anexado como um auxiliar de informação o mais próximo possível do japonês para o português, apesar das limitações. Use a para melhor entendimento das explicações em japonês.

(スペイン語) (Spanish)

A pesar de todos los esfuerzos tal vez no se ha logrado una traducción al cien por ciento. Esta traducción se adjunta como una información auxiliar lo mas cercana posible del japonés al español, no obstante la limitaciones. Usela para comprender mejor las explicaciones en japonés que están a su disposición.

しょうひんめい

商品名：アクチビア軟膏

(ACTIVIR Ointment)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

こうのう

[効能]

口唇ヘルペスの再発（過去に医師の診断・治療を受けた方に限る。）

せいぶん さよう

[成分と作用]

アクチビア 1 g 中に、次の成分を含んでいます。

せいぶん 成分	がんにょう 含量	さよう 作用
アシクロビル	50mg	ヘルペスウイルスの増殖を抑えます。

ようほう ようりよう

[用法・用量]

1日3～5回、適量を患部に塗布する。

（唇やそのまわりに、ピリピリ・チクチクなどの違和感をおぼえたら、すぐに塗布する。）

かいせつ

解説

- ・ピリピリ・チクチクといった感覚は、口唇ヘルペスの再発のきざしです。このような再発の初期から使用してください。
- ・使用時期は、毎食後、就寝前などの使用が目安です。
- ・家族で初めて発症したと思われる人が、誤ってこの薬を使用しないよう、十分注意してください。

<用法・用量に関する注意>

- ・定められた用法・用量を、厳守してください。
- ・小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに、使用させてください。
- ・目に入れないように、注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- ・外用のみに、使用してください。
- ・口に入っても害はありませんが、なるべく、口に入れたり、なめたりしないでください。

しょうじょう ちゅうい

使用上の注意

下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

（守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。）

1. 次の人には、使用しないでください。

- (1) 初めて発症したと思われる人、患部が広範囲の人（初めて発症した場合は症状がひどくなる可能性があり、患部が広範囲に及ぶ場合は重症ですので、医師の治療を受けてください。）
- (2) 本剤又は塩酸バラシクロビル製剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人（本剤の使用により、再びアレルギー症状を起こす可能性があります。）
- (3) 6歳未満の乳幼児（乳幼児の場合、初めて感染した可能性が高いと考えられます。）

2. 次の部位には、使用しないでください。

- (1) 目や目の周囲（目に入って刺激を起こす可能性があります。）
- (2) 唇 とそのまわりをのぞく部位（口唇ヘルペスは 唇 及びその周囲にできるものです。）

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師の治療を受けている人（医師から処方されている 薬 に影響したり、本剤と同じ 薬 を使用する可能性もあります。）
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人（薬の使用には慎重を期し、専門医に相談して指示を受ける必要があります。）
- (3) 授乳中の人（同じ成分の医療用の内服薬で、乳汁への移行が確認されています。）
- (4) 本人又は家族が、アレルギー体質の人（アレルギー体質の人は、本剤の使用により、アレルギー症状を起こす可能性があります。）
- (5) 薬により、アレルギー症状を起こしたことがある人（何らかの薬でアレルギーを起こした人は、本剤でも起こる可能性があります。）
- (6) 浸潤やただれがひどい人（症状がひどい場合は、専門医に相談して指示を受ける必要があります。）
- (7) アトピー性皮膚炎の人（重症化する可能性がありますので、専門医に相談して指示を受ける必要があります。）

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 使用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、はれ、かゆみ、かぶれ、刺激感、疼痛、乾燥、灼熱感、落屑（フケ・アカのような皮膚のはがれ）、じんましん

- (1) 本剤によるアレルギー症状であるか、本剤の薬理作用が強くあらわれたものであると考えられ、このような場合、同じ薬を続けて使用すると症状がさらに悪化するおそれがあります。）
- (2) 7日間位使用しても症状がよくなる場合（7日間位使用しても症状の改善がみられないときは、症状が重いか他の疾病によるものと考えるべきで、なるべく早く医師又は薬剤師に、相談してください。）

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない30℃以下の涼しい所に、密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) 使用前後に、よく手を洗ってください。
- (4) 他の容器に、入れ替えないでください。（誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。）
- (5) 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は、6ヶ月以内に使用してください。（品質保持のため）

出典 製造販売元：グラクソ・スミスクライン株式会社
 発行 （社）神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

なんこう

商品名：ヘルペシア軟膏（HERPECIA Ointment）

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

こうのう

[効能]

口唇ヘルペスの再発（過去に医師の診断・治療を受けた方に限る。）

せいぶん きよう

[成分と作用]

ヘルペシア 1 g 中に、次の成分を含んでいます。

成分	含量	作用
アシクロビル	50mg	ヘルペスウイルスの増殖を抑えます。

ようほう ようりよう

[用法・用量]

1日3～5回、適量を患部に塗布する。

（唇やそのまわりに、ピリピリ・チクチクなどの違和感をおぼえたら、すぐに塗布する。）

かいせつ

解説

- ・ピリピリ・チクチクといった感覚は、口唇ヘルペスの再発のきざしです。このような再発の初期から使用してください。
- ・使用時期は、毎食後、就寝前などの使用が目安です。
- ・家族で初めて発症したと思われる人が、誤ってこの薬を使用しないよう、十分注意してください。

<用法・用量に関する注意>

- ・定められた用法・用量を、厳守してください。
- ・小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに、使用させてください。
- ・目に入れないように、注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- ・外用のみに、使用してください。
- ・口に入っても害はありませんが、なるべく、口に入れたり、なめたりしないでください。

しょうじよう ちゅうい

使用上の注意

下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

（守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。）

1. 次の人には、使用しないでください。

- （1）初めて発症したと思われる人、患部が広範囲の人（初めて発症した場合は、症状がひどくなる可能性があり、患部が広範囲に及ぶ場合は重症ですので、医師の治療を受けてください。）
- （2）本剤、又は、塩酸バラシクロビル製剤によるアレルギー症状を、起こしたことがある人（本剤の使用により、再びアレルギー症状を、起こす可能性があります。）
- （3）6歳未満の乳幼児（乳幼児の場合、初めて感染した可能性が高いと、考えられます。）

2. 次の部位には、使用しないでください。

- (1) 目や目の周囲（目に入って、刺激を起こす可能性があります。）
- (2) 唇とそのまわりをのぞく部位（口唇ヘルペスは、唇及びその周囲にできるものです。）

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に、医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師の治療を受けている人（医師から処方されている薬に影響したり、本剤と同じ薬を使用する可能性もあります。）
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人（薬の使用には慎重を期し、専門医に相談して指示を受ける必要があります。）
- (3) 授乳中の人（同じ成分の医療用の内服薬で、乳汁への移行が確認されています。）
- (4) 本人又は家族が、アレルギー体質の人（アレルギー体質の人は、本剤の使用により、アレルギー症状を起こす可能性があります。）
- (5) 薬により、アレルギー症状を起こしたことがある人（何らかの薬でアレルギーを起こした人は、本剤でも起こる可能性があります。）
- (6) 浸潤やただれがひどい人（症状がひどい場合は、専門医に相談して指示を受ける必要があります。）
- (7) アトピー性皮膚炎の人（重症化する可能性がありますので、専門医に相談して指示を受ける必要があります。）

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って、医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 使用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、はれ、かゆみ、かぶれ、刺激感、疼痛、乾燥、灼熱感、落屑（フケ・アカのような皮膚のはがれ）、じんましん

（本剤によるアレルギー症状であるか、本剤の薬理作用が強くあらわれたものであると考えられ、このような場合、同じ薬を続けて使用すると症状がさらに悪化するおそれがあります。）

- (2) 7日間位使用しても症状がよくなる場合（7日間位使用しても症状の改善がみられないときは、症状が重いか他の疾病によるものと考えるべきで、なるべく早く、医師又は薬剤師に相談してください。）

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない30℃以下の涼しい所に、密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) 使用前後に、よく手を洗ってください。
- (4) 他の容器に、入れ替えないでください。（誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。）
- (5) 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は、6ヶ月以内に使用してください。（品質保持のため）

製造販売元



大正製薬株式会社

出典
発行

（社）神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

じょうざい

商品名:エスタックイブファイン <錠 剤> (S.TAC EVE FINE <Tablet>)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

こうのう

[効能]

かぜの諸症状（発熱、悪寒、せき、たん、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、頭痛、
関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

[成分と作用]

9錠（成人1日量）中

成分	含量	作用
イブプロフェン	450mg	発熱、頭痛、のどの痛み等、熱と痛みをします。
アンブロキソール塩酸塩	45mg	せきの原因となるのどにからまるしつこいせきを出しやすくします。
ヨウ化イソプロパミド	6mg	鼻みずをおさえます。
ジヒドロコデインリン酸塩	24mg	せき中枢にはたらき、せきをします。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	気管支を広げ、呼吸を楽にして、せきをします。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg	くしゃみ、鼻みず、鼻づまりの症状をおさえます。
無水カフェイン	75mg	頭痛をします。
アスコルビン酸（ビタミンC）	300mg	かぜの時に消耗しやすいビタミンを補給します。
チアミン硝化物（ビタミンB1硝酸塩）	24mg	

ようほうようりよう

[用法・用量]

次の1回量を1日3回、食後なるべく30分以内に服用します。

年齢	1回量
成人（15才以上）	3錠
15才未満	服用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 用法、用量を遵守してください。

しょうじょうちゅうい

使用上の注意

下記の注意をよく読んで正しくお使いください。

■ してはいけないこと

（守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。）

1. 次の人は、服用しないでください。

- 本剤によるアレルギー症状を、起こしたことがある人
- 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛剤を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン薬を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、
 乗物酔い薬、アレルギー用薬）
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
 （眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります。）
4. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳をさけてください。
5. 服用時は飲酒しないでください。
6. 5日間を越えて服用しないでください

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に、医師又は薬剤師に相談してください。
- 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の症状がある人
高熱、排尿困難
 - 次の診断を受けた人
高血圧、心臓病、糖尿病、緑内障、肝臓病、腎臓病、甲状腺機能障害、
全身性エリマトーマス、混合性結合組織病
 - 次の疾患にかかったことがある人
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
- 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、胃部膨満感、胸やけ、腹痛、 腹部膨満感、口内炎
精神神経	めまい
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ、しびれ感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

しょうじょう めいしょう 症 状 の 名 称	しょうじょう 症 状
ショック (アナフィラキシー)	ふくようご 服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しき等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しき等があらわれる。
ひ ふ ねんまくがんしょうこうぐん 皮膚粘膜眼症 候 群 (スティーブンス・ジョンソン しょうこうぐん 症 候 群)、 ちゅうどくせいひょうひえししょう 中毒性表皮壊死症 (ライエル症 候 群)	こうねつ ともな ほっしん ほっせき やけどよう みず など はげ しょうじょう 高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症 状 が、 ぜんしん ひ くち め ねんまく 全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
かんきのうしょうがい 肝機能障 害	ぜんしん の だるさ、おうだん ひ しろめ きいろ など 全身のだるさ、黄疸 (皮ふや白目が黄色くなる) 等があらわれる
じんしょうがい 腎 障 害	にょうりょう へ ぜんしん およ ともな いきぐる 尿 量 が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しき、だるさ、 おしん おうと けつにょう たんぱくにょうなど 悪心・嘔吐、血 尿・蛋白尿 等があらわれる。
むきんせいずいまくえん 無菌性髄膜炎	くび ともな はげ ずつう ほつねつ おしん おうとなど しょうじょう 首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症 状 が あらわれる(このような症 状 は、特に全身性エリマトデス又は混合性結合 そしきびょう ちりょう う ひと おお ほうこく 組織 病 の治療を受けている人で多く報告されている。)
かんしつせいはいえん 間質性肺炎	から ともな ともな い き ぎ こきゅうこんなん はつねつなど 空せき (たんを伴わないせき) を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等が あらわれる。(これらの症 状 は、かぜの諸 症 状 と区別が難しいこ ともあり、空せき、発熱等の症 状 が悪化した場合にも、服用を中止す るとともに、い し しんりょう う 医師の診療を受けてください。)
ぜんそく	

- (2) 5～6回服用しても症 状 がよくならない場合 (特に熱が3日以上続いたり、又熱が反復したりするとき)

3. 次の症 状 があらわれることがあるので、このような症 状 の継続又は増 強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

べんぴ げり くち
便秘、下痢、口のかわき

ほかんおよび取り扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所にビンのフタをよくしめて保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 本剤をぬれた手で扱わないでください。ぬれた手で扱うと、糖衣にムラができたり、変色することがあります。
- (5) ビンの中のできものは、輸送中に錠剤が破損するのを防ぐためのものです。開封後は不要となりますので取り除いてください。
- (6) 使用期限を過ぎたものは使用しないでください。また、使用期限内であっても、開封後は6ヶ月以内に服用してください。

出典
発行



製造販売元

Eisai 製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

かりゅう

商 品 名 : エスタックイブファイン <顆粒> (S.TAC EVE FINE <granule>)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう
製品概要

こうのう

[効能]

かぜの諸症状 (発熱、悪寒、せき、たん、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、頭痛、関節の痛み、
筋肉の痛み) の緩和

せいぶん さよう
[成分と作用]

1包 (1. 3g) 中

成分	含 量	作用
イブプロフェン	150mg	発熱、頭痛、のどの痛み等、熱と痛みをします。
アンブロキソール塩酸塩	15mg	せきの原因となるのどにからまるしつこいせきを出しやすくします。
ヨウ化イソプロパミド	2mg	鼻みずをおさえます。
ジヒドロコデインリン酸塩	8mg	せき中枢にはたらき、せきをします。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	20mg	気管支を広げ、呼吸を楽にして、せきをします。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	2.5mg	くしゃみ、鼻みず、鼻づまりの症状をおさえます。
無水カフェイン	25mg	頭痛をします。
アスコルビン酸 (ビタミン C)	100mg	かぜの時に消耗しやすいビタミンを補給します。
チアミン硝酸物 (ビタミン B1 硝酸塩)	8mg	

ようほう ようりよう
[用法・用量]

次の1回量を、1日3回、食後なるべく30分以内に服用します。

年齢	1回量
成人 (15才以上)	1包
15才未満	服用しないこと

ようほう ようりよう かん
<用法・用量に関する注意>

- 用法、用量を遵守してください。

しょうじょう ちゅうい
使用上の注意

下記の注意をよく読んで正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は服用しないでください。

- 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
- 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛剤を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン薬を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、
 乗物酔い薬、アレルギー用薬）
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
 （眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります。）
4. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳をさけてください。
5. 服用時は飲酒しないでください。
6. 5日間を越えて服用しないでください

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に、医師又は薬剤師に相談してください。
- 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の症状がある人
 高熱、排尿困難
 - 次の診断を受けた人
 高血圧、心臓病、糖尿病、緑内障、肝臓病、腎臓病、甲状腺機能障害、
 全身性エリマトーデス、混合性結合組織病
 - 次の疾患にかかったことがある人
 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
- 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、胃部膨満感、胸やけ、腹痛、 腹部膨満感、口内炎
精神神経	めまい
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ、しびれ感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

しょうじょう めいしょう 症 状 の 名 称	しょうじょう 症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しき等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しき等があらわれる。
ひ ふ ねんまくがんしょうこうぐん 皮膚粘膜眼症 候 群 (スティーブンス・ジョンソン しょうこうぐん 症 候 群)、 ちゅうどくせいひょうひえいしょう 中毒性表皮壊死症 (ライエル症 候 群)	こうねつ ともな ほっしん ほっせき やけどよう みず など はげ しょうじょう 高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症 状 が、 ぜんしん ひ くち め ねんまく 全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
かんきのうしょうがい 肝機能障 害	ぜんしん 全身のだるさ、黄疸 (皮ふや白目が黄色くなる) 等があらわれる
じんしょうがい 腎 障 害	にょうりょう へ ぜんしん およ ともな いきぐる 尿 量 が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しき、だるさ、 おしん おうと けつにょう たんぱくにょうなど 悪心・嘔吐、血 尿・蛋白尿 等があらわれる。
むきんせいずいまくえん 無菌性髄膜炎	くび ともな はげ ずつう ほつねつ おしん おうとなど しょうじょう 首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症 状 が あらわれる(このような症 状 は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合 そしきびょう ちりょう う ひと おお ほうこく 組織 病 の治療を受けている人で多く報告されている。)
かんしつせいはいえん 間質性肺炎	から ともな ともな い き ぎ こきゅうこんなん はつねつなど 空せき (たんを伴わないせき) を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等が あらわれる。(これらの症 状 は、かぜの諸 症 状 と区別が 難 しいこ ともあり、空せき、発熱等の症 状 が悪化した場合にも、服用を中止す るとともに、い し しんりょう う 医師の診療を受けてください。)
ぜんそく	

- (2) 5～6回服用しても症 状 がよくならない場合 (特に熱が3日以上続いたり、又熱が反復したりするとき)

3. 次の症 状 があらわれることがあるので、このような症 状 の継続又は増 強が見られた場合には、服用
を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

べんび げり くち
便秘、下痢、口のかわき

ほかんおよ とりあつ じょう ちゅうい 保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所にビンのフタをよくしめてして保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 使用期限を過ぎたものは使用しないでください。

出典
発行



製造販売元

エスエス製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

じょう

じょうざい

商品名:パブロンエースAX錠<錠剤>(PABRON ACE AX<Tablet>)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

こうのう

[効能]

かぜの諸症状(発熱、悪寒、せき、たん、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

[成分と作用]

1回(3錠)中

成分	含量	作用
イブプロフェン	150mg	発熱、頭痛、のどの痛み等、熱と痛みをしずめます。
アンブロキソール塩酸塩	15mg	せきの原因となるのどにからまるしつこいせきを出しやすくします。
ジヒドロコデインリン酸塩	8mg	せき中枢にはたらき、せきをしずめます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	20mg	気管支を広げ、呼吸を楽にして、せきをしずめます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	2.5mg	くしゃみ、鼻みず、鼻づまりの症状をおさえます。
無水カフェイン	25mg	頭痛をしずめます。
アスコルビン酸(ビタミンC)	166.7mg	かぜの時に消耗しやすいビタミンを補給します。
チアミン硝酸化物(ビタミンB1硝酸塩)	8mg	
リボフラビン(ビタミンB2)	4mg	

[用法・用量]

次の1回量を、1日3回、食後なるべく30分以内に服用します。

年齢	1回量
成人(15才以上)	3錠
15才未満	服用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を、遵守してください。
- 錠剤の取り出し方
錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り取り出して、服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

使用上の注意

下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

- 次の人は、服用しないでください。
 - 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 本剤、又は、他のかぜ薬、解熱鎮痛剤を服用して、ぜんそくを起こしたことがある人
 - 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も、服用しないでください。
 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン薬を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、
 乗物酔い薬、アレルギー用薬）
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作を、しないでください。
 （眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状が、あらわれることがあります。）
4. 授乳中の人は、本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は、授乳をさけてください。
 （動物試験で、乳汁中への移行が認められています。）
5. 服用時は、飲酒しないでください。
6. 5日間を越えて、服用しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に、医師又は薬剤師に相談してください。
- 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 本人、又は、家族がアレルギー体質の人
 - 薬により、アレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の症状がある人
 高熱、排尿困難
 - 次の診断を、受けた人
 高血圧、心臓病、糖尿病、緑内障、肝臓病、腎臓病、甲状腺機能障害、
 全身性エリマトーデス、混合性結合組織病
 - 次の病気（疾患）に、かかったことがある人
 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病
2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
- 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、胃部膨満感、胸やけ 腹痛、腹部膨満感、口内炎
精神神経	めまい、しびれ感
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ

まれに、下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は、直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、じんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で、多く報告されている。)
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けてください。)
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても、症状がよくならない場合(特に、熱が3日以上続いたり、又熱が反復したりするとき)

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

便秘、下痢、口のかわき

4. 次の症状があらわれることがある。

本剤の服用により、尿が黄色になることがあります。これは本剤中のビタミンB2によるもので、ご心配ありません。

保管及び取扱い上の注意

- 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- 小児の手の届かない所に、保管してください。
- 他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、期限内であっても開封後は、6ヶ月以内に服用してください。(品質保持のため)



大正製薬株式会社

出典
発行

(社) 神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

商品名:パブロンエースAX <微粒> (PABRON ACE AX <Particle>)

びりゅう

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

こうのう

[効能]

かぜの諸症状（発熱、悪寒、せき、たん、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

せいぶん きょう

[成分と作用]

1包1.3g 中

成分	含量	作用
イブプロフェン	150mg	発熱、頭痛、のどの痛み等、熱と痛みをしずめます。
アンブロキシール塩酸塩	15mg	せきの原因となるのどにからまるしつこいせきを出しやすくします。
ジヒドロコデインリン酸塩	8mg	せき中枢にはたらき、せきをしずめます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	20mg	気管支を広げ、呼吸を楽にして、せきをしずめます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	2.5mg	くしゃみ、鼻みず、鼻づまりの症状をおさえます
無水カフェイン	25mg	頭痛をしずめます。
アスコルビン酸 (ビタミン C)	166.7mg	かぜの時に消耗しやすいビタミンを補給します。
チアミン硝化物 (ビタミン B1 硝酸塩)	8mg	
リボフラビン (ビタミン B2)	4mg	

ようほう ようりよう

[用法・用量]

次の1回量を1日3回、食後なるべく30分以内に服用します。

年齢	1回量
成人 (15才以上)	1包
15才未満	服用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を、遵守してください。

しょうじょう ちゅうい

使用上の注意

下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は、服用しないでください。

- 本剤によるアレルギー症状を、起こしたことがある人
- 本剤、又は、他のかぜ薬、解熱鎮痛剤を服用して、ぜんそくを起こしたことがある人
- 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も、服用しないでください。
 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン薬を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、
 乗物酔い薬、アレルギー用薬）
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作を、しないでください。
 （眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状が、あらわれることがあります。）
4. 授乳中の人は、本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は、授乳をさけてください。
 （動物試験で、乳汁中への移行が認められています。）
5. 服用時は、飲酒しないでください。
6. 5日間を越えて、服用しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に、医師又は薬剤師に相談してください。
- 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 本人、又は、家族がアレルギー体質の人
 - 薬により、アレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の症状がある人
 高熱、排尿困難
 - 次の診断を、受けた人
 高血圧、心臓病、糖尿病、緑内障、肝臓病、腎臓病、甲状腺機能障害、
 全身性エリマトデス、混合性結合組織病
 - 次の病気に、かかったことがある人
 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病
2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
- 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、浮腫
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、胃部膨満感、 胸やけ、腹痛、腹部膨満感、口内炎
精神神経	めまい、しびれ感
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ

まれに、下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は、直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、じんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸 (皮ふや白目が黄色くなる) 等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で、多く報告されている。)
間質性肺炎	空せき (たんを伴わないせき) を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けてください。)
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても、症状がよくならない場合 (特に、熱が3日以上続いたり、又熱が反復したりするとき)

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

便秘、下痢、口のかわき

4. 次の症状があらわれることがある。

本剤の服用により、尿が黄色になることがあります。これは本剤中のビタミン B2 によるもので、ご心配ありません。

保管及び取扱い上の注意

- 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- 小児の手の届かない所に、保管してください。
- 他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



大正製薬株式会社

出典
発行

(社) 神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

商品名:ガスター10 <散> (GASTER 10 <Powder>)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

[効能]

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき

<効能・効果に関する注意>

効能・効果に記載以外の症状では、本剤を服用しないでください。

[成分と作用]

1包(0.5g) 中

成分	含量	作用
ファモチジン	10mg	胃酸の出過ぎをコントロールします。

[用法・用量]

- 次の通り、水又はお湯で服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人 (15才以上、80歳未満)	1包	2回まで
小児 (15歳未満)	服用しないでください。	
高齢者 (80歳以上)		

この薬は決められた時間ごとに服用する薬ではなく、症状が出た時に服用する薬です。食事による影響はありませんので、食前、食後、食間いつ服用いただいても結構です。1回1包で約8時間胃酸の出過ぎをコントロールしますので、1日2回服用する場合は、8時間以上あけてください。

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 服用後8時間以上たっても症状が治まらない場合は、もう1包服用してください。
- 症状が治まった場合は、服用を止めてください。
- 3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師又は薬剤師に相談してください。
- 2週間を超えて続けて服用しないでください。

<用法・用量に関する注意>

- 本剤を服用の際は、アルコール飲料の摂取は控えてください。
(お薬は、アルコール飲料と併用しないのが一般的です。)

か き ちゅうい よ ただ つか
 下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(まも げんざい しょうじょう あつか ふくさよう じ こ お
 (守らないと、現在の 症 状 が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。))

1. 次の人は、服用しないでください。

(1) ファモチジン等の H2 ブロッカーによりアレルギー 症 状 (しょうじょう たと ほっしん ほっせき
 まぶた こうしんなど お
 (例えば、発疹・発赤、かゆみ、のど・まぶた・口唇等のはれ) を起こしたことがある人

(2) 医療機関で、次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人
 いりようきかん つぎ びょうき ちりょう いやくひん とうよ う
 けつえき びょうき じんぞう かんぞう びょうき しんぞう びょうき い じゅうにしちょう びょうき ぜんそく など めんえきけい
 血液の病気、腎臓、肝臓の病気、心臓の病気、胃・十二指腸の病気、喘息・リウマチ等の免疫系
 びょうき ざい こうせいぶつしつ こう ざい けいこうしんきんざい
 の病気、ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤

(白血球減少、血小板減少等を起こすことがあります。)

(じんぞう かんぞう びょうき も ばあい くすり はいせつ おく さよう つよ
 (腎臓・肝臓の病気を持っている場合には、薬の排泄が遅れて作用が強くなりあらわれることがあります。))

(しんきんこうそく べんまくしょう しんきんしょうなど しんぞう びょうき も ばあい しんでんずいじょう ともな みやく
 (心筋梗塞・弁膜症・心筋症等の心臓の病気を持っている場合には、心電図異常を伴う脈のみだれがあらわれることがあります。))

(い じゅうにしちょう びょうき ちりょう う ひと
 (胃・十二指腸の病気の治療を受けている人は、ファモチジンや類似の薬が処方されている可能性
 たか じゅうふくふくよう き ひつよう
 が高いので、重複服用に気をつける必要があります。))

(アゾール系抗真菌剤の吸 収が低下して効果が減弱します。)

(3) 医師から赤血球が少ない(貧血)、血小板が少ない、(血が止まりにくい、血が出やすい)、
 はつけきゅうすう すく など けつえきいじょう してき ひと
 白血球数が少ない等の血液異常を指摘されたことがある人

(ほんざい ひ がね ふたた けつえきいじょう ひ お かのうせい
 (本剤が引き金となって再び血液異常を引き起こす可能性があります。))

(4) 15才未満の小児及び高齢者(80歳以上)

(5) 妊婦又は妊娠していると思われる婦人並びに授乳婦

2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。

た いちようやく
 他の胃腸薬

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人、又は他の医薬品を服用している人

(2) 本人又は家族が、アレルギー体質の人

(3) 薬によりアレルギー 症 状 を起こしたことがある人

(4) 高齢者(65歳以上)(一般的に高齢者は、生理機能が低下していることがあります。)

(5) 次の症 状 がある人

いた せきおよ こうねつ しょうじょう ひと じゅうとく かんせんしょう うたが けつきゅうすう
 のどの痛み、咳及び高熱(これらの 症 状 のある人は、重篤な感染症の疑いがあり、血球数
 げんしょうとう けつえきいじょう みと ふくようまえ しょうじょう ほんざい
 減少等の血液異常が認められます。服用前にこのような 症 状 があると、本剤の
 ふくよう しょうじょう ぞうあく ほんざい ふくさよう き おく
 服用によって 症 状 が増悪し、また本剤の副作用に気づくのが遅れることがあります。

げんいんふめい たいじゅうげんしょう じぞくせい ふくつう た びょうき げんいん
 原因不明の体 重 減少、持続性の腹痛(他の病気が原因であることがあります。))

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
循環器	脈のみだれ
精神神経	気がとおくなる感じ、ひきつけ（けいれん）
その他	気分が悪くなったり、だるくなったり、発熱してのどが痛いなど体調異常があらわれる。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック （アナフィラキシー）	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 （スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
横紋筋融解症 （骨格筋）	手足やからだの筋肉が痛んだりこわばったりする、尿の色が赤褐色になる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、血尿、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる（歯茎の出血、鼻血等）、青あざができる（押しても消えない）等があらわれる。

(2) 誤って定められた用量を超えて服用してしまった場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

便秘、軟便、下痢、口のかわき

保管及び取扱い上の注意

- 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- 小児の手の届かない所に、保管してください。
- 他の容器に、入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- 使用期限を過ぎた製品は、服用しないでください。

出典
発行



製造販売元
第一三共ヘルスケア株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

じょう

商品名:ガスター10 <錠> (GASTER 10 <Tablet>)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

こうのう

[効能]

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき

<効能・効果に関する注意>

効能・効果に記載以外の症状では、本剤を服用しないでください。

[成分と作用]

1 錠 中

成分	含量	作用
ファモチジン	10mg	胃酸の出過ぎをコントロールします。

[用法・用量]

- 次の通り水又はお湯で服用してください。

年齢	1 回 量	1 日服用回数
成人 (15才以上、80歳未満)	1 錠	2 回まで
小児 (15 歳未満)	服用しないでください。	
高齢者 (80歳以上)		

この薬は決められた時間ごとに服用する薬ではなく、症状が出た時に服用する薬です。食事による影響はありませんので、食前、食後、食間いつ服用いただいても結構です。1回1錠で約8時間胃酸の出過ぎをコントロールしますので、1日2回服用する場合は8時間以上あけてください。

- 定められた用法、用量を遵守してください。
- 服用後8時間以上たっても症状が治まらない場合は、もう1錠服用してください。
- 症状が治まった場合は、服用を止めてください。
- 3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師又は薬剤師に相談してください。
- 2週間を超えて続けて服用しないでください。

<用法・用量に関する注意>

- 本剤を服用の際は、アルコール飲料の摂取は控えてください。
(お薬は、アルコール飲料と併用しないのが一般的です。)
- 錠剤の取り出し方
錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り取り出して服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

か き ちゅうい よ ただ つか
 下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(守らないと、現在の 症 状 が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は、服用しないでください。

- (1) ファモチジン等の H2 ブロッカーによりアレルギー 症 状 (例えば、発疹・発赤、かゆみ、のど・まぶた・口唇等のはれ) を起こしたことがある人
- (2) 医療機関で、次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人
 けつえき びょうき じんぞう かんぞう びょうき しんぞう びょうき い じゅうにしちょう びょうき ぜんそく など めんえきけい
 血液の病気、腎臓、肝臓の病気、心臓の病気、胃・十二指腸の病気、喘息・リウマチ等の免疫系
 びょうき ざい こうせいぶつしつ こう ざい けいこうしんきんざい
 の病気、ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤
 はつけきゅうげんしょう けっしょうばんげんしょうなど お
 (白血球減少、血小板減少等を起こすことがあります。)
 じんぞう かんぞう びょうき も ばあい くすり はいせつ おく さよう つよ
 (腎臓・肝臓の病気を持っている場合には、薬の排泄が遅れて作用が強くなりあらわれることがあります。)
 しんきんこうそく べんまくしょう しんきんしょうなど しんぞう びょうき も ばあい しんでんずいじょう ともな みやく
 (心筋梗塞・弁膜症・心筋症等の心臓の病気を持っている場合には、心電図異常を伴う脈のみだれがあらわれることがあります。)
 い じゅうにしちょう びょうき ちりょう う ひと るいじ くすり しょうほう かとうせい
 (胃・十二指腸の病気の治療を受けている人は、ファモチジンや類似の薬が処方されている可能性
 たか じゅうふくふくよう き ひつよう
 が高いので、重複服用に気をつける必要があります。)
 けいこうしんきんざい きゅうしゅう てい か こうか げんじやく
 (アゾール系抗真菌剤の吸収が低下して効果が減弱します。)
- (3) 医師から赤血球が少ない(貧血)、血小板が少ない、(血が止まりにくい、血が出やすい)、
 はつけきゅうすう すく など けつえきじょう してき ひと
 白血球数が少ない等の血液異常を指摘されたことがある人
 ほんざい ひ がね ふたた けつえきじょう ひ お かとうせい
 (本剤が引き金となって再び血液異常を引き起こす可能性があります。)
- (4) 15才未満の小児及び高齢者(80歳以上)
- (5) 妊婦又は妊娠していると思われる婦人並びに授乳婦

2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。

た いちょうやく
 他の胃腸薬

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人、又は他の医薬品を服用している人
- (2) 本人又は家族が、アレルギー体質の人
- (3) 薬によりアレルギー 症 状 を起こしたことがある人
- (4) 高齢者(65歳以上)(一般的に高齢者は、生理機能が低下していることがあります。)
- (5) 次の 症 状 がある人
 いた せきおよ こうねつ しょうじょう ひと じゅうとく かんせんしょう うたが けつきゅうすう
 のどの痛み、咳及び高熱(これらの 症 状 のある人は、重篤な感染症の疑いがあり、血球数
 げんしょうとう けつえきじょう みと ふくようまえ しょうじょう ほんざい
 減少等の血液異常が認められます。服用前にこのような 症 状 があると、本剤の
 ふくよう しょうじょう ぞうあく ほんざい ふくさよう き おく
 服用によって 症 状 が増悪し、また本剤の副作用に気づくのが遅れることがあります。
 げんいんふめい たいじゅうげんしょう じぞくせい ふくつう た びょうき げんいん
 原因不明の体重減少、持続性の腹痛(他の病気が原因であることがあります。)

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
循環器	脈のみだれ
精神神経	気がとおくなる感じ、ひきつけ（けいれん）
その他	気分が悪くなったり、だるくなったり、発熱してのどが痛いなど体調異常があらわれる。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
横紋筋融解症 (骨格筋)	手足やからだの筋肉が痛んだりこわばったりする、尿の色が赤褐色になる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、血尿、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる（歯茎の出血、鼻血等）、青あざができる（押しても消えない）等があらわれる。

(2) 誤って定められた用量を超えて服用してしまった場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

便秘、軟便、下痢、口のかわき

保管及び取扱い上の注意

- 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- 小児の手の届かない所に、保管してください。
- 他の容器に、入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- 使用期限を過ぎた製品は、服用しないでください。

出典
発行



製造販売元
第一三共ヘルスケア株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

商品名:ガスター10S錠 (GASTER 10 S Tablet)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

[効能]

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき

<効能・効果に関する注意>

- 効能・効果に記載以外の症状では、本剤を服用しないでください。

[成分と作用]

1 錠 中

成分	含量	作用
ファモチジン	10mg	胃酸の出過ぎをコントロールします

[用法・用量]

次の通り、水又はお湯で服用してください。

口中で溶かして服用することもできます。

年齢	1 回 量	1 日服用回数
成人 (15才以上、80歳未満)	1 錠	2 回まで
小児 (15 歳未満)	服用しないでください。	
高齢者 (80歳以上)		

この薬は決められた時間ごとに服用する薬ではなく、症状が出た時に服用する薬です。食事による影響はありませんので、食前、食後、食間いつ服用いただいても結構です。1回1錠で約8時間胃酸の出過ぎをコントロールしますので、1日2回服用する場合は8時間以上あけてください。

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 服用後8時間以上たっても症状が治まらない場合は、もう1錠服用してください。
- 症状が治まった場合は、服用を止めてください。
- 3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師又は薬剤師に相談してください。
- 2週間を超えて続けて服用しないでください。

<用法・用量に関する注意>

- 本剤は口腔内で容易に崩壊しますが、口腔の粘膜から吸収されることはないで、唾液又は水で飲み込んでください。通常の錠剤と同様、水やお湯で服用しても効果に変わりはありません。
- 本剤を服用の際は、アルコール飲料の摂取は控えてください。
(お薬はアルコール飲料と併用しないのが一般的です。)
- 錠剤の取り出し方
図のように錠剤の入っている PTP シートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り取り出して服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

か き ちゅうい よ ただ つか
 下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(まも げんざい しょうじょう あつか ふくさよう じ こ お
 (守らないと、現在の 症 状 が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。))

1. 次の人は服用しないでください。

(1) ファモチジン等の H2 ブロッカーによりアレルギー 症 状 (しょうじょう たと ほっしん ほっせき
 まぶた こうしんなど のはれ) を起こしたことがある人 (ひと)

(2) 医療機関で次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人 (ひと)
 いりようき かん つぎ びょうき ちりょう いやくひん とうよ う
 けつえき びょうき じんぞう かんぞう びょうき しんぞう びょうき い じゅうにしちょう びょうき ぜんそく など めんえきけい
 血液の病気、腎臓・肝臓の病気、心臓の病気、胃・十二指腸の病気、喘息・リウマチ等の免疫系
 びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき
 の病気、ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤
 はつけきゅうげんしょう けっしょうばんげんしょうなど お
 (白血球減少、血小板減少等を起こすことがあります。)

(じんぞう かんぞう びょうき も ばあい くすり はいせつ おく きょう つよ
 (腎臓・肝臓の病気を持っている場合には、薬の排泄が遅れて作用が強くなりあらわれることがあります。))

(しんきんこうそく べんまくしょう しんきんしょうなど しんぞう びょうき も ばあい しんでんずいじょう ともな みやく
 (心筋梗塞・弁膜症・心筋症等の心臓の病気を持っている場合には、心電図異常を伴う脈のみ
 だれがあらわれることがあります。))

(い じゅうにしちょう びょうき ちりょう う ひと るいじ くすり しょう か のうせい
 (胃・十二指腸の病気の治療を受けている人は、ファモチジンや類似の薬が処方されている可能性
 たか じゅうふくふくよう き ひつよう
 が高いので、重複服用に気をつける必要があります。))

(けいこうしんきんざい きゅうしゅう ていか こうか げんじやく
 (アゾール系抗真菌剤の吸収が低下して効果が減弱します。))

(3) 医師から赤血球が少ない(貧血)、血小板が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい)、白血球数
 い し せつけきゅう すく ひんけつ けっしょうばん すく ち と ち で はつけきゅうそう
 が少ない等の血液異常を指摘されたことがある人 (ひと)
 ほんざい ひ がね ふたた けつえきじょう ひ お か のうせい
 (本剤が引き金となって再び血液異常を引き起こす可能性があります。))

(4) フェニルケトン尿症の人 (本剤はアスパルテーム (L-フェニルアラニン化合物) を含んでいま
 す。))

(5) 15才未満の小児及び高齢者 (80歳以上)

(6) 妊婦又は妊娠していると思われる婦人並びに授乳婦

2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。

た いちょうやく
 他の胃腸薬

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人、又は他の医薬品を服用している人 (ひと)

(2) 本人又は家族が、アレルギー体質の人 (ひと)

(3) 薬によりアレルギー 症 状 を起こしたことがある人 (ひと)

(4) 高齢者 (65歳以上) (一般的に高齢者は、生理機能が低下していることがあります。))

(5) 次の 症 状 がある人 (ひと)

のどの痛み、咳及び高熱 (これらの 症 状 のある人は、重篤な感染症の疑いがあり、血球数
 げんしょうとう けつえきじょう みと ふくようまえ しょうじょう ほんざい
 減少等の血液異常が認められることがあります。服用前にこのような 症 状 があると、本剤の
 ふくよう しょうじょう ぞうあく ほんざい ふくさよう き おく
 服用によって 症 状 が増悪し、また本剤の副作用に気づくのが遅れることがあります。
 げんいんふめい たいじゅうげんしょう じぞくせい ふくつう た びょうき げんいん
 原因不明の体重減少、持続性の腹痛 (他の病気が原因であることがあります。))

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
循環器	脈のみだれ
精神神経	気がとおくなる感じ、ひきつけ（けいれん）
その他	気分が悪くなったり、だるくなったり、発熱してのどが痛いなど体調異常があらわれる。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック（アナフィラキシー）	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブン・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
おうもんきんゆうかいしょう 横紋筋融解症（骨格筋）	手足やからだの筋肉が痛んだりこわばったりする、尿の色が赤褐色になる。
かんきのうしょうがい 肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる
じんしょうがい 腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、血尿、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
けつえきしょうがい 血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる（歯茎の出血、鼻血等）、青あざができる（押しても色が消えない）等があらわれる。

(2) 誤って定められた用量を超えて服用してしまった場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

便秘、軟便、下痢、口のかわき

保管及び取扱い上の注意

- 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- 小児の手の届かない所に、保管してください。
- 他の容器に、入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。

出典 発行 製造販売元 第一三共ヘルスケア株式会社 (社) 神奈川県薬剤師会

商品名:ザジテン AL 鼻炎カプセル (ZADITEN AL Rhinitis Capsule)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

[効能]

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような鼻のアレルギー 症 状 の緩和：

くしゃみ、鼻水（鼻汁過多）、鼻づまり

[成分と作用]

1 カプセル 中

成分	含 量
ケトチフェンフマル酸塩 （ケトチフェンとして）	1.38mg (1.0mg)

[用法・用量]

次の 1 回 量を 1 日 2 回、朝 食 後 および 就 寝 前 に服用してください。

年 齢	1 回 量
成人（15才以上）	1 カプセル
15才未満	服用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 1 週 間 位 服用しても 症 状 がよくならない場合は、直ちに 服 用 を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。（個人差等により 薬 の効果があらわれるまでに 2 週 間 位 かかる場合もあります。）
- カプセルの取り出し方

カプセル剤の入っている PTP シートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り取り出して服用してください。（誤 ってそのまま飲み込んだりすると、食 道 粘 膜 に突き刺さる等思わぬ 事 故 につながります。）

使用上の注意

下記の注意をよく読んで正しくお使いください。

■ してはいけないこと

（守らないと現在の 症 状 が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。）

1. 次の人は服用しないでください

- 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
- 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。

他のアレルギー用 薬 （皮ふ疾患用 薬、鼻炎用内服薬を含む）、抗ヒスタミン薬を含有する内服薬（かぜ 薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い 薬、催眠鎮静薬）

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

(眠くなる場合があります。)

4. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合には授乳を避けてください。

(動物試験で乳汁中への移行が認められています。)

5. 服用時は飲酒しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人

(2) 減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人

(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人

(4) 高齢者

(5) 本人又は家族がアレルギー体質の人

(6) アレルギーによる症状か他の原因による症状がはっきりしない人

(7) 次の診断を受けた人

気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎、てんかん

(8) 次の症状のある人

排尿困難

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	紅斑・発疹・浮腫、かゆみ
鼻	鼻血
精神神経系	めまい、ふらつき、だるさ、頭痛、味覚異常、しびれ感
消化器	おしん・おうと、食欲不振、胃部不快感、腹痛、口内炎
その他	動悸、ほてり、頻尿、排尿痛、血尿、残尿感、月経異常、体重増加

(2) 1週間位服用しても症状がよくなる場合

3. まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
中枢神経症状	一過性の意識消失、けいれん、興奮等があらわれる
肝機能障害	発熱、発疹、全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。

4. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

口のかわき、便秘、下痢、眠気

5. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

症状の改善がみられても服用期間が2週間を超える場合

ほかんおよ とりあつか じょう ちゅうい
保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) 他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

出典 製造販売元
発行 ノバルティス ファーマ株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

商品名: パブロン鼻炎カプセル Z (PABRON Rhinitis Capsule Z)
 ※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

[効能]

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような鼻のアレルギー症状の緩和：
 くしゃみ、鼻水（鼻汁過多）、鼻づまり

[成分と作用]

1 カプセル中

成分	含量
ケトチフェンフマル酸塩 （ケトチフェンとして）	1.38mg (1.0mg)

[用法・用量]

次の1回量を1日2回、朝食後および就寝前に服用してください。

年齢	1回量
成人（15才以上）	1 カプセル
15才未満	服用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 1週間位服用しても症状がよくなりえない場合は、直ちに服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。（個人差等により薬の効果があらわれるまでに2週間位かかる場合もあります。）
- カプセルの取り出し方

カプセル剤の入っている PTP シートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り取り出して服用してください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）

使用上の注意

下記の注意をよく読んで正しくお使いください。

■ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。）

1. 次の人は服用しないでください。

- 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人（本剤の使用により再びアレルギー症状を起こす可能性があります。）
- 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。

他のアレルギー用薬（皮膚疾患用薬、鼻炎用内服薬を含む）、抗ヒスタミン薬を含有する内服薬（かぜ薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い薬、催眠鎮静薬）

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

（眠くなる場合があります。）

4. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合には授乳を避けてください。
(動物試験で乳汁中への移行が認められています。)

5. 服用時は飲酒しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。
- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - (2) 減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人
 - (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (4) 高齢者
 - (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人（アレルギー体質の人は本剤の使用により、アレルギー症状を起こす可能性があります。)
 - (6) アレルギーによる症状か他の原因による症状がはっきりしない人
 - (7) 次の診断を受けた人
気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎、てんかん
 - (8) 次の症状のある人
排尿困難

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	紅斑・発疹・浮腫、かゆみ
鼻	鼻血
精神神経系	めまい、ふらつき、だるさ、頭痛、味覚異常、しびれ感
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹痛、口内炎
その他	動悸、ほてり、頻尿、排尿痛、血尿、残尿感、月経異常、体重増加

- (2) 1週間位服用しても、症状がよくなる場合

3. まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
中枢神経症状	一過性の意識消失、けいれん、興奮等があらわれる
肝機能障害	発熱、発疹、全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる。

4. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

口のかわき、便秘、下痢、眠気

5. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

症状の改善がみられても、服用期間が2週間を超える場合

ほかんおよ とりあつか じょう ちゅうい
保管及び取扱い上の注意

- (1) こうおん をさけ、ちよくしやにつこう あ しつけ すく すず ところ ほかん
高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- (2) しょうに て とど ところ ほかん
小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) た ようき い か ごよう げんいん ひんしつ か
他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) しょうきげん す せいひん ふくよう
使用期限を過ぎた製品は、服用しないでください。

出典 発売元
発行 大正製薬株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

びえん

商品名：ザジテン AL 鼻炎スプレー（ZADITEN AL Rhinitis Spray）

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

こうのう

[効能]

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような鼻のアレルギー 症 状 の緩和：

くしゃみ、鼻水（鼻汁過多）、鼻づまり

[成分と作用]

100mL 中（包装：8mL/本）

成分	含 量
ケトチフェンフマル酸塩	75.6mg

[用法・用量]

次の 1 回 量を 1 日 4 回（朝・昼・夕方および就寝前）両鼻腔内に噴霧してください。

（1 噴霧でケトチフェンとして 0.05mg）

年齢	1 回 量
成人（15才以上）及び 7歳以上の小児	両鼻腔内に 1 度ずつ
7才未満	使用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもと使用させてください。
- 点鼻用にのみ使用してください。
- 目に入れないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水かぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。

使い方

初めてご使用の際は、容器の構造上薬液が霧状になりにくいので、ノズル（容器の先端部分）を上に向け、薬液が霧状になるまで 5 回程度押してください。

* 薬液が霧状に出れば投与準備は完了です。

- 使用前に鼻をかむか、鼻を洗浄してください。
- キャップをはずしてください。
- まっすぐ上向きに持って、ノズルを軽く鼻腔内に入れてください。
- レバーを指で下まで、強くすばやく押してください。（弱くゆっくり押すと、薬液が霧状にならず、液だれの原因となります。）
- 噴霧後は薬剤を鼻の奥まで広く行きわたらせるために、頭を後ろに傾けた状態で、数秒間、鼻で静かに吸引してください。
- 使用後はノズル付近を清潔なティッシュペーパー等でふき、キャップをしてください。

* ノズルの先端を針等で突くのは、折れたとき大変危険ですのでおやめください。



使用上の注意

下記の注意をよく読んで正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は使用しないでください。

・7才未満の小児

2. 使用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

(眠くなる場合があります。)

3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合には授乳を避けてください。

(動物試験で乳汁中への移行が認められています。)

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人

(2) 減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人

(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人

(4) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人

(5) アレルギーによる症状か他の原因による症状がはっきりしない人

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 使用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
はな 鼻	かんそうかん しげきかん 乾燥感、刺激感
せいしんしんけいけい 精神神経系	だつりよくかん ずつう 脱力感、頭痛

(2) 1週間位服用しても症状がよくなる場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、使用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

眠気

4. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

症状の改善がみられても服用期間が2週間を超える場合

ほかんおよ とりあつか じょう ちゅうい
保管及び取扱い上の注意

- (1) こうおん ちよくしやにつこう あ しつけ すく すず ところ ほかん
高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- (2) しょうに て とど ところ ほかん
小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) た ようき い か ごよう げんいん ひんしつ か
他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4) 他の人と共用しないでください。
- (5) しょうきげん す せいひんしょう しょうきげんない かいふうご
使用期限を過ぎた製品使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は、なるべく
速やかに使用してください。

製造販売元
ノバルティス ファーマ株式会社
出典
発行 (社) 神奈川県薬剤師会

商品名: パブロン点鼻Z <鼻炎スプレー> (PABRON Nasal Spray Z)
 ※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

[効能]

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような鼻のアレルギー症状の緩和：
 くしゃみ、鼻水（鼻汁過多）、鼻づまり

[成分と作用]

100mL 中（包装：8mL/本）

成分	含量
ケトチフェンフマル酸塩	75.6mg

[用法・用量]

次の1回量を、1日4回（朝・昼・夕方および就寝前）両鼻腔内に噴霧してください。

（1噴霧でケトチフェンとして0.05mg）

年齢	1回量
成人（15才以上）及び 7歳以上の小児	両鼻腔内に1度ずつ
7才未満	使用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもと使用させてください。
- 点鼻用에만使用してください。
- 目に入れないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水かぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。

使い方

初めてご使用の際は、容器の構造上薬液が霧状になりにくいので、ノズル（容器の先端部分）を上に向け、薬液が霧状になるまで5回程度押ししてください。

*薬液が霧状に出れば投与準備は完了です。

- 使用前に鼻をかむか、鼻を洗浄してください。
- キャップをはずしてください。
- まっすぐ上向きに持って、ノズルを軽く鼻腔内に入れてください。
- レバーを指で下まで、強くすばやく押ししてください。（弱くゆっくり押すと、薬液が霧状にならず、液だれの原因となります。）
- 噴霧後は薬剤を鼻の奥まで広く行きわたらせるために、頭を後ろに傾けた状態で、数秒間、鼻で静かに吸引してください。
- 使用後はノズル付近を清潔なティッシュペーパー等でふき、キャップをしてください。

*ノズルの先端を針等で突くのは、折れたとき大変危険ですのでおやめください。

【使い方】

★初めてご使用の際は、容器の構造上薬液が霧状になりにくいので、ノズル（容器の先端部分）を上に向け、薬液が霧状になるまで5回程度押してください。



①使用前に鼻をかむか、鼻を洗淨してください。



④レバーを指で下まで、強くすばやく押してください。（弱くゆっくり押すと、薬液が霧状にならず、液だれの原因となります）



②キャップをはずしてください。



⑤噴霧後は薬剤を鼻の奥まで広く行きわたらせるために、頭を後ろに傾けた状態で、数秒間、鼻で静かに吸引してください。



③まっすぐ上向きに持って、ノズルを軽く鼻腔内に入れてください。



⑥使用後は、ノズル付近を清潔なティッシュペーパー等でふき、キャップをしてください。

ノズルの先端を針等で突くのは折れた時大変危険ですのでおやめください。

使用上の注意

下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

（守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。）

1. 次の人は使用しないでください。

・7才未満の小児

2. 使用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

（眠くなる場合があります。）

3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合には授乳を避けてください。

（動物試験で乳汁中への移行が認められています。）

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人

(2) 減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人

(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人

(4) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人

(5) アレルギーによる症状か他の原因による症状がはっきりしない人

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 使用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
鼻	乾燥感、刺激感
精神神経系	だつりよくかん、脱力感、頭痛

(2) 1週間位使用しても、症状がよくなる場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、使用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

眠気

4. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。
- 症状の改善がみられても使用期間が2週間を超える場合

保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) 他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 他の人と共用しないでください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は、なるべく速やかに使用してください。(品質保持のため)

発売元
出典 大正製薬株式会社
発行 (社) 神奈川県薬剤師会

商品名: ザジテン AL点眼薬 <点眼液> (ZADITEN AL Eye Drop)
 ※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

[効能]

花粉ハウスダスト (室内塵) などによる次のような目のアレルギー 症状の緩和:
 目の充血、目のかゆみ (目やにの多いとき)、なみだ目、異物感 (コロコロする感じ)

[成分と作用]

100mL 中 (包装: 8mL/本)

成分	含量
ケトチフェンフマル酸塩 (ケトチフェンとして)	69mg (50mg)

[用法・用量]

次の1回量を1日4回 (朝・昼・夕方および就寝前) 点眼してください。

年齢	1回量
成人 (15才以上) 及び 1歳以上の小児	1～2滴
1才未満	点眼しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法、用量を遵守してください。
- 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもと使用させてください。
- 目の周囲に流れ出た液はすぐにふきとってください。
- 容器の先が、まぶたやまつ毛に触れると、目やにや雑菌等のため、薬液が汚染又は混濁することがあるので注意してください。また、混濁したものは使用しないでください。
- コンタクトレンズの装着液として、また、コンタクトレンズを装着したまま使用しないでください。
- 本剤は点眼用にのみ使用してください。

使い方

- 使用する前に手をきれいに洗ってください。
- 下まぶたを軽く押し下げ、真上から1～2滴を点眼してください。
容器の先がまぶたやまつ毛に直接触れないように、また、使用後も容器の先端やキャップは清潔に取り扱ってください。
- 滴下した後、目を閉じて、液を目にいきわたらせてください。
使用後はキャップをしっかりと閉めてください。
- 目の周囲に流れ出た液はすぐにふきとってください。



しょうじょう ちゅうい
使用上の注意

か き ちゅうい よ ただ つか
下記の注意をよく読んで正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(守らないと現在の 症 状 が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は使用しないでください。

- 本剤によるアレルギー 症 状 を起こしたことがある人。
- 1才未満の小児

2. 点鼻薬と併用する場合には、使用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

(眠気があらわれることがあります。)

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- (2) 減感作療法 等、アレルギーの治療を受けている人
- (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (4) 薬によりアレルギー 症 状 を起こしたことがある人
- (5) 次の 症 状 のある人

はげしい目の痛み

- (6) アレルギーによる 症 状 か他の原因による 症 状 かはつきりしない人

特に次のような場合はアレルギーによるものとは断定できないため、使用前に医師にご相談ください。

- 片方の目だけに 症 状 がある場合
- 目の 症 状 のみで、鼻には 症 状 がみられない場合
- 視力にも影 響 がある場合
- 目やにの多い場合

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 使用後、次の 症 状 があらわれた場合

かんけいぶ い 関係部位	しょうじょう 症 状
ひ 皮ふ**	かゆみ
め 目**	め じゅうけつ しげきかん いた 目の充 血、刺激感*、痛み*、はれ*、かゆみ**、目のまわ りを 含む
た その他	ねむけ 眠気

**人によっては、使用開始初期（1～2日目）にまぶた、目の周囲、頬などに、ひどいかゆみ、はれ、痛みなどの 症 状 があらわれることがあります。

- (2) 目のかすみが改善されない場合

- (3) 1週 間 位 使用しても 症 状 がよくならない場合

3. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

症 状 の改善がみられても使用期間が2週 間 を超える場合

保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所にキャップをきちんと閉めて保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 他の人と共用しないでください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。また、使用期限内であっても、開封後は、なるべく速やかに使用してください。

製造販売元

出典

ノバルティス ファーマ株式会社

発行

(社) 神奈川県薬剤師会

商品名:アイリスアレスト <点眼液> (IRIS ARREST <Eye Drop>)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

こうのう

[効能]

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような目のアレルギー症状の緩和：
目の充血、目のかゆみ（目やにの多いとき）、なみだ目、異物感（コロコロする感じ）

[成分と作用]

100mL 中（包装：10mL/本）

成分	含量
ケトチフェンフマル酸塩 （ケトチフェンとして）	69mg (50mg)

[用法・用量]

次の1回量を1日4回（朝・昼・夕方および就寝前）点眼してください。

年齢	1回量
成人（15才以上）及び 1歳以上の小児	1～2滴
1才未満	点眼しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもと使用させてください。
- 目の周囲に流れ出た液はすぐにふきとってください。
- 容器の先が、まぶたやまつ毛に触れると、目やにや雑菌等のため、薬液が汚染又は混濁することがあるので注意してください。また、混濁したものは使用しないでください。
- コンタクトレンズの装着液として、また、コンタクトレンズを装着したまま使用しないでください。
- 本剤は点眼用にのみ使用してください。

使い方

- 使用する前に手をきれいに洗ってください。
- 下まぶたを軽く押し下げ、真上から1～2滴を点眼してください。
容器の先がまぶたやまつ毛に直接触れないように、また、使用後も容器の先端やキャップは清潔に取り扱ってください。
- 滴下した後、目を閉じて、液を目にいきわたらせてください。
使用後はキャップをしっかりと閉めてください。
- 目の周囲に流れ出た液はすぐにふきとってください。

しょうじょう ちゅうい
使用上の注意

か き ちゅうい よ ただ つか
下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(まも げんざい しょうじょう あつか ふくさよう じ こ お
守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は、使用しないでください。

- 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人(本剤の使用により再びアレルギー症状を起こす可能性があります。)
- 1才未満の小児

2. 点鼻薬と併用する場合には、使用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

(ねむけ
眠気が、あらわれることがあります。)

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- (2) 減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人
- (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (4) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (5) 次の症状のある人
はげしい目の痛み
- (6) アレルギーによる症状か他の原因による症状かはっきりしない人
特に、次のような場合は、アレルギーによるものとは断定できないため、使用前に医師にご相談ください。
かたほう め しょうじょう
• 片方の目だけに症状がある場合
め しょうじょう はな しょうじょう ばあい
• 目の症状のみで、鼻には症状がみられない場合
しりよく えいきょう ばあい
• 視力にも影響がある場合
め おお ばあい
• 目やにの多い場合

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 使用後、次の症状があらわれた場合

かんけいぶい 関係部位	しょうじょう 症状
ひ 皮ふ**	かゆみ
め 目**	め じゅうけつ しげきかん いた め 目の充血、刺激感*、痛み*、はれ*、かゆみ**、目のまわりを含む
た その他	ねむけ 眠気

* **人によっては、使用開始初期(1～2日目)にまぶた、目の周囲、頬などにひどいかゆみ、はれ、痛みなどの症状があらわれることがある。

- (2) 目のかすみ改善されない場合
- (3) 1週間位使用しても症状がよくなる場合

3. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

しょうじょう かいぜん きかん しゅうかん こ ばあい
症状の改善がみられても使用期間が2週間を超える場合

ほかんおよ とりあつか じょう ちゅうい
保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、キャップをきちんと閉めて保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) 他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります)
- (4) 他の人と共用しないでください。
- (5) 車のダッシュボード等、高温下に放置しないでください。(容器の変形や薬液の品質が劣化することがあります。)
- (6) 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は、なるべく速やかに使用してください。(品質保持のため)

発 売 元
大正製薬株式会社
出典
発行 (社) 神奈川県薬剤師会

Product name: ACTIVIR Ointment (アクチビア軟膏)

※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary
[Use]

For the treatment of recurring oral herpes. (Only those patients who have been diagnosed by a doctor and have received medical treatment in the past can use this medicine.)

[Ingredient and Action]

The following ingredient is included in Activir 1g:

Active Ingredient	Amount	Action
Acyclovir	50mg	This medicine helps fight the herpes virus.

[Dosage and Usage]

Apply an appropriate amount of this medicine to the affected area 3 to 5 times a day. (Apply as soon as you feel a tingle or prickle on or around your lips.)

Description

- Tingles or prickles are signs of cold sore recurrence. Apply this product from the early stages of the recurrence.
- In general, apply this product after every meal and before going to bed.
- Don't give this medicine to a family member who seems to have a cold sore for the first time.

〈Cautions on Dosage and Usage〉

- Please follow exactly the defined dosage and usage directions.
- Apply this medicine to a child only under parental guidance and supervision.
- Avoid contact with the eyes. If this medicine gets into your eyes, please rinse them immediately with cold or lukewarm water. Please seek treatment from an eye doctor if your eyes still hurt after rinsing them.
- For external use only.
- Don't eat or lick this medicine, even though this medicine possesses no health threat.

Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions.)

1. The following persons should not use this medicine:

- (1) Those who seem to have cold sore symptoms for the first time or have a large affected area.
(Consult a physician if you have the symptoms for the first time because it could worsen, or if you have a large affected area it could be a severe form of cold sore.)
- (2) Those who have had an allergic reaction to this medicine or medicines containing valacyclovir hydrochloride in the past. (This product may cause an allergic reaction again.)
- (3) Children under the age of 6.
(There is a high possibility of a first time infection for babies and infants.)

2. Don't apply this medicine to the following areas of the body:

- (1) In and around your eyes. (This medicine may irritate your eyes.)
- (2) Any body part other than your lips and the area around them. (Cold sores develop only on and around your lips).

■ Be sure to

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:

- (1) Those who are under treatment by two different physicians. (There may be the chance that both physicians prescribe the same or similar medications.)
- (2) Those who are or may be pregnant. (A pregnant woman must be careful about taking medicine. If you are or may be pregnant, consult your doctor and follow her instructions).
- (3) Women who are breast-feeding. (Studies have shown that mothers who have taken this medicine have it transfer to their breast milk.)
- (4) Patients or their family members who have a tendency for allergies. (A person with an allergic constitution may develop allergic symptoms by using this product.)
- (5) Those who have allergic reactions to medicines. (If you have had an allergic reaction to a medicine in the past, this product could cause an allergic reaction as well.)
- (6) Those who have developed severely moist skin or skin sores. (Consult a physician if your symptoms are severe.)
- (7) Those who have atopic dermatitis. (This product could worsen the atopic dermatitis. If you have atopic dermatitis, consult a medical specialist.)

2. If any of the following applies to you, stop using this medicine immediately and consult a physician or pharmacist with this insert:

- (1) When the following symptoms occur after using this medicine:

Area concerned	Symptoms
Skin	rash, redness, swelling, itching, skin eruption, irritation, pain, dry skin, burning sensation, or flaking of the skin similar to dandruff

(The above-mentioned symptoms could be a result of allergic reaction to, or overt expression of the pharmacological quality of, this product. The symptoms may worsen if you continue using.)

- (2) When the symptoms do not improve after using this medicine after 7 days. (When the symptoms have not subsided after using this product after 7 days, you should consider the symptoms are either severe or caused by another disease. Consult a physician or pharmacist as soon as possible).

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight at temperatures below 30° Celsius (86 degrees Fahrenheit).
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Wash your hands thoroughly before and after use.
- (4) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (5) Don't use this product after the expiration date. Don't use product more than 6 months after it has been opened, even if it is before the expiration date (to ensure product quality).

出典 製造販売元：グラクソ・スミスクライン株式会社
 制作 (社) 神奈川県薬剤師会

Product name: HERPECIA Ointment (ヘルペシア軟膏)

※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary

[Use]

For the treatment of recurring oral herpes. (Only those patients who have been diagnosed by a doctor and have received medical treatment in the past can use this medicine.)

[Ingredient and Action]

The following ingredient is included in Herpecia 1g:

Active Ingredient	Amount	Action
Acyclovir	50mg	This medicine helps fight the herpes virus.

[Dosage and Usage]

Apply an appropriate amount of this medicine to the affected area 3 to 5 times a day. (Apply as soon as you feel a tingle or prickle on or around your lips.)

Description

- Tingles or prickles are signs of cold sore recurrence. Apply this product from the early stages of the recurrence.
- In general, apply this product after every meal and before going to bed.
- Don't give this medicine to a family member who seems to have a cold sore for the first time.

〈Cautions on Dosage and Usage〉

- Please follow exactly the defined dosage and usage directions.
- Apply this medicine to a child only under parental guidance and supervision.
- Avoid contact with the eyes. If this medicine gets into your eyes, please rinse them immediately with cold or lukewarm water. Please seek treatment from an eye doctor if your eyes still hurt after rinsing them.
- For external use only.
- Don't eat or lick this medicine, even though this medicine possesses no health threat.

Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions.)

1. The following persons should not use this medicine:

- (1) Those who seem to have cold sore symptoms for the first time or have a large affected area.
(Consult a physician if you have the symptoms for the first time because it could worsen, or if you have a large affected area it could be a severe form of cold sore.)
- (2) Those who have had an allergic reaction to this medicine or medicines containing valacyclovir hydrochloride in the past. (This product may cause an allergic reaction again.)
- (3) Children under the age of 6.
(There is a high possibility of a first time infection for babies and infants.)

2. Don't apply this medicine to the following areas of the body:

- (1) In and around your eyes. (This medicine may irritate your eyes.)
- (2) Any body part other than your lips and the area around them. (Cold sores develop only on and around your lips).

■ Be sure to

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:

- (1) Those who are under treatment by two different physicians. (There may be the chance that both physicians prescribe the same or similar medications.)
- (2) Those who are or may be pregnant. (A pregnant woman must be careful about taking medicine. If you are or may be pregnant, consult your doctor and follow her instructions).
- (3) A person who is breast-feeding. (Studies have shown that mothers who have taken this medicine have it transfer to their breast milk.)
- (4) Patients or their family members who have a tendency for allergies. (A person with an allergic constitution may develop allergic symptoms by using this product.)
- (5) Those who have allergic reactions to medicines. (If you have had an allergic reaction to a medicine in the past, this product could cause an allergic reaction as well.)
- (6) Those who have developed severely moist skin or skin sores. (Consult a physician if your symptoms are severe.)
- (7) Those who have atopic dermatitis. (This product could worsen the atopic dermatitis. If you have atopic dermatitis, consult a medical specialist.)

2. If any of the following applies to you, stop using this medicine immediately and consult a physician or pharmacist with this insert:

- (1) When the following symptoms occur after using this medicine:

Area concerned	Symptoms
Skin	rash, redness, swelling, itching, skin eruption, irritation, pain, dry skin, burning sensation, or flaking of the skin similar to dandruff

(The above-mentioned symptoms could be a result of allergic reaction to, or overt expression of the pharmacological quality of, this product. The symptoms may worsen if you continue using.)

- (2) When the symptoms do not improve after using this medicine after 7 days. (When the symptoms have not subsided after using this product after 7 days, you should consider the symptoms are either severe or caused by another disease. Consult a physician or pharmacist as soon as possible).

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight at temperatures below 30° Celsius (86 degrees Fahrenheit).
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Wash your hands thoroughly before and after use.
- (4) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (5) Don't use this product after the expiration date. Don't use this product more than 6 months after it has been opened, even if it is before the expiration date (to ensure product quality).

製造販売元



大正製薬株式会社

出典
制作

(社) 神奈川県薬剤師会

Product name: S.TAC EVE FINE<tablet> (エスタックイブファイン<錠剤>)

※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary

[Use]

Relief of many symptoms of a cold: fever, chills, a cough, sputum, a sore throat, mucus, nasal congestion, sneezing, a headache, joint pain, and muscle pain.

[Ingredients and Actions]

The following ingredients are included in 9 tablets (the one-day dosage for an adult):

Active Ingredient	Content	Action
Ibuprofen	450mg	Reduces fever, and helps relieve: headaches, sore throats, and pain.
Ambroxol Hydrochloride	45mg	Helps fight the cause of a persistent cough.
Isopropamide Iodide	6mg	Helps relieve a runny nose.
Dihydrocodeine Phosphate	24mg	Controls the cough, acting on its root cause.
dl-Methylephedrine Hydrochloride	60mg	Widens bronchi (easing respiration), and helps suppress a cough.
Chlorpheniramine Maleate	7.5mg	Relieves sneezing, a runny nose, and congestion.
Anhydrous caffeine	75mg	Helps relieve headaches.
Ascorbic acid (vitamin C)	300mg	For the replenishment of this vitamin, which is easily lacking when you have a cold.
Thiamine nitrate (vitamin B1 nitrates)	24mg	

[Dosage and Usage]

Take the tablets 3 times a day within 30 minutes after meals.

Age	A single dose
Adults (15 years old or older)	3 tablets
Under 15 years old	Don't take this medicine.

<Cautions on Dosage and Usage>

- Please follow exactly the defined dosage and usage directions.

Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions) .

1. The following persons should not take this medicine:

- (1) Those who have had an allergic reaction to this medicine in the past.
- (2) Those who have had an asthma attack after taking this medicine or other cold medicines such as fever-reducers or painkillers.
- (3) Those who are under 15 years old must not take this medicine.

2. When taking this medicine, be sure not to take any of the following medicines:
Other cold medicines, fever reducers, sedatives, cough suppressants, or any oral medicines that contain an antihistamine, e.g. oral medicines for a runny nose, motion sickness pills, or allergy medications.
3. Please don't operate a vehicle or machinery after taking this medicine.
(This medicine may make you sleepy or affect your vision.)
4. Women who are breast-feeding should not take this medicine. If you take this medicine, please stop breast-feeding your child.
5. Please refrain from drinking alcoholic beverages when taking this medicine.
6. Please don't take this medicine for more than 5 days.

■ Be sure to:

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:
 - (1) You are currently under treatment by a physician or dentist
 - (2) You are or may be pregnant.
 - (3) You are an elderly person.
 - (4) Those who are prone to allergies or have a family history of allergies.
 - (5) You are someone who has had allergic reactions to medicines in the past.
 - (6) People with the following symptoms: high fever, or have difficulty urinating.
 - (7) Those who have been diagnosed with any of the following: hypertension, cardiac disease, diabetes, glaucoma, liver disease, kidney diseases, inflammation of the thyroid gland, lupus, or Sharp syndrome.
 - (8) Those who have had the following diseases:
A gastroduodenal ulcer, idiopathic ulcerative colitis, or Crohn's disease.
2. If you experience any of the following, stop using this medicine immediately and consult a physician or pharmacist with this insert:
 - (1) When the following symptoms appear after taking this product.

Area concerned	Symptoms
Skin	Rash, redness, or itching
Digestive system	Nausea, vomiting, poor appetite, stomachache, upset stomach, gas, heartburn, or abdominal pain
Nervous system	Dizziness
Others	Blurred vision, ringing in the ears, difficulty in urinating, edema, or numbness in your body

The following serious symptoms rarely may occur. If you have these symptoms, consult a physician immediately.

Symptom name	Symptom manifestation(s)
Shock (anaphylaxis)	Face becomes pale, hands and feet become cold, you break out in a cold sweat, you break out in a rash, experience edema, or breathing difficulty right after taking this medicine.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Intense manifestations include: rash, redness of the skin, the appearance of burn-like blisters on the skin, mouth, or around the eyes.
Liver disorder	Chronic tiredness or jaundice (yellowing of the skin or eyes).
Kidney dysfunction	A decrease in urinary volume, swelling of the body, general malaise, vomiting, blood in the urine, or albumin in the urine.
Aseptic meningitis	Include: an intense headache, fever, nausea / vomiting appear. (As for these symptoms, they have often been reported in patients treated for lupus or mixed connective tissue disease) .
Interstitial pneumonia	Include: loss of breath, breathing difficulty, or a dry cough. (If these symptoms, similar to those found in a cold, worsen please stop taking this medicine and consult your doctor as soon as possible.)
Asthma	

- (2) When your symptoms have not improved even if you have taken the medicine 5-6 times.
(In particular, if your fever continues for more than three days.)
3. The following symptoms may occasionally occur. If these symptoms continue or increase, discontinue this medicine and consult a physician or pharmacist:
Constipation, loose stool, or dry mouth.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or its quality may change.)
- (4) Don't touch this medicine with wet hands. The sugar coating may become uneven and its color may change.
- (5) The stuffing in the bottle is intended to prevent tablet damage during transport. Please remove it after opening.
- (6) Don't use this product after the expiration date. Don't use this product more than 6 months after it has been opened, even if it is before the expiration date.

出典
発行



製造販売元

エスエス製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Product name: S.TAC EVE FINE<granule> (エスタックイブファイン<顆粒>)

※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary

[Use]

Relief of many symptoms of a cold: fever, chills, a cough, sputum, a sore throat, mucus, nasal congestion, sneezing, headache, joint pain, and muscle pain.

[Ingredients and Actions]

The following ingredients are included in one package (1.3g):

Active Ingredient	Amount	Action
Ibuprofen	150mg	Reduces fever, and helps relieve: headaches, sore throats, and pain.
Ambroxol Hydrochloride	15mg	Helps fight the cause of a persistent cough.
Isopropamide Iodide	2mg	Helps relieve a runny nose.
Dihydrocodeine Phosphate	8mg	Controls the cough, acting on its root cause.
dl-Methylephedrine Hydrochloride	20mg	Widens bronchi (easing respiration) and helps suppress a cough.
Chlorpheniramine Maleate	2.5mg	Relieves sneezing, a runny nose, and congestion.
Anhydrous caffeine	25mg	Helps relieve headaches.
Ascorbic acid (vitamin C)	100mg	For the replenishment of this vitamin, which is easily lacking when you have a cold.
Thiamine nitrate (vitamin B1 nitrates)	8mg	

[Dosage and Usage]

Take a package 3 times a day within 30 minutes after meals.

Age	A single dose
Adults (15 years old or older)	1 package
Under 15 years old	Don't take this medicine.

<Cautions on Dosage and Usage>

- Please follow exactly the defined dosage and usage directions.

Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions) .

1. The following persons should not take this medicine:

- (1) Those who have had an allergic reaction to this medicine in the past.
- (2) Those who have had an asthma attack after taking this medicine or other cold medicines such as fever-reducers or painkillers.
- (3) Those who are under 15 years old must not take this medicine.

2. When taking this medicine, be sure not to take any of the following medicines:
Other cold medicines, fever reducers, sedatives, cough suppressants, or any oral medicines that contain an antihistamine, e.g. oral medicines for a runny nose, motion sickness pills, or allergy medications.
3. Please don't operate a vehicle or machinery after taking this medicine.
(This medicine may make you sleepy or affect your vision.)
4. Women who are breast-feeding should not take this medicine. If you take this medicine, please stop breast-feeding your child.
5. Please refrain from drinking alcoholic beverages when taking this medicine.
6. Please don't take this medicine for more than 5 days.

■ Be sure to:

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:
 - (1) You are currently under treatment by a physician or dentist
 - (2) You are or may be pregnant.
 - (3) You are an elderly person.
 - (4) You are prone to allergies or have a family history of allergies.
 - (5) You are someone who has had allergic reactions to medicines in the past.
 - (6) People with the following symptoms: high fever, or have difficulty urinating.
 - (7) Those who have been diagnosed with any of the following: hypertension, cardiac disease, diabetes, glaucoma, liver disease, kidney diseases, inflammation of the thyroid gland, lupus, or Sharp syndrome.
 - (8) Those who have had the following diseases:
A gastroduodenal ulcer, idiopathic ulcerative colitis, or Crohn's disease.
2. If you experience any of the following, stop using this medicine immediately and consult a physician or pharmacist with this insert:
 - (1) When the following symptoms appear after taking this product.

Area concerned	Symptoms
Skin	Rash, redness, or itching
Digestive system	Nausea, vomiting, poor appetite, stomachache, upset stomach, gas, heartburn, or abdominal pain
Nervous system	Dizziness
Others	Blurred vision, ringing in the ears, difficulty in urinating, edema, or numbness in your body

The following serious symptoms rarely may occur. If you have these symptoms, consult a physician immediately.

Symptom name	Symptom manifestation(s)
Shock (anaphylaxis)	Face becomes pale, hands and feet become cold, you break out in a cold sweat, you break out in a rash, experience edema, or breathing difficulty right after taking this medicine.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Intense manifestations include: rash, redness of the skin, the appearance of burn-like blisters on the skin, mouth, or around the eyes.
Liver disorder	Chronic tiredness or jaundice (yellowing of the skin or eyes).
Kidney dysfunction	A decrease in urinary volume, swelling of the body, general malaise, vomiting, blood in the urine, or albumin in the urine.
Aseptic meningitis	Include: an intense headache, fever, nausea / vomiting appear. (As for these symptoms, they have often been reported in patients treated for lupus or mixed connective tissue disease) .
Interstitial pneumonia	Include: loss of breath, breathing difficulty, or a dry cough. (If these symptoms, similar to those found in a cold, worsen please stop taking this medicine and consult your doctor as soon as possible.)
Asthma	

- (2) When your symptoms have not improved even if you have taken the medicine 5-6 times.
(In particular, if your fever continues for more than three days.)
3. The following symptoms may occasionally occur. If these symptoms continue or increase, discontinue this medicine and consult a physician or pharmacist:
Constipation, loose stool, or dry mouth.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight.
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or its quality may change.)
- (4) Don't use this product after the expiration date.

出典
発行



製造販売元

Eisai 製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

じょう じょうざい

Product name: PABRON ACE AX< Tablet >(パブロンエースAX 錠 <錠剤>)
※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary

[Use]

Relief of many symptoms of a cold: fever, chills, a cough, sputum, a sore throat, mucus, nasal congestion, sneezing, a headache, joint pain, and muscle pain.

[Ingredients and Actions]

The following ingredients are included in 3 tablets (a single dose).

Active Ingredient	Content	Action
Ibuprofen	150mg	Reduces fever, and helps relieve: headaches, sore throats, and pain.
Ambroxol Hydrochloride	15mg	Helps fight the cause of a persistent cough.
Dihydrocodeine Phosphate	8mg	Controls the cough, acting on its root cause.
dl-Methylephedrine Hydrochloride	20mg	Widens bronchi (easing respiration) and helps suppress a cough.
Chlorpheniramine Maleate	2.5mg	Relieves sneezing, a runny nose, and congestion.
Anhydrous Caffeine	25mg	Helps relieve headaches.
Ascorbic Acid (vitamin C)	166.7mg	For the replenishment of this vitamin, which is easily lacking when you have a cold.
Thiamine Nitrate (vitamin B1 Nitrate)	8mg	
Riboflavin (vitamin B2)	4mg	

[Dosage and Usage]

Take the tablets 3 times a day within 30 minutes after meals.

Age	A single dose
Adults (15 years old or older)	3 tablets
Under 15 years old	Don't take this medicine.

<Cautions on Dosage and Usage>

- Please follow exactly the defined dosage and usage directions.
- How to remove a tablet from the packaging:
 To remove a tablet from the PTP sheet, push the tablet gently through the aluminum foil. (Be careful not to ingest any part of the PTP sheet, as doing so could lead to unexpected accidents, such as a piece of aluminum getting stuck in your throat.)

Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions.)

1. The following persons should not take this medicine:

- (1) Those who have had an allergic reaction to this medicine.
- (2) Those who have had an asthma attack after taking this medicine or other cold medicines such as: fever-reducers or painkillers.
- (3) Those who are under 15 years old must not use this medicine.

2. When taking this medicine, be sure not to take any of the following medicines:
Other cold medicines, fever reducers, sedatives, cough suppressants, or any oral medicines that contain an antihistamine, e.g. oral medicines for a runny nose, motion sickness pills, or allergy medications.
3. Please don't operate a vehicle or machinery after taking this medicine.
(This medicine may make you sleepy or affect your vision.)
4. Women who are breast-feeding should not take this medicine. If you take this medicine, please stop breast-feeding your child.
5. Please refrain from drinking alcoholic beverages when taking this medicine.
6. Please don't take this medicine for more than 5 days.

■ Be sure to:

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:
 - (1) You are currently under treatment by a physician or dentist
 - (2) You are or may be pregnant.
 - (3) You are an elderly person.
 - (4) Those who are prone to allergies or have a family history of allergies.
 - (5) You are someone who has had allergic reactions to medicines in the past.
 - (6) People with the following symptoms: high fever, or have difficulty urinating.
 - (7) Those who have been diagnosed with any of the following: hypertension, cardiac disease, diabetes, glaucoma, liver disease, kidney diseases, inflammation of the thyroid gland, lupus, or Sharp syndrome.
 - (8) Those who have had the following diseases:
A gastroduodenal ulcer, idiopathic ulcerative colitis, or Crohn's disease.
2. If you experience any of the following, stop using this medicine immediately and consult a physician or pharmacist with this insert:
 - (1) When the following symptoms appear after taking this product.

Area concerned	Symptoms
Skin	Rash, redness, or itching
Digestive system	Nausea, vomiting, poor appetite, stomachache, upset stomach, gas, heartburn, or abdominal pain
Nervous system	Dizziness, or numbness in your body
Others	Blurred vision, ringing in the ears, difficulty in urinating, edema

The following serious symptoms rarely may occur. If you have these symptoms, consult a physician immediately.

Symptom name	Symptom manifestation(s)
Shock (anaphylaxis)	Face becomes pale, hands and feet become cold, you break out in a cold sweat, you break out in a rash, experience edema, or breathing difficulty right after taking this medicine.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Intense manifestations include: rash, redness of the skin, the appearance of burn-like blisters on the skin, mouth, or around the eyes.
Liver disorder	Chronic tiredness or jaundice (yellowing of the skin or eyes).
Kidney dysfunction	A decrease in urinary volume, swelling of the body, general malaise, vomiting, blood in the urine, or albumin in the urine.
Aseptic meningitis	Include: an intense headache, fever, nausea / vomiting appear. (As for these symptoms, they have often been reported in patients treated for lupus or mixed connective tissue disease) .
Interstitial pneumonia	Include: loss of breath, breathing difficulty, or a dry cough. (If these symptoms, similar to those found in a cold, worsen please stop taking this medicine and consult your doctor as soon as possible.)
Asthma	

- (2) When your symptoms have not improved even if you have taken the medicine 5-6 times. (In particular, if your fever continues for more than three days.)
3. The following symptoms may occasionally occur. If these symptoms continue or increase, discontinue this medicine and consult a physician or pharmacist:
Constipation, loose stool, or dry mouth.
4. When taking this medicine, your urine may turn yellowish in color. This is due to the vitamin B2 content of this medicine.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (4) Don't use this product after the expiration date. Don't use this product more than 6 months after it has been opened, even if it is before the expiration date (to ensure product quality).

出典
発行



大正製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Product name: PABRON ACE AX< Particle > (パブロンエースAX<微粒>)
びりゅう

※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary

[Use]

Relief of many symptoms of a cold: fever, chills, a cough, sputum, a sore throat, mucus, nasal congestion, sneezing, a headache, joint pain, and muscle pain.

[Ingredients and Actions]

The following ingredients are included in 1 package(1.3g).

Active Ingredient	Content	Action
Ibuprofen	150mg	Reduces fever, and helps relieve: headaches, sore throats, and pain.
Ambroxol Hydrochloride	15mg	Helps fight the cause of a persistent cough.
Dihydrocodeine Phosphate	8mg	Controls the cough, acting on its root cause.
dl-Methylephedrine Hydrochloride	20mg	Widens bronchi (easing respiration) and helps suppress a cough.
Chlorpheniramine Maleate	2.5mg	Relieves sneezing, a runny nose, and congestion.
Anhydrous Caffeine	25mg	Helps relieve headaches.
Ascorbic Acid (vitamin C)	166.7mg	For the replenishment of this vitamin, which is easily lacking when you have a cold.
Thiamine Nitrate (vitamin B1 Nitrate)	8mg	
Riboflavin (vitamin B2)	4mg	

[Dosage and Usage]

Take the 1 package 3 times a day within 30 minutes after meals.

Age	A single dose
Adults (15 years old or older)	1 package
Under 15 years old	Don't take this medicine.

<Cautions on Dosage and Usage>

- Please follow exactly the defined dosage and usage directions.

Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions.)

1. The following persons should not take this medicine:

- (1) Those who have had an allergic reaction to this medicine.
- (2) Those who have had an asthma attack after taking this medicine or other cold medicines such as: fever-reducers or painkillers.
- (3) Those who are under 15 years old must not use this medicine.

2. When taking this medicine, be sure not to take any of the following medicines:
Other cold medicines, fever reducers, sedatives, cough suppressants, or any oral medicines that contain an antihistamine, e.g. oral medicines for a runny nose, motion sickness pills, or allergy medications.
3. Please don't operate a vehicle or machinery after taking this medicine.
(This medicine may make you sleepy or affect your vision.)
4. Women who are breast-feeding should not take this medicine. If you take this medicine, please stop breast-feeding your child.
5. Please refrain from drinking alcoholic beverages when taking this medicine.
6. Please don't take this medicine for more than 5 days.

■ Be sure to:

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:
 - (1) You are currently under treatment by a physician or dentist
 - (2) You are or may be pregnant.
 - (3) You are an elderly person.
 - (4) Those who are prone to allergies or have a family history of allergies.
 - (5) You are someone who has had allergic reactions to medicines in the past.
 - (6) People with the following symptoms: high fever, or have difficulty urinating.
 - (7) Those who have been diagnosed with any of the following: hypertension, cardiac disease, diabetes, glaucoma, liver disease, kidney diseases, inflammation of the thyroid gland, lupus, or Sharp syndrome.
 - (8) Those who have had the following diseases:
A gastroduodenal ulcer, idiopathic ulcerative colitis, or Crohn's disease.
2. If you experience any of the following, stop using this medicine immediately and consult a physician or pharmacist with this insert:
 - (1) When the following symptoms appear after using this medicine, stop taking the medicine and consult a physician or pharmacist:

Area concerned	Symptoms
Skin	Rash, redness, or itching
Digestive system	Nausea, vomiting, poor appetite, stomachache, upset stomach, gas, heartburn, or abdominal pain
Nervous system	Dizziness, or numbness in your body
Others	Blurred vision, ringing in the ears, difficulty in urinating, edema

The following serious symptoms rarely may occur. If you have these symptoms, consult a physician immediately.

Symptom name	Symptom manifestation(s)
Shock (anaphylaxis)	Face becomes pale, hands and feet become cold, you break out in a cold sweat, you break out in a rash, experience edema, or breathing difficulty right after taking this medicine.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Intense manifestations include: rash, redness of the skin, the appearance of burn-like blisters on the skin, mouth, or around the eyes.
Liver disorder	Chronic tiredness or jaundice (yellowing of the skin or eyes).
Kidney dysfunction	A decrease in urinary volume, swelling of the body, general malaise, vomiting, blood in the urine, or albumin in the urine.
Aseptic meningitis	Include: an intense headache, fever, nausea / vomiting appear. (As for these symptoms, they have often been reported in patients treated for lupus or mixed connective tissue disease) .
Interstitial pneumonia	Include: loss of breath, breathing difficulty, or a dry cough. (If these symptoms, similar to those found in a cold, worsen please stop taking this medicine and consult your doctor as soon as possible.)
Asthma	

- (2) When your symptoms have not improved even if you have taken the medicine 5-6 times.
(In particular, if your fever continues for more than three days.)
3. The following symptoms may occasionally occur. If these symptoms continue or increase, discontinue this medicine and consult a physician or pharmacist:
Constipation, loose stool, or dry mouth.
4. When taking this medicine, your urine may turn yellowish in color.
This is due to the vitamin B2 content of this medicine.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight.
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (4) Don't use this product after the expiration date.


大正製薬株式会社
 出典
 発行 (社) 神奈川県薬剤師会

Product name: GASTER10<Powder> (ガスター10 <散>)

※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary

[Use]

Relief of symptoms such as stomachache, heartburn, and nausea.

<Cautions on Usage>

Don't use this medicine for symptoms other than those indicated above.

[Ingredient and Action]

The following ingredient is included in one package (0.5g.)

Ingredient	Amount	Action
Famotidine	10mg	This medicine helps control gastric acid.

[Dosage and Usage]

- Please take this medicine with cold or lukewarm water as follows:

Age	Dose	Number of doses in a day
Adults (15 years old or older and less than 80 years old)	1 package	A maximum of 2
Children (under 15 years old)	Please don't take this medicine.	
Elderly people (age 80 and over)		

This medicine should not be taken on a fixed schedule, but only when symptoms appear.

You can take this medicine regardless of meal time (i.e. both before and after or meals is OK).

When taking this medicine 2 times a day, you should wait 8 hours before taking the medicine a second time as its effect lasts 8 hours.

- Please follow exactly the defined dosage and usage.
- If your symptoms have not improved after 8 hours, take 1 more package.
- If your symptoms have improved, stop taking this medicine.
- If your symptoms have not improved after taking this medicine for 3 days, stop taking it and consult a physician or a pharmacist.
- Please avoid continuous use for over 2 weeks.

<Cautions on Dosage and Usage>

- (1) Please refrain from drinking alcohol when taking this medicine.
(In general, never take medicine with any alcoholic beverages).

Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions.)

1. The following persons should not use this medicine:

- (1) Those who have had an allergic reaction to this medicine (e.g. rash, redness, itching, swelling of the throat, eyelids, or lips) or medicines containing H2 blockers such as Famotidine in the past.
- (2) Those who received treatment for the following diseases:
 Blood disease, kidney or liver disease, heart disease, gastro-duodenal disease, and immunological diseases such as asthma, rheumatism, or have been prescribed steroids, antibiotics, anticancer agents, or azole-based antifungals. (Decreases in leukocytes, WBC, or blood platelets may occur).
 In those patients with kidney or liver disease, excretion of the medicine is late and they might have a strong reaction to it.
 In those patients with heart disease such as myocardial infarction, heart valve disease, or myocardial disease (cardiomyopathy), pulse disorder with ECG (electrocardiographic) abnormalities may occur.
 For those who are receiving treatment for gastro-duodenal disease, Famotidine, or similar medicines, may probably be prescribed. However, avoid concomitant use of similar medicines. The absorption of azole-based antifungals will decrease the effectiveness of this medicine.
- (3) Those who have been notified by a physician about having abnormal blood (dysemia); few red blood corpuscles (anemia), few platelets, or a low number of leukocytes. (This medicine may cause the recurrence of the blood abnormality) .
- (4) Children (under 15 years of age) and those who are elderly (80 years and over).
- (5) Those who are or may be pregnant and women who are breast-feeding.

2. Don't take the following medicines while taking this medicine: other gastrointestinal agents.

■ Be sure to:

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:

- (1) You are currently under treatment by a physician or dentist
- (2) Those who are prone to allergies or have a family history of allergies.
- (3) You are someone who has had allergic reactions to medicines in the past.
- (4) Those who are elderly (65 years and over).
 (Elderly persons often have reduced physiological functions).
- (5) Those who have the following symptoms: sore throat, coughing, or a high fever.
 (In those patients who have such disorders, a serious infection is possible and blood abnormality such as decreased hemocytes may be observed. If the person had the disorder before taking the medicine, it may worsen the disorder, leading to delayed detection of adverse reactions to the medication).
 Weight loss of unknown cause, persistent abdominal pain.
 (The symptoms may be caused by another disease).

2. When the following symptoms occur after using this medicine, stop taking the medicine and consult a physician or pharmacist with this insert:

- (1) When the following symptoms occur after using this medicine:

Area of the body	Symptom(s)
Skin	rash, redness, itching, or swelling
Circulatory system	pulse irregularity
Nervous system	loss of consciousness or convulsions
Other	you may feel bad, or a loss of energy, break out in a fever, or your body's condition may worsen in general.

The following serious symptoms rarely may occur. If you have these symptoms, consult a physician immediately.

Symptom name	Symptom manifestations
Shock (anaphylaxis)	Face becomes pale, hands and feet become cold, you break out in a cold sweat, you break out in a rash, experience edema, or breathing difficulty right after taking this medicine.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Intense manifestations include: rash, redness of the skin, the appearance of burn-like blisters on the skin, mouth, or around the eyes.
Rhabdomyolysis (A disease in which skeletal muscle melts.)	Constitutional skeletal muscle aches and become stiff. Urinary color becomes reddish brown.
Liver disorder	Chronic tiredness or jaundice (yellowing of the skin or eyes).
Kidney dysfunction	A decrease in urinary volume, swelling of the body, general malaise, vomiting, blood in the urine, or albumin in the urine.
Blood disorder	Manifestations such as sore throat, fever, general malaise, whitening of complexion and the backs of the eyelids bleeding tendency (bleeding from the gums, nose, etc.) or blue bruises appear.

- (2) When taking the medicine more than in the directed dosage.

3. The following symptoms may occasionally occur. Be sure to stop taking this medicine and consult a physician or pharmacist.

Constipation, loose stool, diarrhea, or oral dehydration.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight.
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (4) Don't use this product after the expiration date.

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Product name: GASTER10 <Tablet> (ガスター10 <錠 錠>)

※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary

[Use]

Relief of symptoms such as stomachache, heartburn, and nausea.

〈Cautions on Usage〉

Don't use this medicine for symptoms other than those indicated above.

[Ingredient and Action]

The following ingredient is included in one tablet.

Ingredient	Amount	Action
Famotidine	10mg	This medicine helps control gastric acid.

[Dosage and Usage]

- Please take this medicine with cold or lukewarm water as follows:

Age	Dose	Number of doses in a day
Adults (15 years old or older and less than 80 years old)	1 tablet	A maximum of 2
Children (under 15 years old)	Please don't take this medicine.	
Elderly people (age 80 and over)		

This medicine should not be taken on a fixed schedule, but only when symptoms appear.

You can take this medicine regardless of meal time (i.e. both before and after or meals is OK).

When taking this medicine 2 times a day, you should wait 8 hours before taking the medicine a second time as its effect lasts 8 hours.

- Please follow exactly the defined dosage and usage.
- If your symptoms have not improved after 8 hours, take 1 more tablet.
- If your symptoms have improved, stop taking this medicine.
- If your symptoms have not improved after taking this medicine for 3 days, stop taking it and consult a physician or a pharmacist.
- Please avoid continuous use for over 2 weeks.

〈Cautions on Dosage and Usage〉

- (1) Please refrain from drinking alcohol when taking this medicine.

(In general, never take medicine with any alcoholic beverages).

- (2) How to remove the tablets from the packaging

To remove a tablet from the PTP sheet, push the tablet gently through the aluminum foil. (Be careful not to ingest any part of the PTP sheet, as doing so could lead to unexpected accidents, such as a piece of aluminum getting stuck in your throat.)

Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions.)

1. The following persons should not use this medicine:

- (1) Those who have had an allergic reaction to this medicine (e.g. rash, redness, itching, swelling of the throat, eyelids, or lips) or medicines containing H2 blockers such as Famotidine in the past.
- (2) Those who received treatment for the following diseases:
Blood disease, kidney or liver disease, heart disease, gastro-duodenal disease, and immunological diseases such as asthma, rheumatism, or have been prescribed steroids, antibiotics, anticancer agents, or azole-based antifungals. (Decreases in leukocytes, WBC, or blood platelets may occur).
In those patients with kidney or liver disease, excretion of the medicine is late and they might have a strong reaction to it.
In those patients with heart disease such as myocardial infarction, heart valve disease, or myocardial disease (cardiomyopathy), pulse disorder with ECG (electrocardiographic) abnormalities may occur.
For those who are receiving treatment for gastro-duodenal disease, Famotidine, or similar medicines, may probably be prescribed. However, avoid concomitant use of similar medicines. The absorption of azole-based antifungals will decrease the effectiveness of this medicine.
- (3) Those who have been notified by a physician about having abnormal blood (dysemia); few red blood corpuscles (anemia), few platelets, or a low number of leukocytes. (This medicine may cause the recurrence of the blood abnormality) .
- (4) Children (under 15 years of age) and those who are elderly (80 years and over).
- (5) Those who are or may be pregnant and women who are breast-feeding.

2. Don't take the following medicines while taking this medicine:

Other gastrointestinal agents.

■ Be sure to:

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:

- (1) You are currently under treatment by a physician or dentist
- (2) Those who are prone to allergies or have a family history of allergies.
- (3) You are someone who has had allergic reactions to medicines in the past.
- (4) Those who are elderly (65 years and over).
(Elderly persons often have reduced physiological functions).
- (5) Those who have the following symptoms: sore throat, coughing, or a high fever.
(In those patients who have such disorders, a serious infection is possible and blood abnormality such as decreased hemocytes may be observed. If the person had the disorder before taking the medicine, it may worsen the disorder, leading to delayed detection of adverse reactions to the medication).
Weight loss of unknown cause, persistent abdominal pain.
(The symptoms may be caused by another disease).

2. When the following symptoms occur after using this medicine, stop taking the medicine and consult a physician or pharmacist with this insert:

- (1) When the following symptoms occur after using this medicine:

Area of the body	Symptom(s)
Skin	rash, redness, itching, or swelling
Circulatory system	pulse irregularity
Nervous system	loss of consciousness or convulsions
Other	you may feel bad, or a loss of energy, break out in a fever, or your body's condition may worsen in general.

The following serious symptoms rarely may occur. If you have these symptoms, consult a physician immediately.

Symptom name	Symptom manifestations
Shock (anaphylaxis)	Face becomes pale, hands and feet become cold, you break out in a cold sweat, you break out in a rash, experience edema, or breathing difficulty right after taking this medicine.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Intense manifestations include: rash, redness of the skin, the appearance of burn-like blisters on the skin, mouth, or around the eyes.
Rhabdomyolysis (A disease in which skeletal muscle melts.)	Constitutional skeletal muscle aches and become stiff. Urinary color becomes reddish brown.
Liver disorder	Chronic tiredness or jaundice (yellowing of the skin or eyes).
Kidney dysfunction	A decrease in urinary volume, swelling of the body, general malaise, vomiting, blood in the urine, or albumin in the urine.
Blood disorder	Manifestations such as sore throat, fever, general malaise, whitening of complexion and the backs of the eyelids bleeding tendency (bleeding from the gums, nose, etc.) or blue bruises appear.

- (2) When taking the medicine more than in the directed dosage.

3. The following symptoms may occasionally occur. Be sure to stop taking this medicine and consult a physician or pharmacist.

Constipation, loose stool, diarrhea, or oral dehydration.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight.
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (4) Don't use this product after the expiration date.

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Product name: GASTER10 S Tablet (ガスター10S錠)

※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary
[Use]

Relief of symptoms such as stomachache, heartburn, and nausea.

〈Cautions on Usage〉

- Don't use this medicine for symptoms other than those indicated above.

[Ingredient and Action]

The following ingredient is included in one tablet.

Ingredient	Amount	Action
Famotidine	10mg	This medicine helps control gastric acid.

[Dosage and Usage]

Please take this medicine with cold or lukewarm water as follows:

Age	Dose	Number of doses in a day
Adults (15 years old or older and less than 80 years old)	1 tablet	A maximum of 2
Children (under 15 years old)	Please don't take this medicine.	
Elderly people (age 80 and over)		

This medicine should not be taken on a fixed schedule, but only when symptoms appear.

You can take this medicine regardless of meal time (i.e. both before and after or meals is OK).

When taking this medicine 2 times a day, you should wait 8 hours before taking the medicine a second time as its effect lasts 8 hours.

- Please follow exactly the defined dosage and usage.
- If your symptoms have not improved after 8 hours, take 1 more tablet.
- If your symptoms have improved, stop taking this medicine.
- If your symptoms have not improved after taking this medicine for 3 days, stop taking it and consult a physician or a pharmacist.
- Please avoid continuous use for over 2 weeks.

〈Cautions on Dosage and Usage〉

(1) As this medicine easily melts in the mouth, but is not absorbed by the mucosa of the stomach, please take it with water. As it is a normal tablet, you can take it with either hot or cold water. The effect will not change.

(2) Please refrain from drinking alcohol when taking this medicine.
(In general, never take medicine with any alcoholic beverages).

(3) How to remove the tablets from the packaging

As shown, to remove a tablet from the PTP sheet, push the tablet gently through the aluminum foil. (Be careful not to ingest any part of the PTP sheet, as doing so could lead to unexpected accidents, such as a piece of aluminum getting stuck in your throat.)

Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions.)

1. The following persons should not use this medicine:

- (1) Those who have had an allergic reaction to this medicine (e.g. rash, redness, itching, swelling of the throat, eyelids, or lips) or medicines containing H₂ blockers such as Famotidine in the past.
- (2) Those who received treatment for the following diseases:
 Blood disease, kidney or liver disease, heart disease, gastro-duodenal disease, and immunological diseases such as asthma, rheumatism, or have been prescribed steroids, antibiotics, anticancer agents, or azole-based antifungals. (Decreases in leukocytes, WBC, or blood platelets may occur).
 In those patients with kidney or liver disease, excretion of the medicine is late and they might have a strong reaction to it.
 In those patients with heart disease such as myocardial infarction, heart valve disease, or myocardial disease (cardiomyopathy), pulse disorder with ECG (electrocardiographic) abnormalities may occur.
 For those who are receiving treatment for gastro-duodenal disease, Famotidine, or similar medicines, may probably be prescribed. However, avoid concomitant use of similar medicines. The absorption of azole-based antifungals will decrease the effectiveness of this medicine.
- (3) Those who have been notified by a physician about having abnormal blood (dysemia); few red blood corpuscles (anemia), few platelets, or a low number of leukocytes. (This medicine may cause the recurrence of the blood abnormality) .
- (4) Those who have phenylketonuria. (This medicine includes Aspartame (an L-phenylalanine compound)).
- (5) Children (under 15 years of age) and those who are elderly (80 years and over).
- (6) Those who are or may be pregnant and women who are breast-feeding.

2. Don't take the following medicines while taking this medicine:

Other gastrointestinal agents.

■ Be sure to:

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:

- (1) You are currently under treatment by a physician or dentist
- (2) Those who are prone to allergies or have a family history of allergies.
- (3) You are someone who has had allergic reactions to medicines in the past.
- (4) Those who are elderly (65 years and over).
 (Elderly persons often have reduced physiological functions).
- (5) Those who have the following symptoms: sore throat, coughing, or a high fever.
 (In those patients who have such disorders, a serious infection is possible and blood abnormality such as decreased hemocytes may be observed. If the person had the disorder before taking the medicine, it may worsen the disorder, leading to delayed detection of adverse reactions to the medication).
 Weight loss of unknown cause, persistent abdominal pain.
 (The symptoms may be caused by another disease).

2. When the following symptoms occur after using this medicine, stop taking the medicine and consult a physician or pharmacist:

- (1) When the following symptoms occur after using this medicine.

Area of the body	Symptom(s)
Skin	Rash, redness, itching, or swelling
Circulatory system	Pulse irregularity
Nervous system	Loss of consciousness or convulsions
Other	You may feel bad, or a loss of energy, break out in a fever, or your body's condition may worsen in general.

The following serious symptoms rarely may occur. If you have these symptoms, consult a physician immediately.

Symptom name	Symptom manifestations
Shock (anaphylaxis)	Face becomes pale, hands and feet become cold, you break out in a cold sweat, you break out in a rash, experience edema, or breathing difficulty right after taking this medicine.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Intense manifestations include: rash, redness of the skin, the appearance of burn-like blisters on the skin, mouth, or around the eyes.
Rhabdomyolysis (A disease in which skeletal muscle melts.)	Constitutional skeletal muscle aches and become stiff. Urinary color becomes reddish brown.
Liver disorder	Chronic tiredness or jaundice (yellowing of the skin or eyes).
Kidney dysfunction	A decrease in urinary volume, swelling of the body, general malaise, vomiting, blood in the urine, or albumin in the urine.
Blood disorder	Manifestations such as sore throat, fever, general malaise, whitening of complexion and the backs of the eyelids bleeding tendency (bleeding from the gums, nose, etc.) or blue bruises appear.

- (2) When taking the medicine more than in the directed dosage.

3. The following symptoms may occasionally occur. Be sure to stop taking this medicine and consult a physician or pharmacist.

Constipation, loose stool, diarrhea, or oral dehydration.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight.
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (4) Don't use this product after the expiration date.

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Product name: ZADITEN AL Rhinitis Capsule (ザジテン AL 鼻炎カプセル)
びえん

※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary

[Use]

For the relief of allergic symptoms from pollen or house dust (indoor dust): sneezing, runny nose (excessive nasal drip), or nasal congestion.

[Ingredient and Action]

The following ingredient is included in one capsule.

Active Ingredient	Content
Ketotifen fumarate (as ketotifen)	1.38mg (1.0mg)

[Dosage and Usage]

Please take a single dose once after breakfast and again before bed.

Age	A single dose
Adults (15 years old or older)	1 capsule
Children (under 15 years old)	Do not take this medicine.

〈Cautions on Dosage and Usage〉

- Please follow exactly the defined dosage and usage directions.
- If the symptoms are still not relieved after taking the medicine for about one week, please consult a doctor or a pharmacist. (The medicinal effect varies from person to person. Depending on the person, it may take two weeks for effects to show.)
- How to remove the capsules from the packaging
 To remove a capsule from the PTP sheet, push the capsule gently through the aluminum foil. (Be careful not to ingest any part of the PTP sheet, as doing so could lead to unexpected accidents, such as a piece of aluminum getting stuck in your throat.)

Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions.)

1. The following persons should not use this medicine:

- (1) Those who have had an allergic reaction to this medicine in the past.
- (2) Children under the age of 15.

2. Don't take the following medicines while taking this medicine:

Medicine for other allergies (including medicines for skin disorders or oral medicines for rhinitis), including antihistamines (cold remedies, antitussives, motion sickness pills, or sedatives).

3. Please don't operate a vehicle or machinery after taking this medicine. (This medicine may make you sleepy or affect your vision.)
4. A person who is breast-feeding. (Studies have shown that mothers who have taken this medicine have it transfer to their breast milk.)
5. Please refrain from drinking alcoholic beverages when taking this medicine.

■ Be sure to:

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:
 - (1) You are currently under treatment by a physician or dentist.
 - (2) You are currently receiving treatment for allergies such as reductive sensitizing therapy.
 - (3) You are or may be pregnant.
 - (4) You are an elderly person.
 - (5) You are prone to allergies or have a family history of allergies.
 - (6) You don't not know clearly whether your symptoms are a manifestation due to an allergy or due to some other cause.
 - (7) You have been diagnosed with any of the following: bronchitic asthma, atopic dermatitis, or epilepsy.
 - (8) You have had the following symptom:
Difficulty in urinating (dysuria).

2. When the following symptoms occur after using this medicine, stop taking the medicine and consult a physician or pharmacist with this insert:

- (1) When the following symptoms appear after using this medicine.

Area concerned	Symptoms
Skin	rash/ redness, itching, edema
Nose	nosebleed
Nervous system	dizziness, malaise, a headache, distortion in your sense of taste (dysgeusia) , or numbness.
Digestive system	nausea, vomiting, poor appetite, stomachache, gastric region unpleasantness, abdominal pain, or stomatitis.
Others	palpitations, hot flashes, frequent urination, pain when urinating, bloody urine (hematuria) , a feeling of residual urine, abnormalities in menses (emmeniopathy) , or an increase in weight.

- (2) If the symptoms have not improved after using this medicine for about one week, consult a doctor or a pharmacist.

3. The following serious symptoms rarely may occur. If you have these symptoms, consult a physician immediately.

Symptom name	Symptom manifestation(s)
Central-nervous symptoms	transient unconsciousness, convulsions, or excitement appear.
Impaired liver function	fever, rash, general malaise, jaundice (yellowing of the skin and the whites of your eyes), or high fever appear.

4. The following symptoms may occasionally occur. If these symptoms continue or increase, discontinue this medicine and consult a physician or pharmacist.

Constipation, loose stool, diarrhea, oral dehydration, or drowsiness

5. In the case of the following, please consult a physician or a pharmacist.

If the symptoms persist after taking the medicine for more than 2 weeks.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight.
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (4) Don't use this product after the expiration date.

	製造販売元
出典	ノバルティス ファーマ株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Product name: PABRON Rhinitis Capsule Z (パブロン^{びえん}鼻炎カプセル Z)

※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary
[Use]

For the relief of allergic symptoms from pollen or house dust (indoor dust): sneezing, runny nose (excessive nasal drip), or nasal congestion.

[Ingredients and Actions]

The following ingredient is included in one capsule.

Ingredient	Content
Ketotifen Fumarate (as ketotifen)	1.38mg (1.0mg)

[Dosage and Usage]

Please take a single dose after breakfast and again before going to bed.

Age	A single dose
Adults (15 years old or older)	1 capsule
Under 15 years old	Don't take this medicine.

〈Cautions on Dosage and Usage〉

- Please follow exactly the defined dosage and usage directions.
- If the symptoms are still not relieved after taking the medicine for about one week, please consult a doctor or a pharmacist. (The medicinal effect varies from person to person. Depending on the person, it may take two weeks for effects to show.)
- How to remove the capsules from the packaging
To remove a capsule from the PTP sheet, push the capsule gently through the aluminum foil. (Be careful not to ingest any part of the PTP sheet, as doing so could lead to unexpected accidents, such as a piece of aluminum getting stuck in your throat.)

Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions.)

1. The following persons should not take this medicine:

- (1) Those who have had an allergic reaction to this medicine.
- (2) Those who are under 15 years old must not use this medicine.

2. Don't take the following medicines while taking this medicine:

Medicine for other allergies (including medicines for skin disorders or oral medicines for rhinitis), including antihistamines (cold remedies, antitussives, motion sickness pills, or sedatives).

3. Please don't operate a vehicle or machinery after taking this medicine.

(This medicine may make you sleepy or affect your vision.)

4. Women who are breast-feeding should not take this medicine. If you take this medicine, please avoid breast-feeding.

(Studies have shown that mothers who have taken this medicine have it transfer to their breast milk.)

5. Please refrain from drinking alcoholic beverages when taking this medicine.

■ Be sure to:

- Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:
 - You are currently under treatment by a physician or dentist.
 - Those who receive treatment for allergies such as reductive sensitizing therapy.
 - You are or may be pregnant.
 - You are an elderly person.
 - Those who are prone to allergies or have a family history of allergies. (Patients susceptible to allergies may develop allergic symptoms by using this product).
 - You don't not know clearly whether your symptoms are a manifestation due to an allergy or due to some other cause.
 - Those who have been diagnosed with any of the following: asthma, atopic dermatitis, or epilepsy.
 - Those who have had the following symptoms: difficulty urinating (dysuria).
- If you experience any of the following, stop using this medicine immediately and consult a physician or pharmacist with this insert:
 - When the following symptoms appear after using this medicine.

Area concerned	Symptoms
Skin	rash/ redness, itching, or edema
Nose	nosebleed
Nervous system	dizziness, malaise, a headache, distortion in your sense of taste (dysgeusia) , or numbness.
Digestive system	nausea, vomiting, poor appetite, stomachache, gastric region unpleasantness, abdominal pain, or stomatitis.
Others	palpitations, hot flashes, frequent urination, pain when urinating, bloody urine (hematuria) , a feeling of residual urine, abnormalities in menses (emmeniopathy) , or an increase in weight.

- If the symptoms have not improved after using this medicine for about one week, consult a doctor or a pharmacist.
- The following serious symptoms rarely may occur. If you have these symptoms, consult a physician immediately.

Symptom name	Symptom manifestation(s)
Central-nervous symptoms	transient unconsciousness, convulsions, or excitement appear.
Impaired liver function	fever, rash, general malaise, jaundice (yellowing of the skin and the whites of your eyes), or high fever appear.

- The following symptoms may occasionally occur. Discontinue this medicine and consult a physician or pharmacist.
Oral dehydration, constipation, diarrhea, sleepiness.
- In the case of the following, please consult a physician or a pharmacist.
If the symptoms persist after taking the medicine for more than 2 weeks.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (4) Don't use this product after the expiration date.

発売元
出典 大正製薬株式会社
発行 (社) 神奈川県薬剤師会

Product name: ZADITEN AL Rhinitis Spray (ザジテン AL 鼻炎スプレー)
 ※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary

[Use]

For the relief of allergic symptoms from pollen or house dust (indoor dust): sneezing, runny nose (excessive nasal drip), or nasal congestion.

[Ingredient and Action]

The following ingredient is included in 100 ml of this medicine (Include : 8 ml per bottle) .

Active Ingredient	Content
Ketotifen fumarate (as ketotifen)	75.6 mg

[Dosage and Usage]

Spray the following medicine inside the nasal cavities 4 times a day at morning, noon, evening, and before bedtime. (Ketotifen 0.05 mg is included in 1 spray).

Age	A single dose
Adults (15 years old or older) and children (ages 7 or older)	Spray once in both nostrils
Less than 7 years old	Do not take this medicine.

〈Cautions on Dosage and Usage〉

- Please follow exactly the defined dosage and usage directions.
- Apply this medicine to a child only under parental guidance and supervision.
- Please use for treating runny noses only.
- Avoid contact with the eyes. (If this medicine gets into your eyes, please rinse them immediately with cold or lukewarm water and seek treatment from an eye doctor.)

How to use

When using this for the first time, please push the nozzle about five times so the spray comes out in the form of a mist. Until the fifth time, the spray won't come out in a fine mist.

1. Before use, blow your nose.
2. Take off the cap of the container.
3. Straighten the container upward, and put the nozzle into a nasal cavity gently.
4. Strongly and quickly push the lever with a finger. (Otherwise a fine mist will not be produced.)
5. After spraying, keep your head tilted back in order to spread the medicine widely to the back of the nose and breathe it in gently through the nose for several seconds.
6. After use, wipe around the nozzle with clean tissues and close it.

*Don't poke the tip of the nozzle with a needle because it is very dangerous if it breaks.



Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions.)

1. The following persons should not use this medicine: Children under the age of 7.
2. Please don't operate a vehicle or machinery after taking this medicine. (This medicine may make you sleepy or affect your vision.)
3. Women who are breast-feeding should not take this medicine. If you take this medicine, please avoid breast-feeding. (Studies have shown that mothers who have taken this medicine have it transfer to their breast milk.)

■ Be sure to:

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:
 - (1) You are currently under treatment by a physician or dentist.
 - (2) You are currently receiving treatment for allergies such as reductive sensitizing therapy. (If you have allergic tendencies, this product may produce an allergic reaction.)
 - (3) You are or may be pregnant.
 - (4) You are someone who has had allergic reactions to medicines in the past.
 - (5) You don't know clearly whether your symptoms are a manifestation due to an allergy or due to some other cause.

2. When the following symptoms occur after using this medicine, stop taking the medicine and consult a physician or pharmacist this insert

- (1) When the following symptoms appear after using this medicine.

Area concerned	Symptoms
Nose	a dry or painful feeling
Nervous system	fatigue or headache

- (2) If the symptoms have not improved after using this medicine for about one week, consult a doctor or a pharmacist.

3. The following symptoms may occasionally occur. If these symptoms continue or increase, discontinue this medicine and consult a physician or pharmacist: Drowsiness.
4. In the case of the following, please consult a physician or a pharmacist: If the symptoms persist after taking the medicine for more than 2 weeks.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight.
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (4) Don't share this product with other people.
- (5) Don't use this product after the expiration date. After opening please use as soon as possible, even if it is before the expiration date.

	製造販売元
出典	ノバルティス ファーマ株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Product name: PABRON Nasal Spray Z < Rhinitis Spray > (パブロン点鼻Z<鼻炎スプレー>)
※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary

[Use]

For the relief of allergic symptoms from pollen or house dust (indoor dust): sneezing, runny nose (excessive nasal drip), or nasal congestion.

[Ingredient and Action]

The following ingredient is included in 100 ml of this medicine (Include : 8 ml per bottle) .

Active Ingredient	Content
Ketotifen fumarate (as ketotifen)	75.6 mg

[Dosage and Usage]

Spray the following medicine inside the nasal cavities 4 times a day at morning, noon, evening, and before bedtime. (Ketotifen 0.05 mg is included in 1 spray).

Age	A single dose
Adults (15 years old or older) and children (ages 7 or older)	Spray once in both nostrils.
Less than 7 years old	Do not take this medicine.

<Cautions on Dosage and Usage>

- Please follow exactly the defined dosage and usage directions.
- Apply this medicine to a child only under parental guidance and supervision.
- Please use for treating runny noses only.
- Avoid contact with the eyes. (If this medicine gets into your eyes, please rinse them immediately with cold or lukewarm water and seek treatment from an eye doctor.)

How to use

When using this for the first time, please push the nozzle about five times so the spray comes out in the form of a mist. Until the fifth time, the spray won't come out in a fine mist.

1. Before use, blow your nose.
2. Take off the cap of the container.
3. Straighten the container upward, and put the nozzle into a nasal cavity gently.
4. Strongly and quickly push the lever with a finger. (Otherwise a fine mist will not be produced.)
5. After spraying, keep your head tilted back in order to spread the medicine widely to the back of the nose and breathe it in gently through the nose for several seconds.
6. After use, wipe around the nozzle with clean tissues and close it.

*Don't poke the tip of the nozzle with a needle because it is very dangerous if it breaks.

【使い方】

★初めてご使用の際は、容器の構造上薬液が霧状になりにくいので、ノズル（容器の先端部分）を上に向け、薬液が霧状になるまで5回程度押してください。



①使用前に鼻をかむか、鼻を洗浄してください。



④レバーを指で下まで、強くすばやく押してください。（弱くゆっくり押すと、薬液が霧状にならず、液だれの原因となります）



②キャップをはずしてください。



⑤噴霧後は薬剤を鼻の奥まで広く行きわたらせるために、頭を後ろに傾けた状態で、数秒間、鼻で静かに吸引してください。



③まっすぐ上向きに持って、ノズルを軽く鼻腔内に入れてください。



⑥使用後は、ノズル付近を清潔なティッシュペーパー等でふき、キャップをしてください。

ノズルの先端を針等で突くのは折れた時大変危険ですのでおやめください。

Precautions for Use

Please read the following precautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions.)

1. The following persons should not use this medicine: Children under the age of 7.
2. Please don't operate a vehicle or machinery after taking this medicine. (This medicine may make you sleepy or affect your vision.)
3. Women who are breast-feeding should not take this medicine. If you take this medicine, please avoid breast-feeding. (Studies have shown that mothers who have taken this medicine have it transfer to their breast milk.)

■ Be sure to:

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:
 - (1) You are currently under treatment by a physician or dentist.
 - (2) You are currently receiving treatment for allergies such as reductive sensitizing therapy.
 - (3) You are or may be pregnant.
 - (4) You are someone who has had allergic reactions to medicines in the past.
 - (5) You don't know clearly whether your symptoms are a manifestation due to an allergy or due to some other cause.

2. When the following symptoms occur after using this medicine, stop taking the medicine and consult a physician or pharmacist:

- (1) When the following symptoms appear after using this medicine.

Area concerned	Symptoms
Nose	a dry or painful feeling
Nervous system	fatigue or headache

- (2) If the symptoms have not improved after using this medicine for about one week, consult a doctor or a pharmacist.

3. The following symptoms may occasionally occur. If these symptoms continue or increase, discontinue this medicine and consult a physician or pharmacist: Drowsiness.

4. In the case of the following, please consult a physician or a pharmacist: If the symptoms persist after taking the medicine for more than 2 weeks.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight.
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (4) Don't share this product with other people.
- (5) Don't use this product after the expiration date. After opening please use as soon as possible, even if it is before the expiration date (to ensure product quality).

	発 売 元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Product name: ZADITEN AL Eye Drop(ザジテン^{てんがんやく} AL点眼薬<点眼液>^{てんがんえき})**※Please read the following directions carefully before using this product.****Product summary****[Use]**

For the relief of the following allergies caused by pollen or house dust (indoor dust): red eyes, itchiness of the eyes, watery eyes, or the feeling of a foreign substance (feeling that a foreign substance rolls in the eyes.)

[Ingredient and Action]

The following ingredient is included in 100 ml of this medicine:

Ingredient	Content
Ketotifen fumarate (as ketotifen)	69mg (50mg)

[Dosage and Usage]

Put the following medicine inside the effected eye(s) 4 times a day in the morning, noon, evening, and before going to bed.

Age	A single dose
Adults (15 years old or older) and children (1 year old or older).	1-2 drops
Less than 1 year old	Don't use.

〈Cautions on Dosage and Usage〉

- Please follow exactly the defined dosage and usage.
- Apply this medicine to a child only under parental guidance and supervision.
- Be sure to wipe away any excess fluid after applying it to the eye.
- If the tip of the applicator touches the eyelid or eyelashes, the fluid may become infected with germs, turning the eyes muddy with mucus.
- Don't use the eyewash as a solution for contact lens.
Refrain from using these drops when wearing contact lenses.
- Use only as an eyewash.

Usage

1. Wash your hands thoroughly before use.
2. Pull down your lower eyelid lightly and apply 1-2 drops from directly above.
Be sure to handle the bottle carefully so that the point of the container does not directly touch the eyelids or eyelashes. In addition, clean the tip of the cap after each use.
3. After the fluid enters the eye, please close the eye. Be sure to tighten the cap after use.
4. Be sure to wipe away any excess fluid after applying it to the eye.



Precautions

Please read the following cautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions) .

1. The following persons should not use this medicine:

- Those who have had an allergic reaction to this medicine in the past.
- Children under 1 year old.

2. If used in combination with a nasal spray, be sure not to operate a vehicle or machinery.

(This medicine may make you sleepy or affect your vision.)

■ Be sure to:

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:

- (1) You are currently under treatment by a physician or dentist.
- (2) You are currently receiving treatment for allergies such as reductive sensitizing therapy.
- (3) You are or may be pregnant.
- (4) You are someone who has had allergic reactions to medicines in the past.
- (5) The person with the following symptoms: intense pain in the eye.
- (6) You don't not know clearly whether your symptoms are a manifestation due to an allergy or due to some other cause.

If any of the following correspond to you, consult a physician or pharmacist before use:

- When the symptoms are only in one eye.
- When the symptoms are found only in the eyes, and not in the nose.
- When eyesight is influenced.
- When there is discharge from the eyes.

2. If any of the following apply to you, stop using these drops immediately and consult a physician or pharmacist with this insert:

(1) When the following symptoms occur after using this medicine.

Area concerned	Symptom
Skin * *	itchiness
Eye * *	bloodshot eyes, feeling of sharp pain *, pain * swelling *, itchiness * *, or the surrounding area of the eyes is also affected.
Other	drowsiness

* * For some persons, symptoms such as: severe itchiness, swollen eyes, and pain around the eyelids and eyes and cheeks, appear in the early stages when first starting use of the drops (one or two days).

(2) When the haze of eyes is not improved.

(3) If the symptoms have not improve after using this medicine about one week.

3. In the following case, consult a physician or a pharmacist.

If the symptoms are gone after taking the medicine for more than 2 weeks.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight.
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (4) Don't share this product with other people.
- (5) Don't use this product after the expiration date. After opening please use as soon as possible, even if it is before the expiration date (to ensure product quality).

	製造販売元
出典	ノバルティス ファーマ株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Product name: IRIS ARREST<Eye Drops> (アイリスアレスト<点眼液>)

※Please read the following directions carefully before using this product.

Product summary
[Use]

For the relief of the following allergies caused by pollen or house dust (indoor dust): red eyes, itchiness of the eyes, watery eyes, or the feeling of a foreign substance (feeling that a foreign substance rolls in the eyes.)

[Ingredient and Action]

The following ingredient is included in 100 ml of this medicine:

(Includes : 10 ml per bottle)

Ingredient	Content
Ketotifen fumarate (as ketotifen)	69mg (50mg)

[Dosage and Usage]

Put the following medicine inside effected eye(s) 4 times a day in the morning, noon, evening, and before going to bed.

Age	A single dose
Adults (15 years old or older) and children (1 year old or older).	1-2 drops
Less than 1 year old	Don't use.

<Cautions on Dosage and Usage>

- Please follow exactly the defined dosage and usage.
- Apply this medicine to a child only under parental guidance and supervision.
- Be sure to wipe away any excess fluid after applying it to the eye.
- If the tip of the applicator touches the eyelid or eyelashes, the fluid may become infected with germs, turning the eyes muddy with mucus.
- Don't use the eyewash as a solution for contact lens.
Refrain from using these drops when wearing contact lenses.
- Use only as an eyewash.

Usage

1. Wash your hands thoroughly before use.
2. Pull down your lower eyelid lightly and apply 1-2 drops from directly above.
Be sure to handle the bottle carefully so that the point of the container does not directly touch the eyelids or eyelashes. In addition, clean the tip of the cap after each use.
3. After the fluid enters the eye, please close the eye. Be sure to tighten the cap after use.
4. Be sure to wipe away any excess fluid after applying it to the eye.

Precautions

Please read the following cautions carefully before using this product.

■ What not to do

(Failure to observe these warnings may lead to aggravation of the symptoms and increase the risk of adverse reactions) .

1. The following persons should not use this medicine:

- Those who have had an allergic reaction to this medicine in the past. (This medicine may cause an allergic reaction again).
- Children under 1 year old.

2. If used in combination with a nasal spray, be sure not to operate a vehicle or machinery.

(This medicine may make you sleepy or affect your vision.)

■ Be sure to:

1. Consult a physician or pharmacist before using this medicine if any of the following apply to you:

- (1) You are currently under treatment by a physician or dentist.
- (2) You are currently receiving treatment for allergies such as reductive sensitizing therapy.
- (3) You are or may be pregnant.
- (4) You are someone who has had allergic reactions to medicines in the past.
- (5) The person with the following symptoms: intense pain in the eye.
- (6) You don't not know clearly whether your symptoms are a manifestation due to an allergy or due to some other cause.

If any of the following correspond to you, consult a physician or pharmacist before use:

- When the symptoms are only in one eye.
 - When the symptoms are found only in the eyes, and not in the nose.
 - When eyesight is influenced.
 - When there is discharge from the eyes.
- #### 2. If any of the following apply to you, stop using these drops immediately and consult a physician or pharmacist with this insert:

(1) When the following symptoms occur after using this medicine:

Area concerned	Symptom
Skin * *	itchiness
Eye * *	bloodshot eyes, feeling of sharp pain * , pain * swelling * , itchiness * * , or the surrounding area of the eyes is also affected.
Other	drowsiness

* * For some persons, symptoms such as: severe itchiness, swollen eyes, and pain around the eyelids and eyes and cheeks, appear in the early stages when first starting use of the drops (one or two days).

- (2) When the haze of eyes is not improved.
 - (3) If the symptoms have not improved after using this medicine about one week.
- #### 3. In the following case, consult a physician or a pharmacist.
- If the symptoms are gone after taking the medicine for more than 2 weeks.

Storage and Pharmaceutical Precautions:

- (1) Make sure the cap is always on tight and store the medicine in a dry and cool place away from direct sunlight.
- (2) Keep out of the reach of children.
- (3) Don't put this product into another container. (It can become ineffective or change in its quality.)
- (4) Don't share this product with other people.
- (5) Avoid extended exposure to high temperatures, such as leaving it under the dashboard of a car. (Modification of the container and the quality of the fluid may deteriorate)
- (6) Don't use this product after the expiration date. After opening please use as soon as possible, even if it is before the expiration date (to ensure product quality).

	発 売 元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 아크치비아 연고

(アクチビア軟膏)^{なんこう}

※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]

입 헤르페스 (과거에 의사 의 진단·치료를 받은 사람에게 한정한다)

[성분과 작용]

아크치비아...1 g 중에 다음의 성분을 포함하고 있습니다.

성분	함량	작용
Acyclovir	50mg	포진 바이러스의 증식을 억제합니다

[용법·용량]

1 일 3~5 회, 적당량을 질환부에 도포한다. (입술과 그 주위가 따끔거리거나 위화감을 느낄때는 즉시 발라주세요)

해설

- 따끔거리는 감각은 입술 포진의 재발의 징조입니다.이러한 재발 초기에 사용해 주세요
- 사용시기는 식후, 취침전등이 사용 기준입니다
- 가족중에서 처음으로 발병했다고 생각되는 사람이 잘못해 사용하지 않도록 충분히 주의해 주세요

<용법·용량에 관한 주의>

- 정해진 용법·용량을 엄수해 주세요
- 소아에게 사용시킬 경우에는 보호자의 지도·감독하에 사용시켜 주세요.
- 눈에 들어가지 않게 주의해 주세요.만일, 눈에 들어갔을 경우에는 곧바로 물 또는 미온수로 씻어 주세요.또한 증상이 무거운 경우에는 안과의의 진료를 받아 주세요.
- 외용에만 사용해 주세요.
- 입에 들어가도 해롭지는 않지만 가능한 입에 넣지도 말도록하세요

사용상 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

1. 다음과 같은 사람에게는 사용하지 말아 주세요

- (1) 처음으로 발병했다고 생각되는 사람, 환부가 광범위인 사람 (처음 발병한 경우에는 증상이 심해지는 경우도 있고、환부가 광범위로 번졌을 경우 중증이므로 의사치료를 받아주세요)
- (2) 본약 또는 염산 바라시크로빌 약품에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람 (본약의 사용에 의해 다시 알레르기 증상을 일으킬 가능성이 있습니다)
- (3) 6 세 미만의 유아(유아의 경우, 처음으로 감염됐을 가능성이 높다고 생각할 수 있습니다)

2. 다음 부위에는 사용하지 말아 주세요

- (1) 눈과 눈주위 (눈에 들어가면 자극을 일으킬 가능성이 있습니다)
- (2) 입술과 그 주위 이외의 부위(입술 포진은 입술 및 그 주위에 생기는 것입니다)

■ 상담해야 할 사항

1. 다음과 같은 사람은 사용전에 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요

- (1) 의사의 치료를 받고 있는 사람(의사로부터 처방받고 있는 약에 영향을 주거나 본약과 같은 약을 사용할 가능성도 있습니다)
- (2) 임신부 또는 임신했을 가능성이 있다고 생각되는 사람(약의 사용은 신중히 하고, 전문의와 상담하고 지시를 받을 필요가 있습니다)
- (3) 수유중인 사람(같은 성분의 의료용의 내복약으로, 모유로 이행된 전례가 있습니다)
- (4) 본인 또는 가족이 알레르기 체질인 사람(알레르기 체질인 사람은 본약의 사용에 의해 알레르기 증상을 일으킬 가능성이 있습니다)
- (5) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람(어떤 약으로 인해 알레르기를 일으킨 사람은 본약에서도 일어날 가능성이 있습니다)
- (6) 번지거나 짓무름이 심한 사람 (증상이 심한 경우는 전문의와 상담하고 지시를 받을 필요가 있습니다)
- (7) 아토피성 피부염의 사람(증상이 심해질 가능성이 있기 때문에 전문의와 상담하고 지시를 받을 필요가 있습니다)

2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명서를 가져가 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요

(1) 사용후, 다음과 같은 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
피부	발진, 부종, 가려움, 피부병 자극감, 동통, 건조, 작열감, 낙설(비듬·때 처럼 피부가 벗겨짐), 두드러기

(본약에 의한 알레르기 증상 때문이거나 본약의 약리 작용이 강하게 나타난 증상으로 생각할 수 있으니 이러한 경우에는 같은 약을 계속해서 사용하면 증상이 한층 더 악화될 우려가 있습니다)

- (2) 7 일정도 사용해도 증상이 변화가 없을 경우(7 일정도 사용해도 증상의 개선이 보이지 않을 때는 증상이 심하든지, 다른 질병에 의한 것이라고 생각해야 하므로, 가능한 한 빨리 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요)

보관 및 취급상의 주의

- (1) 직사 광선을 피하고 습기가 적은 30℃이하의 시원한 곳에 뚜껑을 닫아 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 사용 후후에 손을 깨끗이 씻어 주세요
- (4) 다른 용기에 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 경우가 있습니다)
- (5) 사용 기한이 지난 제품은 사용하지 말아 주세요.또한 사용 기한내라도 개봉 후 6 개월 이내에 사용해 주세요(품질 보관 유지를 위해)

出典 製造販売元 : グラクソ・スミスクライン株式会社
 発行 (社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 헤르페시아 연고

(ヘルペシア軟膏)^{なんこう}

※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]

입술헤르페스의 재발 (과거 의사의 진단· 치료를 받은 적이 있는 사람에 한정합니다)

[성분과 작용]

헤르페시아...1 g 중에 다음의 성분을 포함하고 있습니다.

성분	함량	작용
Acyclovir	50mg	포진 바이러스의 증식을 억제합니다

[용법·용량]

1 일 3~5 회, 적당량을 질환부에 바른다. (입주위가 따끔 거리는 위화감을 느끼면 바로 말라주세요)

해설

- 따끔 거리는 감각은 입술 포진의 재발의 징조입니다.이런 재발 초기에 사용해 주세요
- 사용시기는 식후, 취침전등의 사용이 기준입니다
- 가족중에 처음으로 발병했다고 생각되는 사람이 잘못해서 사용하지 않도록 충분히 주의해 주세요

<용법·용량에 관한 주의>

- 정해진 용법·용량을 엄수해 주세요
- 소아에게 사용시킬 경우에는 보호자의 지도· 감독하에 사용시키십시오.
- 눈에 들어가지 않도록 주의해 주세요.만일, 눈에 들어갔을 경우에는 곧바로 물 또는 미온수로 씻어 주세요.덧붙여 증상이 심한 경우에는 안과전문의의 진료를 받아 주세요.
- 외용에만 사용해 주세요.
- 입에 들어가도 해는 없으나 가능한 한 들어가지 않도록 주의해 주세요

사용상의 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

1. 다음과 같은 사람에게는 사용하지 말아 주세요

- (1) 처음으로 발병했다고 생각되는 사람, 환부가 광범위한 경우 (처음으로 발병한 경우 증상이 심해질 가능성이 있고, 환부가 광범위로 번지는 경우는 중증이므로, 전문의의 치료를 받아주세요)
- (2) 본약 또는 염산 바라시크로빌 약품에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람 (본약의 사용에 의해 다시 알레르기 증상을 일으킬 가능성이 있습니다)
- (3) 6 세 미만의 유아(유아의 경우, 처음으로 감염됐을 가능성이 높다고 생각할 수 있습니다)

2. 다음과 같은 부위에는 사용하지 말아 주세요

- (1) 눈과 눈주위 (눈에 들어가면 자극을 일으킬 가능성이 있습니다)
- (2) 입술과 그 주위 이외의 부위(입술 포진은 입술 및 그 주위에 생기는 것입니다)

■ 상담해야 할 사항

1. 다음과 같은 사람은 사용전에 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요

- (1) 전문의의 치료를 받고 있는 사람(의사로부터 처방받고 있는 약에 영향을 주거나 본약과 같은 약을 사용할 가능성도 있습니다)
- (2) 임신부 또는 임신하고 있다고 생각되는 사람(약의 사용은 신중히 하고 전문의와 상담하고 지시를 받을 필요가 있습니다)
- (3) 수유중의 사람(같은 성분의 의료용의 내복약으로, 모유로 이행된 전례가 있습니다)
- (4) 본인 또는 가족이 알레르기 체질인 사람(알레르기 체질인 사람은 본약의 사용에 의해 알레르기 증상을 일으킬 가능성이 있습니다)
- (5) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람(어떤 약으로 인해 알레르기를 일으킨 사람은 본약에서도 일어날 가능성이 있습니다)
- (6) 번지고 짓무름이 심한경우 (증상이 심한 경우는 전문의와 상담하고 지시를 받을 필요가 있습니다)
- (7) 아토피성 피부염인 사람(증상이 심해질 가능성이 있기 때문에 전문의와 상담하고 지시를 받을 필요가 있습니다)

2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고, 이 설명문서를 가져가 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요

(1) 사용후, 다음의 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
가죽	발진·발적, 붓기, 가려움, 염증, 자극감, 동통, 건조, 작열감, 낙설(비듬·때 처럼 피부가 벗겨짐), 두드러기

(본약에 의한 알레르기 증상 때문이거나 본약의 약리 작용이 강하게 나타난 것이라고 생각할 수 있으니 이러한 경우, 같은 약을 계속해서 사용하면 증상이 한층 더 악화될 우려가 있습니다)

- (2) 7 일정도 사용해도 증상이 좋아지지 않을 경우(7 일정도 사용해도 증상의 개선이 보이지 않을 때는, 증상이 무겁거나 다른 질병에 의한 것이라고 생각해야 하므로 가능한 한 빨리 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요)

보관 및 취급의 주의

- (1) 직사 광선이 닿지 않는 습기가 적은 30℃이하의 시원한 곳에 뚜껑을 닫아 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 사용 전후에 깨끗이 손을 씻어 주세요
- (4) 다른 용기에 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 일이 있습니다)
- (5) 사용 기한이 지난 제품은 사용하지 말아 주세요. 또한 사용 기한내라도 개봉 후는 6 개월 이내에 사용해 주세요(품질 보관 유지를 위해)

製造販売元



大正製薬株式会社

出典
発行

(社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 에스탁크이브파인<정> (エスタックイブファイン<錠剤>)

※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]

감기의 증상 (발열, 오한, 기침, 가래, 목통증, 콧물, 코막힘, 재채기, 두통, 관절의 통증, 근육의 통증)의 완화

[성분과 작용]

9 정(성인 1 일 분량) 중

성분	함량	작용
Ibuprofen	450mg	발열, 두통, 목의 아픔등, 발열과 아픔을 가라앉힙니다
Ambroxol Hydrochloride	45mg	기침의 원인이 되는 후두에 걸린 심한 기침이 나오기 쉽게 합니다.
Isopropamide Iodide	6mg	콧물의 증상을 억제합니다
Dihydrocodeine Phosphate	24mg	기침 중추에 영향을 줘, 기침을 가라앉힙니다
dl-Methylephedrine Hydrochloride	60mg	기관지를 넓혀, 호흡을 편하게 하고, 기침을 가라앉힙니다
Chlorpheniramine Maleate	7.5mg	재채기, 콧물, 코막힘 증상을 억누릅니다
Anhydrous caffeine	75mg	두통을 가라앉힙니다
Ascorbic acid (vitamin C)	300mg	감기때에 소모하기 쉬운 비타민을 보충합니다
Thiamine nitrate (vitamin B1 nitrates)	24mg	

[용법·용량]

다음의 1 회 분량을 1 일 3 회, 식후 가능한 한 30 분 이내에 복용합니다

연령	1 회 분량
성인(15 세 이상)	3 정
15 세 미만	복용하지 말 것

<용법·용량에 관한 주의>

- 용법, 용량을 준수해 주세요

사용상 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

1. 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요

- (1) 본약에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
- (2) 본약 또는 다른 감기약, 해열 진통제를 복용하고 천식을 일으켰던 적이 있는 사람
- (3) 15 세 미만의 소아

2. 본약을 복용하고 있는 동안은 아래와 같은 의약품은 어떤 것도 복용하지 말아 주세요
다른 감기약, 해열진통제, 진정제, 진해제, 항히스타민약을 함유 하는 내복약 (비염용 내복약, 멀미약, 알레르기 치료약)
3. 복용 후, 운전 또는 기계류의 운전 조작을 하지 말아 주세요 (졸음, 눈이 침침함, 심한 눈부심등의 증상이 나타날 가능성이 있습니다)
4. 수유중인 사람은 본약을 복용하지 마시고 본약을 복용하는 경우는 수유를 중지 해 주세요
5. 복용시는 음주하지 말아 주세요
6. 5 일간 이상 복용하지 말아 주세요

■ 상담해야 할 사항

1. 다음과 같은 사람은 사용전에 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 전문의 또는 치과 의사의 치료를 받고 있는 사람
 - (2) 수유중의 사람
 - (3) 고령자
 - (4) 본인 또는 가족이 알레르기 체질인 사람
 - (5) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
 - (6) 다음과 같은 증상이 있는 사람
고열, 배뇨 곤란
 - (7) 다음과 같은 진단을 받은 적이 있는 사람
고혈압, 심장병, 당뇨병, 녹내장, 간장병, 신장병, 갑상선 기능 장애, 몸전체 에리테마토데스, 혼합성 결합 조직병
 - (8) 다음과 같은 질환에 걸렸던 적이 있는 사람
위·십이지장궤양, 궤양성 대장염, 크론병
2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명서를 가지고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 복용 후, 다음의 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
피부	발진·발적, 가려움
소화기	욕지기·구토, 식욕부진, 위통, 위부 불쾌감, 위부 팽만감, 거북감 복통, 복부 팽만감, 구내염
정신 신경	현기증
그 외	눈의 침침함, 귀울림, 배뇨 곤란, 붓기, 질림감

보기 드물게 아래와 같은 심한 증상이 일어나는 경우가 있습니다.그런 경우는 즉시 전문의의 진료를 받아 주세요.

증상의 명칭	증상
쇼크 (아나피라키시)	복용후 곧바로 두드러기, 부종, 가슴이 답답해지면서, 안색이 창백해지고, 손발이 차가워지고, 식은 땀, 등이 나타난다
피부 점막증후군 (스티븐슨・존슨증후군)、중독성표피회사병 (라이에르증후군)	고열을 수반하고, 발진·발적, 화상 상태의물집 등의 격렬한 증상이 신체의 모든 피부 입이나 눈의 점막에 나타난다
간기능 장애	신체의 전부의 나른함、황달(피부나 백안이 노래진다) 등이 나타난다
신장장애	배뇨량이 줄어 들어, 신체의부종 및 호흡 곤란, 나른함, 메스꺼움·구토, 혈뇨·단백뇨등이 나타난다
무균성 수막염	목덜미가 땅기는 격렬한 두통,발열,구토등의 증상이 나타난다 (이러한 증상은, 특히 신체 전부의 에리테마토데스 또는 혼합성 결합 조직병의 치료를 받고 있는 사람에게 대부분 일어난다고 보고되고 있다)
사이질성 폐렴	마른기침 (가래가 없는 기침) 을 수반하고 호흡 곤란, 발열등이 나타난다. ((이러한 증상은, 감기의 체증상과 구별이 어려운 경우도 있어, 마른기침 , 발열등의 증상이 악화되었을 경우에도, 복용을 중지하는 것과 동시에, 전문의의 진료를 받아 주세요)
천식	

(2) 5~6 회 복용해도 증상이 안 좋아지는 경우(특히 열이 3 일 이상 계속 되거나 또 열이 반복되거나 할 때)

3. 다음과 같은 증상이 나타날 경우가 있으므로, 이러한 증상이 계속 또는 증강을 볼 수 있었을 경우에는, 복용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
변비, 설사, 입의 건조

보관 및 취급상의 주의

- (1) 고온을 피하고, 직사 광선이 없는 습기가 적은 시원한 곳에 캡을 잘 닫아 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기에 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 일이 있습니다)
- (4) 본제품을 젖은 손으로 취급하지 말아 주세요.
젖은 손으로 취급하면, 당의에 얼룩이 생기거나 변색하는 경우가 있습니다.
- (5) 용기안의 종이는 수송중에 약의 알갱이가 파손되는 것을 막기 위한 것입니다. 개봉후는 필요없으므로 버려 주세요
- (6) 사용 기한을 넘긴 제품은 사용하지 말아 주세요. 또, 개봉 후에는 사용 기한내라도 6 개월 이내를 기준으로 복용해 주세요

出典
発行



製造販売元

エスエス製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 에스탁크이브 파인 <과립> (エスタックイブファイン<顆粒>)

※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]

감기의 증상 (발열, 오한, 기침, 가래, 목아픔, 콧물, 코막힘, 재채기, 두통, 관절의 통증, 근육의 통증)의 완화

[성분과 작용]

1 봉지(1.3 g) 안

성분	함량	작용
Ibuprofen	150mg	발열, 두통, 목의 아픔등, 발열과 아픔을 가라앉힙니다
Ambroxol Hydrochloride	15mg	기침의 원인이 되는 후두에 걸린 심한 기침이 나오기 쉽게 합니다.
Isopropamide I odide	2mg	콧물의 증상을 억제합니다
Dihydrocodeine Phosphate	8mg	기침 중추에 영향을 줘, 기침을 가라앉힙니다
dl-Methylephedrine Hydrochloride	20mg	기관지를 넓혀, 호흡을 편하게 하고, 기침을 가라앉힙니다
Chlorpheniramine Maleate	2.5mg	재채기, 콧물, 코막힘의 증상을 억제해줍니다
Anhydrous caffeine	25mg	두통을 가라앉힙니다
Ascorbic acid (vitamin C)	100mg	감기때에 소모하기 쉬운 비타민을 보충합니다
Thiamine nitrate (vitamin B1 nitrates)	8mg	

[용법·용량]

다음의 1 회 분량을 1 일 3 회, 식후 가능한 한 30 분 이내에 복용합니다

연령	1 회 분량
성인(15 세 이상)	1 봉지
15 세 미만	복용하지 않는 것

<용법·용량에 관한 주의>

- 용법, 용량을 준수해 주세요

사용상 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

1. 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요

- (1) 본약에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
- (2) 본약 또는 다른 감기약, 해열 진통제를 복용하고 천식을 일으켰던 적이 있는 사람
- (3) 15 세 미만의 소아

2. 본약을 복용하고 있는 동안은, 다음과 같은 의약품은 복용하지 말아 주세요
다른 감기약, 해열진통약, 진정제, 진해제, 항히스타민약을 함유 하는 내복약 (비염용 내복약, 멀미약, 알레르기 치료약)
3. 복용 후, 운전 또는 기계류의 운전 조작을 하지 말아 주세요 (졸음, 눈이 침침함, 심한 눈부심등의 증상이 나타날 가능성이 있습니다)
4. 수유중의 사람은 본약을 복용하지 말고, 본약을 복용하는 경우는 수유를 중지 해 주세요
5. 복용시는 음주하지 말아 주세요
6. 5 일간 이상 복용하지 말아 주세요

■ 상담해야 할 사항

1. 다음과 같은 사람은 사용전에 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 전문의 또는 치과 의사의 치료를 받고 있는 사람
 - (2) 수유중의 사람
 - (3) 고령자
 - (4) 본인 또는 가족이 알레르기 체질인 사람
 - (5) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
 - (6) 다음과 같은 증상이 있는 사람
고열, 배뇨 곤란
 - (7) 다음과 같은 진단을 받은 적이 있는 사람
고혈압, 심장병, 당뇨병, 녹내장, 간장병, 신장병, 갑상선 기능 장애, 몸전체 에рите마토크스, 혼합성 결합 조직병
 - (8) 다음과 같은 질환에 걸렸던 적이 있는 사람
위·십이지장궤양, 궤양성 대장염, 크론병
2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명서를 들고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 복용 후, 다음과 같은 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
피부	발진·발적, 가려움
소화기	욕지기·구토, 식욕부진, 위통, 위부 불쾌감, 위부 팽만감, 거북감 복통, 복부 팽만감, 구내염
정신 신경	현기증
그 외	눈의 침침함, 귀울림, 배뇨 곤란, 붓기, 질림감

보기 드물게 아래와 같은 심한 증상이 일어날 수도 있습니다. 그 경우는 즉시 전문의의 진료를 받아 주세요.

증상의 명칭	증상
쇼크 (아나피라키시)	복용후 곧바로 두드러기, 부종, 가슴이 답답해지면서, 안색이 창백해져, 손발이 차가워지고, 식은 땀 등이 나타난다
피부 점막증후군 (스티븐슨·존슨증후군)、 중독성표피회사병 (라이에르증후군)	고열을 수반하고, 발진·발적, 화상 상태의물집 등의 격렬한 증상이 신체의 모든 피부 입이나 눈의 점막에 나타난다
간기능 장애	신체의 전부의 나른함、황달(피부나 백안이 노랗게 된다) 등이 나타난다
신장장애	배뇨량이 줄어 들어 신체의 부종 및 호흡 곤란, 나른함, 메스꺼움·구토, 혈뇨·단백뇨등이 나타난다
무균성 수막염	목덜미가 땅기는 격렬한 두통, 발열, 구토등의 증상이 나타난다 (이러한 증상은 특히 신체 전부의 에리테마토데스 또는 혼합성 결합 조직병의 치료를 받고 있는 사람에게 대부분 일어난다고 보고되고 있다)
사이질성 폐렴	마른기침 (가래가 없는 기침) 을 수반해, 호흡 곤란, 발열등이 나타난다. (이러한 증상은 감기의 제증상과 구별이 어려운 일도 있어, 마른기침, 발열등의 증상이 악화되었을 경우에도 복용을 중지함과 동시에 전문의의 진료를 받아 주세요)
전식	

(2) 5~6 회 복용해도 증상이 안 좋아지는 경우(특히 열이 3 일 이상 계속 되거나 또 열이 반복되거나 할 때)

3. 다음과 같은 증상이 나타날 우려가 있으므로 이러한 증상이 계속 또는 증강했을 경우에는 복용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요)
변비, 설사, 입의 건조

보관 및 취급상 주의

- (1) 고온을 피하고, 직사 광선이 없고 습기가 적은 시원한 곳에 캡을 잘 닫아 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기에 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 경우가 있습니다)
- (4) 사용 기한을 넘긴 제품은 사용하지 말아 주세요.

出典
発行



製造販売元

エスエス製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 파브론에스 AX 약 <정> (パブロンエースAX錠 (<錠剤>))

※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]

감기의 여러가지 증상 (발열, 오한, 기침, 가래, 목이 아플때, 콧물, 코막힘, 재채기, 두통, 관절의 통증, 근육의 통증)의 완화

[성분과 작용]

1 회(3 정) 중

성분	함량	작용
Ibuprofen	150mg	발열, 두통, 목의 아픔등, 발열과 아픔을 가라앉힙니다
Ambroxol Hydrochloride	15mg	기침의 원인이 되는 후두에 걸린 심한 기침이 나오기 쉽게 합니다.
Dihydrocodeine Phosphate	8mg	기침 중추에 영향을 줘 기침을 가라앉힙니다
dl-Methylephedrine Hydrochloride	20mg	기관지를 넓혀, 호흡을 편하게 하고, 기침을 가라앉힙니다
Chlorpheniramine Maleate	2.5mg	재채기, 콧물, 코막힘 증상을 억누릅니다
Anhydrous Caffeine	25mg	두통을 가라앉힙니다
Ascorbic Acid (vitamin C)	166.7mg	감기때에 소모하기 쉬운 비타민을 보충합니다
Thiamine Nitrate (vitamin B1 Nitrate)	8mg	
Riboflavin (vitamin B2)	4mg	

[용법·용량]

다음의 1 회 분량을 1 일 3 회, 식후 가능한 한 30 분 이내에 복용합니다

연령	1 회 분량
성인(15 세 이상)	3 정
15 세 미만	복용하지 말 것

<용법·용량에 관한 주의>

• 용법, 용량을 준수해 주세요

• 약 꺼내는 방법

그립과 같이약이 들어가 있는 PTP 시트의 볼록부를 손가락끝으로 강하게 눌러 주면 얇은알루미늄이 찢어지므로 꺼내 복용해 주세요. (잘못해 그대로 삼키거나 하면 식도 점막에 찢히는 등 생각하지 않는 사고로 연결됩니다)

사용상의 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

1. 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요

- (1) 본약에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
- (2) 본약 또는 다른 감기약, 해열 진통제를 복용하고 천식을 일으켰던 적이 있는 사람
- (3) 15 세 미만의 소아

2. 본약을 복용하고 있는 동안은 아래와 같은 의약품은 어떤 것도 복용하지 말아 주세요
다른 감기약, 해열진통제, 진정제, 진해제, 항히스타민약을 함유 하는 내복약 (비염용 내복약, 멀미약, 알레르기 치료약)
3. 복용 후, 운전 또는 기계류의 운전 조작을 하지 말아 주세요 (졸음, 눈이 침침함, 심한 눈부심등의 증상이 나타날 가능성이 있습니다)
4. 수유중의 사람은 본약을 복용하지 마시고 본약을 복용하는 경우는 수유를 중지 해 주세요
(같은성분의 의료용의 내복약으로, 젖으로 이행되는확인이있습니다)
5. 복용시는 음주하지 말아 주세요
6. 5 일간 이상 복용하지 말아 주세요

■ 상담해야 할 사항

1. 다음의 사람은 사용전에 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 전문의 또는 치과 의사의 치료를 받고 있는 사람
 - (2) 수유중의 사람
 - (3) 고령자
 - (4) 본인 또는 가족이 알레르기 체질인 사람
 - (5) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
 - (6) 다음의 증상이 있는 사람
고열, 배뇨 곤란
 - (7) 다음과 같은 진단을 받은 적이 있는 사람
고혈압, 심장병, 당뇨병, 녹내장, 간장병, 신장병, 갑상선 기능 장애, 몸전체 에리테마토크시스, 혼합성 결합 조직병
 - (8) 다음과 같은 질환에 걸렸던 적이 있는 사람
위·십이지장궤양, 궤양성 대장염, 크론병
2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명서를 가지고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 복용 후, 다음의 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
피부	발진·발적, 가려움
소화기	욕지기·구토, 식욕부진, 위통, 위부 불쾌감, 위부 팽만감, 거북감 복통, 복부 팽만감, 구내염
정신 신경	현기증, 절립감
그 외	눈의 침침함, 귀울림, 배뇨 곤란, 붓기

보기 드물게 아래와 같은 심한 증상이 일어나는 경우가 있습니다.
그런 경우는 즉시 전문의의 진료를 받아 주세요.

증상의 명칭	증상
쇼크 (아나피라키시)	복용후 곧바로 두드러기, 부종, 가슴이 답답해지면서, 안색이 창백해지고, 손발이 차가워지고, 식은 땀, 등이 나타난다
피부 점막증후군 (스티븐슨・존슨증후군)、중독성표피괴사병 (라이에르증후군)	고열을 수반하고, 발진・발적, 화상 상태의물집 등의 격렬한 증상이 신체의 모든 피부 입이나 눈의 점막에 나타난다
간기능 장애	신체의 전부의 나른함、황달(피부나 백안이 노랗게 된다) 등이 나타난다
신장장애	배뇨량이 줄어 들어, 신체의부종 및 호흡 곤란, 나른함, 메스꺼움・구토, 혈뇨・단백뇨등이 나타난다
무균성 수막염	목덜미가 땀기는 격렬한 두통、발열、구토 등의 증상이 나타난다 (이러한 증상은, 특히 신체 전부의 에리테마토데스 또는 혼합성 결합 조직병의 치료를 받고 있는 사람에게 대부분 일어난다고 보고되고 있다)
사이질성 폐렴	마른기침 (가래가 없는 기침) 을 수반하고 호흡 곤란, 발열등이 나타난다. ((이러한 증상은, 감기의 제증상과 구별이 어려운 경우도 있어, 마른기침, 발열등의 증상이 악화되었을 경우에도, 복용을 중지하는 것과 동시에, 전문의의 진료를 받아 주세요)
천식	

- (2) 5~6 회 복용해도 증상이 안 좋아지는 경우(특히 열이 3 일 이상 계속 되거나 또 열이 반복되거나 할 때)
3. 다음과 같은 증상이 나타날 경우가 있으므로, 이러한 증상이 계속 또는 증강을 볼 수 있었을 경우에는, 복용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요)
변비, 설사, 입의 건조
4. 다음과 같은 증상이 나타나는 경우도 있습니다.
본약의 복용으로 인해, 소변 색이 노란색 으로 변할수도 있습니다만,그것은 약 속에 비타민 B2 로 인한 것 이므로, 걱정하실 필요 는 없습니다.

보관 및 취급상의 주의

- (1) 고온을 피하고, 직사 광선이 없는 습기가 적은 시원한 곳에 캡을 잘 닫아 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기에 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 일이 있습니다)
- (4) 사용 기한을 넘긴 제품은 사용하지 말아 주세요. 또, 개봉 후는, 사용 기한내라도 6 개월 이내를 기준으로 복용해 주세요(품질 보관 유지를 위해)

出典
発行



大正製藥株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 파브론에스 AX<미립 (가루) > (パブロンエースAX<微粒>)

※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]

감기의 증상 (발열, 오한, 기침, 가래, 목아픔, 콧물, 코막힘, 재채기, 두통, 관절의 통증, 근육의 통증)의 완화

[성분과 작용]

1 봉지(1.3 g) 안

성분	함량	작용
Ibuprofen	150mg	발열, 두통, 목의 아픔 등, 발열과 아픔을 가라앉힙니다
Ambroxol Hydrochloride	15mg	기침의 원인이 되는 후두에 걸린 심한 기침이 나오기 쉽게 합니다.
Dihydrocodeine Phosphate	8mg	기침 중추에 영향을 줘 기침을 가라앉힙니다
dl-Methylephedrine Hydrochloride	20mg	기관지를 넓혀, 호흡을 편하게 하고, 기침을 가라앉힙니다
Chlorpheniramine Maleate	2.5mg	재채기, 콧물, 코막힘의 증상을 억제해줍니다
Anhydrous Caffeine	25mg	두통을 가라앉힙니다
Ascorbic Acid (vitamin C)	166.7mg	감기때에 소모하기 쉬운 비타민을 보충합니다
Thiamine Nitrate (vitamin B1 Nitrate)	8mg	
Riboflavin (vitamin B2)	4mg	

[용법·용량]

다음의 1 회 분량을 1 일 3 회, 식후 가능한 한 30 분 이내에 복용합니다

연령	1 회 분량
성인(15 세 이상)	1 봉지
15 세 미만	복용하지 않는 것

<용법·용량에 관한 주의>

- 용법, 용량을 준수해 주세요

사용상 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

1. 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요

- (1) 본약에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
- (2) 본약 또는 다른 감기약, 해열 진통제를 복용하고 천식을 일으켰던 적이 있는 사람
- (3) 15 세 미만의 소아

2. 본약을 복용하고 있는 동안은, 다음과 같은 의약품은 복용하지 말아 주세요
다른 감기약,해열진통약,진정제, 진해제, 항히스타민약을 함유 하는 내복약 (비염용 내복약, 멀미약,알레르기 치료약)
3. 복용 후, 운전 또는 기계류의 운전 조작을 하지 말아 주세요 (졸음, 눈이 침침함, 심한 눈부심등의 증상이 나타날 가능성이 있습니다)
4. 수유중의 사람은 본약을 복용하지 말고, 본약을 복용하는 경우는 수유를 중지 해 주세요 (같은성분의 의료용의 내복약으로, 젖으로 이행되는확인이있습니다)
5. 복용시는 음주하지 말아 주세요
6. 5 일간 이상 복용하지 말아 주세요

■ 상담해야 할 사항

1. 다음과 같은 사람은 사용전에 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 전문의 또는 치과 의사의 치료를 받고 있는 사람
 - (2) 수유중의 사람
 - (3) 고령자
 - (4) 본인 또는 가족이 알레르기 체질인 사람
 - (5) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
 - (6) 다음과 같은 증상이 있는 사람
고열, 배뇨 곤란
 - (7) 다음과 같은 진단을 받은 적이 있는 사람
고혈압, 심장병, 당뇨병, 녹내장,간장병, 신장병, 갑상선 기능 장애, 몸전체 에리테마토데스, 혼합성 결합 조직병
 - (8) 다음과 같은 질환에 걸렸던 적이 있는 사람
위·십이지장궤양, 궤양성 대장염,크론병
2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명서를 들고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 복용 후, 다음과 같은 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
피부	발진·발적, 가려움, 부종
소화기	욕지기·구토, 식욕부진, 위통, 위부 불쾌감, 위부 팽만감,거복감 복통, 복부 팽만감, 구내염
정신 신경	현기증,절립감
그 외	눈의 침침함, 귀울림, 배뇨 곤란, 붓기

보기 드물게 아래와 같은 심한 증상이 일어날 수도 있습니다.그 경우는 즉시 전문의의 진료를 받아 주세요.

증상의 명칭	증상
쇼크 (아나피라키시)	복용후 곧바로 두드러기, 부종, 가슴이 답답해지면서, 안색이 창백해져, 손발이 차가워지고, 식은 땀 등이 나타난다
피부 점막증후군 (스티븐슨·존슨증후군) 、 중독성표피회사병 (라이에르증후군)	고열을 수반하고, 발진·발적, 화상 상태의물집 등의 격렬한 증상이 신체의 모든 피부 입이나 눈의 점막에 나타난다
간기능 장애	신체의 전부의 나른함, 황달(피부나 백안이 노랗게 된다) 등이 나타난다
신장장애	배뇨량이 줄어 들어 신체의 부종 및 호흡 곤란, 나른함, 메스꺼움·구토, 혈뇨·단백뇨등이 나타난다
무균성 수막염	목덜미가 땅기는 격렬한 두통, 발열, 구토 등의 증상이 나타난다 (이러한 증상은 특히 신체 전부의 에리테마토데스 또는 혼합성 결합 조직병의 치료를 받고 있는 사람에게 대부분 일어난다고 보고되고 있다)
사이질성 폐렴	마른기침 (가래가 없는 기침) 을 수반해, 호흡 곤란, 발열등이 나타난다. (이러한 증상은 감기의 제증상과 구별이 어려운 일도 있어, 마른기침, 발열등의 증상이 악화되었을 경우에도 복용을 중지함과 동시에 전문의의 진료를 받아 주세요)
천식	

(2) 5~6 회 복용해도 증상이 안 좋아지는 경우(특히 열이 3 일 이상 계속 되거나 또 열이 반복되거나 할 때)

3. 다음과 같은 증상이 나타날 우려가 있으므로 이러한 증상이 계속 또는 증강했을 경우에는 복용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요)

변비, 설사, 입의 건조

4. 다음과 같은 증상이 나타나는 경우도 있습니다.

본약의 복용으로 인해, 소변 색이 노란색 으로 변할수도 있습니다만, 그것은 약 속에 비타민 B2 로 인한 것 이므로, 걱정하실 필요 는 없습니다.

보관 및 취급상 주의

- (1) 고온을 피하고, 직사 광선이 없고 습기가 적은 시원한 곳에 관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기에 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 경우가 있습니다)
- (4) 사용 기한을 넘긴 제품은 사용하지 말아 주세요.

出典
発行



大正製藥株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 가스타-10<가루약> (ガスター10 <散>)
 ※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]
 위통, 불쾌감, 소화불량, 구토,
 <효능·효과에 관한 주의>
 효능·효과에 기재된 것 이외의 증상에서는 본약을 복용하지 말아 주세요.

[성분과작용]
 1 봉지(0.5g)내

성분	함량	작용
Famotidine	10mg	위산의 과다분비를 컨트롤합니다

[용법·용량]

- 다음과 같이 물 또는 더운 물로 복용해 주세요

연령	1 회 분량	1 일 복용 회수
성인(15 세 이상, 80 세 미만)	1 봉지	2 회まで
소아(15 세 미만)	복용하지 말아 주세요	
고령자(80 세 이상)		

이 약은 정해진 시간 마다 복용하는 약이 아니고, 증상이 나왔을 때에 복용하는 약입니다.
 식사에 의한 영향은 없기 때문에 식전, 식후, 식간 언제 복용해도 좋습니다. 1 회 1 봉지로 약
 8 시간 위산의 분비 과다를 컨트롤 하기 때문에 1 일 2 회 복용할 경우에는 8 시간 이상 간격을
 두세요

- 정해진 용법, 용량을 준수해 주세요
- 복용 후 8 시간 이상 경과해도 증상이 회복되지 않을 경우에는, 1 봉지 더 복용해 주세요
- 증상이 회복된 경우에는 복용을 중지 해 주세요
- 3 일간 복용해도 증상의 개선이 보이지 않을 경우에는 복용을 중지하고 전문의 또는 약제사와
 상담해 주세요
- 2 주간 넘게 계속해서 복용하지 말아 주세요

<용법·용량에 관한 주의>
 (1) 본약을 복용할 때는, 알코올 음료의 섭취는 삼가해 주세요 (약은 알코올 음료와 병용 하지 않는
 것이 일반적입니다)

사용상 주의

아래와 같이 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

1. 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요

- (1) 화모치진등의 H2 알레르기 증상(예를 들면, 발진·발적, 가려움, 목·눈꺼풀·입술등의 붓기) 를 일으켰던 적이 있는 사람
- (2) 의료 기관에서 다음과 같은 병의 치료나 의약품의 투여를 받고 있는 사람
혈액의 병, 신장, 간장, 심장의 병, 위·십이지장의 병, 천식·류머티즘등의 면역계의 병, 스테로이드약, 항생 물질, 항암약, 아조르계항균제
(백혈구 감소, 혈소판 감소등을 일으키는 일이 있습니다)
(신장·간장병을 가지고 있는 경우에는, 약의 배설이 늦어져 작용이 강하게 나타나는 경우가 있습니다)
(심근경색·변맥증·심근증등의 심장의 병을 가지고 있는 경우에는, 심전도이상으로 맥박이 빠르게 나타나는 일이 있습니다.)
(위·십이지장병의 치료를 받고 있는 사람은, 화모치진과 유사한 약이 처방될 가능성이 높기 때문에, 중복 복용을 조심할 필요가 있습니다)
(아조르계항균제의 흡수가 저하해 효과가 줄어 들어 약해집니다)
- (3) 전문의가 적혈구가 적은(빈혈), 혈소판이 적은(피가 멈추기 어려운, 피가 나오기 쉽다), 백혈구수가 적은 등의 혈액이상을 지적받았던 적이 있는 사람 (본약 때문에 다시 혈액이상을 일으킬 가능성이 있습니다)
- (4) 15 세 미만의 소아 및 고령자(80 세 이상)
- (5) 임신부 또는 임신했을 가능성이 있는 사람 및 수유 하는 사람

2. 본약을 복용하고 있는 동안은, 다음과 같은 의약품을 복용하지 말아 주세요 다른 위장약

■ 상담해야 할 사항

1. 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요

- (1) 본약에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
- (2) 본인 또는 가족이 알레르기 체질인 사람
- (3) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
- (4) 고령자(65 세 이상)(일반적으로 고령자는 생리 기능이 저하되고 있을 우려가 있습니다.)
- (5) 다음과 같은 증상이 있는 사람
목통증, 기침 및 고열(이러한 증상이 있는 사람은 무거운 감염증의 우려가 있고 혈구수의 감소등의 혈액이상으로 확인될 가능성이 있습니다.복용전에 이러한 증상이 있으면, 본약제의 복용에 의해서 증상이 병세가 악화되거나 또 본약의 부작용을 늦게 감지할 가능성이 있습니다.
원인 불명의 체중 감소 지속성있는 복통(다른 병이 원인일 가능성이 있습니다)

2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명서를 가져가 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요

(1) 복용 후, 다음과 같은 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
피부	발진·발적, 가려움, 부종
순환기	맥박의 불규칙
정신 신경	경련
그 외	몸이 나른해 지고, 발열이 나타나고 몸전체 이상현상이 나타난다

보기 드물게 아래와 같은 심한 증상이 일어나는 경우도 있습니다.그런 경우에는 즉시 전문의의 진료를 받아 주세요.

증상의 명칭	증상
쇼크 (아나피라키시)	복용 후 곧바로 두드러기, 부종, 가슴이 답답하고, 안색이 창백해지고 손발이 차가워져 식은 땀, 가슴이 답답한 등이 나타난다
피부 점막안증후군 (스티븐스・존슨증후군) 중독성 표피 부서져 죽을 병 (라이에르증후군)	고열을 수반하고 발진·발적, 화상 상태의 물질 등의 격렬한 증상이 신체의 모든 피부 및 입이나 눈의 점막에 나타난다
횡근육 용해병 (골격근)	손발이나 몸의 근육이 아프거나 굳어지거나 함. 소변의 색이 적갈색이 된다
간기능 장애	신체 전부의 나른함,황달(피부나 백안이 노래진다) 등이 나타난다
신장 기능장애	발열, 발진, 신체 전부의 부종, 혈뇨, 신체 전부의 나른함, 관절통(뼈마디들이 아프다), 설사등이 나타난다
혈액 장애	목의 아파 발열, 신체 전부의 나른함, 얼굴이나 눈꺼풀의 안쪽이 하얗짐 출혈하기 쉬워짐(잇몸의 출혈, 코피등), 파란 멍이 생김(눌러도 색이 사라지지 않는다) 등이 나타난다

(2) 잘못해서 정해진 용량을 넘게 복용해 버렸을 경우

3. 다음과 같은 증상이 나타나는 일이 있으므로 이러한 증상이 계속되거나 심해졌을 경우에는 복용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요.

변비, 부드러운 변, 설사, 입의 건조

보관 및 취급상의 주의

- (1) 고온을 피하고 직사 광선이 없는 습기가 적은 시원한 곳에 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기로 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 일이 있습니다)
- (4) 사용 기한이 지난 제품은 사용하지 말아 주세요.

出典
発行



製造販売元
第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 가스타-10<정> (가스타-10 <錠>)

※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]

위통, 속이 거북한 불쾌감, 소화불량, 구토,

<효능·효과에 관한 주의>

효능·효과에 기재된 것 이외의 증상에서는 본약을 복용하지 말아 주세요.

[성분과작용]

1 정안에

성분	함량	작용
Famotidine	10mg	위산의 과다분비를 컨트롤합니다

[용법·용량]

- 다음과 같이 물 또는 더운 물로 복용해 주세요

연령	1 회 분량	1 일 복용 회수
성인(15 세 이상, 80 세 미만)	1 정	2 회까지
소아(15 세 미만)	복용하지 말아 주세요	
고령자(80 세 이상)		

이 약은 정해진 시간 마다 복용하는 약이 아니고, 증상이 나왔을 때에 복용하는 약입니다.

식사에 의한 영향은 없기 때문에 식전, 식후, 식간 언제 복용해도 좋습니다. 1 회 1 봉지로 약 8 시간 위산의 분비 과다를 컨트롤 하기 때문에 1 일 2 회 복용하는 경우에는 8 시간 이상 간격으로 복용해 주세요

- 정해진 용법, 용량을 준수해 주세요
- 복용 후 8 시간 이상 경과해도 증상이 회복되지 않는 경우에는 1 봉지 더 복용해 주세요
- 증상이 좋아졌을 경우에는, 복용 하지 마세요
- 3 일간 복용해도 증상의 개선이 보이지 않는 경우에는 복용을 중지하고, 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
- 2 주간이상 계속해서 복용하지 말아 주세요

<용법·용량에 관한 주의>

- (1) 본약을 복용할 때는 알코올 음료의 섭취는 삼가해 주세요 (약은 알코올 음료와 병용 하지 않는 것이 일반적입니다)
- (2) 약 꺼내는 방법
그림과 같이 약이 들어 있는 PTP 시트의 불록한 부분을 손가락끝으로 강하게 눌러 주면 얇은 알루미늄이 찢어지므로 꺼내 복용해 주세요. (잘못해 그대로 삼키거나 하면 식도 점막에 찢히는 등 생각하지 못한 사고로 연결됩니다)

사용상 주의

아래와 같이 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

1. 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요

- (1) 화모치진등의 H2 알레르기 증상(예를 들면, 발진·발적, 가려움, 목 눈꺼풀·입술등의 붓기) 를 일으켰던 적이 있는 사람
- (2) 의료 기관에서 다음과 같은 병의 치료나 의약품의 투여를 받고 있는 사람
혈액의 병, 신장, 간장, 심장의 병, 위·십이지장의 병, 천식·류머티즘등의 면역계의 병, 스테로이드약, 항생 물질, 항암약, 아조르계항균제
(백혈구 감소, 혈소판 감소등을 일으킬 가능성이 있습니다)
(신장·간장병을 가지고 있는 경우에는 약의 배설이 늦어져서 작용이 강하게 나타나는 경우가 있습니다)
(심근경색·변맥증·심근증등의 심장의 병을 가지고 있는 경우에는 심전도이상으로 맥박이 빠르게 나타나는 경우가 있습니다.)
(위·십이지장병의 치료를 받고 있는 사람은 화모치진과 유사한 약이 처방될 가능성이 높기 때문에, 중복 복용을 조심할 필요가 있습니다)
(아조르계항균제의 흡수가 저하해 효과가 줄어들어 약해집니다)
- (3) 전문의가 적혈구가 적은(빈혈), 혈소판이 적은(피가 멈추기 어려운, 피가 나오기 쉽다), 백혈구수가 적은 등의 혈액이상을 지적받았던 적이 있는 사람 (본약이 발단이 되어 다시 혈액이상을 일으킬 가능성이 있습니다)
- (4) 15 세 미만의 소아 및 고령자(80 세 이상)
- (5) 임신부 또는 임신했을 가능성이 있는 사람 및 수유 하는 사람

2. 본약을 복용하고 있는 동안은 다음의 의약품을 복용하지 말아 주세요 다른 위장약

■ 상담해야 할 사항

1. 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요

- (1) 본약에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
- (2) 본인 또는 가족이 알레르기 체질인 사람
- (3) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는
- (4) 고령자(65 세 이상)(일반적으로 고령자는 생리 기능이 저하되고 있을 가능성이 있습니다.
- (5) 다음과 같은 증상이 있는 사람
목통증, 기침 및 고열(이러한 증상이 있는 사람은 무거운 감염증의 우려가 있어 혈구수의 감소등의 혈액이상이 확인될 가능성이 있습니다.복용전에 이러한 증상이 있으면, 본약제의 복용에 의해서 증상이 병세가 악화되고 또 본약의 부작용을 인식하는 것이 늦어질 가능성이 있습니다.
원인 불명의 체중 감소, 지속성의 복통(다른 병이 원인인 일이 있습니다)

2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명서를 가져가 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요

(1) 복용 후, 다음의 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
피부	발진·발적, 가려움, 부종
순환기	맥박의 불규칙
정신 신경	경련
그 외	몸이 나른해 지고 발열이 나타나고 몸전체 이상현상이 나타난다

보기 드물게 아래와 같은 심한 증상이 일어날 가능성이 있습니다.

그러한 경우에는 즉시 전문의의 진료를 받아 주세요.

증상의 명칭	증상
쇼크 (아나피라키시)	복용 후 곧바로 두드러기, 부종, 가슴이 답답하고, 안색이 창백해지고, 손발이 차가워져, 식은 땀, 가슴이 답답한 등이 나타난다
피부 점막안증후군 (스티븐스 · 존슨증후군) 、중독성 표피 부서져 죽을 병 (라이에르증후군)	고열을 수반하고, 발진·발적, 화상 상태의 물집 등의 격렬한 증상이, 신체의 모든 피부, 땀, 입이나 눈의 점막에 나타난다
횡근육 용해병 (골격근)	손발이나 몸의 근육이 아프거나 굳어지거나 함. 소변의 색이 적갈색이 된다
간기능 장애	신체 전부가 나른함, 황달(피부나 백안이 노래진다) 등이 나타난다
신장 기능장애	발열, 발진, 신체 전부의 부종, 혈뇨, 신체 전부가 나른함, 관절통(뼈마디들이 아프다), 설사등이 나타난다
혈액 장애	목의 아프고, 발열, 신체 전부가 나른함, 얼굴이나 눈꺼풀의 안쪽이 하얗게 되고, 출혈하기 쉬워지는(잇몸의 출혈, 코피등), 파란 멍이 생기는(눌러도 색이 사라지지 않는다) 등이 나타난다

(2) 잘못해서 정해진 용량을 넘게 복용했을 경우

3. 다음과 같은 증상이 나타나는 일이 있으므로, 이러한 증상이 계속 또는 증강이 보일 경우에는, 복용을 중지하고, 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요.

변비, 부드러운 변, 설사, 입의 건조

보관 및 취급해 위의 주의

- (1) 고온을 피하고 직사 광선이 없는 습기가 적고 시원한 곳에 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기로 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 일이 있습니다)
- (4) 사용 기한이 지난 제품은 사용하지 말아 주세요.

出典 発行 製造販売元 第一三共ヘルスケア株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 가스타-10 S 정 (ガスター10S錠)

※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]

위통, 소화가 거북스런 불쾌감, 소화불량, 구토

<효능·효과에 관한 주의>

- 효능·효과에 기재된 이외의 증상에서는 본약을 복용하지 말아 주세요.

[성분과작용]

1 정중

성분	함량	작용
Famotidine	10mg	위산의 과다분비를 컨트롤합니다

[용법·용량]

다음과 같이 물 또는 더운 물로 복용해 주세요

연령	1 회 분량	1 일 복용 회수
성인(15 세 이상, 80 세 미만)	1 정	2 회까지
소아(15 세 미만)	복용하지 말아 주세요	
고령자(80 세 이상)		

이 약은 정해진 시간 마다 복용하는 약이 아니고, 증상이 나왔을 때에 복용하는 약입니다. 식사에 의한 영향은 없기 때문에 식전, 식후, 식간 언제든지 복용해 주셔도 좋습니다. 1 회 1 알 약 8 시간 위산의 과다분비를 컨트롤 하기 때문에 1 일 2 회 복용하는 경우는 8 시간 이상 간격을 두십시오

- 정해진 용법, 용량을 준수해 주세요
- 복용 후 8 시간 이상 경과해도 증상이 회복되지 않을 경우에는 1 알 더 복용해 주세요
- 증상이 좋아졌을 경우는 복용을 중지해 주세요
- 3 일간 복용해도 증상의 개선이 보이지 않을 경우에는 복용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
- 2 주이상 계속해 복용하지 말아 주세요

<용법·용량에 관한 주의>

- (1) 본약은 구강내에서 쉽게 녹습니다만, 구강의 점막으로부터 흡수되는 일은 없기 때문에 타액 또는 물로 삼켜 주세요.
- (2) 본약을 복용할 때는 알코올 음료의 섭취는 삼가해 주세요 (약은 알코올 음료와 병용 하지 않는 것이 일반적입니다)
- (3) 약 꺼내는 방법
그림과 같이 약이 들어 있는 PTP 시트의 볼록한 부분을 손가락끝으로 강하게 눌러 주면 얇은 알루미늄이 찢어지므로 꺼내 복용해 주세요. (잘못해서 그대로 삼키거나 하면 식도 점막에 끼히는 등 생각하지 못한 사고로 연결됩니다)

사용상 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

1. 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요

- (1) 폐아모치진등 H2 블로커에 의해 알레르기 증상(예를 들면, 발진·발적, 가려움, 목 눈꺼풀·입주위의 부음) 를 일으켰던 적이 있는 사람
- (2) 의료 기관에서 다음과 같은 병의 치료나 의약품의 투여를 받고 있는 사람
혈액의 병 신장, 간장의병, 심장의 병, 위·십이지장의 병, 천식·류머티즘등의 면역계의 병, 스테로이드약, 항생 물질, 항암약,아조루게항신제
(백혈구 감소, 혈소판 감소등을 일으킬 가능성이 있습니다)
(신장·간장의병을 가지고 있는 경우에는 약의 배설이 늦어져 작용이 강하게 나타나는 일이 있습니다)
(심근경색·판막증·심근증등의 심장의 병을 가지고 있는 경우에는, 심전도 이상에 의한 맥박의 이상이 나타나는 일이 있습니다.)
(위·십이지장병의 치료를 받고 있는 사람은 폐아모치진과 유사한 약이 처방될 가능성이 높기 때문에 중복 복용을 조심할 필요가 있습니다)
(아조루게항신제의흡수가 저하돼 효과가 줄어 들어 약해집니다)
- (3) 의사로 부터 적혈구가 적음(빈혈), 혈소판이 적음(피가 멈추기 어려운, 피가 나오기 쉽다), 백혈구수가 적음 등의 혈액이상으로 지적받았던 적이 있는 사람
(이 약으로 인해 다시 혈액이상을 일으킬 가능성이 있습니다)
- (4) 페니루게돈뇨병 (본 약은 아스파루테르) L-페니루아라닌화합물) 이 포함되어있습니다.
- (5) 15 세 미만의 소아 및 고령자(80 세 이상)
- (6) 임신부 또는 임신하고 있다고 생각되는 사람 및 수유 하는 사람

2. 본약을 복용하고 있는 동안은 다음과 같은 의약품을 복용하지 말아 주세요 다른 위장약

■ 상담해야 할 사항

1. 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요

- (1) 본약에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
- (2) 본인 또는 가족이 알레르기 체질인 사람
- (3) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
- (4) 고령자(65 세 이상)(일반적으로 고령자는 생리 기능이 저하됐을 가능성이 있습니다.)
- (5) 다음과 같은 증상이 있는 사람
목통증, 기침 및 고열(이러한 증상이 있는 사람은 중증 감염증의 우려가 있고 혈구수의 감소등의 혈액이상이 확인될 가능성이 있습니다.복용전에 이러한 증상이 있으면 본약의 복용에 의해서 증상이 병세가 악화되고 또 본약의 부작용을 알아차리는 것이 늦어질 가능성이 있습니다.
원인 불명의 체중 감소, 지속성의 복통(다른 병이 원인인 일이 있습니다)

2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명문서를 가져가 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요

(1) 복용 후, 다음의 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
피부	발진·발적, 가려움, 종창
순환기	맥의 혼란
정신 신경	기분이 멍한느낌 (정련)
그 외	기분이 나빠지거나 나른해지거나 발열이 나고 목이 아픈 등 컨디션의 불량 나타난다

보기 드물게 아래와 같은 무거운 증상이 일어나는 일이 있습니다. 그런 경우는 즉시 전문의의 진료를 받아 주세요.

증상의 명칭	증상
쇼크 (아나피라키시)	복용 후 곧바로 두드러기, 부종, 가슴에 통증을 느끼고, 안색이 창백해져, 손발이 차가워지고 식은 땀, 가슴이 답답한 등이 나타난다
피부 점막안증후군 (스티븐스・존슨증후군)、중독성 표피 부서져 죽을 병 (라이에르증후군)	고열을 수반하고, 발진·발적, 화상 상태의물집 등의 격렬한 증상이 신체의 모든 피부, 땀, 입이나 눈의 점막에 나타난다
횡무늬근육 용해병 (골격근)	손발이나 몸의 근육이 아프거나 굳어지거나 함. 소변의 색이 적갈색이 된다
간기능 장애	신체 전부의 나른함,황달(피부나 백안이 노래진다) 등이 나타난다
신장 기능장애	발열, 발진, 신체 전부의 부종, 혈뇨, 신체 전부의 나른함, 관절통(마디들이 아프다), 설사등이 나타난다
혈액 장애	목의 아프고, 발열, 몸전체가 나른함、얼굴이나 눈꺼풀의 안쪽이 하얘짐, 출혈하기 쉬워짐(잇몸의 출혈, 코피등), 파란 멍이 생기는(눌러도 색이 사라지지 않는다) 등이 나타난다

(2) 잘못해서 정해진 용량을 넘게 복용해 버렸을 경우

3. 다음과 같은 증상이 나타나는 일이 있으므로, 이러한 증상이 계속되거나 심해졌을 경우에는 복용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요.

변비, 부드러운 변, 설사, 입의 건조

보관 및 취급상 주의

- (1) 고온을 피하고 직사 광선이 없는 습기가 적은 시원한 곳에 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기로 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 일이 있습니다)
- (4) 사용 기한이 지난 제품은 사용하지 말아 주세요.

出典 第一三共ヘルスケア株式会社
発行 (社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 샤지텐 AL 비염 캡셀 (ザジテンAL^{びえん}鼻炎カプセル)
※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]
 꽃 가루, 하우스 더스트(실내티끌) 등에 의한 다음과 같은 코의 알레르기 증상의 완화 :
 재채기, 콧물(콧물 과다), 코막힘

[성분과 작용]

1 캡셀중

성분	함량
Ketotifen Fumarate (as ketotifen)	1.38mg (1.0mg)

[용법·용량]

다음의 1 회 분량을 1 일 2 회, 아침 식사 후 및 취침전에 복용해 주세요

연령	1 회 분량
성인(15 세 이상)	1 캡셀
15 세 미만	복용하지 않는 것

<용법·용량에 관한 주의>

- 정해진 용법, 용량을 준수해 주세요
- 1주간 정도 복용해도 증상이 회복되지않을 경우에는 즉시 복용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요. (개인차등에 의해 약의 효과가 나타나기까지 2 주간 정도 걸리는 경우도 있습니다)
- 캡셀 꺼내는 방법
그림과 같이 약이 들어 있는 PTP 시트의 불록한 부분을 손가락끝으로 강하게 눌러 얇은 알루미늄을 찢어 꺼내 복용해 주세요. (잘못해서 그대로 삼키거나 하면 식도 점막에 찢히는 등 생각하지 못한 사고로 연결됩니다)

사용상 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고를 내기 쉬워집니다)

1. 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요

- (1) 본약에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
- (2) 15 세 미만의 소아

2. 본약을 복용하고 있는 동안은 다음과 같은 어느 의약품도 복용하지 말아 주세요

다른 알레르기약(피부질환약, 비염용 내복약을 포함한다), 항히스타민약을 함유 하는 내복약다른 알레르기약(가죽질환약, 비염용 내복약을 포함한다), 항히스타민약을 함유 하는 내복약 (감기약, 기침을 멈추는약, 열미약,수면제)

3. 복용 후, 운전 또는 기계류의 운전 조작을 하지 말아 주세요 (잠이 오는 경우가 있습니다)
4. 수유중의 사람은 본약을 복용하지 말고 본약을 복용하는 경우는 수유를 중지하십시오 (동물 시험에서 젖에 함유되어 나온다고 확인되었습니다)
5. 복용시는 음주하지 말아 주세요

■ 상담해야 할 사항

1. 다음의 사람은 사용전에 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 전문의 또는 치과 의사의 치료를 받고 있는 사람
 - (2) 감감작요법등 , 알레르기의 치료를 받고 있는 사람
 - (3) 임신부 또는 임신하고 있다고 생각되는 사람
 - (4) 고령자
 - (5) 본인 또는 가족이 알레르기 체질인 사람
 - (6) 알레르기에 의한 증상이거나 다른 원인에 의한 증상이 확실치 않은 사람
 - (7) 다음과 같은 진단을 받은 사람
기관식전식, 아토피, 간질
 - (8) 다음과 같은 증상이 있는 사람
배뇨 곤란

2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명서를 가지고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요

- (1) 복용 후, 다음의 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
피부	발진·발적, 가려움, 부종
코	코피
정신 신경	현기증
소화기	구역질·구토, 식욕 부진, 위부 불쾌감, 복통, 구내염
그 외	심장고동, 빈뇨, 배뇨시 아픔, 혈뇨, 월경불순, 체중 증가

- (2) 복용해도 증상이 안 좋아지는 경우

3. 보기 드물게 아래와 같은 무거운 증상이 일어나는 일이 있습니다.

증상의 명칭	증상
중추 신경증상	일과성의 의식 소실, 경련, 흥분등이 나타난다
간기능 장애	발열, 발진, 몸 전체 나른함, 황달 (피부와백안이 노랗게 된다) 등이 나타난다

4. 다음과 같은 증상이 나타날 가능성이 있으므로, 이러한 증상이 계속되거나 심해졌을 경우에는 복용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요.

입건조, 변비, 설사, 졸음

5. 다음과 같은 경우는 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
증상의 개선이 보여도 복용 기간이 2 주간을 넘는 경우

보관 및 취급상 주의

- (1) 고온을 피하고 직사 광선이 없는 습기가 적은 시원한 곳에 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기로 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 일이 있습니다)
- (4) 사용 기한이 지난 제품은 사용하지 말아 주세요.

出典 発行	製造販売元 ノバルティス ファーマ株式会社 (社) 神奈川県薬剤師会
----------	---

상품명 : 파브론비염 캡셀 Z (パブロン^{びえん}鼻炎カプセル Z)
※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]
 꽃 가루, 하우스 더스트(실내티끌) 등에 의한 다음과 같은 코의 알레르기 증상의 완화 :
 재채기, 콧물(콧물 과다), 코막힘

[성분과 작용]

1 캡셀중

성분	함량
Ketotifen Fumarate (as ketotifen)	1.38mg (1.0mg)

[용법·용량]

다음의 1 회 분량을 1 일 2 회, 아침 식사 후 및 취침전에 복용해 주세요

연령	1 회 분량
성인(15 세 이상)	1 캡셀
15 세 미만	복용하지 않는 것

<용법·용량에 관한 주의>

- 정해진 용법, 용량을 준수해 주세요
- 1주간 정도 복용해도 증상이 회복되지않을 경우에는 즉시 복용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요. (개인차등에 의해 약의 효과가 나타나기까지 2 주간 정도 걸리는 경우도 있습니다)
- 캡셀 꺼내는 방법
그림과 같이 약이 들어 있는 PTP 시트의 볼록한 부분을 손가락끝으로 강하게 눌러 얇은 알루미늄을 찢어 꺼내 복용해 주세요. (잘못해서 그대로 삼키거나 하면 식도 점막에 찢히는 등 생각하지 못한 사고로 연결됩니다)

사용상 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고를 내기 쉬워집니다)

- 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요
 - (1) 본약에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
 - (2) 15 세 미만의 소아
- 본약을 복용하고 있는 동안은 다음과 같은 어느 의약품도 복용하지 말아 주세요
 다른 알레르기약(피부질환약, 비염용 내복약을 포함한다), 항히스타민약을 함유 하는 내복약다른 알레르기약(가죽질환약, 비염용 내복약을 포함한다), 항히스타민약을 함유 하는 내복약 (감기약, 기침을 멈추는약, 멀미약, 수면제)
- 복용 후, 운전 또는 기계류의 운전 조작을 하지 말아 주세요(잠이 오는 경우가 있습니다)

4. 수유중의 사람은 본약을 복용하지 말고 본약을 복용하는 경우는 수유를 중지하십시오 (동물 시험에서 젖에 함유되어 나온다고 확인되었습니다)
5. 복용시는 음주하지 말아 주세요

■ 상담해야 할 사항

1. 다음과 같은 사람은 사용전에 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 전문의 또는 치과 의사의 치료를 받고 있는 사람
 - (2) 감감작약병등 , 알레르기의 치료를 받고 있는 사람
 - (3) 임신부 또는 임신하고 있다고 생각되는 사람
 - (4) 고령자
 - (5) 본인 또는 가족이 알레르기 체질인 사람(알레르기 체질인 사람은 본약의 사용에 의해 알레르기 증상을 일으킬 가능성이 있습니다)
 - (6) 알레르기에 의한 증상이거나 다른 원인에 의한 증상이 확실치 않은 사람
 - (7) 다음과 같은 진단을 받은 사람
기관식천식, 아토피, 간질
 - (8) 다음과 같은 증상이 있는 사람
배뇨 곤란
2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명서를 가지고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 복용 후, 다음의 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
피부	발진·발적, 가려움, 부종
코	코피
정신 신경	현기증
소화기	구역질·구토, 식욕 부진, 위부 불쾌감, 복통, 구내염
그 외	심장고동, 빈뇨, 배뇨시 아픔, 혈뇨, 월경불순, 체중 증가

- (2) 복용해도 증상이 안 좋아지는 경우

3. 보기 드물게 아래와 같은 무거운 증상이 일어나는 일이 있습니다.

증상의 명칭	증상
중추 신경증상	일과성의 의식 소실, 경련, 흥분등이 나타난다
간기능 장애	발열, 발진, 몸전체 나른함, 황달 (피부와 백안이 노랗게 된다) 등이 나타난다

4. 다음과 같은 증상이 나타날 가능성이 있으므로, 이러한 증상이 계속되거나 심해졌을 경우에는 복용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요.
입건조, 변비, 설사, 졸음
5. 다음과 같은 경우는 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
증상의 개선이 보여도 복용 기간이 2주간을 넘는 경우

보관 및 취급상 주의

- (1) 고온을 피하고 직사 광선이 없는 습기가 적은 시원한 곳에 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기로 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 일이 있습니다)
- (4) 사용 기한이 지난 제품은 사용하지 말아 주세요.

発売元
 出典 大正製薬株式会社
 発行 (社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 자지텐 AL 비염 스프레이 (ザジテン AL 鼻炎スプレー)
※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]

꽃가루, 하우스 더스트(실내티끌) 등에 의한 다음과 같은 코의 알레르기 증상의 완화 :
재채기, 콧물(콧물 과다), 코막힘

[성분과 작용]

100mL 중 (포장 : 8mL/병)

성분	함량
Ketotifen fumarate (as ketotifen)	75.6mg

[용법·용량]

다음의 1 회 분량을 1 일 4 회 (아침·낮·저녁 및 취침전) 양쪽비강내에 분무해 주세요 (1 분무로 0.05mg)

연령	1 회 분량
성인(15 세 이상) 및 7 세 이상의 소아	양쪽비강내에 1 한 번에 두개
7 세 미만	사용하지 않을 것

<용법·용량에 관한 주의>

- 정해진 용법, 용량을 준수해 주세요
- 소아에게 사용시킬 경우에는 보호자의 지도·감독하에 사용시켜 주세요.
- 코치료에만 사용해 주세요
- 눈에 들어가지 않도록 주의해 주세요. 만일, 눈에 들어갔을 경우에는 곧바로 물 또는 미온수로 씻어 주세요. 또한 증상이 심할 경우에는 안과의의 진료를 받아 주세요.

사용법

처음으로 사용하실 때는 케이스의 구조상 약이 스프레이상태가 되기 어렵기 때문에 노즐(첨단 부분)을 위로 향해서 약이 스프레이상태가 될 때까지 5 회 정도 눌러 주세요

* 약의 액이 스프레이상태로 나오면 투여 준비는 완료입니다

1. 사용전에 코를 풀든지 코를 세정해 주세요
2. 캡을 떼어내 주세요.
3. 위를 향해 들고 노즐을 가볍고 비강내에 넣어 주세요
4. 레버를 손가락으로 아래까지 강하고 재빠르게 눌러 주세요. (약하게 천천히 누르면 약액이 분무되기 전에 흘러내립니다.)
5. 분무한후 약이 코안쪽 까지 스며들게 하기 위해선 머리를 뒤로 하고 몇 초간 코로 조용히 호흡해 주세요.
6. 사용후에는 노즐 부위를 청결한 티슈로 잘 닦아 뚜껑을 잘 닫아주세요
* 노즐 앞쪽의 뾰족한 곳은 접했을때 위험하므로 주의해주세요



사용상 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

- 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요
 - 7 세 미만의 소아
- 복용 후, 운전 또는 기계류의 운전 조작을 하지 말아 주세요 (졸음이 오는 경우가 있습니다)
- 수유중의 사람은 본약을 사용하지 말든가 본약을 사용할 경우에는 수유를 피해 주세요 (동물 실험으로 젖으로의 이행이 확인되었습니다)

■ 상담해야 할 사항

- 다음과 같은 사람은 사용전에 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 전문의 또는 치과 의사의 치료를 받고 있는 사람
 - (2) 감감작약병등, 알레르기의 치료를 받고 있는 사람
 - (3) 임신부 또는 임신하고 있다고 생각되는 사람
 - (4) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
 - (5) 알르레기에 의한 증상인지 다른 원인에 의한 증상인지 확실치 않는 사람
- 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명문서를 가져가 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 사용후, 다음의 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
코	건조감, 자극감
정신 신경계	탈진감, 두통

- (2) 1 주간 정도 사용해도 증상이 안 좋아지는 경우
- 다음과 같은 증상이 나타나는 경우가 있으므로, 이러한 증상이 계속되거나 심해졌을 경우에는 사용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요.

졸음
- 다음과 같은 경우에는 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요

증상의 개선이 보여도 사용 기간이 2 주간을 넘는 경우

보관 및 취급상의 주의

- (1) 고온을 피하고 직사 광선이 없는 습기가 적은 시원한 곳에 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기로 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 일이 있습니다)
- (4) 다른 사람과 공용하지 말아 주세요
- (5) 사용 기한이 지난 제품은 사용하지 말아 주세요. 또, 기한내라도 개봉 후에는 신속하게 복용해 주세요

出典 発行	製造販売元 ノバルティス ファーマ株式会社 (社) 神奈川県薬剤師会
----------	---

상품명 : 피브론비염 Z <비염 스프레이> (パブロン点鼻Z <鼻炎スプレー.>)
 ※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]

꽃가루, 하우스 더스트(실내티끌) 등에 의한 다음과 같은 코의 알레르기 증상의 완화 :
 재채기, 콧물(콧물 과다), 코막힘

[성분과 작용]

100mL 중 (포장 : 8mL/병)

성분	함량
Ketotifen fumarate (as ketotifen)	75.6mg

[용법·용량]

다음의 1 회 분량을 1 일 4 회, (아침·낮·저녁 및 취침전) 양쪽비강내에 분무해 주세요 (1 분무로 케트치펜으로서 0.05mg)

연령	회 분량
성인 (15 세이상) 및 7 세 이상의 소아	양쪽비강내에 1 번씩
7 세 미만	사용하지 않을 것

<용법·용량에 관한 주의>

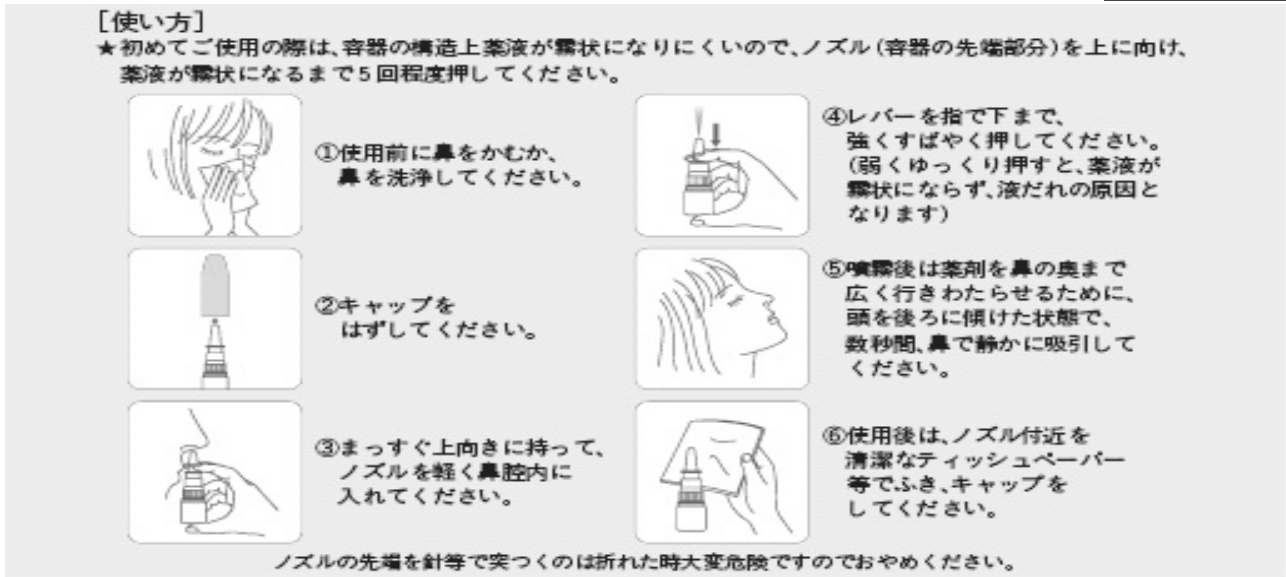
- 정해진 용법, 용량을 준수해 주세요
- 소아에게 사용시킬 경우에는 보호자의 지도·감독하에 사용시켜 주세요.
- 코에만 사용해 주세요
- 눈에 들어가지 않도록 주의해 주세요. 만일, 눈에 들어갔을 경우에는 곧바로 물 또는 미온수로 씻어 주세요.또한 증상이 심한 경우에는, 안과와의 진료를 받아 주세요.

사용법

처음으로 사용하실 때는 케이스의 구조상 약이 스프레이상태가 되기 어렵기 때문에 노즐(첨단부분)을 위로 향해서 약이 스프레이상태가 될 때까지 5 회 정도 눌러 주세요

* 약의 액이 스프레이상태로 나오면 투여 준비는 완료입니다

1. 사용전에 코를 풀든지, 코를 세정해 주세요
2. 캡을 떼어내 주세요.
3. 위를 향해 들고, 노즐을 가볍고 비강내에 넣어 주세요
4. 레버를 손가락으로 아래까지 강하고 재빠르게 눌러 주세요. (약하게 누르면, 약의 액이 스프레이상태가 되기전에 액이 흘러내리는 원인이 됩니다.)
5. 분무 후에는 약을 코의 안쪽까지 넓히기 위해서 머리를 뒤로 하고 몇 초간 코로 조용히 흡인해 주세요.
6. 사용후에는 노즐 부근을 깨끗한 화장지등으로 닦아 캡을 잘 잠궜어 주세요
 * 노즐의 앞쪽 뾰족한 곳은 접했을 때 위험하므로 주의 해 주세요



사용상 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

- 다음과 같은 사람은 복용하지 말아 주세요
 - 7 세 미만의 소아
- 복용 후, 운전 또는 기계류의 운전 조작을 하지 말아 주세요(졸음이 오는 경우가 있습니다)
- 수유중의 사람은 본약을 사용하지 말거나 본약을 사용할 경우는 수유를 피해 주세요 (동물 실험에서 젖으로 이행이 확인되었습니다)

■ 상담해야 할 사항

- 다음과 같은 사람은 사용전에 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 전문의 또는 치과 의사의 치료를 받고 있는 사람
 - (2) 감감작약병 등 , 알레르기의 치료를 받고 있는 사람
 - (3) 임신부 또는 임신하고 있다고 생각되는 사람
 - (4) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
 - (5) 알레르기에 의한 증상인지 다른 원인에 의한 증상인지 불투명한 사람
- 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명서를 가져가 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 사용후, 다음의 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
코	건조감, 자극감
정신 신경계	탈진감, 두통

- (2) 1 주일 정도 사용해도 증상이 안 좋아지는 경우
- 다음과 같은 증상이 나타나는 경우가 있으므로, 이러한 증상이 계속되거나 심해졌을 경우에는 사용을 중지하고 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요.
 졸음

4. 다음과 같은 경우에는 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
증상의 개선이 보여도 사용 기간이 2 주간을 넘는 경우

보관 및 취급상 주의

- (1) 고온을 피하고 직사 광선이 없는 습기가 적은 시원한 곳에 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기로 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 일이 있습니다)
- (4) 다른 사람과 공용하지 말아 주세요
- (5) 사용 기간이 지난 제품은 사용하지 말아 주세요. 또, 기한내라도 개봉 후에는 신속하게 복용해 주세요(품질 보관 유지를 위해)

	發 売 元
出典	大正製藥株式会社
發行	(社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 자지텐 AL 안약

(ザジテン AL点眼薬<点眼液>)

※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]

꽃가루, 하우스 더스트(실내티끌) 등에 의한 다음과 같은 눈의 알레르기 증상의 완화 :
눈의 충혈, 눈의 가려움 (눈곱이 많을 때), 눈물이 언제나 나오는 눈, 이물감(따끔따끔 아픈 느낌)

[성분과 작용]

100mL 중 (포장 : 8mL/병)

성분	함량
Ketotifen fumarate (as ketotifen)	69mg (50mg)

[용법·용량]

다음의 1회 분량을 1일 4회, (아침·낮·저녁 및 취침전) 점안 해 주세요

연령	회 분량
성인 (15 세이상) 및 1 세 이상의 소아	1~2 물방울
1 세 미만	사용하지 말것

<용법·용량에 관한 주의>

- 정해진 용법, 용량을 준수해 주세요
- 소아에게 사용할 경우에는 보호자의 지도하에 시켜 주세요.
- 눈 주위에 흘러나온 약은 곧 닦아 주세요
- 용기 앞쪽이 눈꺼풀이나 눈썹에 닿으면 눈곱이나 잡균등 때문에 약의 오염 또는 혼탁 되는 경우가 있으니 주의해 주세요. 또, 혼탁 된 약은 사용하지 말아 주세요
- 콘택트 렌즈의 약으로나 콘택트 렌즈를 사용한 채로 사용하지 말아 주세요.
- 본약은 점안용으로만 사용해 주세요

사용법

1. 사용하기 전에 손을 깨끗이 씻어 주세요
2. 아래 눈꺼풀을 가볍게 누르고 위에서 1~2 방울을 눈 안에 떨어뜨려 주세요. 용기 앞이 눈꺼풀이나 속눈썹에 직접 닿지 않도록 하고 사용후에도 용기 앞쪽이나 캡은 청결하게 취급해 주세요.
3. 약을 눈 안에 떨어뜨린 다음 눈을 감고 약이 눈에 스며들도록 해 주세요. 사용후는 캡을 잘 닫아 주세요
4. 눈 주위에 흘러나온 약은 곧바로 닦아 주세요



사용상 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의 하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

1. 다음과 같은 사람은 사용하지 말아 주세요

- 본약에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
- 1 세 미만의 소아

2. 코에 넣는 약과 병용 할 경우에는 운전 또는 기계류의 운전 조작을 하지 말아 주세요(졸음이 오는 경우가 있습니다)

■ 상담해야 할 사항

1. 다음과 같은 사람은 사용전에 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요

- (1) 전문의 또는 치과 의사의 치료를 받고 있는 사람
- (2) 감감작약병등 , 알레르기의 치료를 받고 있는 사람
- (3) 임신부 또는 임신하고 있다고 생각되는 사람
- (4) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
- (5) 다음과 같은 증상이 있는 사람
격렬한 눈의 아픔
- (6) 알레르기에 의한 증상인지 다른 원인에 의한 증상인지 확실치 않은 사람
특히 다음과 같은 경우에는 알레르기에 의하는 것이라고는 단정할 수 없기 때문에
사용전에 전문의와 상담해 주십시오

- 한쪽 눈만 증상이 있는 경우
- 눈의 증상만으로 코에는 증상이 보이지 않는 경우
- 시력에도 영향이 있는 경우
- 눈꼽이 많은 경우

2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명문서를 가져가 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요

(1) 사용후, 다음의 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
피부**	가려움
눈**	눈의 충혈, 자극감*, 통증*, 부음*, 가려움**, 눈의 주위를 포함한다
그 외	졸음

* * 사람에 따라서는, 사용 개시 초기(1~2 일째)에 눈꺼풀, 눈 주위, 뺨등에 심한 가려움, 종창, 통증 등의 증상이 나타나는 경우가 있다.

(2) 안개가 낀 것처럼, 희미해 보이는 것이 개선되지 않는 경우

(3) 1 주일 사용해도 증상이 안 좋아지는 경우

3. 다음과 같은 경우에는 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요

증상의 개선이 보여도 사용 기간이 2 주간을 넘은 경우

보관 및 취급상 주의

- (1) 고온을 피하고 , 직사 광선이 없는 습기가 적은 시원한 곳에 캡을 잘 닫아 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기로 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 일이 있습니다)
- (4) 다른 사람과 공용하지 말아 주세요
- (5) 사용 기한이 지난 제품은 사용하지 말아 주세요. 또, 기한내라도 개봉 후에는 신속하게 복용해 주세요(품질 보관 유지를 위해)

製造販売元
出典 ノバルティス ファーマ株式会社
発行 (社) 神奈川県薬剤師会

상품명 : 아이리스아레스트<안약> (アイリスアレスト<点眼液>)
 ※아래와 같은 주의를 잘 읽어 올바르게 사용해 주세요

제품 개요

[효능]

꽃 가루, 하우스 더스트(실내티끌) 등에 의한 다음과 같은 눈의 알레르기 증상의 완화: 눈의 충혈, 눈의 가려움 (눈곱이 많을 때), 눈물이 언제나 나오는 눈, 이물감(따끔따끔한 느낌)

[성분과 작용]

100mL 중 (포장 : 10mL/병)

성분	함량
Ketotifen fumarate (as ketotifen)	69mg (50mg)

[용법·용량]

다음의 1 회 분량을 1 일 4 회, (아침·낮·저녁 및 취침전) 점안 해 주세요

연령	회 분량
성인 (15 세이상) 및 1 세 이상의 소아	1~2 방울
1 세 미만	사용하지 말것

<용법·용량에 관한 주의>

- 정해진 용법, 용량을 준수해 주세요
- 소아에게 사용시킬 경우에는 보호자의 지도하에 시켜 주세요.
- 눈의 주위에 흘러나온 약은 곧 닦아 주세요
- 용기 앞쪽이 눈꺼풀이나 속눈썹에 닿으면, 눈곱이나 세균 때문에 약의 오염 또는 혼탁 되는 일이 있으므로 주의해 주세요. 또, 혼탁 된 약은 사용하지 말아 주세요
- 콘택트 렌즈의 액으로나 콘택트 렌즈를 장착한 채로 사용하지 말아 주세요.
- 본약은 점안용으로만 사용해 주세요

사용법

1. 사용하기 전에 손을 깨끗이 씻어 주세요
2. 아래 눈꺼풀을 가볍게 누르고 위에서 1~2 방울을 눈 안에 떨어뜨려 주세요.용기 앞쪽이 눈꺼풀이나 속눈썹에 직접 닿지 않도록 또 사용후에도 용기의 앞쪽이나 캡은 청결하게 취급해 주세요.
3. 약을 눈 안에 떨어뜨린 다음 눈감고 약이 눈에 잘 스며들도록 해 주세요.사용후는 캡을 잘 닫아 주세요
4. 눈의 주위에 흘러나온 약은 곧바로 닦아 주세요

사용상 주의

아래와 같은 주의를 잘 읽고 올바르게 사용해 주세요

■ 주의 사항

(주의 하지 않으면 현재의 증상이 악화되거나 부작용·사고가 나기 쉽습니다)

1. 다음과 같은 사람은 사용하지 말아 주세요
 - 본약에 의한 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람(본약의 사용에 의해 다시 알레르기 증상을 일으킬 가능성이 있습니다)
 - 1 세 미만의 소아
2. 코에 떨어뜨리는 약과 병용 할 경우에는 운전 또는 기계류의 운전 조작을 하지 말아 주세요 (졸음이 오는 경우가 있습니다)

■ 상담해야 할 사항

1. 다음과 같은 사람은 사용전에 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 전문의 또는 치과 의사의 치료를 받고 있는 사람
 - (2) 감감작약병등 , 알레르기의 치료를 받고 있는 사람
 - (3) 임신부 또는 임신하고 있다고 생각되는 사람
 - (4) 약에 의해 알레르기 증상을 일으켰던 적이 있는 사람
 - (5) 다음과 같은 증상이 있는 사람
격렬한 눈의 아픔
 - (6) 알레르기에 의한 증상인지 다른 원인에 의한 증상인지 확실치 않은 사람
특히 다음과 같은 경우는 알레르기에 의하는 것이라고는 단정할 수 없기 때문에
사용전 전문의와 상담해 주십시오
 - 한쪽 눈만 증상이 있는 경우
 - 눈의 증상만으로 코에는 증상이 보이지 않는 경우
 - 시력에도 영향이 있는 경우
 - 눈곱이 많은 경우
2. 다음과 같은 경우에는 즉시 사용을 중지하고 이 설명서를 가져가 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
 - (1) 사용후, 다음과 같은 증상이 나타났을 경우

관계 부위	증상
피부**	가려움
눈**	눈의 충혈, 자극감*, 통증*, 종창*, 가려움**, 눈의 주위를 포함한다
그 외	졸음

* * 사람에 따라서는 사용 개시 초기(1~2 일째)에 눈꺼풀, 눈의 주위, 뺨등에 심한 가려움증, 부음, 종창, 아픔등의 증상이 나타나는 경우가 있다.

- (2) 안개가 낀 것처럼 희미해 보이는 것이 개선되지 않는 경우
 - (3) 1 주정도 사용해도 증상이 안 좋아질 경우
3. 다음과 같은 경우에는 전문의 또는 약제사와 상담해 주세요
증상의 개선이 보여도 사용 기간이 2 주간을 넘는 경우

보관 및 취급상 주의

- (1) 고온을 피하고, 직사 광선이 없는 습기가 적은 시원한 곳에 캡을 잘 닫아 보관해 주세요
- (2) 소아의 손이 닿지 않는 곳에 보관해 주세요
- (3) 다른 용기로 바꾸어 넣지 말아 주세요(오용의 원인이 되거나 품질이 바뀌는 일이 있습니다)
- (4) 다른 사람과 공용하지 말아 주세요
- (5) 차의 대쉬보드등의 고온에 방치하지 말아 주세요.
- (6) 사용 기간이 지난 제품은 사용하지 말아 주세요. 또, 기한내라도 개봉 후에는 신속하게 복용해 주세요(품질 보관 유지를 위해)

発売元
 大正製薬株式会社
 (社) 神奈川県薬剤師会
 出典
 発行

药品名称：阿库其毕阿〈阿昔洛韦软膏〉[皮肤外用药]（アクチビア軟膏）^{なんこう}
 ※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

复发性口唇疱疹。（仅限于以往接受过医生的诊断和治疗的患者使用）

[成分与作用]

抗疱疹剂 1 g 中含以下成分：

成分	含量	作用
阿昔洛韦	50mg	抑制疱疹病毒的增生

[用法用量]

取适量软膏涂抹患处。1 日 3～5 次。（嘴唇及周围如有灼痛、刺痛、瘙痒等反应时请立即涂抹。）

症状・使用方法・禁用情况等注解

- 灼痛感及刺痛感是口唇疱疹复发的征兆。请从这样的复发的初期开始使用。
- 涂药时间以饭后及就寝前为宜。
- 家中有初次得口唇疱疹的患者（非复发性患者）切忌使用或误用此药。

<用药注意事项>

- 严守指定的用法，用量。
- 儿童必须在成人监护下使用。
- 请注意防止药剂进入眼中。万一不慎误入眼部，请立即用冷水或温水清洗。情况严重时请向眼科医生咨询并接受治疗。
- 本药品仅限于外用药。
- 该药品即便不慎误入口中也不妨大碍，但请不要刻意放入口中或涂抹口腔内。

使用注意事项

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿使用。

- （1）第一次发生疱疹的患者和大范围疱疹发生患者请勿使用。（第一次发生疱疹的患者使用该药剂可能会引起症状恶化，大范围扩散的现象。这表明病情严重，应去医院接受治疗。）
- （2）对该药剂或硝苯盐酸类制剂有过过敏症状的人。（有过敏反应的人有可能因该药剂而再次引发过敏症。）
- （3）不满 6 岁的幼儿。（幼儿出现疱疹属初次发病的可能性很高。）

2. 下列部位不能使用该药剂。

- (1) 眼睛及眼部周围（误入眼中可能造成刺激性症状。）。
- (2) 嘴唇及其周围以外的部位（口唇疱疹的出现仅限嘴唇及其周围）。

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 有下述情况的人使用该药剂前应向医生或药剂师进行咨询。

- (1) 正在接受医生治疗的人。（该药剂可能对正在服用的其他药产生影响，或医生处方中可能有和该药相同的药剂）。
- (2) 孕妇或有可能怀孕的妇女。（应慎重使用药剂，需要咨询专业医师。）
- (3) 哺乳期妇女。（使用含该药剂相同成分的内服药，可造成乳汁内出现该成分的现象）。
- (4) 患者本人或家属中有过敏体质的人。（有过敏反应的人有可能因使用该药剂而引发过敏症现象）。
- (5) 因用药而引起过过敏症状的人。（曾使用某种药剂而引发过过敏反应的人，有可能因使用本药剂造成相同现象）。
- (6) 浸润或溃烂症状严重的人。（重症情况下，有必要咨询专业医师并接受医师的指示）。
- (7) 有过敏性皮炎的人。（使用本药剂有可能造成症状加重，有必要咨询专业医师并接受医师的指示）。

2. 出现以下情况时，应立即停止使用，并携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

- (1) 使用后出现以下症状时。

相关部位	症状
皮肤	发疹・皮肤发红、发肿、刺痒、出现斑疹、刺痛感、疼痛、干燥、灼热感、脱屑(皮肤脱落)、荨麻疹

（上述现象可能是因使用本药剂而引发的过敏症状，也可能是本药剂的药理作用强烈而造成的。在这种情况下，如果继续使用同种药剂有可能造成症状恶化。）

- (2) 使用 7 天左右后仍不见症状好转时。（使用 7 天左右后仍不见症状改善时，其原因有可能是病情较重或患有其他疾病，此时，请及时咨询医师或药剂师。）

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、30℃以下的阴凉处，密封保存。
- (2) 请保管于幼儿不能触摸的安全地方。
- (3) 在使用前、使用后，请将手洗干净。
- (4) 请不要将药剂换放到其他容器中。（由此可能造成他人误用，或造成药剂变质的现象。）
- (5) 请不要使用超过规定的使用期限的药剂。即使是在使用期限内，开封后过了 6 个月药剂也请不要使用。（为了保持药剂品质）

出典 製造販売元：グラクソ・スミスクライン株式会社
 発行 (社) 神奈川県薬剤師会

药品名称：嘿卢陪西阿（抗疱疹剂软膏）[皮肤外用药]（ヘルペシア^{なんこう}軟膏）
 ※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

复发性口唇疱疹。（仅限于以往接受过医生的诊断和治疗的患者使用）

[成分与作用]

抗疱疹剂 1 g 中含以下成分：

成分	含量	作用
阿昔洛韦	50mg	抑制疱疹病毒的增生

[用法用量]

取适量软膏涂抹患处。1 日 3～5 次。（嘴唇及周围如有灼痛、刺痛、瘙痒等反应时请立即涂抹。）

症状・使用方法・禁用情况等注解

- 灼痛感及刺痛感是口唇疱疹复发的征兆。请从这样的复发的初期开始使用。
- 涂药时间以饭后及就寝前为宜。
- 家中有初次得口唇疱疹的患者（非复发性患者）切忌使用或误用此药。

<用药注意事项>

- 严守指定的用法，用量。
- 儿童必须在成人监护下使用。
- 请注意防止药剂进入眼中。万一不慎误入眼部，请立即用冷水或温水清洗。情况严重时请向眼科医生咨询并接受治疗。
- 本药品仅限于外用药。
- 该药品即便不慎误入口中也不妨大碍，但请不要刻意放入口中或涂抹口腔内。

使用注意事项

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿使用。

- （1）第一次发生疱疹的患者和大范围疱疹发生患者请勿使用。（第一次发生疱疹的患者使用该药剂可能会引起症状恶化，大范围扩散的现象。这表明病情严重，应去医院接受治疗。）
- （2）对该药剂或硝苯盐酸类制剂有过过敏症状的人。（有过敏反应的人有可能因该药剂而再次引发过敏症。）
- （3）不满 6 岁的幼儿。（幼儿出现疱疹属初次发病的可能性很高。）

2. 下列部位不能使用该药剂。

- (1) 眼睛及眼部周围（误入眼中可能造成刺激性症状。）。
- (2) 嘴唇及其周围以外的部位（口唇疱疹的出现仅限嘴唇及其周围）。

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 有下述情况的人使用该药剂前应向医生或药剂师进行咨询。

- (1) 正在接受医生治疗的人。（该药剂可能对正在服用的其他药产生影响，或医生处方中可能有和该药相同的药剂）。
- (2) 孕妇或有可能怀孕的妇女。（应慎重使用药剂，需要咨询专业医师。）
- (3) 哺乳期妇女。（使用含该药剂相同成分的内服药，可造成乳汁内出现该成分的现象）。
- (4) 患者本人或家属中有过敏体质的人。（有过敏反应的人有可能因使用该药剂而引发过敏症现象）。
- (5) 因用药而引起过过敏症状的人。（曾使用某种药剂而引发过过敏反应的人，有可能因使用本药剂造成相同现象）。
- (6) 浸润或溃烂症状严重的人。（重症情况下，有必要咨询专业医师并接受医师的指示）。
- (7) 有过敏性皮炎的人。（使用本药剂有可能造成症状加重，有必要咨询专业医师并接受医师的指示）。

2. 出现以下情况时，应立即停止使用，并携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

- (1) 使用后出现以下症状时。

相关部位	症状
皮肤	发疹・皮肤发红、发肿、刺痒、出现斑疹、刺痛感、疼痛、干燥、灼热感、脱屑(皮肤脱落)、荨麻疹

（上述现象可能是因使用本药剂而引发的过敏症状，也可能是本药剂的药理作用强烈而造成的。在这种情况下，如果继续使用同种药剂有可能造成症状恶化。）

- (2) 使用 7 天左右后仍不见症状好转时。（使用 7 天左右后仍不见症状改善时，其原因有可能是病情较重或患有其他疾病，此时，请及时咨询医师或药剂师。）

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、30℃以下的阴凉处，密封保存。
- (2) 请保管于幼儿不能触摸的安全地方。
- (3) 在使用前、使用后，请将手洗干净。
- (4) 请不要将药剂换放到其他容器中。（由此可能造成他人误用，或造成药剂变质的现象。）
- (5) 请不要使用超过规定的使用期限的药剂。即使是在使用期限内，开封后过了 6 个月药剂也请不要使用。（为了保持药剂品质）

出典
発行



大正製薬株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

药品名称 S.塔克易布法因<药片>[综合感冒药]（エスタックイブファイン<錠剤>）^{じょうざい}

※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

用于缓解各种感冒症状。（发烧、发冷、咳嗽、生痰、咽喉疼痛、鼻涕、鼻塞、打喷嚏、头痛、关节痛，肌肉痛。）

[成分与作用]

9片（成人每日药量）中成份含量如下：

成分	含量	作用
非甾体药	450mg	发烧、头痛、咽喉疼痛等、缓解发热及疼痛。
盐酸氨溴索	45mg	容易引导出堆积于喉咙中的咳嗽。
异丙碘胺	6mg	缓解鼻涕症状。
磷酸双氢可待因	24mg	作用于咳嗽中枢神经，缓解咳嗽。
dl-盐酸甲基麻黄碱	60mg	扩张支气管，使呼吸流畅，减缓咳嗽。
马来酸氯苯那敏	7.5mg	缓解打喷嚏、鼻涕、鼻塞等症状。
无水咖啡因	75mg	缓解头疼。
维他命 C	300mg	补充感冒时容易流失的维他命。
硝酸硫胺（维他命 B1 硝酸盐）	24mg	

[用法用量]

每次用量如下表所示，每日三次，尽量在饭后 30 分钟以内服用。

年龄	每次用量
成人（15 岁以上）	3 片
15 岁以下	请勿服用

<用药注意事项>

- 请遵守规定的用法及用量。

使用注意事项

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿服用。

- （1）曾因本药剂引起过过敏症状者。
- （2）服用本药剂或其它感冒药、解热镇痛药剂后引起哮喘者。
- （3）15 岁以下儿童。

2. 服用本药剂期间，请勿服用以下药品。

其它感冒药、解热镇痛药剂、镇静剂、止咳祛痰药、含抗组胺的内服药剂（鼻炎用内服药、防晕车药、过敏药）。

3. 服用后请勿驾驶或进行机械类操作。（可能会出现嗜睡、视力减退或异常晃眼等症状。）

4. 哺乳期妇女请勿服用本药剂。如需服用请勿进行哺乳。

5. 服用期间请勿饮酒。

6. 请勿连续服用 5 天以上。

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 以下人群服用前请咨询医师或药剂师。

(1) 正在接受医生或牙医治疗，或正在服用其它药品者。

(2) 孕妇或有可能怀孕的妇女。（应慎重使用药剂，需要咨询专业医师。）

(3) 高龄者。

(4) 患者本人或家族中有过敏体质者。

(5) 曾因服药而产生出现过过敏症状者。

(6) 有以下症状者。

高烧、排尿困难。

(7) 被诊断为患有以下疾病者。

高血压、心脏病、糖尿病、青光眼、肝病、肾病、甲状腺机能障碍、皮肤系统性红斑狼疮、混合性结缔组织病。

(8) 曾经患有以下疾病者。

胃病、十二指肠溃疡、溃疡性大肠炎、克隆病。

2. 出现以下情况时，应立即停止服用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

(1) 服用后出现以下症状时

关系部位	症状
皮肤	发疹、发红、瘙痒
消化器官	恶心、呕吐、食欲不振、胃疼、胃部不适、胃胀、胃灼热、腹痛、腹胀、口腔炎
精神神经	头晕
其它	视线模糊、耳鸣、排尿困难、浮肿、麻木感

或者出现以下罕见重症时，应马上前往医院就诊。

症状名称	症状
休克（过敏性反应）	服用后马上出现荨麻疹、浮肿、胸闷的同时脸色发白，手脚冰凉，出冷汗等。
皮肤粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、中毒性表皮坏死症（Lyell's syndrome）	伴随高烧，出现发疹、发红、如烫伤状的水泡等严重症状，体现在全身的皮肤、口眼等粘膜处。
肝功能障碍	出现全身无力、黄疸（皮肤或眼白呈黄色）等症状
肾功能障碍	出现尿量减少、全身肿胀及呼吸困难、无力、恶心、呕吐、尿血、蛋白尿等症状
无菌性脑膜炎	伴随脖子僵硬产生剧烈头疼、发烧、恶心呕吐等症状。（此种症状为患有皮肤系统性红斑狼疮、混合性结缔组织病患者多发。）
间质性肺炎	干咳（无痰咳嗽）及气喘、呼吸困难、发烧等症状（以上症状不易与感冒症状区分，干咳、发烧等症状严重时请停止服用，前往医院就诊。）
哮喘	

(2) 服用 5～6 次后症状仍无缓解时。（特别是发烧持续 3 日以上，或反复发烧时。）

3. 服用此药可能出现便秘、痢疾、口干等症状。如果这些症状持续出现或严重时，请停止服用，并咨询医师或药剂师。

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处，密封保存。
- (2) 请保管于幼儿不能触及的安全地方。
- (3) 请勿放入其它容器（会造成误食或药品变质。）
- (4) 请勿用湿手拿取本药剂。因为会使糖衣产生色斑、变色。
- (5) 药瓶中的填充物是为防止运输中药片破损。开封后不再需要，请丢弃。
- (6) 请勿服用过期药品。即便是在服用期限内，请在开封后 6 个月内服用。

出典
発行



製造販売元

エスエス製薬株式会社

（社）神奈川県薬剤師会

药品名称 S.塔克易布法因<粉末>[综合感冒药]（エスタックイブファイン<顆粒>）

※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

用于缓解各种感冒症状。（发烧、发冷、咳嗽、生痰、咽喉疼痛、鼻涕、鼻塞、打喷嚏、头痛、关节痛，肌肉痛。）

[成分与作用]

1 包（1.3g）中成份含量如下：

成分	含量	作用
非甾体药	150mg	发烧、头痛、咽喉疼痛等、缓解发热及疼痛。
盐酸氨溴索	15mg	容易引导出堆积于嗓子中的咳嗽。
异丙碘胺	2mg	缓解鼻涕症状。
磷酸双氢可待因	8mg	作用于咳嗽中枢神经，缓解咳嗽。
dl-盐酸甲基麻黄碱	20mg	扩张支气管，使呼吸流畅，减缓咳嗽。
马来酸氯苯那敏	2.5mg	缓解打喷嚏、鼻涕、鼻塞等症状。
无水咖啡因	25mg	缓解头痛。
ascorbic acid（维他命 C）	100mg	补充感冒时容易流失的维他命。
硝酸硫胺（维他命 B1 硝酸盐）	8mg	

[用法用量]

每次用量如下表所示，每日三次，尽量在饭后 30 分钟以内服用。

年龄	每次用量
成人（15 岁以上）	1 包
15 岁以下	请勿服用

<用药注意事项>

- 请遵守规定的用法及用量。

使用注意事项

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿服用。

- （1）曾因本药剂引起过敏症状者。
- （2）服用本药剂或其它感冒药、解热镇痛药剂后引起哮喘者。
- （3）15 岁以下儿童。

2. 服用本药剂期间，请勿服用以下药品。
其它感冒药、解热镇痛药剂、镇静剂、止咳祛痰药、含抗组胺的内服药剂（鼻炎用内服药、防晕车药、过敏药）。
3. 服用后请勿驾驶或进行机械类操作。（可能会出现嗜睡、视力减退或异常晃眼等症状。）
4. 哺乳期妇女请勿服用本药剂。如需服用请勿进行哺乳。
5. 服用期间请勿饮酒。
6. 请勿连续服用超过 5 天。

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 以下人群服用前请咨询医师或药剂师。
 - (1) 正在接受医生或牙医治疗，或正在服用其它药品者。
 - (2) 孕妇或有可能怀孕的妇女。
 - (3) 高龄者。
 - (4) 本人或家族中有过敏体质者。
 - (5) 曾因服药而产生出现过过敏症状者。
 - (6) 有以下症状者。
高烧、排尿困难。
 - (7) 被诊断为患有以下疾病者。
高血压、心脏病、糖尿病、青光眼、肝病、肾病、甲状腺机能障碍、皮肤系统性红斑狼疮、混合性结缔组织病。
 - (8) 曾经患有以下疾病者。
胃病、十二指肠溃疡、溃疡性大肠炎、克隆病。
2. 出现以下情况时，应立即停止服用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

- (1) 服用后出现以下症状时

关系部位	症状
皮肤	发疹、发红、瘙痒
消化器官	恶心、呕吐、食欲不振、胃疼、胃部不适、胃胀、胃灼热、腹痛、腹胀、口腔炎
精神神经	头晕
其它	视线模糊、耳鸣、排尿困难、浮肿、麻木感

或者出现以下罕见重症时，应马上前往医院就诊。

症状名称	症状
休克（过敏性反应）	服用后马上出现荨麻疹、浮肿、胸闷的同时脸色发白，手脚冰凉，出冷汗等。
皮肤粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、中毒性表皮坏死症（Lyell's 症候群）	伴随高烧，出现发疹、发红、如烫伤状的水泡等严重症状，体现在全身的皮肤、口眼等粘膜处。
肝功能障碍	出现全身无力、黄疸（皮肤或眼白呈黄色）等症状
肾功能障碍	出现尿量减少、全身肿胀及呼吸困难、无力、恶心、呕吐、尿血、蛋白尿等症状
无菌性脑膜炎	伴随脖子僵硬产生剧烈头疼、发烧、恶心呕吐等症状。（此种症状为患有皮肤系统性红斑狼疮、混合性结缔组织病患者多发。）
间质性肺炎	干咳（无痰咳嗽）及气喘、呼吸困难、发烧等症状（以上症状不易与感冒症状区分，干咳、发烧等症状严重时请停止服用，前往医院就诊。）
哮喘	

(2) 服用 5～6 次症状仍无缓解时。（特别是发烧持续 3 日以上，或反复发烧时。）

3. 服用此药可能出现以下症状。如果这些症状持续出现或严重时，请停止服用，并咨询医师或药剂师。
便秘、痢疾、口干。

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处，密封保存。
- (2) 请保管于幼儿不能拿到的安全地方。
- (3) 请勿放入其它容器（会造成误食或药品变质。）
- (4) 请勿服用过期药品。即便是在服用期限内，请在开封后 6 个月内服用。

出典
発行



製造販売元

Eisai 製薬株式会社

（社）神奈川県薬剤師会

药品名称: 帕布龙艾氏 AX 片<药片>[综合感冒药] (パブロンエース A X 錠 <錠剂>)

※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

用于缓解各种感冒症状。(发烧、恶寒、咳嗽、生痰、咽喉疼痛、鼻涕、鼻塞、打喷嚏、头痛、关节痛、肌肉痛)

[成分与作用]

一次服用量(3片)中成份含量如下:

成分	含量	作用
非甾体药	150mg	发烧、头痛、咽喉疼痛等、缓解发烧及疼痛。
盐酸氨溴索	15mg	容易引导出堆积于嗓子中的咳嗽。
磷酸双氢可待因	8mg	作用于咳嗽中枢神经，缓解咳嗽。
dl-盐酸甲基麻黄碱	20mg	扩张支气管，使呼吸畅通，减缓咳嗽。
马来酸氯苯那敏	2.5mg	缓解喷嚏、鼻涕、鼻塞等症状。
无水咖啡因	25mg	缓解头痛。
维他命 C	166.7mg	补充感冒时容易流失的维他命。
硝酸硫胺(维他命 B1 硝酸盐)	8mg	
Riboflavin(维他命 B2)	4mg	

[用法用量]

每次用量如下表所示，每日三次，尽量在饭后 30 分钟以内服用。

年龄	每次用量
成人(15 岁以上)	3 片
15 岁以下	请勿服用

<用药注意事项>

- 请遵守规定的用法用量。
- 取出药片的方法:
用手指用力挤压含有片剂的 PTP 卡片突起部位，背面铝箔破裂后取出药片服用。(如操作失误直接服用，可能会引发刺伤食道粘膜等事故。)

使用注意事项

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

(如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。)

1. 以下患者请勿服用。

- (1) 曾因本药剂引起过敏症状者。
- (2) 服用本药剂或其它感冒药、解热镇痛药剂后引起哮喘者。
- (3) 15 岁以下儿童。

2. 服用本药剂期间，请勿服用以下药品。

其它感冒药、解热镇痛药剂、镇静剂、止咳祛痰药、含抗组胺的内服药剂（鼻炎用内服药、防晕车药、过敏药）

3. 服用后请勿驾驶或进行机械类操作。（可能会出现嗜睡、视力减退或异常晃眼等症状。）

4. 哺乳期妇女请勿服用本药剂。如需服用请勿进行哺乳。

5. 服用期间请勿饮酒。

6. 请勿连续服用超过 5 天。

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 以下人群服用前请咨询医师或药剂师。

(1) 正在接受医生或牙医治疗，或正在服用其它药品者。

(2) 孕妇或有可能怀孕的妇女。

(3) 高龄者。

(4) 本人或家族中有过敏体质者。

(5) 曾因服药而出现过敏症状者。

(6) 有以下症状者。

高烧、排尿困难。

(7) 被诊断为患有以下疾病者。

高血压、心脏病、糖尿病、青光眼、肝病、肾病、甲状腺机能障碍、皮肤系统性红斑狼疮、混合性结缔组织病。

(8) 曾经患有以下疾病者。

胃病、十二指肠溃疡、溃疡性大肠炎、克隆病。

2. 出现以下情况时，应立即停止服用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

(1) 服用后出现以下症状时

关系部位	症状
皮肤	发疹、发红、瘙痒
消化器官	恶心、呕吐、食欲不振、胃痛、胃部不适、胃胀、胃灼热、腹痛、腹胀、口腔炎
精神神经	头晕、麻木感
其它	视线模糊、耳鸣、排尿困难、浮肿

如果出现以下罕见重症时，应立即前往医院就诊。

症状名称	症状
休克（过敏性反应）	服用后马上出现荨麻疹、浮肿、胸闷的同时脸色发白，手脚冰凉，出冷汗等。
皮肤粘膜眼症候群 （Stevens-Johnson 症候群） 中毒性表皮坏死症 （Lyell's 症候群）	伴随高烧，发疹发红、如烫伤状的水泡等严重症状，体现在全身的皮肤、口部眼部等粘膜处。
肝功能障碍	出现全身无力、黄疸（皮肤或眼白呈黄色）等症状
肾功能障碍	出现尿量减少、全身肿胀及呼吸困难、无力、恶心、呕吐、尿血、尿蛋白等症状
无菌性脑膜炎	伴随脖子僵硬产生剧烈头疼、发烧、恶心呕吐等症状。（此类症状为患有皮肤系统性红斑狼疮、混合性结缔组织病患者多发。）
间质性肺炎	干咳（无痰咳嗽）及气喘、呼吸困难、发烧等症状（以上症状不易与感冒症状区分，干咳、发烧等症状严重时请停止服用，前往医院就诊。）
哮喘	

(2) 服用 5～6 次症状仍无缓解时（特别是发烧持续 3 日以上，或反复发烧时）

3. 服用此药可能出现以下症状。如果这些症状持续出现或严重时，请停止服用，并咨询医师或药剂师。
便秘、痢疾、口干

4. 有可能会出现以下症状：

服用本药剂后，会出现尿黄现象。这是因为药品中含有维生素 B2，因此无需担心。

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处，密封保存。
- (2) 儿童不易触摸的安全地方。
- (3) 请勿放入其它容器（会造成误食或药品变质。）
- (4) 请勿服用过期药品。即便是在服用期限内，请在开封后 6 个月内服用。（为确保品质）

出典
発行



大正製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

药品名称：帕布龙艾氏 AX〈粉末〉[综合感冒药]（パブロンエース AX<微粒>）
 ※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

用于缓解各种感冒症状。（发烧、恶寒、咳嗽、生痰、咽喉疼痛、鼻涕、鼻塞、打喷嚏、头痛、关节痛、肌肉痛。）

[成分与作用]

1 包(1.3g) 中成份含量如下：

成分	含量	作用
非甾体药	150mg	发烧、头痛、咽喉痛等、缓解发烧及疼痛。
盐酸氨溴索	15mg	容易引导出堆积于嗓子中的咳嗽。
磷酸双氢可待因	8mg	作用于咳嗽中枢神经，缓解咳嗽。
dl-盐酸甲基麻黄碱	20mg	扩张支气管，使呼吸畅通，减缓咳嗽。
马来酸氯苯那敏	2.5mg	缓解喷嚏、鼻涕、鼻塞等症状。
无水咖啡因	25mg	缓解头痛。
ascorbic acid（维他命 C）	166.7mg	补充感冒时容易流失的维他命。
硝酸硫胺（维他命 B1 硝酸盐）	8mg	
Riboflavin（维他命 B2）	4mg	

[用法用量]

每次用量如下表所示，每日三次，尽量在饭后 30 分钟以内服用。

年龄	每次用量
成人（15 岁以上）	1 包
15 岁以下	请勿服用

<用药注意事项>

- 请遵守规定的用法与用量。

使用注意事项

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿服用。

- (1) 曾因本药剂引起过过敏症状者。
- (2) 服用本药剂或其它感冒药、解热镇痛药剂后引起哮喘者
- (3) 15 岁以下儿童。

2. 服用本药剂期间，请勿服用以下药品。

其它感冒药、解热镇痛药剂、镇静剂、止咳祛痰药、含抗组胺的内服药剂（鼻炎用内服药、防晕车药、过敏药）

3. 服用后请勿驾驶或进行机械类操作。（可能会出现嗜睡、视力减退或异常晃眼等症状。）

4. 哺乳期妇女请勿服用本药剂。如需服用请勿进行哺乳。（通过动物实验表明，可造成乳汁内出现该成分的现象。）

5. 服用期间请勿饮酒。

6. 请勿连续服用超过 5 天。

■ 需要向医师咨询的事宜

1. 以下人群服用前请咨询医师或药剂师。

(1) 正在接受医生或牙医治疗，或正在服用其它药品者。

(2) 孕妇或有可能怀孕的妇女。

(3) 高龄者。

(4) 本人或家族中有过敏体质者。

(5) 曾因服药而产生出现过过敏症状者。

(6) 有以下症状者。

高烧、排尿困难。

(7) 被诊断为患有以下疾病者。

高血压、心脏病、糖尿病、青光眼、肝病、肾病、甲状腺机能障碍、皮肤系统性红斑狼疮、混合性结缔组织病。

(8) 曾经患有以下疾病者。

胃病、十二指肠溃疡、溃疡性大肠炎、克隆病。

2. 出现以下情况时，应立即停止服用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

(1) 服用后出现以下症状时

关系部位	症状
皮肤	发疹、发红、瘙痒
消化器官	恶心、呕吐、食欲不振、胃痛、胃部不适、胃胀、胃灼热、腹痛、腹胀、口腔炎
精神神经	头晕、麻木感
其它	视线模糊、耳鸣、排尿困难、浮肿

如果出现以下罕见重症时，应马上前往医院就诊。

症状名称	症状
休克（过敏性反应）	服用后马上出现荨麻疹、浮肿、胸闷的同时脸色发白，手脚冰凉，出冷汗等。
皮肤粘膜眼症候群 （Stevens-Johnson 症候群） 中毒性表皮坏死症 （Lyell's 症候群）	伴随高烧，出现发疹、发红、如烫伤状的水泡等严重症状，体现在全身的皮肤、口部眼部等粘膜处。
肝功能障碍	出现全身无力、黄疸（皮肤或眼白呈黄色）等症状
肾功能障碍	出现尿量减少、全身肿胀及呼吸困难、无力、恶心、呕吐、尿血、蛋白尿等症状
无菌性脑膜炎	伴随脖子僵硬产生剧烈头痛、发烧、恶心呕吐等症状。（此种症状为患有皮肤系统性红斑狼疮、混合性结缔组织病患者多发。）
间质性肺炎	干咳（无痰咳嗽）及气喘、呼吸困难、发烧等症状（以上症状不易与感冒症状区分，干咳、发烧等症状严重时请停止服用，前往医院就诊。）
哮喘	

(2) 服用 5～6 次症状仍无缓解时（特别是发烧持续 3 日以上，或反复发烧时）

3. 服用此药可能出现以下症状。如果这些症状持续出现或严重时，请停止服用，并咨询医师或药剂师。
便秘、痢疾、口干

4. 有可能会出现以下症状：

服用本药剂后，会出现尿黄现象。这是因为药品中含有维生素 B2，因此无需担心。

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处，密封保存。
- (2) 儿童不易触及处。
- (3) 请勿放入其它容器（会造成误食或药品变质。）
- (4) 请勿服用过期药品。

出典
発行



大正製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

药品名称：嘎仕塔 10 〈粉末〉[胃药]（ガスター10^{さん}<散>）
 ※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

胃疼、胃灼热、胃胀、恶心。

<功能主治与效果注意事项>

如果有上述功能及功效记载以外的症状，请不要服用本药剂。

[成分与作用]

1 包（成 0.5g）中成份含量如下：

成分	含量	作用
法莫替丁	10mg	控制胃酸分泌过多。

[用法用量]

- 请按如下方法，用凉水或热水服用。

年龄	每次用量	每日服用次数
成人（15 岁以上，80 岁以下）	1 包	最多 2 次
儿童（15 岁以下）	请勿服用。	
高龄者（80 岁以上）		

此药剂不限制服用时间，可在症状出现时服用。对进食无影响，可在饭前、饭后、进餐期间服用。每次 1 包可控制 8 小时的胃酸分泌，1 日服用 2 次时，请间隔 8 小时以上。

- 请遵守规定的用法及用量。
- 服用 8 小时以上症状仍无缓解时，请再服用 1 包。
- 症状消失后，请停止服用。
- 服用 3 日后症状仍无改善，请停止服用，并咨询医师或药剂师。
- 请勿连续服用 2 周以上。

<用药注意事项>

- （1）服用本药剂时，请控制饮酒。（药品一般不能与酒精类饮料一同饮用。）

使用注意事项

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿服用。

- (1) 对法莫替丁等 H₂ 阻断剂过敏者（如：发疹，发红，发痒，喉咙、眼皮、嘴唇肿胀）。（服用本药剂可能会再次出现过敏症状。）
- (2) 在医疗机构接受以下疾病治疗或服用过其药品的人：
血液疾病，肾脏、肝脏疾病，心脏疾病，胃、十二指肠疾病，哮喘、风湿等免疫系统疾病，类固醇药剂、抗生素、抗癌剂、一氮二烯伍圀抗真菌剂
（会引起白血球减少或血小板减少。）
（患有肾脏、肝脏等疾病时，由于药剂排泄变慢而使药效过强。）
（患有心肌梗塞、心脏瓣膜症、心脏病等心脏疾病时，伴随心电图的异常会有脉象紊乱的现象。）
（接受胃、十二指肠疾病治疗者，已经接受法莫替丁或类似药方的可能性较高，请注意避免重复服用。）
（一氮二烯伍圀抗真菌剂吸收低下造成效果减弱。）
- (3) 被医师指出红血球稀少（贫血）、血小板稀少、（不易止血，易出血）、白血球量少等有血液异常者（本药剂有可能会再次引发血液异常。）
- (4) 15 岁以下儿童及高龄者（80 岁以上）。
- (5) 孕妇及有可能怀孕的妇女或哺乳期妇女。

2. 服用本药剂期间，请勿服用以下药品。

其它肠胃药。

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 以下人群服用前请咨询医师或药剂师。

- (1) 正在接受医生或牙医治疗，或正在服用其它药品者。
- (2) 本人或家族中有过敏体质者。
- (3) 曾因服药而产生过过敏症状者。（曾因服药引起过敏者，服用本药剂后也有可能会引起过敏。）
- (4) 高龄者（65 岁以上）。（一般高龄者生理机能会降低）
- (5) 有以下症状者：
咽喉痛、咳嗽及高烧（上述症状者，有严重感染症状的可能，需要进行血球量减少等血液异常确认。
服用前有以上症状者，服用本药剂后会加重症状，或不能及时发现本药剂的副作用。）
原因不明的体重减轻，持续性腹痛（可能因其它疾病引起）。

2. 出现以下情况时，应立即停止服用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

(1) 服用后出现以下症状时。

关系部位	症状
皮肤	发疹、发红、瘙痒、肿胀
循环器官	脉搏紊乱
精神神经	感觉头重脚轻、痉挛
其它	出现情绪不佳、乏力、发烧、嗓子疼等异常情况。

如果出现以下重症时，应马上前往医院就诊。

症状名称	症状
休克（过敏性反应）	服用后马上出现荨麻疹、浮肿、胸闷的同时脸色发白，手脚冰凉，出冷汗等。
皮肤粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、中毒性表皮坏死症（Lyell's 症候群）	伴随高烧，出现发疹、发红、如烫伤状的水泡等严重症状，体现在全身的皮肤、口部眼部等粘膜处。
横纹肌溶解症（骨骼肌）	手脚肌肉疼痛或僵硬，尿液呈红褐色。
肝功能障碍	出现全身乏力，黄疸（皮肤或眼白呈黄色）等症状
肾功能障碍	出现发烧，发疹，全身浮肿，尿血，关节疼（关节疼痛），痢疾等症状。
血功能障碍	出现喉咙疼、发烧、全身乏力、脸和眼皮内变白、易出血（齿龈出血，鼻血等）、出现青痣（按压颜色也不消失）等症状。

(2) 因失误过量服用时。

3. 如果出现以下症状，并且症状持续或严重时，请停止服用，向医师或药剂师咨询。
便秘、软便、痢疾、口干。

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处。
- (2) 请保管于儿童不易触摸的安全地方。
- (3) 请勿放入其它容器（会造成误食或药品变质。）
- (4) 请勿服用过期产品。

出典
発行



製造販売元
第一三共ヘルスケア株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

药品名称：嘎仕塔 10 〈片剂〉[胃药]（ガスター10<錠>）
 ※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

胃疼、胃灼热、胃胀、恶心。

<功能主治与效果注意事项>

如果有上述功能及功效记载以外的症状，请不要服用本药剂。

[成分与作用]

1 片中成份含量如下：

成分	含量	作用
法莫替丁	10mg	控制胃酸分泌过多。

[用法用量]

- 请按如下方法，用水或热水服用。

年龄	每次用量	每日服用次数
成人（15 岁以上，80 岁以下）	1 片	最多 2 次
儿童（15 岁以下）	请勿服用。	
高龄者（80 岁以上）		

此药剂不限制服用时间，可在症状出现时服用。对进食无影响，可在饭前、饭后、进餐期间服用。每次 1 片可控制 8 小时的胃酸分泌，1 日服用 2 次时，请间隔 8 小时以上。

- 请遵守规定的用法及用量。
- 服用 8 小时以上症状仍无缓解时，请再服用 1 片。
- 症状消失后，请停止服用。
- 服用 3 日后症状仍无改善，请停止服用，并咨询医师或药剂师。
- 请勿连续服用 2 周以上。

<用药注意事项>

(1) 服用本药剂时，请控制饮酒。（药品一般不能与酒精类饮料一同饮用。）

(2) 取出药片的方法：

如图所示，用手指用力挤压含有片剂的 PTP 卡片突起部位，背面铝箔破裂后取出药片服用。（如操作失误直接服用，可能会引发刺伤食道粘膜等事故。）

使用注意事项

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿服用。

- (1) 对法莫替丁等 H₂ 阻断剂过敏者（如：发疹，发红，发痒，喉咙、眼皮、嘴唇肿胀）。（服用本药剂可能会再次出现过敏症状。）
- (2) 正在医疗机构接受以下疾病治疗或服用其药品的人：
血液疾病，肾脏、肝脏疾病，心脏疾病，胃、十二指肠疾病，哮喘、风湿等免疫系统疾病，类固醇药剂、抗生素、抗癌剂、一氮二烯伍圜抗真菌剂
（会引起白血球减少或血小板减少。）
（患有肾脏、肝脏等疾病时，由于药剂排泄变慢而使药效过强。）
（患有心肌梗塞、心脏瓣膜症、心脏病等心脏疾病时，伴随心电图的异常会有脉象紊乱的现场。）
（接受胃、十二指肠疾病治疗者，已经接受法莫替丁或类似药方的可能性较高，请注意避免重复服用。）
（一氮二烯伍圜抗真菌剂吸收低下造成效果减弱。）
- (3) 被医师指出红血球稀少（贫血）、血小板稀少、（不易止血，易出血）、白血球量少等有血液异常者（本药剂有可能会再次引发血液异常。）
- (4) 15 岁以下儿童及高龄者（80 岁以上）。
- (5) 孕妇及有可能怀孕的妇女或哺乳期妇女。

2. 服用本药剂期间，请勿服用以下药品。

其它肠胃药。

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 以下人群服用前请咨询医师或药剂师。

- (1) 正在接受医生或牙医治疗，或正在服用其它药品者。（该药剂可能对正在服用中的药剂产生影响，或医生处方中可能有和该药相同的药剂）
- (2) 本人或家族中有过敏体质者。（有过敏体质者，服用本药剂后有可能会引起过敏症状。）
- (3) 曾因服药而产生过过敏症状者。
- (4) 高龄者（65 岁以上）。（一般高龄者生理机能会低下）
- (5) 有以下症状者：
咽喉痛、咳嗽及高烧（上述症状者，有严重感染症状的可能，需要进行血球量减少等血液异常确认。
服用前有以下症状者，服用本药剂后会加重症状，或不能及时发现本药剂的副作用。
原因不明的体重减轻，持续性腹痛（可能因其它疾病引起）。

2. 出现以下情况时，应立即停止服用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

(1) 服用后出现以下症状时。

关系部位	症状
皮肤	发疹、发红、瘙痒、肿胀
循环器官	脉搏紊乱
精神神经	感觉头重脚轻、痉挛
其它	出现情绪不佳、乏力、发烧、咽喉痛等异常情况。

如果出现以下重症时，应马上前往医院就诊。

症状名称	症状
休克（过敏性反应）	服用后马上出现荨麻疹、浮肿、胸闷的同时脸色发白，手脚冰凉，出冷汗等。
皮肤粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、中毒性表皮坏死症（Lyell's 症候群）	伴随高烧，出现发疹、发红、如烫伤状的水泡等严重症状，体现在全身的皮肤、口部眼部等粘膜处。
横纹肌溶解症（骨骼肌）	手脚肌肉疼痛或僵硬，尿液呈红褐色。
肝功能障碍	出现全身乏力，黄疸（皮肤或眼白呈黄色）等症状
肾功能障碍	出现发烧，发疹，全身浮肿，尿血，关节疼（关节疼痛），痢疾等症状。
血功能障碍	出现喉咙疼、发烧、全身乏力、脸和眼皮内变白、易出血（齿龈出血，鼻血等）、出现青痣（按压颜色也不消失）等症状。

(2) 因失误过量服用时。

3. 如果出现以下症状，并且症状持续或严重时，请停止服用，向医师或药剂师咨询。
便秘、软便、痢疾、口干。

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处。
- (2) 请保管于儿童不易触摸的安全地方。
- (3) 请勿放入其它容器（会造成误食或药品变质。）
- (4) 请勿服用过期产品。

出典
発行



製造販売元
第一三共ヘルスケア株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

药品名称：嘎仕塔 10 S 片剂 [胃药] (ガスター10S錠)^{じょう}
 ※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

胃疼、胃灼热、胃胀、恶心。

<功能主治与效果注意事项>

- 如果有上述功能及功效记载以外的症状，请不要服用本药剂。

[成分与作用]

1 片中成份含量如下：

成分	含量	作用
法莫替丁	10mg	控制胃酸分泌过多。

[用法用量]

请按如下方法，用水或热水服用。

年龄	每次用量	每日服用次数
成人（15 岁以上，80 岁以下）	1 片	最多 2 次
儿童（15 岁以下）	请勿服用	
高龄者（80 岁以上）		

此药剂不限制服用时间，可在症状出现时服用。对进食无影响，可在饭前、饭后、进餐期间服用。每次 1 片可控制 8 小时的胃酸分泌，1 日服用 2 次时，请间隔 8 小时以上。

- 请遵守规定的用法及用量。
- 服用 8 小时以上症状仍无缓解时，请再服用 1 片。
- 症状消失后，请停止服用。
- 服用 3 日后症状仍无改善，请停止服用，咨询医师。
- 请勿连续服用 2 周以上。

<用药注意事项>

- (1) 本药剂虽然容易在口腔内溶化，但不会被口腔粘膜所吸收,因此请用唾液或凉水服用。与其它一般的药品相同,即使用水或热水服用其药效也不会改变。
- (2) 服用本药剂期间,请不要摄取酒精类饮料。(药品一般不能与酒精类饮料一同饮用。)
- (3) 药片的取出方法:
 如图所示，用手指用力挤压含有片剂的 PTP 卡片突起部位，背面铝箔破裂后取出药片服用。(如操作失误直接服用，可能会引发刺伤食道粘膜等事故。)

使用注意事项

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿服用。

- (1) 对法莫替丁等 H₂ 阻断剂过敏者。（如：发疹，发红，发痒，喉咙、眼皮、嘴唇肿胀）。
- (2) 在医疗机构接受以下疾病治疗或服用过其药品的人：
血液疾病，肾脏、肝脏疾病，心脏疾病，胃、十二指肠疾病，哮喘、风湿等免疫系统疾病，类固醇药剂、抗生素、抗癌剂、一氮二烯伍圀抗真菌剂。
（会引起白血球减少或血小板减少。）
（患有肾脏、肝脏等疾病时，由于药剂排泄变慢而使药效过强。）
（患有心肌梗塞、心脏瓣膜症、心脏病等心脏疾病时，伴随心电图的异常会有脉象紊乱的现象。）
（接受胃、十二指肠疾病治疗者，已经接受法莫替丁或类似药方的可能性较高，请注意避免重复服用。）
（一氮二烯伍圀抗真菌剂吸收低下造成效果减弱。）
- (3) 被医师指出红血球稀少（贫血）、血小板稀少、（不易止血，易出血）、白血球量少等有血液异常者。
（本药剂有可能会再次引发血液异常。）
- (4) 患有苯酮尿症者。（本药品含有天(門)冬氨酸苯丙氨酸甲酯和 L-苯基丙氨酸化合物）
- (5) 15 岁以下儿童及高龄者（80 岁以上）。
- (6) 孕妇及有可能怀孕的妇女或哺乳期妇女。

2. 服用本药剂期间，请勿服用以下药品。

其它肠胃药。

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 以下人群服用前请咨询医师或药剂师。

- (1) 正在接受医生或牙医治疗，或正在服用其它药品者。
- (2) 本人或家族中有过敏体质者。
- (3) 曾因服药而产生过过敏症状者。
- (4) 高龄者（65 岁以上）。（一般高龄者生理机能会降低）
- (5) 有以下症状者：
嗓子疼、咳嗽及高烧（上述症状者，有严重感染症状的可能，需要进行血球量减少等血液异常确认。
服用前有以下症状者，服用本药剂后会加重症状，或不能及时发现本药剂的副作用。）
原因不明的体重减轻，持续性腹痛（可能因其它疾病引起）。

2. 出现以下情况时，应立即停止服用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

(1) 服用后出现以下症状时。

关系部位	症状
皮肤	发疹、发红、瘙痒、肿胀
循环器官	脉搏紊乱
精神神经	感觉头重脚轻、痉挛
其它	出现情绪不佳、乏力、发烧、咽喉痛等异常情况。

如果出现以下重症时，应马上前往医院就诊。

症状名称	症状
休克（过敏性反应）	服用后马上出现寻麻疹、浮肿、胸闷的同时脸色发白，手脚冰凉，出冷汗等。
皮肤粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、中毒性表皮坏死症（Lyell's 症候群）	伴随高烧，出现发疹、发红、如烫伤状的水泡等严重症状，体现在全身的皮肤、口眼等粘膜处。
横纹肌溶解症（骨骼肌）	手脚肌肉疼痛或僵硬，尿液呈红褐色。
肝功能障碍	出现全身乏力，黄疸（皮肤或眼白呈黄色）等症状
肾功能障碍	出现发烧，发疹，全身浮肿，尿血，关节疼（关节疼痛），痢疾等症状。
血功能障碍	出现喉咙疼、发烧、全身乏力、脸和眼皮内变白、易出血（齿龈出血，鼻血等）、出现青痣（按压颜色也不消失）等症状。

(2) 因失误过量服用时。

3. 如果出现以下症状，并且症状持续或严重时，请停止服用，向医师或药剂师咨询。

便秘、软便、痢疾、口干。

药品保管方法及使用上的注意事项

(1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处。

(2) 请保管于请保管于儿童不易触摸的安全地方。

(3) 请勿放入其它容器。（会造成误食或药品变质）

(4) 请勿服用过期产品。

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

药品名称：札几典 AL 鼻炎胶囊 [鼻炎药] (ザジテン AL 鼻炎カプセル)
 ※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

缓解由花粉、室内粉尘（室内灰尘）等引起的鼻子过敏症状：
打喷嚏、流鼻涕（鼻涕过多）、鼻塞。

[成分与作用]

一粒胶囊中成份含量如下：

成分	含量
富马酸酮替芬（作为酮替芬）	1.38mg（1.0mg）

[用法用量]

每次用量如下表所示，每日二次，在早饭后及就寝前服用。

年龄	每次用量
成人（15 岁以上）	1 粒
15 岁以下	请勿服用

<用药注意事项>

- 请遵守规定的用法用量。
- 服用本药约一周症状仍无改善时，请立即中止服用并咨询医师或药剂师。（因个人体质不同，有时大约需要两周的时间药效才会显现的情况也存在。）
- 取出胶囊的方法：
用手指用力挤压含有胶囊剂的 PTP 卡片突起部位，背面铝箔破裂后取出胶囊服用。（如操作失误直接服用，可能会引发刺伤食道粘膜等事故。）

使用注意事项

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿服用。

- (1) 曾因服用本药剂引起过敏症状者。
- (2) 15 岁以下儿童。

2. 服用本药剂期间，请勿服用以下药品。

其它治疗过敏药（包括皮肤病用药、鼻炎用内服药），含有抗组胺药的内服药（感冒药、止咳祛痰药、防晕车药、催眠安定药）。

3. 服用后请勿驾驶或进行机械类操作。（可能会出现嗜睡现象）
4. 哺乳期妇女请勿服用本药剂。如需服用请勿进行哺乳。（动物实验显示药物会进入乳汁中）
5. 服用期间请勿饮酒。

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 以下人群服用前请咨询医师或药剂师。

- (1) 正在接受医生或牙医治疗，或正在服用其它药品者。
- (2) 正在接受脱敏、过敏治疗者。
- (3) 孕妇或有可能怀孕的妇女。
- (4) 高龄者。
- (5) 本人或家族中有过敏体质者。
- (6) 其症状是因过敏引起还是其它原因，情况不明者。
- (7) 被确诊患有下述病情的患者。
支气管哮喘、异位性皮炎、癫痫。
- (8) 有以下症状者
排尿困难。

2. 出现以下情况时，应立即停止服用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

(1) 服用后出现以下症状时。

身体部位	症状
皮肤	红斑、出疹、发红、瘙痒
鼻子	鼻血
精神神经系统	头晕目眩、软弱无力、倦怠、头痛、味觉异常、麻木感
消化器官	恶心、呕吐、食欲不振、胃部不适、腹痛、口腔炎
其它	心跳、脸发热、尿频、尿痛、血尿、尿不净、月经异常、体重增加

(2) 持续服用一周左右症状仍无缓解时。

3. 出现以下罕见重症时，应马上前往医院就诊。

症状的名称	症状
中枢神经症状	短暂性意识消失、痉挛、兴奋等症状
肝脏机能障碍	出现发烧、出疹子、全身倦怠、黄疸（皮肤和白眼珠变黄）等症状。

4. 有可能会出现以下症状，如果症状持续或严重时，请停止服用，并咨询医师或药剂师。

口干，便秘，腹泻，犯困。

5. 如出现以下情况，请咨询医师或药剂师。

症状虽有所改善、但服用时间超过两周的患者。

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处，密封保存。
- (2) 请保管于儿童不易触摸的安全地方。
- (3) 请勿放入其它容器。(会造成误食或药品变质)
- (4) 请勿服用过期药品。

出典	製造販売元
発行	ノバルティス ファーマ株式会社 (社) 神奈川県薬剤師会

药品名称：帕布龙鼻炎胶囊 Z [鼻炎药] (パブロン^{びえん}鼻炎カプセル Z)
※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

缓解由花粉、室内粉尘（室内灰尘）等引起的鼻子过敏症状：
打喷嚏、流鼻涕（鼻涕过多）、鼻塞。

[成分与作用]

一粒胶囊中成份含量如下：

成分	含量
富马酸酮替芬（作为酮替芬）	1.38mg（1.0mg）

[用法用量]

每次用量如下表所示，每日二次，在早饭后及就寝前服用。

年龄	每次用量
成人（15 岁以上）	1 粒
15 岁以下	请勿服用

<用药注意事项>

- 请遵守规定的用法用量。
- 服用本药剂约一周症状仍无改善时，请立即中止服用并咨询医师或药剂师。（因个人体质不同，需要两周的时间药效才会显现的情况也存在。）
- 取出胶囊的方法：
用手指用力挤压含有胶囊剂的 PTP 卡片突起部位，背面铝箔破裂后取出胶囊服用。（如操作失误直接服用，可能会引发刺伤食道粘膜等事故。）

使用注意事项

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿服用。

- (1) 曾因本药剂引起过过敏症状者。（服用本药剂后，有可能会再次产生过敏症状。）
- (2) 15 岁以下儿童。

2. 服用本药剂期间，请勿服用以下药品。

其它治疗过敏药（包括皮肤病用药、鼻炎用内服药），含有抗组胺药的内服药（感冒药、止咳祛痰药、防晕车药、催眠安定药）。

3. 服用后请勿驾驶或进行机械类操作。

（可能会出现嗜睡现象）

4. 哺乳期妇女请勿服用本药剂。如需服用请勿进行哺乳。（动物实验显示药物会进入乳汁中）

5. 服用期间请勿饮酒。

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 以下人群服用前请咨询医师或药剂师。

- (1) 正在接受医生或牙医治疗，或正在服用其它药品者。
- (2) 正在接受脱敏、过敏治疗者。
- (3) 孕妇或有可能怀孕的妇女。
- (4) 高龄者。
- (5) 本人或家族中有过敏体质者。（过敏体质者使用本药剂后有可能出现过敏现象。）
- (6) 其症状是因过敏引起还是其他原因，情况不明者。
- (7) 被确诊患有下述病情的患者。
支气管哮喘、异位性皮炎、癫痫。
- (8) 有以下症状者
排尿困难。

2. 出现以下情况时，应立即停止服用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

(1) 服用后出现以下症状时

身体部位	症状
皮肤	红斑、出疹子、发红、瘙痒
鼻子	鼻血
精神神经系统	头晕、软弱无力、倦怠、头痛、味觉异常、麻木感
消化器官	恶心、呕吐、食欲不振、胃部不适、腹痛、口腔炎
其它	心跳、脸发热、尿频、尿痛、血尿、尿不净、月经异常、体重增加

(2) 持续服用一周左右症状仍无缓解时。

3. 出现以下罕见重症时，应马上前往医院就诊。

症状的名称	症状
中枢神经症状	短暂性意识消失、痉挛、兴奋等症状
肝脏机能障碍	出现发烧、出疹子、全身倦怠、黄疸（皮肤和白眼珠变黄）等症状。

4. 有可能会出现以下症状，如果症状持续或严重时，请停止服用，并咨询医师或药剂师

口干，便秘，腹泻，犯困。

5. 如出现以下情况，请咨询医师或药剂师。

症状虽有所改善、但服用时间超过两周的患者。

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处，密封保存。
- (2) 请保管于儿童不易触摸的安全地方。
- (3) 请勿放入其它容器（会造成误食或药品变质。）
- (4) 请勿服用过期药品。

出典 発売元
発行 大正製薬株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

药品名称：札几典 AL 鼻炎喷剂 [鼻炎药]（ザジテン AL^{びえん}鼻炎スプレー）
 ※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

缓解由花粉、室内粉尘（室内灰尘）等引起的鼻子过敏症状：
打喷嚏、流鼻涕（鼻涕过多）、鼻塞。

[成分与作用]

100ml 中成份含量如下(包装 8ml / 支):

成分	含量
富马酸酮替芬	75.6mg

[用法用量]

每次用量如下表所示，每日使用 4 次(早・中・晚及就寝前) 向两个鼻孔内喷雾。（1 次喷雾中的富马酸酮替芬含量 0.05mg）

年龄	每次用量
成人（15 岁以上）以及 7 岁以上儿童	向两鼻孔内各喷一下
不满 7 岁	请勿使用

<用药注意事项>

- 请遵守规定的用法用量。
- 儿童须在大人监护指导下使用。
- 只限于喷在鼻腔内。
- 注意不要喷入眼中。如不慎入眼，立即用凉水或温水冲洗，并立即前往眼科接受诊疗。

喷雾器使用方法

初次使用时，由于容器的形成构造，药剂很难形成雾状。所以在喷管（容器顶端部分）朝上的情况下，按压 5 次左右后药液可形成雾状。

*药液形成雾状后便可使用。

1. 使用本药前请清理或清洗鼻腔内的鼻涕。
2. 取下药品盖子。
3. 直立向上掌握，将喷管轻轻放入鼻腔内。
4. 用手指将喷头快速用力压下。（如果用力不足或速度较慢，药液便不能形成雾状，从而造成液体流出。）
5. 喷雾后，为了让药剂流到鼻内深处，头部呈上仰状态，用鼻子轻轻地向里吸，坚持几秒。
6. 用后利用干净的纸巾擦拭喷管周围，盖好盖子。

*不要用针等扎喷管前端，以免弯曲时发生危险。



使用注意事項

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿使用。

- 不满 7 岁幼儿。

2. 使用后请勿驾驶或进行机械类操作。（可能会出现嗜睡现象）

3. 哺乳期妇女请勿使用本药剂。如需使用请勿进行哺乳。（动物实验显示药物会进入乳汁中）

■ 需要向医师咨询的事宜

1. 以下人群使用前请咨询医师或药剂师。

- (1) 正在接受医生或牙医治疗，或正在使用其它药品者。
- (2) 正在接受脱敏、过敏治疗者。
- (3) 孕妇或有可能怀孕的妇女。
- (4) 曾因服药而产生过过敏症状者。
- (5) 其症状是因过敏引起还是其它原因，情况不明者。

2. 出现以下情况时，应立即停止使用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

(1) 使用后出现以下症状时。

身体部位	症状
鼻子	干燥感、刺激感
精神神经系统	软弱乏力感、头痛

(2) 持续服用一周左右症状仍无缓解时

3. 有可能会出现以下症状，如果症状持续或严重时，请停止使用，并咨询医师或药剂师。
犯困。

4. 如出现以下情况，请咨询医师或药剂师。

症状虽有所改善、但使用时间超过两周的患者。

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处，密封保存。
- (2) 请保管于儿童不易触摸的安全地方。
- (3) 请勿放入其它容器（会造成误食或药品变质。）
- (4) 请勿与他人共同使用。
- (5) 请勿使用过期药品。即便是在使用期限内，在开封后请尽快使用。

出典	製造販売元
発行	ノバルティス ファーマ株式会社 (社) 神奈川県薬剤師会

药品名称：帕布龙点鼻 Z（鼻炎喷剂）[鼻炎药]（パブロン点鼻 Z）＜鼻炎スプレー＞
 ※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

缓解由花粉、室内粉尘（室内灰尘）等引起的鼻子过敏症状：
 打喷嚏、流鼻涕（鼻涕过多）、鼻塞。

[成分与作用]

100ml 中成份含量如下(包装 8ml / 支):

成分	含量
富马酸酮替芬	75.6mg

[用法用量]

每次用量如下表所示，每日使用 4 次（早、中、晚及就寝前）向两个鼻孔内喷雾。（1 次喷雾中的富马酸酮替芬含量 0.05mg）

年龄	每次用量
成人（15 岁以上）以及 7 岁以上儿童	向两鼻孔内各喷一下
不满 7 岁	请勿使用

<用药注意事项>

- 请遵守规定的用法用量。
- 儿童须在大人监护指导下使用。
- 只限于喷在鼻腔内。
- 注意不要喷入眼中。如不慎入眼，立即用凉水或温水冲洗，并立即前往眼科接受诊疗。

喷雾器使用方法

初次使用时，由于容器的形成构造，药剂很难形成雾状。所以在喷管（容器顶端部分）朝上的情况下，按压 5 次左右后药液可形成雾状。

*药液形成雾状后便可使用。

1. 使用本药前请用力清理或清洗鼻腔内的鼻涕。
2. 取下药品盖子。
3. 直立向上掌握，将喷管轻轻放入鼻腔内。
4. 用手指将喷头快速压下。（如果用力不足或速度较慢，药液便不能形成雾状，从而造成液体流出。）
5. 喷雾后，为了让药剂流到鼻内深处，头部呈上仰状态，用鼻子轻轻地向里吸，坚持几秒。
6. 用后利用干净的纸巾等擦拭喷管周围，盖好盖子。

*不要用针等扎喷管前端，以免弯曲时发生危险。

【使い方】

★初めてご使用の際は、容器の構造上薬液が霧状になりにくいので、ノズル（容器の先端部分）を上に向け、薬液が霧状になるまで5回程度押してください。



①使用前に鼻をかむか、鼻を洗浄してください。



④レバーを指で下まで、強くすばやく押してください。（弱くゆっくり押すと、薬液が霧状にならず、液だれの原因となります）



②キャップをはずしてください。



⑤噴霧後は薬剤を鼻の奥まで広く行きわたらせるために、頭を後ろに傾けた状態で、数秒間、鼻で静かに吸引してください。



③まっすぐ上向きに持って、ノズルを軽く鼻腔内に入れてください。



⑥使用後は、ノズル付近を清潔なティッシュペーパー等でふき、キャップをしてください。

ノズルの先端を針等で突つのは折れた時大変危険ですのでおやめください。

使用注意事項

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事項

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿使用。

- 不满7岁幼儿。

2. 使用后请勿驾驶或进行机械类操作。（可能会出现嗜睡现象）

3. 哺乳期妇女请勿服用本药剂。如需使用请勿进行哺乳。（动物实验显示药物会进入乳汁中）

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 以下人群使用前请咨询医师或药剂师。

- （1）正在接受医生或牙医治疗，或正在使用其它药品者。
- （2）正在接受脱敏、过敏治疗者。
- （3）孕妇或有可能怀孕的妇女。
- （4）曾因服药而产生过过敏症状者。
- （5）其症状是因过敏引起还是其它原因，情况不明者。

2. 出现以下情况时，应立即停止使用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

（1）服用后出现以下症状时

身体部位	症状
鼻子	干燥感、刺激感
精神神经系统	软弱乏力感、头痛、

（2）持续使用一周左右症状仍无缓解时。

3. 有可能会出现以下症状，如果症状持续或严重时，请停止使用，并咨询医师或药剂师。
犯困。

4. 如出现以下情况，请咨询医师或药剂师。
症状虽有所改善、但使用时间超过两周的患者。

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处，密封保存。
- (2) 请保管于儿童不易触摸的安全地方。
- (3) 请勿放入其它容器（会造成误食或药品变质。）
- (4) 请勿与他人共同使用。
- (5) 请勿使用过期药品。即便是在使用期限内，在开封后请尽快使用。

	発売元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

药品名称：札几典 AL 点眼药 [眼药] (ザジテン AL点眼薬<点眼液>)
 ※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

缓解由花粉、室内粉尘（灰尘）等引起的以下眼部过敏症状：
 眼部充血、眼部瘙痒（眼哆多）、泪眼、有异物感（感觉有物体滚动）。

[成分与作用]

100ml 中成份含量如下（包装 8ml / 支）：

成分	含量
富马酸酮替芬（作为酮替芬）	69mg（50mg）

[用法用量]

每次用量如下表所示，每日使用 4 次（早、中、晚及就寝前）。

年龄	每次用量
成人（15 岁以上）以及 1 岁以上儿童	1~2 滴
不满 1 岁	请勿使用

<用药注意事项>

- 请遵守规定的用法用量。
- 儿童须在大人监护指导下使用。
- 请迅速擦拭流到眼部周围的液体。
- 当容器前端触碰到眼睑或睫毛后，药液会被眼屎或杂菌等污染而变得混浊。请勿使用变混浊的药液。
- 请勿作为隐形眼镜护理液使用，并且请勿佩戴隐形眼镜时使用。
- 本药剂只用于滴眼。

使用方法

1. 使用前清洁双手。
2. 轻轻向下按压下眼睑、由正上方滴入 1~2 滴。
容器前端请勿直接接触眼睑或眼睫毛，使用后请清洁容器前端及盖子。
3. 滴下药液后，闭上眼睛，使液体布满全眼。
使用后请盖好盖子。
4. 请迅速擦拭流到眼部周围的液体。



使用注意事项

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿使用。

- 曾因使用本药品而出现过敏者。
- 不满 1 岁幼儿。

2. 与喷鼻药一起使用时，使用后请勿驾驶或进行机械类操作。（可能会出现嗜睡现象）

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 以下人群使用前请咨询医师或药剂师。

- (1) 正在接受医生或牙医治疗，或正在使用其它药品者。
- (2) 正在接受脱敏、过敏治疗者。
- (3) 孕妇或有可能怀孕的妇女。
- (4) 曾因服药而产生过过敏症状者。
- (5) 眼部有剧烈的疼痛症状者。
- (6) 其症状是因过敏引起还是其它原因，情况不明者。

尤其是出现以下情况，不能明确为过敏症状时，使用前请咨询医师。

- 只有一侧眼睛有症状时。
- 只有眼睛有症状，鼻子无症状时。
- 影响视力时。
- 眼屎多时。

2. 出现以下情况时，应立即停止使用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

(1) 使用后出现以下症状时。

身体部位	症状
皮肤**	瘙痒
眼睛**	眼睛充血、有刺激感、疼痛、肿胀、瘙痒、包括眼睛周围
其它	困倦

**根据个人情况，使用初期（1~2 天）眼睑、眼睛周围、脸颊等可能会出现严重瘙痒、肿胀、疼痛等症状。

- (2) 视线模糊感没有改善时。
- (3) 使用 7 天左右症状仍不见好转时。

3. 如果出现以下情况，请咨询医师或药剂师。

症状虽有所改善、但使用时间超过两周的患者。

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处，密封保存。
- (2) 请保管于儿童不易触摸的安全地方。
- (3) 请勿放入其它容器（会造成误食或药品变质。）
- (4) 请勿与他人共同使用。
- (5) 请勿使用过期药品。即便是在使用期限内，在开封后请尽快使用。

	製造販売元
出典	ノバルティス ファーマ株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

药品名称：艾力士阿列司特〈滴眼液〉[眼药]（アイリスアレスト^{てんがんえき}<点眼液>）
 ※请阅读以下注意事项，正确使用。

药品概要

[功能主治]

缓解由花粉、室内粉尘（灰尘）等引起的以下眼部过敏症状：
 眼部充血、眼部瘙痒（眼哆多）、泪眼、有异物感（感觉有物体滚动）。

[成分与作用]

100ml 中成份含量如下(包装 10ml / 支):

成分	含量
富马酸酮替芬（作为酮替芬）	69mg（50mg）

[用法用量]

每次用量如下表所示，每日使用 4 次(早・中・晚及就寝前)。

年龄	每次用量
成人（15 岁以上）以及 1 岁以上儿童	1-2 滴
不满 1 岁	请勿使用

<用药注意事项>

- 请遵守规定的用法用量。
- 儿童须在大人监护指导下使用。
- 请迅速擦拭流到眼部周围的液体。
- 当容器前端碰触到眼睑或睫毛后，药液会被眼屎或杂菌等污染而变得混浊。请勿使用变混浊的药液。
- 请勿作为隐形眼镜护理液使用，并且请勿佩戴隐形眼镜时使用。
- 本药剂只用于滴眼。

使用方法

1. 使用前请清洁双手。
2. 轻轻向下按压下眼睑、由正上方滴入 1~2 滴。容器前端请勿直接接触眼睑或睫毛，使用后请清洁容器前端及盖子。
3. 滴下药液后，闭上眼睛，使液体布满全眼。
 使用后请盖好盖子。
4. 请迅速擦拭流到眼部周围的液体。

【使用注意事项】

请阅读以下注意事项，正确使用。

■ 禁忌事项

（如不遵守，会使现有症状恶化，或容易产生副作用及意外事故。）

1. 以下患者请勿使用。

- 曾因使用本药剂而出现过敏者。（使用本药剂后也有可能会再次引起过敏。）
- 不满 1 岁幼儿。

2. 与喷鼻药一起使用时，请勿驾驶或进行机械类操作。（可能会出现嗜睡现象）

■ 需要向医生咨询的事宜

1. 以下人群服用前请咨询医师或药剂师。

- (1) 正在接受医生或牙医治疗，或正在使用其它药品者。
- (2) 正在接受脱敏、过敏治疗者。
- (3) 孕妇或有可能怀孕的妇女。
- (4) 曾因服药而产生过过敏症状者。
- (5) 眼部有剧烈的疼痛症状者。
- (6) 其症状是因过敏引起还是其它原因，情况不明者。

尤其是出现以下情况，不能明确为过敏症状时，使用前请咨询医师。

- 只有一侧眼睛有症状时。
- 只有眼睛有症状，鼻子无症状时。
- 影响视力时。
- 眼屎多时。

2. 出现以下情况时，应立即停止使用，并请携带药剂说明书咨询医师或药剂师。

(1) 使用后出现以下症状时

身体部位	症状
皮肤**	瘙痒
眼睛**	眼睛充血、有刺激感、疼痛、肿胀、瘙痒、包括眼睛周围
其它	困倦

** 根据个人情况，使用初期（1～2 天）眼睑、眼睛周围、脸颊等可能会出现严重瘙痒、肿胀、疼痛等症状。

- (2) 视线模糊感没有改善时。
- (3) 使用 7 天左右症状仍不见好转时。

3. 如果出现以下情况，请咨询医师或药剂师。

症状虽有所改善、但使用时间超过两周的患者。

药品保管方法及使用上的注意事项

- (1) 避免高温，避免日光直射，保存在干燥、阴凉处，密封保存。
- (2) 请保管于儿童不易触摸的安全地方。
- (3) 请勿放入其它容器（会造成误食或药品变质。）
- (4) 请勿与他人共同使用。
- (5) 请勿放在车的仪表板等高温下保存。
- (6) 请勿使用过期药品。即便是在使用期限内，在开封后请尽快使用。

	発 売 元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: ACTIVIR Ointment (アクチビア軟膏)

※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Para sa paggamot ng nauulit na herpes sa bibig. (Tanging mga pasyente lang na nakaraang nasuri ng isang doktor at nakatanggap ng medikal na paggamot ang maaaring gumamit ng gamot na ito.)

[Sangkap at Pagkilos]

Kabilang ang sumusunod na sangkap sa Activir 1g:

Aktibong Sangkap	Dami	Epekto
Acyclovir	50mg	Nakakatulong ang gamot na ito sa paglaban sa herpes virus.

[Dosis at Paggamit]

Maglagay ng naaangkop na dami ng gamot na ito sa apektadong lugar nang 3 hanggang 5 beses sa isang araw. (Maglagay kapag nakaramdam ka ng kiliti o ng parang tinutusok ng karayom sa mismo o sa paligid ng iyong mga labi.)

Paglalarawan

- Ang kiliti o parang tinutusok ng karayom ay mga palantandaan ng pag-ulit ng cold sore. Gamitin ang produktong ito mula sa maagang bahagi ng pag-ulit.
- Sa pangkalahatan, gamitin ang produktong ito pagkatapos ng bawat pagkain at bago matulog.
- Huwag ibigay ang gamot na ito sa miyembro ng pamilyang nagkaroon ng cold sore sa unang pagkakataon.

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at mga direksyon sa paggamit.
- Gamitin sa bata ang gamot na ito sa ilalim lamang ng patnubay at pangangasiwa ng magulang.
- Iwasang malagyan ang mga mata. Kung ang gamot na ito ay napunta sa iyong mga mata, mangyaring agad na hugasan ang mga ito ng malamig o maligamgam na tubig. Mangyaring humingi ng paggamot mula sa isang doktor sa mata kung nananakit pa rin ang iyong mga mata matapos na hugasan ang mga ito.
- Para sa panlabas na paggamit lamang.
- Huwag kainin o dilaan ang gamot na ito, kahit na walang banta sa kalusugan ang gamot na ito.

Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at pagtaas ng peligro ng nakakasamang epekto.)

1. Hindi dapat gumamit ng gamot na ito ang sumusunod na mga tao:

- (1) Iyong mga tila mayroong mga sintomas ng cold sore sa unang pagkakataon o may malaking naapektuhang bahagi. (Kumunsulta sa doktor kung mayroon kang mga sintomas sa unang pagkakataon dahil maaari itong lumalala, o kung mayroon kang malaking naapektuhang bahagi, maaari itong malalang anyo ng cold sore.)
- (2) Iyong dati nang may allergic reaction sa gamot na ito o mga gamot na naglalaman ng valacyclovir hydrochloride. (Ang produktong ito ay maaaring magdulot muli ng allergic reaction.)
- (3) Ang mga batang mas bata sa edad na 6.
(May mataas na posibilidad ng impeksyon sa unang pagkakataon para sa mga bata at sanggol.)

2. Huwag gamitin ang gamot na ito sa sumusunod na bahagi ng katawan:

- (1) Sa loob at sa paligid ng iyong mga mata. (Maaaring makairita ang gamot na ito sa iyong mga mata.)
- (2) Anumang bahagi ng katawan bukod sa iyong mga labi at ang lugar na nakapalibot sa mga ito. (Lumilitaw lamang ang cold sore sa at sa palibot ng iyong mga labi).

■ Tiyaking:

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung ang alinman sa sumusunod ang naaangkop sa iyo:

- (1) Iyong mga sumasailalim sa paggamot sa pamamagitan ng dalawang magkaibang mga doktor. (Maaaring may pagkakataong ireseta ng parehong doktor ang magkatulad o magkaparehong mga gamot.)
- (2) Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao. (Ang babaeng buntis ay dapat maging maingat tungkol sa pag-inom ng gamot. Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao, kumunsulta sa iyong doktor at sundin ang kanyang mga tagubilin).
- (3) Ang mga kababaihang nagpapasuso. (Ipinakikita ng mga pag-aaral na ang mga inang umiinom ng gamot na ito ay maaaring mailipat ito sa kanilang gatas.
- (4) Ang mga pasyente o mga miyembro ng kanilang pamilyang posibleng magkaroon ng mga allergy. (Ang taong may allergic constitution ay maaaring makakuha ng mga allergic na sintomas sa pamamagitan ng paggamit ng produktong ito.)
- (5) Ang ilang may mga allergic reaction sa mga medisina. (Kung dati ka nang mayroong allergic reaction sa gamot, ang produktong ito ay maaaring magdulot din ng allergic reaction.)
- (6) Iyong mga nagkaroon ng malalang mamasa-masang balat o mga skin sore. (Kumunsulta sa doktor kung malala ang iyong mga sintomas.)
- (7) Iyong may ilang may atopic dermatitis. (Maaaring mapalala ng produktong ito ang atopic dermatitis. Kung mayroon kang atopic dermatitis, kumunsulta sa dalubhasa sa medisina.)

2. Kung naaangkop sa iyo ang alinman sa sumusunod, agad na huminto sa paggamit ng gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko gamit ang kalakip na ito:

- (1) Kapag lumitaw ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos gamitin ang gamot na ito:

Bahaging apektado	Mga Sintomas
Balat	pamamantal, pamumula, pamamaga, pangangati, pamumutok ng balat, iritasyon, pananakit, panunuyo ng balat, hapdi, o pangangaliskis ng balat na katulad ng balakubak

(Ang mga sintomas na binanggit sa itaas ay maaaring dulot ng isang allergic reaction o isang lantarang pagpapahayag ng pharmacological na kalidad ng produktong ito. Maaaring lumubha ang mga sintomas kung patuloy mong gagamitin ang gamot na ito.)

- (2) Kapag hindi bumuti ang mga sintomas pagkatapos gamitin ang gamot na ito makalipas ang 7 araw. (Kapag hindi bumuti ang mga sintomas pagkatapos gamitin ang produktong ito makalipas ang 7 araw, dapat mong isaalang-alang na ang mga sintomas ay maaaring malala o sanhi ng isa pang sakit. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko sa lalong madaling panahon).

Mga Pag-iingat na Pamparmasyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit ang takip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo sa direktang sinag ng araw at temperaturang mababa sa 30° Celsius.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Hugasang mabuti ang iyong mga kamay bago at pagkatapos ng paggamit.
- (4) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari mawalan ito ng bisa o magbago ang kalidad nito.)
- (5) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date. Huwag gamitin ang produkto nang higit sa 6 na buwan matapos na ito ay mabuksan, kahit bago pa sumapit ang expiration date (upang matiyak ang kalidad ng produkto).

出典
制作

製造販売元：グラクソ・スミスクライン株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: HERPECIA Ointment (ヘルペシア軟膏)

※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Para sa paggamot ng nauulit na herpes sa bibig. (Tanging mga pasyente lang na nakaraang nasuri ng isang doktor at nakatanggap ng medikal na paggamot ang maaaring gumamit ng gamot na ito.)

[Sangkap at Pagkilos]

Kabilang ang sumusunod na sangkap sa Herpecia 1g:

Aktibong Sangkap	Dami	Epekto
Acyclovir	50mg	Nakakatulong ang gamot na ito sa paglaban sa herpes virus.

[Dosis at Paggamit]

Maglagay ng naangkop na dami ng gamot na ito sa apektadong lugar nang 3 hanggang 5 beses sa isang araw. (Maglagay kapag nakaramdam ka ng kiliti o ng parang tinutusok ng karayom sa mismo o sa paligid ng iyong mga labi.)

Paglalarawan

- Ang kiliti o parang tinutusok ng karayom ay mga palantandaan ng pag-ulit ng cold sore. Gamitin ang produktong ito mula sa maagang bahagi ng pag-ulit.
- Sa pangkalahatan, gamitin ang produktong ito pagkatapos ng bawat pagkain at bago matulog.
- Huwag ibigay ang gamot na ito sa miyembro ng pamilyang nagkaroon ng cold sore sa unang pagkakataon.

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at mga direksyon sa paggamit.
- Gamitin sa bata ang gamot na ito sa ilalim lamang ng patnubay at pangangasiwa ng magulang.
- Iwasang malagyan ang mga mata. Kung ang gamot na ito ay napunta sa iyong mga mata, mangyaring agad na hugasan ang mga ito ng malamig o maligamgam na tubig. Mangyaring magpagamot sa isang doktor sa mata kung nananakit pa rin ang iyong mga mata matapos na hugasan ang mga ito.
- Para sa panlabas na paggamit lamang.
- Huwag kainin o dilaan ang gamot na ito, kahit na walang banta sa kalusugan ang gamot na ito.

Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at pagtaas ng peligro ng nakakasamang epekto.)

1. Hindi dapat gumamit ng gamot na ito ang sumusunod na mga tao:

- (1) Iyong mga tila mayroong mga sintomas ng cold sore sa unang pagkakataon o may malaking naapektuhang bahagi. (Kumunsulta sa doktor kung mayroon kang mga sintomas sa unang pagkakataon dahil maaari itong lumalala, o kung mayroon kang malaking naapektuhang bahagi, maaari itong malalang anyo ng cold sore.)
- (2) Iyong dati nang may allergic reaction sa gamot na ito o mga gamot na naglalaman ng valacyclovir hydrochloride. (Ang produktong ito ay maaaring magdulot muli ng allergic reaction.)
- (3) Ang mga batang mas bata sa edad na 6.
(May mataas na posibilidad ng impeksyon sa unang pagkakataon para sa mga bata at sanggol.)

2. Huwag gamitin ang gamot na ito sa sumusunod na bahagi ng katawan:

- (1) Sa loob at sa paligid ng iyong mga mata. (Maaaring makairita ang gamot na ito sa iyong mga mata.)
- (2) Anumang bahagi ng katawan bukod sa iyong mga labi at ang lugar na nakapalibot sa mga ito. (Lumilitaw lamang ang cold sore sa at sa palibot ng iyong mga labi).

■ Tiyaking:

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung ang alinman sa sumusunod ang naaangkop sa iyo:
 - (1) Iyong mga sumasailalim sa paggamot sa pamamagitan ng dalawang magkaibang mga doktor. (Maaaring may pagkakataong ireseta ng parehong doktor ang magkatulad o magkaparehong mga gamot.)
 - (2) Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao. (Ang babaeng buntis ay dapat maging maingat tungkol sa pag-inom ng gamot. Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao, kumunsulta sa iyong doktor at sundin ang kanyang mga tagubilin).
 - (3) Isang taong nagpapasuso. (Ipinakikita ng mga pag-aaral na ang mga inang umiinom ng gamot na ito ay maaaring mailipat ito sa kanilang gatas.)
 - (4) Ang mga pasyente o mga miyembro ng kanilang pamilyang posibleng magkaroon ng mga allergy. (Ang taong may allergic constitution ay maaaring makakuha ng mga allergic na sintomas sa pamamagitan ng paggamit ng produktong ito.)
 - (5) Ang ilang may mga allergic reaction sa mga medisina. (Kung dati ka nang mayroong allergic reaction sa gamot, ang produktong ito ay maaaring magdulot din ng allergic reaction.)
 - (6) Iyong mga nagkaroon ng malalang mamasa-masang balat o mga skin sore. (Kumunsulta sa doktor kung malala ang iyong mga sintomas.)
 - (7) Iyong mga may atopic dermatitis. (Maaaring mapalala ng produktong ito ang atopic dermatitis. Kung mayroon kang atopic dermatitis, kumunsulta sa dalubhasa sa medisina.)
2. Kung naaangkop sa iyo ang alinman sa sumusunod, agad na huminto sa paggamit ng gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko gamit ang kalakip na ito:
 - (1) Kapag lumitaw ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos gamitin ang gamot na ito:

Bahaging apektado	Mga Sintomas
Balat	pamamantal, pamumula, pamamaga, pangangati, pamumutok ng balat, iritasyon, pananakit, panunuyo ng balat, hapdi, o pangangaliskis ng balat na katulad ng balakubak

(Ang mga sintomas na binanggit sa itaas ay maaaring dulot ng isang allergic reaction o isang lantarang pagpapahayag ng pharmacological na kalidad ng produktong ito. Maaaring lumubha ang mga sintomas kung patuloy mong gagamitin ang gamot na ito.)
 - (2) Kapag hindi bumuti ang mga sintomas pagkatapos gamitin ang gamot na ito makalipas ang 7 araw. (Kapag hindi bumuti ang mga sintomas pagkatapos gamitin ang produktong ito makalipas ang 7 araw, dapat mong isaalang-alang ang mga sintomas na malala man o sanhi ng isa pang sakit. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko sa lalong madaling panahon).

Mga Pag-iingat na Pamparmasyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit ang takip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo mula sa nasisinagan ng araw at temperaturang mababa sa 30° Celsius.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Hugasang mabuti ang iyong mga kamay bago at pagkatapos ng paggamit.
- (4) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari mawalan ito ng bisa o magbago ang kalidad nito.)
- (5) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date. Huwag gamitin ang produktong ito nang higit sa 6 na buwan pagkatapos na mabuksan ito, kahit na bago ang expiration date (upang matiyak ang kalidad ng produkto).

製造販売元



大正製薬株式会社

出典
制作

(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: S.TAC EVE FINE <tableta> (エスタックイブファイン<錠剤>

※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Pagpawi ng maraming mga sintomas ng sipon: lagnat, panginig, ubo, plema, pamamaga ng lalamunan, uhog, pagbabara ng ilong, pagbahing, pananakit ng ulo, pananakit ng kasu-kasuan, at pananakit ng kalamnan.

[Mga Sangkap at Epekto]

Kabilang sa 9 na mga tableta ang sumusunod na mga sangkap (ang isang araw na dosis para sa isang nasa wastong edad):

Aktibong Sangkap	Nilalaman	Epekto
Ibuprofen	450mg	Pinapababa ang lagnat, at nakakatulong na mapawi ang mga pananakit ng ulo, pamamaga ng lalamunan, at kirot.
Ambroxol Hydrochloride	45mg	Tumutulong na labanan ang sanhi ng paulit-ulit na pag-ubo.
Isopropamide Iodide	6mg	Nakakatulong na mapawi ang runny nose.
Dihydrocodeine Phosphate	24mg	Kinokontrol ang pag-ubo, umeepekto sa pinakasanhi nito.
dl-Methylephedrine Hydrochloride	60mg	Pinapalawak ang bronchi (pinadadali ang paghinga) at tumutulong na pigilan ang pag-ubo.
Chlorpheniramine Maleate	7.5mg	Pinapawi ang pagbahing, runny nose, at pagbabara.
Anhydrous caffeine	75mg	Tumutulong na mapawi ang mga pananakit ng ulo.
Ascorbic acid (vitamin C)	300mg	Para sa muling pagdaragdag ng bitaminang ito, na madaling maubos kapag mayroon kang sipon.
Thiamine nitrate (vitamin B1 nitrates)	24mg	

[Dosis at Paggamit]

Inumin ang mga tableta 3 beses sa isang araw sa loob ng 30 minuto pagkatapos kumain.

Edad	Isang dosis
Nasa wastong edad (15 taong gulang o higit pa)	3 tabletas
Mas bata sa 15 taong gulang	Huwag uminom ng gamot na ito.

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at mga direksyon sa paggamit.

Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigo na sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at mapataas ang peligro ng mga nakakasamang epekto).

1. Hindi dapat uminom ng gamot na ito ang sumusunod na mga tao:

- Iyong mga dati nang may allergic reaction sa gamot na ito.
- Sa mga nagkaroon ng pag-atake ng hika matapos na inumin ang gamot na ito o iba pang mga gamot sa sipon tulad ng mga pampababa ng lagnat o painkillers.
- Ang mga mas bata sa 15 taong gulang ay hindi dapat uminom ng gamot na ito.

2. Kapag umiinom ng gamot na ito, tiyaking huwag uminom ng mga sumusunod na gamot:
Iba pang mga gamot sa sipon, pampababa ng lagnat, pampakalma, pampigil sa ubo, o anumang mga gamot na iniinom na naglalaman ng antihistamine, hal., mga gamot na iniinom para sa runny nose, mga pildoras para sa pagkahilo sa biyahe, o mga paggamot sa allergy.
3. Mangyaring huwag magpatakbo ng sasakyan o makinarya pagkatapos uminom ng gamot na ito.
(Ang gamot na ito ay maaaring makapagpaantok sa iyo o makaapekto sa iyong paningin.)
4. Ang mga kababaihang nagpapasuso ay hindi dapat uminom ng gamot na ito. Kung iinom ka ng gamot na ito, mangyaring huminto sa pagpapasuso ng inyong anak.
5. Mangyaring huminto sa pag-inom ng mga inuming nakalalasing kapag umiinom ng gamot na ito.
6. Mangyaring huwag uminom ng gamot na ito nang higit sa 5 araw.

■ **Tiyaking:**

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung naaangkop sa iyo ang alinman sa sa mga sumusunod:
 - (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggamot ng doktor o dentista
 - (2) Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao.
 - (3) Kung ikaw ay may edad na.
 - (4) Sa mga malapit sa mga allergy o mayroong kasaysayan ng allergy sa pamilya.
 - (5) Kung ikaw ay isang taong dati nang nagkaroon ng mga allergic reaction sa mga gamot.
 - (6) Ang mga taong may sumusunod na sintomas: mataas na lagnat, o hrap sa pag-ihi.
 - (7) Sa mga nasuring may alinman sa sumusunod: alta presyon, sakit sa puso, diyabetis, glaucoma, sakit sa atay, sakit sa bato, pamamaga ng thyroid gland, lupus, o Sharp syndrome.
 - (8) Iyong mga nagkaroon ng mga sumusunod na sakit:
Isang gastroduodenal ulcer, idiopathic ulcerative colitis, o Crohn's disease.
2. Kung nakakaranas ka ng alinman sa sumusunod, agad na huminto sa paggamit ng gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko tungkol sa kalakip na ito.
 - (1) Kapag lumitaw ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos inumin ang gamot na ito.

Bahaging apektado	Mga Sintomas
Balat	Pantal, pamumula, o pangangati
Digestive system	Pagduduwal, pagsusuka, walang gana, pananakit ng tiyan, pagkasira ng tiyan, kabag, heartburn, o pananakit ng sikmura
Nervous system	Pagkahilo
Iba pa	Malabong paningin, matining na tunog sa tenga, hrap sa pag-ihi, plema, o pagkamanhid sa iyong katawan

Ang mga sumusunod na seryosong sintomas ay maaaring bihirang mangyari. Kung mayroon ka ng mga sintomas na ito, kumunsulta agad sa doktor.

Pangalan ng sintomas	(Mga) Tanda ng sintomas
Pagkagulat (anaphylaxis)	Pamumutla ng mukha, panlalamig ng mga kamay at paa, labis na pagpapawis nang malamig, labis na pamamantal, nakakaranas ng pamamantas, o hirap sa paghinga pagkatapos na uminom ng gamot na ito.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Kabilang sa mga malalang palantandaan: pamamantal, pamumula ng balat, ang paglitaw ng mga paltos sa balat na parang nalapnos, bibig, o sa paligid ng mga mata.
Sakit sa atay	Labis na pagkapagod o jaundice (paninilaw ng balat o mga mata).
Pagpalya ng bato	Ang pagbaba ng dami ng ihi, pamamaga ng katawan, pangkalahatang depresyon, pagsusuka, dugo sa ihi, o albumin sa ihi.
Aseptic meningitis	Kabilang ang: nakikitaan ng matinding pananakit ng ulo, lagnat, pagkahilo / pagsusuka. (Para sa mga sintomas, madalas na nauulat ang mga iyon sa mga pasyenteng ginagamot para sa lupus o halu-halong mga karamdaman sa connective tissue).
Interstitial pneumonia	Kabilang ang: pagkahapo, hirap sa paghinga, o dry cough. (Kung ang mga sintomas na ito, ay pareho sa ilang nakita sa pagkakaroon ng sipon, ay mas lumalala, huminto sa pag-inom ng gamot na ito at kumunsulta sa iyong doktor sa lalong madaling panahon kung ikaw ay.)
May hika	

- (2) Kapag hindi bumuti ang iyong mga sintomas kahit uminom ka ng gamot nang 5-6 na beses.
(Sa partikular, kung nagpatuloy ang iyong lagnat nang higit sa tatlong araw.)
3. Ang mga sumusunod na sintomas ay maaaring mangyari paminsan-minsan. Kung ang mga sintomas na ito ay nagpatuloy o nadagdagan, huwag ipagpatuloy ang gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko:
Empatso, pagtatae, o panunuyo ng bibig.

Mga Pag-iingat na Pamparmasyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit ang takip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo mula sa nasisinagan ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari mawalan ito ng bisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag gamitin ang gamot na ito ng may mga basang kamay. Ang balot na asukal ay maaaring hindi pantay o maaaring magbago ang kulay nito.
- (5) Ang inilagay na bagay sa bote ay nilayon upang maiwasang masira ang tableta sa panahon ng pabibiyahe. Mangyaring alisin ito pagkatapos na buksan.
- (6) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date. Huwag gamitin ang produktong ito nang higit sa 6 na buwan pagkatapos na mabuksan ito, kahit na bago sumapit ang expiration date.

出典
発行



製造販売元

Eisai製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: S.TAC EVE FINE <granule> (エスタックイブファイン<顆粒>)

※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Pagpawi ng maraming mga sintomas ng sipon: lagnat, pangiginig, ubo, plema, pamamaga ng lalamunan, uhog, pagbabara ng ilong, pagbahing, pananakit ng ulo, pananakit ng kasu-kasuan, at pananakit ng kalamnan.

[Mga Sangkap at Epekto]

Kabilang ang mga sumusunod na sangkap sa 1 pakete (1.3g):

Aktibong Sangkap	Dami	Epekto
Ibuprofen	150mg	Pinapababa ang lagnat, at nakakatulong na mapawi ang mga pananakit ng ulo, pamamaga ng lalamunan, at kirot.
Ambroxol Hydrochloride	15mg	Tumutulong na labanan ang sanhi ng paulit-ulit na pag-ubo.
Isopropamide Iodide	2mg	Nakakatulong na mapawi ang runny nose.
Dihydrocodeine Phosphate	8mg	Kinokontrol ang pag-ubo, umeepekto sa pinakasanhi nito.
dl-Methylephedrine Hydrochloride	20mg	Pinapalawak ang bronchi (pinadadali ang paghinga) at tumutulong na pigilan ang pag-ubo.
Chlorpheniramine Maleate	2.5mg	Pinapawi ang pagbahing, runny nose, at pagbabara.
Anhydrous caffeine	25mg	Tumutulong na mapawi ang mga pananakit ng ulo.
Ascorbic acid (vitamin C)	100mg	Para sa muling pagdaragdag ng bitaminang ito, na madaling maubos kapag mayroon kang sipon.
Thiamine nitrate (vitamin B1 nitrates)	8mg	

[Dosis at Paggamit]

Gamitin ang package ng 3 beses sa isang araw sa loob ng 30 minuto pagkatapos kumain.

Edad	Isang dosis
Nasa wastong edad (15 taong gulang o higit pa)	1 pakete
Mas bata sa 15 taong gulang	Huwag uminom ng gamot na ito.

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at mga direksyon sa paggamit.

Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigo na sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at mapataas ang peligro ng mga nakakasamang epekto).

1. Hindi dapat uminom ng gamot na ito ang sumusunod na mga tao:

- (1) Iyong mga dati nang may allergic reaction sa gamot na ito.
- (2) Sa mga nagkaroon ng pag-atake ng hika matapos na inumin ang gamot na ito o iba pang mga gamot sa sipon tulad ng mga pampababa ng lagnat o painkillers.
- (3) Sa mga mas bata sa 15 taong gulang ay hindi dapat uminom ng gamot na ito.

2. Kapag umiinom ng gamot na ito, tiyaking huwag uminom ng mga sumusunod na gamot:
Iba pang mga gamot sa sipon, pampababa ng lagnat, pampakalma, pampigil sa ubo, o anumang mga gamot na iniinom na naglalaman ng antihistamine, hal., mga gamot na iniinom para sa runny nose, mga pildoras para sa pagkahilo sa biyahe, o mga paggamot sa allergy.
3. Mangyaring huwag magpatakbo ng sasakyan o makinarya pagkatapos uminom ng gamot na ito.
(Ang gamot na ito ay maaaring makapagpaantok sa iyo o makaapekto sa iyong paningin.)
4. Ang mga kababaihang nagpapasuso ay hindi dapat uminom ng gamot na ito. Kung iinom ka ng gamot na ito, mangyaring huminto sa pagpapasuso ng inyong anak.
5. Mangyaring huminto sa pag-inom ng mga inuming nakalalasing kapag umiinom ng gamot na ito.
6. Mangyaring huwag uminom ng gamot na ito nang higit sa 5 araw.

■ Tiyaking:

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung ang alinman sa sumusunod ang naaangkop sa iyo:
 - (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggamot ng doktor o dentista
 - (2) Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao.
 - (3) Kung ikaw ay may edad na.
 - (4) Sa mga malapit sa mga allergy o mayroong kasaysayan ng allergy sa pamilya.
 - (5) Kung ikaw ay isang taong dati nang nagkaroon ng mga allergic reaction sa mga gamot.
 - (6) Ang mga taong may sumusunod na sintomas: mataas na lagnat, o hrap sa pag-ihi.
 - (7) Sa mga nasuring may alinman sa sumusunod: alta presyon, sakit sa puso, diyabetis, glaucoma, sakit sa atay, sakit sa bato, pamamaga ng thyroid gland, lupus, o Sharp syndrome.
 - (8) Iyong mga nagkaroon ng mga sumusunod na sakit:
Isang gastroduodenal ulcer, idiopathic ulcerative colitis, o Crohn's disease.
2. Kung nakakaranas ka ng alinman sa sumusunod, agad na huminto sa paggamit ng gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko tungkol sa kalakip na ito.
 - (1) Kapag lumitaw ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos inumin ang gamot na ito.

Bahaging apektado	Mga Sintomas
Balat	Pantal, pamumula, o pangangati
Digestive system	Pagduduwal, pagsusuka, walang gana, pananakit ng tiyan, pagkasira ng tiyan, kabag, heartburn, o pananakit ng sikmura
Nervous system	Pagkahilo
Iba pa	Malabong paningin, matining na tunog sa tenga, hrap sa pag-ihi, plema, o pagkamanhid sa iyong katawan

Ang mga sumusunod na seryosong sintomas ay maaaring bihirang mangyari. Kung mayroon ka ng mga sintomas na ito, kumunsulta agad sa doktor.

Pangalan ng sintomas	(Mga) Tanda ng sintomas
Pagkagulat (anaphylaxis)	Pamumutla ng mukha, panlalamig ng mga kamay at paa, labis na pagpapawis nang malamig, labis na pamamantal, nakakaranas ng pamamantas, o hirap sa paghinga pagkatapos na uminom ng gamot na ito.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Kabilang sa mga malalang palantandaan: pamamantal, pamumula ng balat, ang paglitaw ng mga paltos sa balat na parang nalapnos, bibig, o sa paligid ng mga mata.
Sakit sa atay	Labis na pagkapagod o jaundice (paninilaw ng balat o mga mata).
Pagpalya ng bato	Ang pagbaba ng dami ng ihi, pamamaga ng katawan, pangkalahatang depresyon, pagsusuka, dugo sa ihi, o albumin sa ihi.
Aseptic meningitis	Kabilang ang: nakikitaan ng matinding pananakit ng ulo, lagnat, pagkahilo / pagsusuka. (Para sa mga sintomas, madalas na nauulat ang mga iyon sa mga pasyenteng ginagamot para sa lupus o halu-halong mga karamdaman sa connective tissue).
Interstitial pneumonia	Kabilang ang: pagkahapo, hirap sa paghinga, o dry cough. (Kung ang mga sintomas na ito, ay pareho sa ilang nakita sa pagkakaroon ng sipon, ay mas lumalala, huminto sa pag-inom ng gamot na ito at kumunsulta sa iyong doktor sa lalong madaling panahon kung ikaw ay.)
May hika	

(2) Kapag hindi bumuti ang iyong mga sintomas kahit uminom ka ng gamot nang 5-6 na beses.

(Sa partikular, kung nagpatuloy ang iyong lagnat nang higit sa tatlong araw.)

3. Ang mga sumusunod na sintomas ay maaaring mangyari paminsan-minsan. Kung ang mga sintomas na ito ay nagpatuloy o nadagdagan, huwag ipagpatuloy ang gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko:

Empatso, pagtatae, o panunuyo ng bibig.

Mga Pag-iingat na Pamparmasyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit at nakatakip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo mula sa nasisinagan ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari mawalan ito ng bisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date.

出典
発行



製造販売元

Eisai製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: PABRON ACE AX <Tableta> (パブロンエースAX 錠 <錠剤>)

※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Pagpawi ng maraming mga sintomas ng sipon: lagnat, panginginig, ubo, plema, pamamaga ng lalamunan, uhog, pagbabara ng ilong, pagbahing, pananakit ng ulo, pananakit ng kasu-kasuan, at pananakit ng kalamnan.

[Mga Sangkap at Epekto]

Kabilang ang mga sumusunod na sangkap sa 3 tableta (nag-iisang dosis).

Aktibong Sangkap	Nilalaman	Epekto
Ibuprofen	150mg	Pinapababa ang lagnat, at nakakatulong na mapawi ang mga pananakit ng ulo, pamamaga ng lalamunan, at kirot.
Ambroxol Hydrochloride	15mg	Tumutulong na labanan ang sanhi ng paulit-ulit na pag-ubo.
Dihydrocodeine Phosphate	8mg	Kinokontrol ang pag-ubo, umeepekto sa pinakasanhi nito.
dl-Methylephedrine Hydrochloride	20mg	Pinapalawak ang bronchi (pinadadali ang paghinga) at tumutulong na pigilan ang pag-ubo.
Chlorpheniramine Maleate	2.5mg	Pinapawi ang pagbahing, runny nose, at pagbabara.
Anhydrous Caffeine	25mg	Tumutulong na mapawi ang mga pananakit ng ulo.
Ascorbic Acid (bitamina C)	166.7mg	Para sa muling pagdaragdag ng bitaminang ito, na madaling maubos kapag mayroon kang sipon.
Thiamine Nitrate (bitamina B1 Nitrate)	8mg	
Riboflavin (bitamin B2)	4mg	

[Dosis at Paggamit]

Inumin ang mga tableta 3 beses sa isang araw sa loob ng 30 minuto pagkatapos kumain.

Edad	Isang dosis
Nasa wastong edad (15 taong gulang o higit pa)	3 tabletas
Mas bata sa 15 taong gulang	Huwag uminom ng gamot na ito.

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at mga direksyon sa paggamit.
- Paano alisin ang tableta mula sa pakete:
Upang alisin ang tableta mula sa PTP sheet, itulak nang dahan-dahan ang tableta palabas ng aluminum foil. (Maging maingat na huwag malulon ang anumang bahagi ng PTP sheet, dahil maaaring may mangyaring hindi inaasahang mga aksidente kapag ginawa ito, tulad ng pagbara sa lalamunan ng piraso ng aluminum foil.)

Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at madagdagan ang peligro ng mga nakakasamang epekto.)

1. Hindi dapat uminom ng gamot na ito ang mga sumusunod na tao:

- Iyong mga may allergic reaction sa gamot na ito.
- Iyong mga nagkaroon ng pag-atake ng hika matapos na inumin ang gamot na ito o iba pang mga gamot sa sipon tulad ng: mga pampababa ng lagnat o painkiller.
- Iyong mga mas bata sa 15 taong gulang ay hindi dapat gumamit ng gamot na ito.

2. Kapag umiinom ng gamot na ito, tiyaking huwag uminom ng mga sumusunod na gamot:
Iba pang mga gamot sa sipon, mga pampababa ng lagnat, mga pampakalma, mga pampigil sa ubo, o anumang mga gamot na iniinom na naglalaman ng antihistamine, hal., mga gamot na iniinom para sa runny nose, mga pildoras para sa pagkahilo sa biyahe, o mga paggamot sa allergy.
3. Mangyaring huwag magpatakbo ng sasakyan o makinarya pagkatapos uminom ng gamot na ito.
(Ang gamot na ito ay maaaring makapagpaantok sa iyo o makaapekto ng iyong paningin.)
4. Ang mga kababaihang nagpapasuso ay hindi dapat uminom ng gamot na ito. Kung iinom ka ng gamot na ito, mangyaring huminto sa pagpapasuso ng inyong anak.
5. Mangyaring huminto sa pag-inom ng mga inuming nakalalasing kapag umiinom ng gamot na ito.
6. Mangyaring huwag uminom ng gamot na ito nang higit sa 5 araw.

■ Tiyaking:

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung naaangkop sa iyo ang anuman sa sumusunod:
 - (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggamot ng doktor o dentista
 - (2) Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao.
 - (3) Kung ikaw ay may edad na.
 - (4) Iyong mga malapit sa mga allergy o mayroong kasaysayan ng allergy sa pamilya.
 - (5) Kung ikaw ay isang taong dati nang nagkaroon ng mga allergic reaction sa mga gamot.
 - (6) Ang mga taong may sumusunod na sintomas: mataas na lagnat, o hrap sa pag-ihi.
 - (7) Sa mga nasuring may anuman sa sumusunod: alta presyon, sakit sa puso, diyabetis, glaucoma, sakit sa atay, sakit sa bato, pamamaga ng thyroid gland, lupus, o Sharp syndrome.
 - (8) Iyong mga nagkaroon ng mga sumusunod na sakit:
Gastroduodenal ulcer, idiopathic ulcerative colitis, o Crohn's disease.
2. Kung nakakaranas ka ng anuman sa sumusunod, agad na huminto sa paggamit ng gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko tungkol sa kalakip na ito.
 - (1) Kapag lumitaw ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos inumin ang gamot na ito.

Bahaging apektado	Mga Sintomas
Balat	Pantal, pamumula, o pangangati
Digestive system	Pagduduwal, pagsusuka, walang gana, pananakit ng tiyan, pagkasira ng tiyan, kabag, heartburn, o pananakit ng sikmura
Nervous system	Pagkahilo, o pamamanhid sa iyong katawan
Iba pa	Malabong paningin, matining na tunog sa tenga, hrap sa pag-ihi, pamamanas

Ang mga sumusunod na seryosong sintomas ay maaaring bihirang mangyari. Kung mayroon ka ng mga sintomas na ito, kumunsulta agad sa doktor.

Pangalan ng sintomas	(Mga) Tanda ng sintomas
Pagkagulat (anaphylaxis)	Pamumutla ng mukha, panlalamig ng mga kamay at paa, labis na pagpapawis nang malamig, labis na pamamantal, nakakaranas ng pamamanas, o hirap sa paghinga pagkatapos na uminom ng gamot na ito.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Kabilang sa mga malalang palantandaan ang: pamamantal, pamumula ng balat, ang paglitaw ng mga paltos sa balat na parang nalapnos, bibig, o sa paligid ng mga mata.
Sakit sa atay	Labis na pagkapagod o jaundice (paninilaw ng balat o mga mata).
Pagpalya ng bato	Ang pagbaba ng dami ng ihi, pamamaga ng katawan, pangkalahatang karamdaman, pagsusuka, dugo sa ihi, o albumin sa ihi.
Aseptic meningitis	Kabilang ang: lumilitaw ang matinding pananakit ng ulo, lagnat, pagkahilo / pagsusuka. (Para sa mga sintomas, madalas na nauulat ang mga iyon sa mga pasyenteng ginagamot para sa lupus o halo-halong mga karamdaman sa connective tissue).
Interstitial pneumonia	Kabilang ang: pagkahapo, hirap sa paghinga, o dry cough. (Kung ang mga sintomas na ito, ay pareho sa ilang nakita sa pagkakaroon ng sipon, na mas lumalala huminto sa pag-inom ng gamot na ito at kumunsulta sa iyong doktor sa lalong madaling panahon kung ikaw ay.)
May hika	

- (2) Kapag hindi bumuti ang iyong mga sintomas kahit uminom ka ng gamot nang 5-6 na beses.
(Sa partikular, kung nagpatuloy ang iyong lagnat nang higit sa tatlong araw.)
3. Ang mga sumusunod na sintomas ay maaaring mangyari paminsan-minsan. Kung ang mga sintomas na ito ay nagpatuloy o nadagdagan, huwag ipagpatuloy ang gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko:
Empatso, pagtatae, o panunuyo ng bibig.
4. Kapag umiinom ng gamot na ito, maaaring magkulay-dilaw ang iyong ihi. Ito ay dahil sa nilalamang bitamina B2 ng gamot na ito.

Mga Pag-iingat na Pangparmasyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit ang takip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo mula sa nasisinagan ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari mawala ito ng bisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date. Huwag gamitin ang produktong ito nang higit sa 6 na buwan pagkatapos na mabuksan ito, kahit na bago ang expiration date (upang matiyak ang kalidad ng produkto).

出典
発行



大正製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: PABRON ACE AX <Particle> (パブロンエースAX<微粒>)
※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Pagpawi ng maraming mga sintomas ng sipon: lagnat, pangiginig, ubo, plema, pamamaga ng lalamunan, uhog, pagbabara ng ilong, pagbahing, pananakit ng ulo, pananakit ng kasu-kasuan, at pananakit ng kalamnan.

[Mga Sangkap at Epekto]

Kabilang ang mga sumusunod na sangkap sa 1 package(1.3g).

Aktibong Sangkap	Nilalaman	Epekto
Ibuprofen	150mg	Pinababa ang lagnat, at nakakatulong na mapawi ang mga pananakit ng ulo, pamamaga ng lalamunan, at pananakit.
Ambroxol Hydrochloride	15mg	Tumutulong na labanan ang sanhi ng tuluy-tuloy na pag-ubo.
Dihydrocodeine Phosphate	8mg	Kinokontrol ang pag-ubo, umeepekto sa pinagmulang sanhi.
dl-Methylephedrine Hydrochloride	20mg	Pinalalawak ang bronchi (pinadadali ang paghinga) at nakakatulong na pigilan ang pag-ubo.
Chlorpheniramine Maleate	2.5mg	Pinapawi ang pagbahing, runny nose, at pagbabara.
Anhydrous Caffeine	25mg	Nakakatulong na mapawi ang mga pananakit ng ulo.
Ascorbic Acid (vitamin C)	166.7mg	Para sa muling pagdaragdag ng bitaminang ito, na madaling maubos kapag mayroon kang sipon.
Thiamine Nitrate (vitamin B1 Nitrate)	8mg	
Riboflavin (vitamin B2)	4mg	

[Dosis at Paggamit]

Inumin ang 1 package nang 3 beses sa isang araw sa loob ng 30 minuto pagkatapos kumain.

Edad	Isang dosis
Nasa wastong edad (15 taong gulang o mas matanda)	1 pakete
Mas bata sa 15 taong gulang	Huwag inumin ang gamot na ito.

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring eksaktong sundin ang tunukoy na mga direksyon sa dosis at paggamit.

Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na pag-iingat bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at pagtaas ng peligro ng nakakasamang epekto.)

1. Hindi dapat uminom ng gamot na ito ang sumusunod na mga tao:

- Iyong mga may allergic reaction sa gamot na ito.
- Iyong mga nagkaroon ng pag-atake ng hika matapos na inumin ang gamot na ito o iba pang mga gamot sa sipon tulad ng: mga pampababa ng lagnat o painkiller.
- Iyong mga mas bata sa 15 taong gulang ay hindi dapat gumamit ng gamot na ito.

2. Kapag umiinom ng gamot na ito, tiyaking huwag uminom ng mga sumusunod na gamot:
Iba pang mga gamot sa sipon, pampababa ng lagnat, pampakalma, pampigil sa ubo, o anumang mga gamot na iniinom na naglalaman ng antihistamine, hal., mga gamot na iniinom para sa runny nose, mga pildoras para sa pagkahilo sa biyahe, o mga paggamot sa allergy.
3. Mangyaring huwag magpatakbo ng sasakyan o makinarya pagkatapos uminom ng gamot na ito.
(Ang gamot na ito ay maaaring makapagpaantok sa iyo o makaapekto sa iyong paningin.)
4. Ang mga kababaihang nagpapasuso ay hindi dapat uminom ng gamot na ito. Kung iinom ka ng gamot na ito, mangyaring huminto sa pagpapasuso ng inyong anak.
5. Mangyaring huminto sa pag-inom ng mga inuming nakalalasing kapag umiinom ng gamot na ito.
6. Mangyaring huwag uminom ng gamot na ito nang higit sa 5 araw.

■ **Tiyaking:**

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung naaangkop sa iyo ang alinman sa sa mga sumusunod:
 - (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggamot ng doktor o dentista
 - (2) Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao.
 - (3) Kung ikaw ay may edad na.
 - (4) Sa mga malapit sa mga allergy o mayroong kasaysayan ng allergy sa pamilya.
 - (5) Kung ikaw ay isang taong dati nang nagkaroon ng mga allergic reaction sa mga gamot.
 - (6) Ang mga taong may sumusunod na sintomas: mataas na lagnat, o hrap sa pag-ihi.
 - (7) Sa mga nasuring may alinman sa sumusunod: alta presyon, sakit sa puso, diyabetis, glaucoma, sakit sa atay, sakit sa bato, pamamaga ng thyroid gland, lupus, o Sharp syndrome.
 - (8) Iyong mga nagkaroon ng mga sumusunod na sakit:
Isang gastroduodenal ulcer, idiopathic ulcerative colitis, o Crohn's disease.
2. Kung nakakaranas ka ng alinman sa sumusunod, agad na huminto sa paggamit ng gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko tungkol sa kalakip na ito.
 - (1) Kapag ang mga sumusunod na sintomas ay lumitaw pagkatapos na gamitin ang gamot na ito, tumigil sa pag-inom ng gamot at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko:

Bahaging apektado	Mga Sintomas
Balat	Pantal, pamumula, o pangangati
Digestive system	Pagduduwal, pagsusuka, walang gana, pananakit ng tiyan, pagkasira ng tiyan, kabag, heartburn, o pananakit ng sikmura
Nervous system	Pagkahilo, o pamamanhid sa iyong katawan
Iba pa	Malabong paningin, matining na tunog sa tenga, hrap sa pag-ihi, pamamanas

Ang mga sumusunod na seryosong sintomas ay maaaring bihirang mangyari. Kung mayroon ka ng mga sintomas na ito, kumunsulta agad sa doktor.

Pangalan ng sintomas	(Mga) Tanda ng sintomas
Pagkagulat (anaphylaxis)	Pamumutla ng mukha, panlalamig ng mga kamay at paa, labis na pagpapawis nang malamig, labis na pamamantal, nakakaranas ng pamamanas, o hirap sa paghinga pagkatapos na uminom ng gamot na ito.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Kabilang sa mga malalang palantandaan: pamamantal, pamumula ng balat, ang paglitaw ng mga paltos sa balat na parang nalapnos, bibig, o sa paligid ng mga mata.
Sakit sa atay	Labis na pagkapagod o jaundice (paninilaw ng balat o mga mata).
Pagpalya ng bato	Ang pagbaba ng dami ng ihi, pamamaga ng katawan, pangkalahatang depresyon, pagsusuka, dugo sa ihi, o albumin sa ihi.
Aseptic meningitis	Kabilang ang: paglitaw ng isang matinding pananakit ng ulo, lagnat, pagkahilo/ pagsusuka. Gaya ng mga sintomas na ito, madalas na napapaulat ito sa mga pasyenteng ginamot para sa lupus o mixed connective tissue disease.
Interstitial pneumonia	Kabilang ang: pagkahapo, hirap sa paghinga, o dry cough. (Kung ang mga sintomas na ito, ay pareho sa ilang nakita sa pagkakaroon ng sipon, ay mas lumalala, huminto sa pag-inom ng gamot na ito at kumunsulta sa iyong doktor sa lalong madaling panahon kung ikaw ay.)
May hika	

- (2) Kapag hindi bumuti ang iyong mga sintomas kahit uminom ka ng gamot nang 5-6 na beses.
(Sa partikular, kung nagpatuloy ang iyong lagnat nang higit sa tatlong araw.)
3. Ang mga sumusunod na sintomas ay maaaring mangyari paminsan-minsan. Kung ang mga sintomas na ito ay nagpatuloy o nadagdagan, huwag ipagpatuloy ang gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko:
Empatso, pagtatae, o panunuyo ng bibig.
4. Kapag umiinom ng gamot na ito, maaaring magkulay dilaw ang iyong ihi.
Ito ay dahil sa nilalamang bitamina B2 ng gamot na ito.

Mga Pag-iingat na Pamparmasyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit ang takip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo mula sa nasisinagan ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari mawalan ito ng bisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date.


大正製薬株式会社
 出典
 発行 (社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: GASTER10 <Pulbos> (ガスター10 <散>)

※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Pagpawi ng mga sintomas tulad ng pananakit ng tiyan, heartburn, at pagkahilo.

<Mga Pag-iingat sa Paggamit>

Huwag gamitin ang gamot na ito para sa mga sintomas bukod sa mga ipinahiwatig sa itaas.

[Mga Sangkap at Epekto]

Ang sumusunod na sangkap ay kasama sa isang pakete (0.5g.)

Sangkap	Dami	Epekto
Famotidine	10mg	Tumutulong ang gamot na ito na kontrolin ang gastric acid.

[Dosis at Paggamit]

- Mangyaring inumin ang gamot na ito nang may malamig o maligamgam na tubig ayon sa mga sumusunod:

Edad	Dosis	Bilang ng dosis sa isang araw
Mga nasa wastong edad (15 taong gulang o mas matanda at mas bata sa 80 taong gulang)	1 pakete	Maximum ng 2
Mga bata (mas mababa sa 15 taong gulang)	Huwag uminom ng gamot na ito.	
Mga nakatatanda (edad 80 at higit pa)		

Hindi dapat na inumin ang gamot na ito sa isang pirmihang iskedyul, ngunit kapag lumilitaw lamang ang mga sintomas.

Maaari mong inumin ang gamot na ito anumang oras ng pagkain (ibig sabihin, parehong ayos lang ang bago at pagkatapos kumain).

Kapag umiinom ng gamot na ito nang 2 beses sa isang araw, dapat kang maghintay ng 8 oras bago uminom nang pangalawang beses dahil nagtatagal ang epekto nito ng 8 oras.

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at paggamit.
- Kung hindi bumuti ang iyong mga sintomas pagkalipas ng 8 oras, uminom ng 1 pang pakete.
- Kung bumuti na ang mga sintomas, itigil ang pag-inom ng gamot na ito.
- Kung hindi bumuti ang iyong mga sintomas pagkatapos na uminom ng gamot na ito nang 3 araw, itigil ang pag-inom nito at kumunsulta sa isang doktor o isang parmasyutiko.
- Mangyaring iwasan ang patuloy na paggamit nang higit sa 2 linggo.

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring huminto sa pag-inom ng alkohol kapag umiinom ng gamot na ito.
(Sa pangkalahatan, huwag uminom ng gamot kasabay ng anumang mga inuming nakalalasing).

Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at pagtaas ng peligro ng masamang epekto.)

1. Hindi dapat uminom ng gamot na ito ang mga sumusunod na tao:

- (1) Iyong mga dati nang nagkaroon ng allergic reaction sa gamot na ito (hal. pamamantal, pamumula, pangangati, pamamaga ng lalamunan, talukap ng mata, o labi) o mga gamot na naglalaman ng mga H2 blocker tulad ng Famotidine.
 - (2) Iyong mga nakatanggap ng paggagamot para sa mga sumusunod na karamdaman:
Karamdaman sa dugo, karamdaman sa bato o atay, karamdaman sa puso, gastro-duodenal disease, at mga karamdamang immunological tulad ng hika, rayuma, o niresetahan ng mga steroid, antibiotic, anticancer agent, o antifungal na azole-based. (Maaaring maganap ang mga pagbaba ng mga leukocyte, WBC, o blood platelet).
Sa mga pasyenteng may karamdaman sa bato o atay, huli ang paglabas ng gamot mula sa katawan at maaaring mayroon itong malakas na epekto dito.
Sa mga pasyenteng may karamdaman sa puso tulad ng myocardial infarction, heart valve disease, o myocardial disease (cardiomyopathy), maaaring maganap ang pulse disorder na may abnormalidad sa ECG (electrocardiographic).
Para sa mga tumatanggap ng paggagamot para sa gastro-duodenal disease, maaaring ireseta ang Famotidine, o kaparehong mga gamot. Gayunpaman, iwasan ang sabay na paggamit ng mga magkakaparehong gamot.
Ang pagkuha ng mga antifungal na azole-based ay magbabawas sa pagiging epektibo ng gamot na ito.
 - (3) Iyong mga naabisuhan ng doktor tungkol sa pagkakaroon ng abnormal na dugo (dysemia); kaunting mga red blood corpuscle (anemia), kaunting mga platelet, o mababang bilang ng mga leukocyte. (Maaaring magsanhi ang gamot na ito ng paulit-ulit na pagiging abnormal ng dugo).
 - (4) Mga bata (sa ilalim ng 15 taong gulang) at mga nakatatanda (80 taon at higit pa).
 - (5) Iyong mga o iniisip na nagdadalang tao at mga babaeng nagpapasuso.
- #### 2. Huwag uminom ng mga sumusunod na mga gamot habang umiinom ng gamot na ito: iba pang mga gastrointestinal agent.

■ Tiyaking:

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung naaangkop sa iyo ang anuman sa sumusunod:
 - (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggamot ng doktor o dentista
 - (2) Iyong mga malapit sa mga allergy o mayroong kasaysayan ng allergy sa pamilya.
 - (3) Ikaw ay isang taong dati nang nagkaroon ng mga allergic reaksiyon sa mga gamot.
 - (4) Mga may edad na (65 taon at higit pa).
(Ang mga nakatatanda ay kadalasang mayroong nabawasang paggana na physiological).
 - (5) Sa mga mayroon ng mga sumusunod na sintomas: pamamaga ng lalamunan, pag-ubo, o mataas na lagnat.
(Sa mga pasyenteng may mga naturang sakit, posible ang isang seryosong impeksyon at maaaring maobserbahan ang pagkakaroon ng abnormal na dugo tulad ng nabawasang mga hemocyte. Kung mayroon nang sakit ang tao bago inumin ang gamot, maaari nitong palalain ang sakit, na humahantong sa naantalang pagkakita ng nakasasamang epekto sa paggagamot).
Pagbaba ng timbang sa hindi alam na dahilan, paulit-ulit na kirot sa sikmura.
(Ang mga sintomas ay maaaring sanhi ng isa pang karamdaman).

2. Kapag ang mga sumusunod na sintomas ay naganap pagkatapos na gamitin ang gamot na ito, tumigil sa pag-inom ng gamot at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko gamit ang kalakip na ito:

- (1) Kapag lumitaw ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos gamitin ang gamot na ito:

Lugar sa katawan	(Mga) Sintomas
Balat	pamamantal, pamumula, pangangati, o pamamaga
Circulatory system	iregular na tibok ng puso
Nervous system	pagkawala ng malay o mga kombulsyon
Iba pa	maaaring sumama ang pakiramdam mo, o manghina, magkaroon ng mataas na lagnat, o maaaring lumala ang kondisyon ng iyong katawan sa pangkalahatan.

Ang mga sumusunod na seryosong sintomas ay maaaring bihirang mangyari. Kung mayroon ka ng mga sintomas na ito, kumunsulta agad sa doktor.

Pangalan ng sintomas	Mga tanda ng sintomas
Pagkagulat (anaphylaxis)	Pamumutla ng mukha, panlalamig ng mga kamay at paa, labis na pagpapawis nang malamig, labis na pamamantal, nakakaranas ng pamamanas, o hirap sa paghinga pagkatapos uminom ng gamot na ito.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Kabilang sa mga malalang palantandaan ang: pamamantal, pamumula ng balat, ang paglitaw ng mga paltos na parang nalapnos sa balat, bibig, o sa paligid ng mga mata.
Rhabdomyolysis (Isang karamdaman kung saan natutunaw ang skeletal muscle.)	Mga pangkalusugang pananakit ng skeletal muscle at paninigas. Nagiging mamula-mula ang ihi.
Sakit sa atay	Labis na pagkapagod o jaundice (paninilaw ng balat o mga mata).
Pagpalya ng bato	Ang pagbaba ng dami ng ihi, pamamaga ng katawan, pangkalahatang karamdaman, pagsusuka, dugo sa ihi, o albumin sa ihi.
Sakit sa dugo	Mga tanda tulad ng pamamaga ng lalamunan, lagnat, pangkalahatang sama ng pakiramdam, pamumuti ng kulay at posibilidad ng pagkakaroon ng pagdugo sa likod ng mga talukap ng mata (pagdurugo ng mga gilagid, ilong, atbp.) o paglitaw ng mga asul na sugat.

- (2) Kapag umiinom ng gamot nang mahigit sa idinirektang dosis.

3. Ang mga sumusunod na sintomas ay maaaring mangyari paminsan-minsan. Tiyaking itigil ang pag-inom ng gamot na ito at kumunsulta sa isang doktor o parmasyutiko.

Empatso, malambot na dumi, pagtatae, o pagka-dehydrate.

Mga Pag-iingat na Pangparmasyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit ang takip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo sa direktang sinag ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari mawala ito ng bisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date.

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: GASTER10 <Tableta> (ガスター10 <錠>)

※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Pagpawi ng mga sintomas tulad ng pananakit ng tiyan, heartburn, at pagkahilo.

<Mga Pag-iingat sa Paggamit>

Huwag gamitin ang gamot na ito para sa mga sintomas bukod sa mga isinaad sa itaas.

[Mga Sangkap at Epekto]

Ang sumusunod na sangkap ay kasama sa isang tableta.

Sangkap	Dami	Epekto
Famotidine	10mg	Tumutulong ang gamot na ito na kontrolin ang gastric acid.

[Dosis at Paggamit]

- Mangyaring inumin ang gamot na ito nang may malamig o maligamgam na tubig tulad ng mga sumusunod:

Edad	Dosis	Bilang ng dosis sa isang araw
Mga nasa wastong edad (15 taong gulang o mas matanda at mas bata sa 80 taong gulang)	1 tableta	Maximum ng 2
Mga bata (mas mababa sa 15 taong gulang)	Huwag uminom ng gamot na ito.	
Mga nakatatanda (edad 80 at higit pa)		

Hindi dapat na inumin ang gamot na ito sa isang pirmihang iskedyul, ngunit kapag lumilitaw lamang ang mga sintomas.

Maaari mong inumin ang gamot na ito anumang oras ng pagkain (ibig sabihin, parehong ayos lang ang bago at pagkatapos kumain).

Kapag umiinom ng gamot na ito nang 2 beses sa isang araw, dapat kang maghintay ng 8 oras bago uminom nang pangalawang beses dahil nagtatagal ang epekto nito ng 8 oras.

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at paggamit.
- Kung hindi bumuti ang iyong mga sintomas pagkalipas ng 8 oras, uminom ng 1 pang tableta.
- Kung bumuti na ang mga sintomas, itigil ang pag-inom ng gamot na ito.
- Kung hindi bumuti ang iyong mga sintomas pagkatapos na uminom ng gamot na ito nang 3 araw, itigil ang pag-inom nito at kumunsulta sa isang doktor o isang parmasyutiko.
- Mangyaring iwasan ang patuloy na paggamit nang higit sa 2 linggo.

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring huminto sa pag-inom ng alkohol kapag umiinom ng gamot na ito.
(Sa pangkalahatan, huwag uminom ng gamot kasabay ng anumang mga inuming nakalalasing).
- Paano alisin ang mga tableta mula sa pakete
Upang alisin ang tableta mula sa PTP sheet, itulak nang dahan-dahan ang tableta palabas ng aluminum foil. (Maging maingat na huwag malulon ang anumang bahagi ng PTP sheet, dahil maaaring may mangyaring hindi inaasahang mga aksidente kapag ginawa ito, tulad ng pagbara sa lalamunan ng piraso ng aluminum foil.)

Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at madagdagan ang peligro ng mga nakakasamang epekto.)

1. Hindi dapat uminom ng gamot na ito ang mga sumusunod na tao:

- (1) Iyong mga dati nang nagkaroon ng allergic reaction sa gamot na ito (hal. pamamantal, pamumula, pangangati, pamamaga ng lalamunan, talukap ng mata, o labi) o mga gamot na naglalaman ng mga H2 blocker tulad ng Famotidine.
 - (2) Iyong mga nakatanggap ng paggagamot para sa mga sumusunod na karamdaman:
Karamdaman sa dugo, karamdaman sa bato o atay, karamdaman sa puso, gastro-duodenal disease, at mga karamdamang immunological tulad ng hika, rayuma, o niresetahan ng mga steroid, antibiotic, anticancer agent, o antifungal na azole-based. (Maaaring maganap ang mga pagbaba ng mga leukocyte, WBC, o blood platelet).
Sa mga pasyenteng may karamdaman sa bato o atay, huli na ang paglabas ng gamot at maaaring mayroon itong malakas na epekto dito.
Sa mga pasyenteng iyon na may karamdaman sa puso tulad ng myocardial infarction, heart valve disease, o myocardial disease (cardiomyopathy), maaaring maganap ang pulse disorder na may abnormalidad sa ECG (electrocardiographic).
Para sa mga tumatanggap ng paggagamot para sa gastro-duodenal disease, maaaring ireseta ang Famotidine, o kaparehong mga gamot. Gayunpaman, iwasan ang sabay na paggamit ng mga magkakaparehong gamot.
Ang pagkuha ng mga antifungal na azole-based ay magbabawas sa pagiging epektibo ng gamot na ito.
 - (3) Iyong mga naabisuhan ng doktor tungkol sa pagkakaroon ng abnormal na dugo (dysemia); kaunting mga red blood corpuscle (anemia), kaunting mga platelet, o mababang bilang ng mga leukocyte. (Maaaring magsanhi ang gamot na ito ng paulit-ulit na pagiging abnormal ng dugo) .
 - (4) Mga bata (sa ilalim ng 15 taong gulang) at mga nakatatanda (80 taon at higit pa).
 - (5) Iyong mga o iniisip na nagdadalang tao at mga babaeng nagpapasuso.
- #### 2. Huwag uminom ng mga sumusunod na mga gamot habang umiinom ng gamot na ito:
- Iba pang mga gastrointestinal agent.

■ Tiyaking:

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung naaangkop sa iyo ang anuman sa sumusunod:
 - (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggamot ng doktor o dentista
 - (2) Iyong mga malapit sa mga allergy o mayroong kasaysayan ng allergy sa pamilya.
 - (3) Kung ikaw ay isang taong dati nang nagkaroon ng mga allergic reaction sa mga gamot.
 - (4) Mga may edad na (65 taon at higit pa).
(Mga nakatatandang madalas na mayroong nabawasang pagkilos na physiological).
 - (5) Sa mga mayroon ng mga sumusunod na sintomas: pamamaga ng lalamunan, pag-ubo, o mataas na lagnat.
(Sa mga pasyenteng may mga naturang sakit, posible ang isang seryosong impeksyon at maaaring maobserbahan ang pagkakaroon ng abnormal na dugo tulad ng nabawasang mga hemocyte. Kung mayroon nang sakit ang tao bago inumin ang gamot, maaari nitong palalain ang sakit, na humahantong sa naantalang pagkakita ng nakakasamang epekto sa paggagamot).
Pagbaba ng timbang sa hindi alam na dahilan, paulit-ulit na kirot.
(Ang mga sintomas ay maaaring sanhi ng isa pang karamdaman).

2. Kapag ang mga sumusunod na sintomas ay naganap pagkatapos na gamitin ang gamot na ito, tumigil sa pag-inom ng gamot at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko tungkol sa kalakip na ito:

- (1) Kapag lumitaw ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos gamitin ang gamot na ito:

Lugar sa katawan	(Mga) Sintomas
Balat	pamamantal, pamumula, pangangati, o pamamaga
Circulatory system	iregular na tibok ng puso
Nervous system	pagkawala ng malay o mga kombulsyon
Iba pa	maaaring sumama ang pakiramdam mo, o manghina, magkaroon ng mataas na lagnat, o maaaring lumala ang kundisyon ng iyong katawan sa pangkalahatan.

Ang mga sumusunod na seryosong sintomas ay maaaring bihirang mangyari. Kung mayroon ka ng mga sintomas na ito, kumunsulta agad sa doktor.

Pangalan ng sintomas	Mga tanda ng sintomas
Pagkagulat (anaphylaxis)	Pamumutla ng mukha, panlalamig ng mga kamay at paa, labis na pagpapawis nang malamig, labis na pamamantal, nakakaranas ng pamamanas, o hirap sa paghinga pagkatapos na inumin ang gamot na ito.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Kabilang sa mga malalang palantandaan ang: pamamantal, pamumula ng balat, ang paglitaw ng mga paltos sa balat na parang nalapnos, bibig, o sa paligid ng mga mata.
Rhabdomyolysis (Isang karamdaman kung saan natutunaw ang skeletal muscle.)	Mga pangkalusugang pananakit ng skeletal muscle at paninigas. Nagiging mamula-mula ang ihi.
Sakit sa atay	Labis na pagkapagod o jaundice (paninilaw ng balat o mga mata).
Pagpalya ng bato	Ang pagbaba ng dami ng ihi, pamamaga ng katawan, pangkalahatang karamdaman, pagsusuka, dugo sa ihi, o albumin sa ihi.
Sakit sa dugo	Mga tanda tulad ng pamamaga ng lalamunan, lagnat, pangkalahatang sama ng pakiramdam, pamumuti ng kulay at posibilidad ng pagkakaroon ng pagdugo sa likod ng mga talukap ng mata (pagdurugo ng mga gilagid, ilong, atbp.) o paglitaw ng mga asul na sugat.

- (2) Kapag umiinom ng gamot nang mahigit sa idinirektang dosis.

3. Ang mga sumusunod na sintomas ay maaaring mangyari paminsan-minsan. Tiyaking itigil ang pag-inom ng gamot na ito at kumunsulta sa isang doktor o parmasyutiko.

Empatso, malambot na dumi, pagtatae, o pagka-dehydrate.

Mga Pag-iingat na Pangparmasyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit ang takip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo sa direktang sinag ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari mawala ito ng bisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date.

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: GASTER10 S Tableta (ガスター10S錠)

※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Pagpawi ng mga sintomas tulad ng pananakit ng tiyan, heartburn, at pagkahilo.

<Mga Pag-iingat sa Paggamit>

- Huwag gamitin ang gamot na ito para sa mga sintomas bukod sa mga isinaad sa itaas.

[Mga Sangkap at Epekto]

Ang sumusunod na sangkap ay kasama sa isang tableta.

Sangkap	Dami	Epekto
Famotidine	10mg	Tumutulong ang gamot na ito na kontrolin ang gastric acid.

[Dosis at Paggamit]

Mangyaring inumin ang gamot na ito nang may malamig o maligamgam na tubig tulad ng mga sumusunod:

Edad	Dosis	Bilang ng dosis sa isang araw
Mga nasa wastong edad (15 taong gulang o mas matanda at mas bata sa 80 taong gulang)	1 tableta	Maximum ng 2
Mga bata (mas mababa sa 15 taong gulang)	Huwag uminom ng gamot na ito.	
Mga nakatatanda (edad 80 at higit pa)		

Hindi dapat na inumin ang gamot na ito sa isang pirmihang iskedyul, ngunit kapag lumilitaw lamang ang mga sintomas.

Maaari mong inumin ang gamot na ito anumang oras ng pagkain (ibig sabihin, parehong ayos lang ang bago at pagkatapos kumain).

Kapag uminom ng gamot na ito nang 2 beses sa isang araw, dapat kang maghintay ng 8 oras bago uminom nang pangalawang beses dahil nagtatagal ang epekto nito ng 8 oras.

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at paggamit.
- Kung hindi bumuti ang iyong mga sintomas pagkalipas ng 8 oras, uminom ng 1 pang tableta.
- Kung bumuti na ang mga sintomas, itigil ang pag-inom ng gamot na ito.
- Kung hindi bumuti ang iyong mga sintomas pagkatapos na uminom ng gamot na ito nang 3 araw, itigil ang pag-inom nito at kumunsulta sa isang doktor o isang parmasyutiko.
- Mangyaring iwasan ang patuloy na paggamit nang higit sa 2 linggo.

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- (1) Dahil madaling natutunay ang gamot na ito sa bibig, ngunit hindi nakuha ng mucosa ng tiyan, mangyaring inumin ito nang may tubig. Dahil isa itong normal na tableta, maaari mo itong inumin nang may mainit o malamig na tubig. Hindi magbabago ang epekto.
- (2) Mangyaring huminto sa pag-inom ng alkohol kapag uminom ng gamot na ito.
(Sa pangkalahatan, huwag uminom ng gamot kasabay ng anumang mga inuming nakalalasing).
- (3) Paano alisin ang mga tableta mula sa packaging
Tulad ng ipinapakita, upang alisin ang tableta mula sa PTP sheet, itulak nang dahan-dahan ang tableta palabas ng aluminum foil. (Maging maingat na huwag malulon ang anumang bahagi ng PTP sheet, dahil maaaring may mangyaring hindi inaasahang mga aksidente kapag ginawa ito, tulad ng pagbara sa lalamunan ng piraso ng aluminum foil.)

Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at madagdagan ang peligro ng mga nakakasamang epekto.)

1. Hindi dapat uminom ng gamot na ito ang mga sumusunod na tao:

- (1) Iyong mga dati nang nagkaroon ng allergic reaction sa gamot na ito (hal. pamamantal, pamumula, pangangati, pamamaga ng lalamunan, talukap ng mata, o labi) o mga gamot na naglalaman ng mga H2 blocker tulad ng Famotidine.
- (2) Iyong mga nakatanggap ng paggagamot para sa mga sumusunod na karamdaman:
Karamdaman sa dugo, karamdaman sa bato o atay, karamdaman sa puso, gastro-duodenal disease, at mga karamdamang immunological tulad ng hika, rayuma, o niresetahan ng mga steroid, antibiotic, anticancer agent, o antifungal na azole-based. (Maaaring maganap ang mga pagbaba ng mga leukocyte, WBC, o blood platelet).
Sa mga pasyenteng may karamdaman sa bato o atay, huli na ang paglabas ng gamot at maaaring mayroon itong malakas na epekto dito.
Sa mga pasyenteng iyon na may karamdaman sa puso tulad ng myocardial infarction, heart valve disease, o myocardial disease (cardiomyopathy), maaaring maganap ang pulse disorder na may abnormalidad sa ECG (electrocardiographic).
Para sa mga tumatanggap ng panggagamot para sa gastro-duodenal disease, maaaring ireseta ang Famotidine, o kaparehong mga gamot. Gayunpaman, iwasan ang sabay na paggamit ng mga magkakaparehong gamot.
Ang pagkuha ng mga antifungal na azole-based ay magbabawas sa pagiging epektibo ng gamot na ito.
- (3) Iyong mga naabisuhan ng doktor tungkol sa pagkakaroon ng abnormal na dugo (dysemia); kaunting mga red blood corpuscle (anemia), kaunting mga platelet, o mababang bilang ng mga leukocyte. (Maaaring magsanhi ang gamot na ito ng paulit-ulit na pagiging abnormal ng dugo) .
- (4) Iyong mga mayroong phenylketonuria. (May Aspartame (isang L-phenylalanine compound) ang gamot na ito).
- (5) Mga bata (sa ilalim ng 15 taong gulang) at mga nakatatanda (80 taon at higit pa).
- (6) Iyong mga o iniisip na nagdadalang tao at mga babaeng nagpapasuso.

2. Huwag uminom ng mga sumusunod na mga gamot habang umiinom ng gamot na ito:

Iba pang mga gastrointestinal agent.

■ Tiyaking:

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung naaangkop sa iyo ang anuman sa sumusunod:
 - (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggamot ng doktor o dentista
 - (2) Iyong mga malapit sa mga allergy o mayroong kasaysayan ng allergy sa pamilya.
 - (3) Kung ikaw ay isang taong dati nang nagkaroon ng mga allergic reaction sa mga gamot.
 - (4) Mga may edad na (65 taon at higit pa).
(Mga nakatatandang madalas na mayroong nabawasang pagkilos na physiological).
 - (5) Sa mga mayroon ng mga sumusunod na sintomas: pamamaga ng lalamunan, pag-ubo, o mataas na lagnat.
(Sa mga pasyenteng may mga naturang sakit, posible ang isang seryosong impeksyon at maaaring maobserbahan ang pagkakaroon ng abnormal na dugo tulad ng nabawasang mga hemocyte. Kung mayroon nang sakit ang tao bago inumin ang gamot, maaari nitong palalain ang sakit, na humahantong sa naantalang pagkakita ng nakakasamang epekto sa panggagamot).
Pagbaba ng timbang sa hindi alam na dahilan, paulit-ulit na kirot.
(Ang mga sintomas ay maaaring sanhi ng isa pang karamdaman).

2. Kapag ang mga sumusunod na sintomas ay naganap pagkatapos gamitin ang gamot na ito, tumigil sa pag-inom ng gamot at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko:

- (1) Kapag naganap ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos gamitin ang gamot na ito:

Lugar sa katawan	(Mga) Sintomas
Balat	Pantal, pamumula, pangangati, o pamamaga
Circulatory system	Iregular na tibok ng puso
Nervous system	Pagkawalan ng malay o mga kombulsyon
Iba pa	Maaaring sumama ang pakiramdam mo, o manghina, magkaroon ng mataas na lagnat, o maaaring lumala ang kundisyon ng iyong katawan sa pangkalahatan.

Ang mga sumusunod na seryosong sintomas ay maaaring bihirang mangyari. Kung mayroon ka ng mga sintomas na ito, kumunsulta agad sa doktor.

Pangalan ng sintomas	Mga tanda ng sintomas
Pagkagulat (anaphylaxis)	Pamumutla ng mukha, panlalamig ng mga kamay at paa, labis na pagpapawis nang malamig, labis na pamamantal, nakakaranas ng pamamanas, o hirap sa paghinga pagkatapos na uminom ng gamot na ito.
Stevens-Johnson syndrome Toxic epidermal necrolysis (Lyell's syndrome)	Kabilang sa mga malalang palantandaan ang: pamamantal, pamumula ng balat, ang paglitaw ng mga paltos sa balat na parang nalapnos, bibig, o sa paligid ng mga mata.
Rhabdomyolysis (Isang karamdaman kung saan natutunaw ang skeletal muscle.)	Mga pangkalusugang pananakit ng skeletal muscle at paninigas. Nagiging mamula-mula ang ihi.
Sakit sa atay	Labis na pagkapagod o jaundice (paninilaw ng balat o mga mata).
Pagpalya ng bato	Ang pagbaba ng dami ng ihi, pamamaga ng katawan, pangkalahatang karamdaman, pagsusuka, dugo sa ihi, o albumin sa ihi.
Sakit sa dugo	Mga tanda tulad ng pamamaga ng lalamunan, lagnat, pangkalahatang sama ng pakiramdam, pamumuti ng kulay at posibilidad ng pagkakaroon ng pagdugo sa likod ng mga talukap ng mata (pagdurugo ng mga gilagid, ilong, atbp.) o paglitaw ng mga asul na sugat.

- (2) Kapag umiinom ng gamot na higit sa idinirektang dosis.

3. Ang mga sumusunod na sintomas ay maaaring mangyari paminsan-minsan. Tiyaking itigil ang pag-inom ng gamot na ito at kumunsulta sa isang doktor o parmasyutiko.

Empatso, malambot na dumi, pagtatae, o pagka-dehydrate.

Mga Pag-iingat na Pangparmasyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit ang takip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo sa direktang sinag ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari mawala ito ng bisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date.

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: ZADITEN AL Rhinitis Capsule (ザジテン AL 鼻炎カプセル)
※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Para sa pagpawi ng mga sintomas ng allergy mula sa pollen o alikabok sa bahay (panloob na alikabok): pagbahing, runny nose (sobrang pagkasipon), o pagbabara ng daanan ng hangin sa ilong.

[Mga Sangkap at Epekto]

Ang sumusunod na sangkap ay kasama sa isang kapsula.

Aktibong Sangkap	Nilalaman
Ketotifen fumarate (bilang ketotifen)	1.38mg (1.0mg)

[Dosis at Paggamit]

Mangyaring uminom ng isang dosis isang beses pagkatapos ng agahan at muli bago matulog sa gabi.

Edad	Isang dosis
Nasa wastong edad (15 taong gulang o higit pa)	1 kapsula
Mga bata (mas mababa sa 15 taong gulang)	Huwag uminom ng gamot na ito

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at mga direksyon sa paggamit.
- Kung hindi pa rin napawi ang mga sintomas pagkatapos uminom ng gamot nang halos isang linggo, mangyaring kumunsulta sa doktor o sa parmasyutiko. (Ang epekto ng gamot ay iba-iba sa bawat tao. Depende sa tao, maaaring tumagal ito ng dalawang linggo upang lumabas ang epekto.)
- Paano alisin ang mga kapsula mula sa pakete
 Upang maalis ang kapsula mula sa PTP sheet, itulak nang dahan-dahan ang kapsula patagos ng aluminum foil. (Maging maingat na huwag malulon ang anumang bahagi ng PTP sheet, dahil maaaring may mangyaring hindi inaasahang mga aksidente kapag ginawa ito, tulad ng pagbara sa lalamunan ng piraso ng aluminum foil.)

Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

■ **Ano ang hindi dapat gawin**

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at madagdagan ang peligro ng mga nakakasamang epekto.)

1. Hindi dapat uminom ng gamot na ito ang mga sumusunod na tao:

- (1) Sa mga nagkaroon ng allergic reaction sa gamot na ito sa nakaraan.
- (2) Mga batang hindi hihigit sa edad na 15.

2. Huwag uminom ng mga sumusunod na mga gamot habang umiinom ng gamot na ito:

Gamot para sa iba pang mga allergy (kabilang ang mga gamot para sa sakit sa balat o mga gamot na iniinom para sa rhinitis), kasama ang mga antihistamine (mga panlunas sa sipon, mga antitussive, mga pildoras para sa motion sickness, o mga pampakalma).

3. Mangyaring huwag magpatakbo ng sasakyan o makinarya pagkatapos uminom ng gamot na ito. (Ang gamot na ito ay maaaring makapagpaantok sa iyo o makaapekto ng iyong paningin.)
4. Taong nagpapasuso. (Ipinakita ng mga pag-aaral na ang mga inang umiinom ng gamot na ito ay maaaring mailipat ito sa kanilang gatas.)
5. Mangyaring huminto sa pag-inom ng mga inuming nakalalasing kapag umiinom ng gamot na ito.

■ **Tiyaking:**

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung naaangkop sa iyo ang anuman sa sumusunod:
 - (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggagamot ng doktor o dentista.
 - (2) Kasalukuyan kang nakakatanggap ng paggamot para sa mga allergy tulad ng reductive sensitizing therapy.
 - (3) Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao.
 - (4) Kung ikaw ay may edad na.
 - (5) Ikaw ay malapit sa mga allergy o mayroong kasaysayan ng allergy sa pamilya.
 - (6) Hindi malinaw sa iyo kung ang iyong mga sintomas ay tanda dahil sa isang allergy o dahil sa ilang iba pang dahilan.
 - (7) Nasuri ka na may anuman sa sumusunod: bronchitic asthma, atopic dermatitis, o epilepsy.
 - (8) Nagkaroon ka na ng sumusunod na sintomas:

Hirap sa pag-ihi (dysuria).

2. Kapag ang mga sumusunod na sintomas ay naganap pagkatapos na gamitin ang gamot na ito, tumigil sa pag-inom ng gamot at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko tungkol sa kalakip na ito:

- (1) Kapag lumitaw ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos samitin ang gamot na ito.

Bahaging apektado	Mga Sintomas
Balat	pamamantal/ pamumula, pangangati, o pamamanas
Ilong	pagdugo ng ilong
Nervous system	pagkahilo, depresyon, pananakit ng ulo, pagsama ng iyong panlasa (dysgeusia), o pamamanhid.
Digestive system	pagkahilo, pagsusuka, walang gana sa pagkain, pagsakit ng tiyan, masamang pakiramdam sa sikmura, pananakit ng tiyan, o stomatitis.
Iba pa	mabilis na pagtibok ng puso, hot flashes, madalas na pag-ihi, pananakita kapag umihi, may dugo sa ihi (hematuria), pakiramdam ng may latak ang ihi, hindi normal na regla (emmeniopathy), o pagdagdag sa timbang.

- (2) Kung hindi bumuti ang mga sintomas pagkatapos ng paggamit ng gamot na ito sa humigit kumulang na isang linggo, kumunsulta sa doktor o parmasyutiko.

3. Ang mga sumusunod na seryosong sintomas ay maaaring bihirang mangyari. Kung mayroon ka ng mga sintomas na ito, kumunsulta agad sa doktor.

Pangalan ng sintomas	(Mga) Tanda ng sintomas
Mga sintomas sa central nervous	makikitaan ng panandaliang pagkawala ng malay, mga kombulsyon, o pagkagulat
Pagpalya ng atay	makikitaan ng lagnat, pantal, pangkalahatang depresyon, jaundice (paninilaw ng balat at mga puti ng iyong mga mata), o mataas na lagnat.

4. Ang mga sumusunod na sintomas ay maaaring mangyari paminsan-minsan. Kung nagpatuloy o madagdagan ang mga sintomas na ito, ihinto ang gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko.
Empatso, malambot na dumi, pagtatae, pagka-dehydrate, o pagkahilo
5. Sa kaso ng sumusunod, mangyaring kumunsulta sa doktor o parmasyutiko.
Kung nagpatuloy ang sintomas pagkatapos ng pag-inom ng gamot nang higit pa kaysa sa 2 linggo.

Mga Pag-iingat na Pangparmacyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit ang takip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo sa direktang sinag ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari mawala ito ng bisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date.

出典 発行	製造販売元 ノバルティス ファーマ株式会社 (社) 神奈川県薬剤師会
----------	--

Pangalan ng produkto: PABRON Rhinitis Capsule Z (パブロン^{びえん}鼻炎カプセル Z)
※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Para sa pagpawi ng mga sintomas ng allergy mula sa pollen o alikabok sa bahay (panloob na alikabok): pagbahing, runny nose (malalang sipon), o pagbabara ng daanan ng hangin sa ilong.

[Mga Sangkap at Epekto]

Ang sumusunod na sangkap ay kasama sa isang kapsula.

Sangkap	Nilalaman
Ketotifen Fumarate (bilang ketotifen)	1.38mg (1.0mg)

[Dosis at Paggamit]

Mangyaring uminom ng isang dosis pagkatapos ng agahan at muli bago matulog sa gabi.

Edad	Isang dosis
Nasa wastong edad (15 taong gulang o higit pa)	1 kapsula
Mas bata sa 15 taong gulang	Huwag uminon ng gamot na ito.

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at mga direksyon sa paggamit.
- Kung hindi pa rin napawi ang mga sintomas pagkatapos uminom ng gamot nang halos isang linggo, mangyaring kumunsulta sa doktor o sa parmasyutiko. (Ang epekto ng gamot ay iba-iba sa bawat tao. Depende sa tao, maaaring tumagal ito ng dalawang linggo bago lumabas ang epekto.)
- Paano alisin ang mga kapsula mula sa pakete
 Upang maalis ang kapsula mula sa PTP sheet, itulak nang dahan-dahan ang kapsula patagos sa aluminum foil. (Maging maingat na huwag malulon ang anumang bahagi ng PTP sheet, maaaring magkaroon hindi inaasahang mga aksidente kapag nangyari ito, tulad ng pagbara sa lalamunan ng piraso ng aluminum foil.)

Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

■ **Ano ang hindi dapat gawin**

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at magpataas ng peligro ng mga nakakasamang epekto.)

1. Hindi dapat uminom ng gamot na ito ang mga sumusunod na tao:

- (1) Iyong mga may allergic reaction sa gamot na ito.
- (2) Iyong mga mas bata sa 15 taong gulang ay hindi dapat gumamit ng gamot na ito.

2. Huwag uminom ng mga sumusunod na mga gamot habang umiinom ng gamot na ito:

Ang gamot para sa iba pang mga allergy (kasama ang mga gamot para sa sakit sa balat o mga gamot na iniinom para sa rhinitis), kasama ang mga antihistamine (mga panlunas sa sipon, mga antitussive, mga pildoras para sa pagkahilo sa biyahe, o mga pampakalma).

3. Mangyaring huwag magpatakbo ng sasakyan o makinarya pagkatapos uminom ng gamot na ito.

(Ang gamot na ito ay maaaring makapagpaantok sa iyo o makaapekto sa iyong paningin.)

4. Ang mga kababaihang nagpapasuso ay hindi dapat uminom ng gamot na ito. Kung uminom ka ng gamot na ito, mangyaring iwasang magpasuso.
(Ipinakikita ng mga pag-aaral na ang mga inang umiinom ng gamot na ito ay nailipat ito sa kanilang gatas.
5. Mangyaring huminto sa pag-inom ng mga inuming nakakalasing kapag umiinom ng gamot na ito.

■ **Tiyaking:**

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung naaangkop sa iyo ang anuman sa sumusunod:
 - (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggagamot ng doktor o dentista.
 - (2) Sa mga nakakatanggap ng paggamot para sa mga allergy tulad ng reductive sensitizing therapy.
 - (3) Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao.
 - (4) Kung ikaw ay may edad na.
 - (5) Sa mga malapit sa mga allergy o mayroong kasaysayan ng allergy sa pamilya. (Mga pasyenteng madaling kapitan ng mga allergy na maaaring magkaroon ng mga sintomas ng allergy sa pamamagitan ng produktong ito).
 - (6) Hindi malinaw sa iyo kung ang iyong mga sintomas ay tanda dahil sa isang allergy o dahil sa ilang iba pang dahilan.
 - (7) Iyong mga nasuring may anuman sa sumusunod: asthma, atopic dermatitis, o epilepsy.
 - (8) Sa mga mayroong mga sumusunod na sintomas: hirap sa pag-ihi (dysuria).
2. Kung nakakaranas ka ng anuman sa sumusunod, agad na huminto sa paggamit ng gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko tungkol sa kalakip na ito.

- (1) Kapag lumitaw ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos gamitin ang gamot na ito.

Bahaging apektado	Mga Sintomas
Balat	pantal/pamumula, pangangati, o pamamanas
Ilong	pagdugo ng ilong
Nervous system	pagkahilo, depresyon, pananakit ng ulo, pagsama ng iyong panglasa, dysgeusia, o pamamanhid
Digestive system	pagkahilo, pagsusuka, walang gana sa pagkain, pagsakit ng tiyan, masamang pakiramdam sa sikmura, pananakit ng tiyan, o stomatitis.
Iba pa	mabilis na pagtibok ng puso, hot flashes, madalas na pag-ihi, masakit kapag umihi, may dugo sa ihi, hematuria, pakiramdam na may latak ang ihi, hindi normal na regla, emmeniopathy, o pagbigat ng timbang.

- (2) Kung hindi bumuti ang mga sintomas pagkatapos ng paggamit ng gamot na ito sa humigit kumulang na isang linggo, kumunsulta sa doktor o parmasyutiko.

3. Ang mga sumusunod na seryosong sintomas ay maaaring bihirang mangyari. Kung mayroon ka ng mga sintomas na ito, kumunsulta agad sa doktor.

Pangalan ng sintomas	(Mga) Tanda ng sintomas
Mga sintomas sa central nervous	makikitaan ng panandaliang pagkawala ng malay, mga kombulsyon, o pagkagulat
Pagpalya ng atay	makikitaan ng lagnat, pantal, pangkalahatang depresyon, jaundice (paninilaw ng balat at mga puti ng iyong mga mata), o mataas na lagnat.

4. Ang mga sumusunod na sintomas ay maaaring maganap paminsan-minsan. Huwag ituloy ang gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko.

Ma-dehydrate, empatso, pagtatae, pagiging antukin.

5. Sa kaso ng sumusunod, mangyaring kumunsulta sa doktor o parmasyutiko.

Kung nagpatuloy ang sintomas pagkatapos ng pag-inom ng gamot nang higit pa kaysa sa 2 linggo.

Mga Pag-iingat na Pangparmacyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit ang takip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo mula sa nasisinagan ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari itong maging hindi mabisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date.

	発売元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: ZADITEN AL Rhinitis Spray (ザジテン AL 鼻炎スプレー)
 ※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Para sa pagpawi ng mga sintomas ng allegry mula sa pollen o alikabok sa bahay (panloob na alikabok): pagbahing, runny nose (malalang pagtulo ng sipon), o pagbabara ng daanan ng hangin sa ilong.

[Sangkap at Pagkilos]

Ang sumusunod na sangkap ay kasama sa 100 ml ng gamot na ito (Kasama ang: 8 ml bawat bote).

Aktibong Sangkap	Nilalaman
Ketotifen fumarate (bilang ketotifen)	75.6 mg

[Dosis at Paggamit]

I-spray ang sumusunod na gamot sa loob ng butas ng ilong apat na beses sa isang araw sa umaga, tanghali, gabi, at bago matulog sa gabi. (Ang Ketotifen 0.05 mg ay kasama sa 1 spray).

Edad	Isang dosis
Mga nasa wastong edad (15 taong gulang o mas nakakatanda) at mga bata (nasa edad 7 o mas nakakatanda)	I-spray nang isang beses sa parehong butas ng ilong
Mas mababa kaysa 7 taong gulang	Huwag gamitin ang gamot na ito

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at mga direksyon sa paggamit.
- Gamitin ang gamot na ito sa bata sa ilalim lamang ng patnubay at pangangasiwa ng magulang.
- Mangyaring gamitin lamang para sa paggamot ng mga runny nose.
- Iwasang malagyan ang mga mata. (Kung malagyan ng gamot na ito ang iyong mga mata, mangyaring banlawan agad ang mga ito ng malamig o maligamgam na tubig at humingi ng paggamot mula sa isang doktor ng mata.)

Paano gamitin

Kapag ginamit ito sa unang beses, mangyaring pindutin ang nozzle nang limang beses upang lumabas ang spray nang papisik. Hanggang sa limang beses, hindi lalabas ang spray nang pinong pisik.

1. Bago gamitin, suminga muna.
2. Alisin ang takip ng lalagyan.
3. Hawakan patayo ang lalagyan, at ilagay sa butas ng ilong ang nozzle nang dahan-dahan.
4. Pindutin nang madiin at mabilis ang pindutan gamit ang daliri. (Kung hindi man hindi lalabas ang pinong pisik.)
5. Pagkatapos i-spray, panatiliing nakatingala upang kumalat ang gamot sa likod ng ilong at huminga ng dahan-dahan sa ilong nang ilang segundo.
6. Pagkatapos gamitin, punasan ang nozzle gamit ang malinis na tissue at isara ito.
 *Huwag sundutin ang dulo ng nozzle gamit ang karayom dahil napaka mapanganib kung masira ito.



Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at magpataas ng peligro ng mga nakakasamang epekto.)

1. Ang sumusunod na mga tao ay hindi dapat gumamit ng gamot na ito: Ang mga bata na hindi hihigit sa edad na 7.
2. Mangyaring huwag magpatakbo ng sasakyan o makinarya pagkatapos uminom ng gamot na ito. (Ang gamot na ito ay maaaring makapagpaantok sa iyo o makaapekto sa iyong paningin.)
3. Ang mga kababaihang nagpapasuso ay hindi dapat uminom ng gamot na ito. Kung uminom ka ng gamot na ito, mangyaring iwasang magpasuso. (Ipinakikita ng mga pag-aaral na ang mga inang umiinom ng gamot na ito ay nailipat ito sa kanilang gatas.

■ Tiyaking:

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung naaangkop sa iyo ang anuman sa sumusunod:
 - (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggagamot ng doktor o dentista.
 - (2) Kasalukuyan kang nakakatanggap ng paggamot para sa mga allergy tulad ng reductive sensitizing therapy. (Kung may posibilidad kang magka-allergy, ang produktong ito ay maaaring maglabas ng allergic reaction.)
 - (3) Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao.
 - (4) Kung ikaw ay isang taong nagkaroon ng mga allergic reaksiyon sa mga gamot sa nakalipas.
 - (5) Hindi malinaw sa iyo kung ang iyong mga sintomas ay tanda dahil sa isang allergy o dahil sa ilang iba pang dahilan.

2. Kapag ang mga sumusunod na sintomas ay naganap pagkatapos na gamitin ang gamot na ito, tumigil sa pag-inom ng gamot at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko tungkol sa kalakip na ito:

- (1) Kapag lumitaw ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos gamitin ang gamot na ito.

Bahaging apektado	Mga Sintomas
Ilong	tuyo o masakit na pakiramdam
Nervous system	pagkahapo o pagsakit ng ulo

- (2) Kung hindi bumuti ang mga sintomas pagkatapos ng paggamit ng gamot na ito sa humigit kumulang na isang linggo, kumunsulta sa doktor o parmasyutiko.

3. Ang mga sumusunod na sintomas ay maaaring maganap paminsan-minsan. Kung ang mga sintomas na ito ay patuloy o tumaas, huwag ipagpatuloy ang gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko: Pagkaantok.
4. Sa kaso ng sumusunod, mangyaring kumunsulta sa doktor o parmasyutiko: Kung nagpatuloy ang sintomas pagkatapos ng pag-inom ng gamot nang higit pa kaysa sa 2 linggo.

Mga Pag-iingat na Pangparmacyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit at nakatakip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo mula sa nasisinagan ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari itong maging hindi mabisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag ibahagi ang produktong ito sa iba pang tao.
- (5) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date. Pagkatapos buksan mangyaring gamitin sa lalong madaling panahon, kahit na bago ang expiration date.

	製造販売元
出典	ノバルティス ファーマ株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: PABRON Nasal Spray Z < Rhinitis Spray > (パブロン点鼻Z<鼻炎スプレー>)

※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Para sa pagpawi ng mga simtomas ng allergy mula sa pollen o alikabok sa bahay (panloob na alikabok): pagbahing, runny nose (malalang sipon), o pagbabara ng daanan ng hangin sa ilong.

[Sangkap at Epekto]

Ang sumusunod na sangkap ay kasama sa 100 ml ng gamot na ito (Kasama ang: 8 ml bawat bote).

Aktibong Sangkap	Nilalaman
Ketotifen fumarate (bilang ketotifen)	75.6 mg

[Dosis at Paggamit]

I-spray ang sumusunod na gamot sa loob ng butas ng ilong apat na beses sa isang araw sa umaga, tanghali, gabi, at bago matulog sa gabi. (Ang Ketotifen 0.05 mg ay kasama sa 1 spray).

Edad	Isang dosis
Mga nasa wastong edad (15 taong gulang o mas nakakatanda) at mga bata (nasa edad 7 o mas nakakatanda)	I-spray nang isang beses sa parehong butas ng ilong.
Mas mababa kaysa 7 taong gulang	Huwag gamitin ang gamot na ito.

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

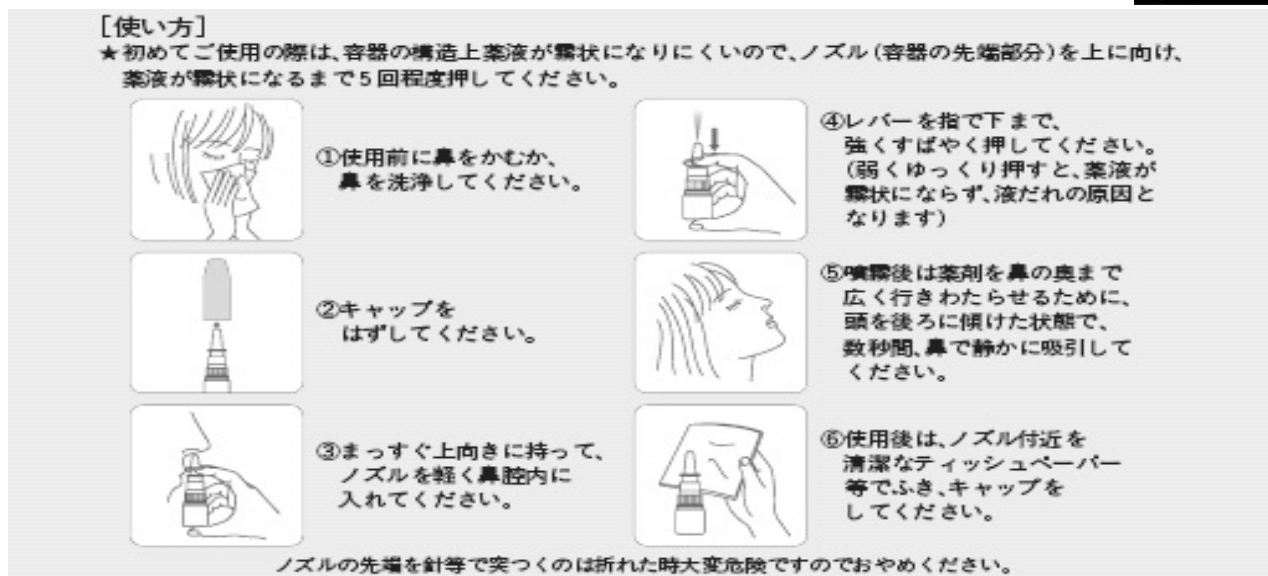
- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at mga direksyon sa paggamit.
- Gamitin ang gamot na ito sa bata sa ilalim lamang ng patnubay at pangangasiwa ng magulang.
- Mangyaring gamitin lamang para sa paggamot ng mga runny nose.
- Iwasang malagyan ang mga mata. (Kung malagyan ng gamot na ito ang iyong mga mata, mangyaring banlawan agad ang mga ito ng malamig o maligamgam na tubig at humingi ng paggamot mula sa isang doktor ng mata.)

Paano gamitin

Kapag ginamit ito sa unang beses, mangyaring pindutin ang nozzle nang limang beses upang lumabas ang spray nang papisik. Hanggang sa limang beses, hindi lalabas ang spray nang pinong pisik.

1. Bago gamitin, suminga muna.
2. Alisin ang takip ng lalagyan.
3. Hawakan patayo ang lalagyan, at ilagay sa butas ng ilong ang nozzle nang dahan-dahan.
4. Pindutin nang madiin at mabilis ang pindutan gamit ang daliri. (Kung hindi man hindi lalabas ang pinong pisik.)
5. Pagkatapos i-spray, panatiliing nakatingala upang kumalat ang gamot sa likod ng ilong at huminga ng dahan-dahan sa ilong nang ilang segundo.
6. Pagkatapos gamitin, punasan ang nozzle gamit ang malinis na tissue at isara ito.

*Huwag sundutin ang dulo ng nozzle gamit ang karayom dahil ito ay napaka mapanganib kung masira ito.



Mga Pag-iingat para sa Paggamit

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at mapataas ang peligro ng mga nakakasamang epekto.)

1. Hindi dapat gumamit ng gamot na ito ang mga sumusunod na tao: Ang mga bata na hindi hihigit sa edad na 7.
2. Mangyaring huwag magpatakbo ng sasakyan o makinarya pagkatapos uminom ng gamot na ito. (Ang gamot na ito ay maaaring makapagpaantok sa iyo o makaapekto sa iyong paningin.)
3. Ang mga kababaihang nagpapasuso ay hindi dapat uminom ng gamot na ito. Kung uminom ka ng gamot na ito, mangyaring iwasang magpasuso. (Ipinakikita ng mga pag-aaral na ang mga inang umiinom ng gamot na ito ay nailipat ito sa kanilang gatas.

■ Tiyaking:

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung naaangkop sa iyo ang anuman sa sumusunod:
 - (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggagamot ng doktor o dentista.
 - (2) Kasalukuyan kang nakakatanggap ng paggamot para sa mga allergy tulad ng reductive sensitizing therapy.
 - (3) Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao.
 - (4) Kung ikaw ay isang taong nagkaroon ng mga allergic reaksiyon sa mga gamot sa nakalipas.
 - (5) Hindi malinaw sa iyo kung ang iyong mga sintomas ay tanda dahil sa isang allergy o dahil sa ilang iba pang dahilan.

2. Kapag ang mga sumusunod na sintomas ay nagganap pagkatapos na gamitin ang gamot na ito, tumigil sa pag-inom ng gamot at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko:

- (1) Kapag lumitaw ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos gamitin ang gamot na ito.

Bahaging apektado	Mga Sintomas
Ilong	tuyo o masakit na pakiramdam
Nervous system	pagkahapo o pagsakit ng ulo

- (2) Kung hindi bumuti ang mga sintomas pagkatapos ng paggamit ng gamot na ito sa humigit kumulang na isang linggo, kumunsulta sa doktor o parmasyutiko.

3. Ang mga sumusunod na sintomas ay maaaring maganap paminsan-minsan. Kung magpatuloy o tumaas ang mga sintomas na ito, huwag ituloy ang gamot na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko. Pagkaantok.

4. Sa kaso ng sumusunod, mangyaring kumunsulta sa doktor o parmasyutiko: Kung nagpatuloy ang sintomas pagkatapos ng pag-inom ng gamot nang higit pa kaysa sa 2 linggo.

Mga Pag-iingat na Pangparmasyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit at nakatakip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo mula sa nasisinagan ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari itong maging hindi mabisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag ibahagi ang produktong ito sa iba pang tao.
- (5) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date. Pagkatapos bukasang mangyaring gamitin sa lalong madaling panahon, kahit na bago ang expiration date (upang matiyak ang kalidad ng produkto).

	発売元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: ZADITEN AL Eye Drop (ザジテン AL点眼薬<点眼液>)
※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Para sa pagpawi ng mga sumusunod na allegry mula sa pollen o alikabok sa bahay (panloob na alikabok): mga mapulang mata, pangangati ng mga mata, pagluluha ng mga mata, o pakiramdam ng kakaibang bagay (pakiramdam na gumugulong sa mga mata ang kakaibang bagay.)

[Sangkap at Epekto]

Ang sumusunod na sangkap ay kasama sa 100 ml ng gamot na ito:

Sangkap	Nilalaman
Ketotifen fumarate (bilang ketotifen)	69mg (50mg)

[Dosis at Paggamit]

Ipatak ang sumusunod na gamot sa loob ng naapektuhang (mga) mata 4 na beses sa umaga, tanghali, gabi, at bago matulog sa gabi.

Edad	Isang dosis
Nasa wastong edad (15 taong gulang o higit pa) at mga bata (1 taong gulang o mas nakakatanda).	1-2 patak
Mas mababa kaysa 1 taong gulang	Huwag gamitin

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at paggamit.
- Gamitin ang gamot na ito sa bata sa ilalim lamang ng patnubay at pangangasiwa ng magulang.
- Tiyaking punasan ang anumang sobrang likido pagkatapos ipatak sa mata.
- Kung dumikit ang dulo ng applicator sa talukap ng mata o mga pilikmata, ang likido ay maaaring maimpeksyon ng mikrobyo, na nagiging dahilan para magmuta ang mata.
- Huwag gamitin ang panghugas ng mata (o eyewash) bilang solution para sa contact lens.
- Ihinto ang paggamit ng drops na ito kapag may suot na mga contact lens.
- Gamitin lamang bilang panghugas ng mata.

Paggamit

1. Hugasang mabuti ang iyong mga kamay bago gamitin.
2. Hatakin ang iyong ibabang talukap ng mata ng dahan-dahan at magpatak ng 1-2 patak ng direkta sa itaas.
Tiyaking hawakan nang mabuti ang bote upang ang dulo ng lalagyan ay hindi tumama ng direkta sa mga talukap ng mata o mga pilikmata. Sa karagdagan, linisin ang dulo ng takip tuwing pagkatapos gamitin.
3. Pagkatapos pumasok ng likido sa mata, ipikit ang mata. Tiyaking isara ng mahigpit ang takip pagkatapos gamitin.
4. Tiyaking punasan ang anumang sobrang likido pagkatapos ipatak sa mata.



Mga Pag-iingat

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na pag-iingat bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at mapataas ang peligro ng mga nakakasamang epekto).

1. Hindi dapat gumamit ng gamot na ito ang mga sumusunod na tao:

- Sa mga mayroong allergic reaction sa gamot na ito sa nakalipas.
- Mga bata na mas mababa sa 1 taong gulang.

2. Kung ginamit kasabay ang nasal spray, tiyaking huwag magpatakbo ng sasakyan o makinarya.

(Ang gamot na ito ay maaaring makapagpaantok sa iyo o makaapekto sa iyong paningin.)

■ Tiyaking:

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung naaangkop sa iyo ang anuman sa sumusunod:

- (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggagamot ng doktor o dentista.
 - (2) Kasalukuyan kang nakakatanggap ng paggamot para sa mga allergy tulad ng reductive sensitizing therapy.
 - (3) Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao.
 - (4) Kung ikaw ay isang taong dati nang nagkaroon ng mga allergic reaksiyon sa mga gamot.
 - (5) Ang taong may sumusunod na sintomas: matinding pananakit sa mata.
 - (6) Hindi malinaw sa iyo kung ang iyong mga sintomas ay tanda dahil sa isang allergy o dahil sa ilang iba pang dahilan.
- Kung alinman sa sumusunod ang naaangkop sa iyo, kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin:
- Kapag ang mga sintomas ay sa isang mata lamang.
 - Kapag ang mga sintomas ay nakita lamang sa mga mata, at hindi sa ilong.
 - Kapag nadamay ang paningin.
 - Kapag may lumalabas mula sa mga mata.

2. Kung naaangkop sa iyo ang alinman sa sumusunod, agad na huminto sa paggamit ng drops na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko tungkol sa kalakip na ito:

(1) Kapag naganap ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos gamitin ang gamot na ito:

Bahaging apektado	Sintomas
Balat * *	pangangati
Mata * *	Namumulang mata, makirot na pakiramdam*, sakit* pamamaga*, pangangati* *, o ang paligid na lugar ng mata ay apektado rin.
Iba pa	pagkaantok

* * Para sa ilang mga tao, ang mga sintomas tulad ng: ang labis na pangangati, magang mata, at pananakit sa paligid ng talukap ng mga mata at mata at pisngi ay lumilitaw sa unang mga yugto kapag sa paunang paggamit ng drops (isa o dalawang araw).

(2) Kapag ang paglabo ng mga mata ay hindi bumuti.

(3) Kung ang mga sintomas ay hindi bumuti pagkatapos ang paggamit ng gamot na ito sa loob ng isang linggo.

3. Sa sumusunod na kaso, kumunsulta sa doktor o parmasyutiko.

Kung nawala ang mga sintomas pagkatapos ng pag-inom ng gamot nang higit pa kaysa sa 2 linggo.

Mga Pag-iingat na Pangparmacyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit at nakatakip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo mula sa nasisinagan ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari itong maging hindi mabisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag ibahagi ang produktong ito sa iba pang tao.
- (5) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date. Pagkatapos buksan mangyaring gamitin sa lalong madaling panahon, kahit na bago ang expiration date (upang matiyak ang kalidad ng produkto).

	製造販売元
出典	ノバルティス ファーマ株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Pangalan ng produkto: IRIS ARREST <Eye Drops> (アイリスアレスト<点眼液>)
※Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na direksyon bago gamitin ang produktong ito.

Buod ng produkto

[Gamit]

Para sa pagpawi ng mga sumusunod na allegry mula sa pollen o alikabok sa bahay (panloob na alikabok): mga mapulang mata, pangangati ng mga mata, pagluluha ng mga mata, o pakiramdam ng kakaibang bagay (pakiramdam na gumugulong sa mga mata ang kakaibang bagay.)

[Sangkap at Epekto]

Ang sumusunod na sangkap ay kasama sa 100 ml ng gamot na ito:
 (Kasama ang 10 ml bawat bote)

Sangkap	Nilalaman
Ketotifen fumarate (bilang ketotifen)	69mg (50mg)

[Dosis at Paggamit]

Ipatak ang sumusunod na gamot sa loob ng naapektuhang (mga) mata 4 na beses sa umaga, tanghali, gabi, at bago matulog sa gabi.

Edad	Isang dosis
Nasa wastong edad (15 taong gulang o higit pa) at mga bata (1 taong gulang o mas nakakatanda).	1-2 patak
Mas mababa kaysa 1 taong gulang	Huwag gamitin

<Mga Babala sa Dosis at Paggamit>

- Mangyaring eksaktong sundin ang tinukoy na dosis at paggamit.
- Gamitin ang gamot na ito sa bata sa ilalim lamang ng patnubay at pangangasiwa ng magulang.
- Tiyaking punasan ang anumang sobrang likido pagkatapos ipatak sa mata.
- Kung dumikit ang dulo ng applicator sa talukap ng mata o mga pilikmata, ang likido ay maaaring maimpeksyon ng mikrobyo, na nagiging dahilan para magmuta ang mata.
- Huwag gamiting panghugas ng mata ang solution para sa contact lens.
 Ihinto ang paggamit ng drops na ito kapag may suot na mga contact lens.
- Gamitin lamang bilang panghugas ng mata.

Paggamit

1. Hugasang mabuti ang iyong mga kamay bago gamitin.
2. Hatakin ang iyong ibabang talukap ng mata ng dahan-dahan at magpatak ng 1-2 patak ng direkta sa itaas.
 Tiyaking hawakan nang mabuti ang bote upang ang dulo ng lalagyan ay hindi tumama ng direkta sa mga talukap ng mata o mga pilikmata. Sa karagdagan, linisin ang dulo ng takip tuwing pagkatapos gamitin.
3. Pagkatapos pumasok ng likido sa mata, ipikit ang mata. Tiyaking isara nang mahigpit ang takip pagkatapos gamitin.
4. Tiyaking punasan ang anumang sobrang likido pagkatapos ipatak sa mata.

Mga Pag-iingat

Pakibasa nang mabuti ang mga sumusunod na pag-iingat bago gamitin ang produktong ito.

■ Ano ang hindi dapat gawin

(Ang pagkabigong sundin ang mga babalang ito ay maaaring humantong sa paglala ng mga sintomas at mapataas ang peligro ng mga nakakasamang epekto).

1. Hindi dapat gumamit ng gamot na ito ang mga sumusunod na tao:

- Sa mga mayroong allergic reaction sa gamot na ito sa nakalipas. (Ang produktong ito ay maaaring magdulot muli ng isang allergic reaction).
- Mga bata mas mababa sa 1 taong gulang.

2. Kung ginamit kasabay ang nasal spray, tiyaking huwag pagpatakbo ng sasakyan o makinarya. (Ang gamot na ito ay maaaring makapagpaantok sa iyo o makaapekto sa iyong paningin.)

■ Tiyaking:

1. Kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin ang gamot na ito kung naaangkop sa iyo ang anuman sa sumusunod:

- (1) Kasalukuyan kang sumasailalim sa paggagamot ng doktor o dentista.
 - (2) Kasalukuyan kang nakakatanggap ng paggamot para sa mga allergy tulad ng reductive sensitizing therapy.
 - (3) Kung ikaw ay o iniisip mong ikaw ay nagdadalang-tao.
 - (4) Kung ikaw ay isang taong dati nang nagkaroon ng mga allergic reaksiyon sa mga gamot.
 - (5) Ang taong may sumusunod na sintomas: matinding pananakit sa mata.
 - (6) Hindi malinaw sa iyo kung ang iyong mga sintomas ay tanda dahil sa isang allergy o dahil sa ilang iba pang dahilan.
Kung alinman sa sumusunod ang naaangkop sa iyo, kumunsulta sa doktor o parmasyutiko bago gamitin:
- Kapag ang mga sintomas ay sa isang mata lamang.
 - Kapag ang mga sintomas ay nakita lamang sa mga mata, at hindi sa ilong.
 - Kapag nadamay ang paningin.
 - Kapag may lumalabas mula sa mga mata.

2. Kung naaangkop sa iyo ang alinman sa sumusunod, agad na huminto sa paggamit ng dropst na ito at kumunsulta sa doktor o parmasyutiko tungkol sa kalakip na ito:

(1) Kapag lumitaw ang mga sumusunod na sintomas pagkatapos gamitin ang gamot na ito:

Bahaging apektado	Sintomas
Balat * *	pangangati
Mata * *	Namumulang mata, makirot na pakiramdam*, sakit* pamamaga*, pangangati* *, o ang paligid na lugar ng mata ay apektado rin.
Iba pa	pagkaantok

**Para sa ilang mga tao, ang mga sintomas tulad ng: labis na pangangati, magang mata, at pananakit sa paligid ng talukap ng mga mata at mata at pisngi, lumilitaw sa unang mga yugto kapag sa paunang paggamit ng drops (isa o dalawang araw).

- (2) Kapag ang paglabo ng mga mata ay hindi bumuti.
- (3) Kung ang mga sintomas ay hindi bumuti pagkatapos ng paggamit ng gamot na ito sa loob ng isang linggo.

3. Sa sumusunod na kaso, kumunsulta sa doktor o parmasyutiko.

Kung nawala ang mga sintomas pagkatapos ng pag-inom ng gamot nang higit pa kaysa sa 2 linggo.

Mga Pag-iingat na Pangparmacyutiko at sa Pag-iimbak:

- (1) Tiyaking palaging mahigpit at nakatakip at iimbak ang gamot sa tuyo at malamig na lugar na malayo mula sa nasisinagan ng araw.
- (2) Ilayo mula sa mga bata.
- (3) Huwag ilagay ang produktong ito sa isa pang lalagyan. (Maaari itong maging hindi mabisa o magbago ang kalidad nito.)
- (4) Huwag ibahagi ang produktong ito sa iba pang tao.
- (5) Iwasan ang labis na pagkakalantad sa mga mataas na temperatura, tulad ng pag-iwan nito sa ilalim ng dashboard ng kotse.
(Ang pagbabago ng lalagyan at kalidad ng likido ay maaaring masira)
- (6) Huwag gamitin ang produktong ito pagkatapos ng expiration date. Pagkatapos bukasang mangyaring gamitin sa lalong madaling panahon, kahit na bago ang expiration date (upang matiyak ang kalidad ng produkto).

	発 売 元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial: **ACTIVIR Pomada** (アクチビア軟膏)^{なんこう}

※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicações]

Indicado no tratamento de recidiva de herpes labial (uso restrito aos pacientes que no passado foram diagnosticados e se submeteram ao tratamento de herpes labial).

[Composição e ação]

Cada 1 g da pomada contém:

Substância ativa	Quantidade	Ação
Aciclovir	50mg	Inibe a multiplicação do vírus herpes simplex

[Posologia e modo de usar]

Aplicar sobre a área afetada de 3 a 5 vezes ao dia aplicar no lábio ou na pele ao redor, tão logo sentir incômodos como picadas ou prurido.

Informações aos pacientes

- Sensações de queimação ou picadas são os sintomas iniciais de herpes labial. Comece a utilizar a pomada assim que aparecerem esses sintomas iniciais de recidiva.
- Horário da aplicação: depois das refeições e antes de dormir.
- Tome bastante cuidado para não fazer uso errôneo deste medicamento em pessoas da família que estão apresentando pela primeira vez sintomas que julga ser de herpes labial.

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- Siga rigorosamente a posologia e o modo de usar que foi estabelecido.
- O uso pediátrico deste medicamento deve ser feito sob o controle das pessoas responsáveis pela criança.
- Tome cuidado para que o produto não entre em contacto com os olhos. No caso de entrar nos olhos lave imediatamente com água fria ou morna. No caso de provocar sintomas intensos, consulte um médico oftalmologista.
- Este medicamento é de uso exclusivamente externo.
- Embora este produto não provoque distúrbios quando em contacto com a cavidade oral deve se evitar que o mesmo seja introduzido na boca ou ingerido.

Precauções:

Leia as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações de uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

- (1) As pessoas que estiverem tendo os sintomas pela primeira vez e as que apresentam lesões extensas, (as pessoas que apresentam os sintomas pela primeira vez têm possibilidade de apresentarem lesões graves, afetando áreas extensas, portanto devem procurar orientação médica).
- (2) As pessoas que já apresentaram alergia ao Hidrocloridrato de Valaciclovir têm possibilidade de vir a apresentar alergia ao Activir também.
- (3) Este medicamento está contra-indicado para o uso em crianças com menos de 6 anos de idade (é grande a possibilidade de estar apresentando pela primeira vez esses sintomas).

2. Nunca aplique o medicamento nas seguintes áreas:

- (1) Olhos, área ao redor dos olhos (há possibilidade de causar irritação).
- (2) Em qualquer parte do corpo que não sejam os lábios ou área ao redor dos lábios.

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas deverão consultar o médico ou farmacêutico antes de usar este medicamento:

- (1) As pessoas em tratamento médico (devido à possibilidade de interferir na ação do medicamento receitado pelo seu médico ou de já estar recebendo o mesmo tipo de medicamento).
- (2) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez (o uso de medicamento neste período deve ser cauteloso, consulte o médico especialista e siga as orientações recebidas).
- (3) As mulheres que estão amamentando (foi confirmada a excreção no leite materno de mulheres em tratamento via oral com medicamento contendo a mesma substância ativa do Activir).
- (4) As pessoas com constituição alérgica ou que tenha alguém na família com constituição alérgica (o uso deste medicamento pode causar alergia em pessoas com constituição alérgica).
- (5) As pessoas que já tiveram alergia medicamentosa (há possibilidade de reação alérgica a esse medicamento em pessoas que já tiveram reação alérgica a algum tipo de medicamento).
- (6) As pessoas com lesões secretantes ou úmidas (há probabilidade de agravação, portanto é necessário consulta e tratamento médico especializado).
- (7) As pessoas com dermatite atópica (há probabilidade de agravação, portanto é necessário consulta e tratamento médico especializado).

2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou farmacêutico levando este folheto explicativo do medicamento nos seguintes casos:

- (1) Se após o uso deste medicamento surgirem os seguintes sintomas:

Parte do corpo	Sintomas
Pele	Erupção cutânea, eritema, inchaço, coceira, inflamação, irritação, pontadas, secura, ardor e descamação (descamação da pele semelhante à caspa), urticária.

(Os sintomas acima relacionados podem ser devido à reação alérgica ou ao aparecimento de forte efeito farmacológico do Activir, neste caso, continuar usando este medicamento, pode levar ao agravamento dos sintomas já existentes).

- (2) Se não houver melhora após 7 dias de uso do medicamento (se após 7 dias de uso deste medicamento não houver melhora dos sintomas, deve se considerar como sintomas graves, ou como sintomas de outra doença, caso aconteça, suspenda o medicamento e procure o mais rápido possível, consultar o médico ou o farmacêutico).

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto com a tampa bem fechada, guardando em lugar fresco (temperatura abaixo de 30°C) e protegido da luz solar e da umidade.
- (2) O produto deve ser mantido fora do alcance das crianças.
- (3) Lave bem as mãos antes e depois do uso do medicamento.
- (4) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (5) Não utilize este medicamento após o prazo de validade. Para manutenção da qualidade, mesmo dentro do prazo de validade, não utilize este medicamento por mais de 6 meses após ter sido aberto.

Nome comercial: **HERPECIA Pomada** (ヘルペシア軟膏)^{なんこう}

※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicações]

Indicado no tratamento de recidiva de herpes labial (uso restrito aos pacientes que no passado foram diagnosticados e se submeteram ao tratamento de herpes labial).

[Composição e ação]

Cada 1grama da pomada contém:

Substância ativa	Quantidade	Ação
Aciclovir	50mg	Inibe a multiplicação do vírus herpes simplex

[Posologia e modo de usar]

Aplicar sobre a área afetada de 3 a 5 vezes ao dia (aplicar no lábio ou na pele ao redor, tão logo sentir incômodos como picadas ou prurido).

Informações aos pacientes

- Sensações de queimação ou picadas, são os sintomas iniciais de herpes labial. Comece a utilizar a pomada assim que aparecerem esses sintomas iniciais de recidiva
- Horário da aplicação: depois das refeições e antes de dormir.
- Tome bastante cuidado para não fazer uso errôneo deste medicamento em pessoas da família que estão apresentando pela primeira vez sintomas que julga ser de herpes labial

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- Siga rigorosamente a posologia e o modo de usar que foi estabelecido.
- O uso pediátrico deste medicamento deve ser feito sob o controle das pessoas responsáveis pela criança.
- Tome cuidado para que o produto não entre em contacto com os olhos. No caso de entrar nos olhos lave imediatamente com água fria ou morna. No caso de provocar sintomas intensos, consulte um médico oftalmologista.
- Este medicamento é de uso exclusivamente externo.
- Embora este produto não provoque distúrbios quando em contacto com a cavidade oral deve se evitar que o mesmo seja introduzido na boca ou ingerido.

Precauções

Leia as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações no uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais, efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

- (1) As pessoas que estiverem tendo os sintomas pela primeira vez e as pessoas que apresentam lesões extensas, (as pessoas que apresentam os sintomas pela primeira vez têm possibilidade de apresentarem lesões graves, afetando áreas extensas, portanto devem procurar orientação médica).
- (2) As pessoas que já apresentaram alergia ao Hidrocloridrato de Valaciclovir, têm possibilidade de vir a apresentar alergia ao Activir também.
- (3) Este medicamento está contra-indicado para uso em crianças com menos de 6 anos de idade (é grande a possibilidade de estar apresentando pela primeira vez esses sintomas).

2. Nunca aplique o medicamento nas seguintes áreas:

- (1) Olhos, área ao redor dos olhos (há possibilidade de causar irritação).
- (2) Em qualquer parte do corpo que não sejam os lábios ou área ao redor dos lábios.

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas deverão consultar o médico ou farmacêutico antes de usar este medicamento:

- (1) As pessoas em tratamento médico (devido à possibilidade de interferir na ação do medicamento receitado pelo seu médico ou de já estar recebendo o mesmo tipo de medicamento).
- (2) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez (o uso de medicamento neste período deve ser cauteloso, consulte o médico especialista e siga as orientações recebidas).
- (3) As mulheres que estão amamentando (foi confirmada a excreção no leite materno de mulheres em tratamento via oral com medicamento contendo a mesma substância ativa do Herpecia).
- (4) As pessoas com constituição alérgica ou que tenha alguém na família com constituição alérgica (o uso deste medicamento pode causar alergia em pessoas com constituição alérgica).
- (5) As pessoas que já apresentaram alergia a algum medicamento (há possibilidade de pessoas alérgicas a algum tipo de medicamento ter reação alérgica a este medicamento).
- (6) As pessoas com lesões secretantes ou úmidas (há probabilidade de agravação, portanto é necessário consulta e tratamento médico especializado).
- (7) As pessoas com dermatite atópica (há probabilidade de agravação, portanto é necessário consulta e tratamento médico especializado).

2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou farmacêutico, levando este folheto explicativo do medicamento, nos seguintes casos.

- (1) Se após o uso deste medicamento surgirem os seguintes sintomas:

Parte do corpo	Sintomas
Pele	Erupção cutânea, eritema, inchaço, coceira, inflamação, irritação, pontadas, secura, ardor e descamação (descamação da pele semelhante à caspa), urticária.

(Os sintomas acima relacionados podem ser devido à reação alérgica ou ao aparecimento de forte efeito farmacológico do Activir, neste caso, continuar usando este medicamento, pode levar ao agravamento dos sintomas já existentes).

- (2) Se não houver melhora após 7 dias de uso do medicamento (se após 7 dias de uso deste medicamento não houver melhora dos sintomas, deve se considerar como sintomas grave, ou como sintomas de outra doença, caso aconteça suspenda o medicamento e procure o mais rápido possível consultar o médico ou o farmacêutico).

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto com a tampa bem fechada, guardando em lugar fresco (temperatura abaixo de 30°C) e protegido da luz solar e da umidade.
- (2) O produto deve ser mantido fora do alcance das crianças.
- (3) Lave bem as mãos antes e depois do uso do medicamento.
- (4) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (5) Não utilize este medicamento após o prazo de validade. Para manutenção da qualidade, mesmo dentro do prazo de validade, não utilize este medicamento por mais de 6 meses após ter sido aberto.

製造販売元



大正製薬株式会社

出典
制作

(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial : STACEVEFINE <comprimidos> (エスタックイブファイン<錠剤>)

※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicações]

Indicado para o alívio dos diversos sintomas do resfriado (febre, calafrios, tosse, catarro, dor de garganta, coriza, obstrução nasal, espirro, dor de cabeça, dores articulares, dores musculares).

[Composição e ação]

9 comprimidos de STACEVEFINE (dose total diária para adultos) contém:

Susbstância ativa	Quantidade	Ação
Ibuprofeno	450mg	Alivia as dores de cabeça e da garganta, e diminui a febre.
Cloridrato de ambroxol	45mg	Facilita a expectoração de secreções mucosas da garganta e brônquios.
Isopropamide iodide	6mg	Diminui a coriza.
Diidrocloridrato de codeína	24mg	Diminui a tosse através da ação sobre o sistema nervoso central.
dl- cloridrato de metilefedrina	60mg	Broncodilatador, alivia a respiração e diminui a tosse.
maleato de clorofeniramina	7.5mg	Diminui os sintomas de espirro, obstrução nasal e coriza.
Anidrocafeína	75mg	Alivia a dor de cabeça.
Ácido ascórbico (Vitamina C)	300mg	Supre o desgaste de vitaminas que ocorre durante o estado de resfriado.
Nitrato de tiamina (nitrocloridrato de Vitamina B1)	24mg	

[Posologia e modo de usar]

Tomar 1 dose 3 vezes ao dia, de preferência até 30 minutos depois das refeições.

Idade	Quantidade por dose
Adultos (acima de 15 anos)	3 comprimidos
Menores de 15 anos	Não usar este medicamento

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- Siga rigorosamente a quantidade e o modo de usar indicado.

Precauções

Leia com atenção as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações de uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas.

- (1) As pessoas que já apresentaram alguma vez alergia a este medicamento.
- (2) As pessoas que apresentaram crise de bronquite asmática em consequência do uso de medicamento para dor ou febre ou qualquer outro medicamento para resfriado.
- (3) As crianças com menos de 15 anos de idade.

2. Durante o período em que estiver tomando o STACEVEFINE, não tomar os seguintes medicamentos:

Qualquer outro tipo de medicamento para resfriado, dor ou febre, analgésico, antitussígeno, ou medicamento via oral que contenha anti-histamínico na sua composição (medicamento via oral para rinite, enjôos ou medicamentos para alergias).

3. Não operar máquinas nem dirigir veículos após tomar este medicamento. (Sonolência ou distúrbios visuais, ou ainda um forte ofuscamento à luz podem ocorrer como sintomas provocados por este medicamento).
4. As mulheres que estão amamentando não devem tomar este medicamento. Caso venham a tomar devem deixar de amamentar.
5. Não tomar bebida alcoólica durante o período de uso deste medicamento.
6. Não tomar este medicamento por mais de 5 dias seguidos.

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas deverão consultar o médico ou farmacêutico antes de usar este medicamento.

- (1) As pessoas em tratamento médico ou odontológico.
- (2) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez.
- (3) As pessoas idosas.
- (4) As pessoas com constituição alérgica ou que tenha alguém na família com constituição alérgica.
- (5) As pessoas que já tiveram reação alérgica a algum tipo de medicamento.
- (6) As pessoas que apresentam os seguintes sintomas:
Febre alta, dificuldade para urinar
- (7) As pessoas que receberam algum dos seguintes diagnósticos:
Hipertensão arterial, doença cardíaca, diabetes, glaucoma, doença do fígado, doença renal, distúrbio da tireóide, lúpus eritematoso sistêmico, doença do tecido conjuntivo.
- (8) Pessoas que já tiveram alguma das seguintes doenças:
Úlcera gástrica ou duodenal, colite ulcerativa, doença de Crohn.

2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou o farmacêutico levando este folheto explicativo nos seguintes casos:

- (1) No caso de surgir os seguintes sintomas após tomar o medicamento:

Parte do corpo	Sintomas
Pele	Erupção, eritema, coceira
Aparelho digestivo	Náuseas, vômitos, falta de apetite, dor de estômago, desconforto gástrico, indigestão, queimação subesternal, dor abdominal, distensão abdominal, estomatite.
Neuropsíquico	Tontura
Outros	Visão embaçada, zumbido no ouvido, distúrbio urinário, inchaço, formigamento.

Raramente ocorrem os sintomas graves abaixo relacionados. Caso aconteça, suspenda imediatamente o medicamento e procure consultar o médico.

Nome do sintoma	Sintomas
Choque anafilático	Aparecimento logo após a ingestão do medicamento de urticária, edema, aperto no peito, palidez, extremidades frias, suor frio, opressão no peito.
Síndrome muco-cutâneo-ocular (Síndrome de Stevens-Johnson) Necrose tóxica epidérmica (Síndrome de Lyell)	Febre alta acompanhada por erupção cutânea, eritema, bolhas semelhantes às provocadas por queimaduras com sintomas intensos na pele do corpo todo e mucosas da boca e olhos.
Distúrbio funcional do fígado	Sensação de corpo pesado, icterícia (pele e olhos amarelados).
Distúrbio do rim	Pode ocorrer diminuição do volume urinário, inchaço no corpo todo, acompanhado de falta de ar, corpo pesado, náuseas, vômitos, presença de proteína e sangue na urina.
Meningite asséptica	Dor de cabeça intensa acompanhado de rigidez da nuca, febre, náuseas, vômitos (esses sintomas são mais relatados por pessoas que estão em tratamento de lúpus eritematoso sistêmico, ou doença do tecido conjuntivo).
Pneumonia intersticial	Tosse seca (tosse sem catarro) acompanhado por falta de ar, dificuldade respiratória, e febre (esses sintomas são de difícil diagnóstico diferencial com o resfriado, portanto caso a tosse seca ou a febre agravarem suspenda o medicamento e procure consultar o médico).
Asma brônquica	

- (2) Se não houver melhora dos sintomas após 5~6 dias de uso deste medicamento (principalmente se a febre persistir por mais de 3 dias seguidos ou se voltar a apresentar febre).
3. No caso de persistirem ou se intensificarem os seguintes sintomas, suspenda a medicação e procure consultar o médico ou o farmacêutico.
- Obstipação intestinal (intestino preso), diarreia, boca seca.

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto com a tampa bem fechada, guardando em lugar fresco e protegido da luz solar e da umidade.
- (2) O produto deve ser mantido fora do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não manuseie o comprimido com as mãos molhadas, pois podem abrir falhas ou mudar a cor da camada protetora do comprimido.
- (5) Para proteger os comprimidos durante o seu transporte, foi colocado um material dentro do vidro para preencher o espaço vazio. Esse material pode ser desprezado depois de aberto o vidro, pois não terá mais finalidade.
- (6) Não utilize este medicamento após o prazo de validade. Para a manutenção da qualidade do produto mesmo dentro do prazo de validade, não utilize este medicamento por mais de 6 meses após ter sido aberto.

出典
発行



製造販売元

Eisai製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial: STACEVEFINE < Grânulos > (エスタックイブファイン<顆粒>)

※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicações]

Indicado para o alívio dos diversos sintomas do resfriado (febre, calafrios, tosse, catarro, dor de garganta, coriza, obstrução nasal, espirros, dor de cabeça, dores articulares, dores musculares).

[Composição e ação]

1 envelope de (1,3g) de Stacevefine contém:

Substância ativa	Quantidade	Ação
Ibuprofeno	150mg	Para o alívio das dores de cabeça e garganta e diminuição da febre.
Cloridrato de ambroxol	15mg	Facilita a expectoração de secreções mucosas da garganta e brônquios
Isopramide iodide	2mg	Diminui a coriza
Diidrocloridrato de codeína	8mg	Diminui a tosse através da ação sobre o sistema nervosa central
dl-cloridrato de metilefedrina	20mg	Broncodilatador, alivia a respiração e diminui a tosse
Maleato de clorofeniramina	2.5mg	Diminui os sintomas de espirro, obstrução nasal e coriza.
Anidrocafeína	25mg	Alivia a dor de cabeça.
Ácido ascórbico (Vitamina C)	100mg	Para recuperar o desgaste de vitaminas que ocorre durante o estado de resfriado
Nitrato de tiamina (nitrocloridrato de Vitamina B1)	8mg	

[Posologia e modo de usar]

Tomar 1 dose 3 vezes ao dia, de preferência até 30 minutos depois das refeições.

Idade	1 dose
Adultos (acima de 15 anos de idade)	1 envelope
Menores de 15 anos de idade	Não usar este medicamento

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- Siga rigorosamente a quantidade e o modo de usar indicado.

Precauções

Leia com atenção as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações de uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

- (1) As pessoas que já apresentaram alguma vez alergia a este medicamento.
- (2) As pessoas que apresentaram crise de bronquite asmática em consequência do uso de medicamento para dor ou febre ou qualquer outro medicamento para resfriado.
- (3) As crianças com menos de 15 anos de idade.

2. Durante o período em que estiver tomando o STACEVEFINE grânulos, não tomar os seguintes medicamentos:
Qualquer outro tipo de medicamento para resfriado, dor ou febre, analgésico, antitussígeno, ou medicamento via oral que contenha anti-histamínico na sua composição (medicamento via oral para rinite, enjôos por andar em veículos de transporte ou medicamentos para alergias).
3. Não operar máquinas nem dirigir veículos após tomar este medicamento. (Sonolência ou distúrbios visuais, ou ainda um forte ofuscamento à luz podem ocorrer).
4. As mulheres que estão amamentando não devem tomar este medicamento. Caso venham a tomar, devem deixar de amamentar.
5. Não tomar bebida alcoólica durante o período em que estiver usando este medicamento.
6. Não tomar este medicamento por mais de 5 dias seguidos.

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas deverão consultar o médico ou farmacêutico antes de usar este medicamento.
 - (1) As pessoas em tratamento médico ou odontológico (devido à possibilidade de interferir na ação do medicamento receitado pelo seu médico ou dentista ou de já estar recebendo o mesmo tipo de medicamento).
 - (2) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez (o uso de medicamento neste período deve ser cauteloso, consulte o médico especialista e siga as orientações recebidas).
 - (3) As pessoas idosas
 - (4) As pessoas com constituição alérgica ou que tenha alguém na família com constituição alérgica.
 - (5) As pessoas que já tiveram reação alérgica a algum tipo de medicamento.
 - (6) As pessoas que apresentam os seguintes sintomas:
Febre alta, dificuldade para urinar.
 - (7) As pessoas que receberam algum dos seguintes diagnósticos:
Hipertensão arterial, doença cardíaca, diabetes, glaucoma, doença do fígado, doença renal, distúrbio da tireóide, lúpus eritematoso sistêmico, doença do tecido conjuntivo.
 - (8) As pessoas que já tiveram alguma das seguintes doenças:
Úlcera gástrica ou duodenal, colite ulcerativa, doença de Crohn.
2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou o farmacêutico levando este folheto explicativo nos seguintes casos:
 - (1) No caso de surgir os seguintes sintomas após tomar o medicamento:

Parte do corpo	Sintomas
Pele	Erupção, eritema, coceira.
Aparelho digestivo	Náuseas, vômitos, falta de apetite, dor de estômago, indisposição gástrica, queimação retroesternal, dor abdominal, distensão abdominal, estomatite.
Neuropsíquico	Tontura
Outros	Visão embaçada, zumbido no ouvido, distúrbio urinário, inchaço, formigamento.

Raramente ocorrem os sintomas graves abaixo relacionados. Caso aconteça, suspenda imediatamente o medicamento e procure consultar o médico.

Nome do sintoma	Sintomas
Choque anafilático	Logo após a ingestão do medicamento, aparecimento de urticária, edema, aperto no peito, palidez, extremidades frias, suor frio, opressão no peito
Síndrome muco-cutâneo-ocular (Síndrome de Stevens-Johnson) Necrose tóxica epidérmica (Síndrome de Lyell)	Febre alta acompanhada por erupção cutânea, eritema, bolhas semelhantes às provocadas por queimaduras com sintomas intensos na pele do corpo todo e mucosas da boca e olhos.
Distúrbio funcional do fígado	Sensação de corpo pesado, icterícia (pele e olhos amarelados).
Distúrbio do rim	Pode ocorrer diminuição do volume da urina, inchaço no corpo todo, acompanhado de falta de ar, corpo pesado, náuseas, vômitos, presença de proteína e sangue na urina.
Meningite asséptica	Dor de cabeça intensa acompanhado de rigidez da nuca, febre, náuseas, vômitos (esses sintomas são relatados por pessoas que estão em tratamento de lúpus eritematoso sistêmico, ou doença do tecido conjuntivo).
Pneumonia intersticial	Tosse seca (tosse sem catarro) acompanhado por falta de ar, dificuldade respiratória e febre (esses sintomas são de difícil diagnóstico diferencial com os sintomas do resfriado, portanto se a tosse seca, febre agravarem, suspenda o medicamento e procure consultar o médico).
Asma brônquica	

- (2) Se não houver melhora dos sintomas após 5~6 dias de uso deste medicamento (principalmente se a febre persistir por mais de 3 dias seguidos ou se voltar a apresentar febre).
3. No caso de persistirem ou se intensificarem os seguintes sintomas, suspenda a medicação e procure consultar o médico ou o farmacêutico.
- Obstipação intestinal (intestino preso), diarreia e boca seca.

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto com a tampa bem fechada, guardando em lugar fresco e protegido da luz solar e da umidade.
- (2) O produto deve ser mantido fora do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não utilize este medicamento após o prazo de validade.

出典
発行



製造販売元

エスエス製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial: PABRON ACE AX<comprimidos>(パブロンエースAX 錠 <錠剤>)

※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicações]

Indicado para o alívio dos diversos sintomas do resfriado (febre, calafrios, tosse, catarro, dor de garganta, coriza, obstrução nasal, espirros, dor de cabeça, dores articulares, dores musculares).

[Composição e ação]

1 dose (3 comprimidos) de PABRON ACE AX contém:

Substância ativa	Quantidade	Ação
Ibuprofeno	150mg	Alivia as dores de cabeça e da garganta, e diminui a febre
Cloridrato de ambroxol	15mg	Facilita a expectoração das secreções mucosas da garganta e dos brônquios
Diidrocloridrato de codeína	8mg	Diminui a tosse através da ação sobre o sistema nervosa central.
dl-cloridrato de metilefedrina	20mg	Broncodilatador, alivia a respiração e diminui a tosse.
Maleato de clorfeniramina	2.5mg	Diminui os sintomas de espirros, obstrução nasal e coriza.
Anidrocafeína	25mg	Alivia a dor de cabeça
Ácido ascórbico (Vitamina C)	166.7mg	Supre o desgaste de vitaminas que ocorre durante o estado de resfriado.
Nitrato de tiamina (nitrocloridrato de Vitamina B1)	8mg	
Riboflavina (Vitamina B2)	4mg	

[Posologia e modo de usar]

Tomar 1 dose 3 vezes ao dia, de preferência até 30 minutos após as refeições.

Idade	Quantidade por dose
Adulto (acima de 15 anos)	3 comprimidos
Menores de 15 anos	Não usar este medicamento

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- Siga rigorosamente a quantidade e o modo de usar indicado.
- Modo de retirar os comprimidos

Retire o comprimido, pressionando com a ponta do dedo a porção elevada da cartela do PTP que contém o comprimido, rasgando dessa forma o papel laminado que fecha a cartela.

Precauções

Leia com atenção as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações do uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

- (1) As pessoas que já apresentaram alguma vez alergia a este medicamento.
- (2) As pessoas que apresentaram crise de bronquite asmática em consequência do uso de medicamento para dor ou febre ou de qualquer outro medicamento para resfriado.
- (3) As crianças com menos de 15 anos de idade

2. Durante o período em que estiver tomando o PABURON ACE AX, não tomar os seguintes medicamentos:

Qualquer outro tipo de medicamento para resfriado, dor ou febre, analgésico, antitussígeno, ou medicamento via oral que contenha anti-histamínico na sua composição (medicamento via oral para rinite, enjôos ou medicamentos para alergias).

3. Não opere máquinas nem dirija veículos após tomar este medicamento. (Sonolência ou distúrbios visuais, ou ainda um forte ofuscamento à luz podem ocorrer).
4. As mulheres que estão amamentando não devem tomar este medicamento. Caso venham a tomar devem deixar de amamentar. (Foi comprovado por experimentos em animais de laboratórios na excreção no leite).
5. Não tomar bebida alcoólica durante o período de uso deste medicamento.
6. Não tomar este medicamento por mais de 5 dias seguidos.

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas deverão consultar o médico ou farmacêutico antes de usar este medicamento.

- (1) As pessoas em tratamento médico ou odontológico .
- (2) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez.
- (3) As pessoas idosas.
- (4) As pessoas com constituição alérgica ou que tenha alguém na família com constituição alérgica.
- (5) As pessoas que já tiveram reação alérgica a algum tipo de medicamento.
- (6) As pessoas que apresentam os seguintes sintomas:
Febre alta, dificuldade para urinar
- (7) As pessoas que receberam algum dos seguintes diagnósticos:
Hipertensão arterial, doença cardíaca, diabetes, glaucoma, doença do fígado, doença renal, distúrbio da tireóide, lúpus eritematoso sistêmico, doença do tecido conjuntivo.
- (8) As pessoas que já tiveram alguma das seguintes doenças:
Úlcera gástrica ou duodenal, colite ulcerativa, doença de Crohn.

2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou farmacêutico levando este folheto explicativo nos seguintes casos:

- (1) No caso de surgir os seguintes sintomas após tomar o medicamento

Parte do corpo	Sintomas
Pele	Erupção, eritema, coceira,
Aparelho digestivo	Náuseas, vômitos, falta de apetite, dor de estômago, desconforto gástrico, indigestão, queimação substernal, dor abdominal, distensão abdominal, estomatite.
Neuropsíquico	Tontura, formigamento
Outros	Vista embaçada, zumbido no ouvido, dificuldade para urinar

Raramente ocorrem os sintomas graves abaixo relacionados. Caso aconteça, suspenda imediatamente o medicamento e procure consultar o médico o mais rápido possível.

Nome do sintoma	Sintomas
Choque Anafilático	Aparecimento logo após a ingestão do medicamento de urticária, edema, aperto no peito, palidez, extremidades frias, suor frio, opressão no peito.
Síndrome muco-cutâneo-ocular(Síndrome de Stevens-Johnson), Necrose tóxica epidérmica, (Síndrome de Lyell)	Febre alta acompanhada por erupção cutânea, eritema, bolhas semelhantes à provocados por queimaduras com sintomas intensos na pele do corpo todo e mucosas da boca e olhos.
Distúrbio funcional do fígado	Sensação de corpo pesado, icterícia (pele e olhos amarelados)
Distúrbios do rim	Pode ocorrer, diminuição do volume urinário, inchaço no corpo todo acompanhado de falta de ar, corpo pesado, náuseas, vômitos, presença de proteína e sangue na urina.
Meningite asséptica	Dor de cabeça intensa, acompanhado de rigidez da nuca, febre, náuseas, vômitos (esses sintomas são mais relatados por pessoas que estão em tratamento de lúpus eritematoso sistêmico ou doenças do tecido conjuntivo).
Pneumonia intersticial	Tosse seca (tosse sem catarro) acompanhado por falta de ar, dificuldade respiratória e febre (esses sintomas são de difícil diagnóstico diferencial com o resfriado, portanto caso a tosse seca ou a febre agravarem suspenda o medicamento e procure consultar com o médico).
Asma	

- (2) Se não houver melhora dos sintomas após 5~6 dias de uso deste medicamento (principalmente se a febre persistir por mais de 3 dias seguidos ou se voltar a apresentar febre).
3. No caso de persistirem ou se intensificarem os seguintes sintomas, suspenda a medicação e procure consultar com o médico ou o farmacêutico.
Obstipação intestinal (intestino preso), diarreia e boca seca.
4. No caso de ocorrer urina de cor amarela, não se preocupe, este medicamento contém em sua composição a Vitamina B2.

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto guardado em lugar fresco, protegido da luz solar e da umidade.
- (2) O produto deve ser mantido fora do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não utilize este medicamento após o prazo de validade. Para a manutenção da qualidade do produto mesmo dentro do prazo de validade não utilize este medicamento por mais de 6 meses depois de ter sido aberto

出典
発行



大正製薬株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial: PABRON ACE AX <Pó> (パブロンエースAX<微粒>)
※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicação]

Indicado para o alívio dos diversos sintomas do resfriado (febre, calafrios, tosse, catarro dor de garganta, coriza, obstrução nasal, espirros, dor de cabeça, dores articulares, dores musculares).

[Composição e ação]

1 envelope de 1,3 g de PABRON ACE AX contém:

Substância ativa	Quantidade	Ação
Ibuprofeno	150mg	Alivia as dores de cabeça e da garganta e diminui a febre
Cloridrato de ambroxol	15mg	Facilita a expectoração das secreções mucosas da garganta e dos brônquios
Diidrocloridrato de codeína	8mg	Diminui a tosse através da ação sobre o sistema nervosa central.
dl-cloridrato de metilefedrina	20mg	Brondilatador, alivia a respiração e diminui a tosse.
Maleato de clorofeniramina	2.5mg	Diminui os sintomas de espirro, obstrução nasal e coriza.
Anidrocaféina	25mg	Alivia a dor de cabeça
Ácido ascórbico (Vitamina C)	166.7mg	Supre o desgaste de vitaminas que ocorre durante o estado de resfriado.
Nitrato de tiamina (nitrocloridrato de Vitamina B1)	8mg	
Riboflavina (Vitamina B2)	4mg	

[Posologia e modo de usar]

Tomar 1 dose 3 vezes ao dia, de preferência até 30 minutos após as refeições

Idade	Quantidade por dose
Adulto(acima de 15 anos)	1 envelope
Menores de 15 anos	Não usar este medicamento

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- Siga rigorosamente a quantidade e o modo de usar indicado.

Precauções

Leia com atenção as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ **Contra-indicações no uso**

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

- (1) As pessoas que já apresentaram alergia a este medicamento.
- (2) As pessoas que apresentaram crise de bronquite asmática em consequência do uso de medicamento para dor ou febre ou de qualquer outro medicamento para resfriado.
- (3) As crianças com menos de 15 anos de idade

2. Durante o período em que estiver tomando o PABURON ACE AX, não tomar os seguintes medicamentos:

Qualquer outro tipo de medicamento para resfriado, dor ou febre, analgésico, antitussígeno, ou medicamento via oral que contenha anti-histamínico em sua composição. (medicamento via oral para rinite, enjôos ou medicamentos para alergias).

3. Não operar máquinas nem dirigir veículos após tomar este medicamento. (Sonolência ou distúrbios visuais, ou ainda um forte ofuscamento à luz).
4. As mulheres que estão amamentando não devem tomar este medicamento. Caso venham a tomar devem deixar de amamentar. (Foi comprovado por experimentos em animais de laboratório na excreção no leite).
5. Não tomar bebida alcoólica durante o período de uso deste medicamento.
6. Não tomar este medicamento por mais de 5 dias seguidos.

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas deverão consultar o médico ou farmacêutico antes de usar este medicamento:

- (1) As pessoas em tratamento médico ou odontológico.
- (2) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez.
- (3) As pessoas idosas.
- (4) As pessoas com constituição alérgica ou que tenha alguém na família com constituição alérgica.
- (5) As pessoas que já tiveram reação alérgica a algum tipo de medicamento.
- (6) As pessoas que apresentam os seguintes sintomas:
Febre alta, dificuldade para urinar.
- (7) As pessoas que receberam algum dos seguintes diagnósticos:
Hipertensão arterial, doença cardíaca, diabetes, glaucoma, doença do fígado, doença renal, distúrbio da tireóide, lúpus eritematoso sistêmico, doença do tecido conjuntivo.
- (8) As pessoas que já tiveram alguma das seguintes doenças:
Úlcera gástrica ou duodenal, colite ulcerativa, Doença de Crohn.

2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou o farmacêutico levando este folheto explicativo nos seguintes casos:

- (1) No caso de surgir os seguintes sintomas após tomar o medicamento.

Parte do corpo	Sintomas
Pele	Erupção, eritema, coceira, edema
Aparelho digestivo	Náuseas, vômitos, falta de apetite, dor de estômago, desconforto gástrica, indigestão, queimação substernal, dor abdominal, distensão abdominal, estomatite.
Neuropsíquico	Tontura, formigamento
Outros	Vista embaçada, zumbido no ouvido, dificuldade para urinar, edema

Raramente ocorrem os sintomas graves abaixo relacionados. Caso aconteça, suspenda imediatamente o medicamento e procure consultar o médico o mais rápido possível.

Nome do sintoma	Sintomas
Choque anafilático	Aparecimento logo após a ingestão do medicamento de urticária, edema, aperto no peito, palidez, extremidades frias, suor frio, opressão no peito.
Síndrome muco-cutâneo-ocular (Síndrome de Stevens-Johnson), Necrose tóxica epidérmica, (Síndrome de Lyell)	Febre alta acompanhada por erupção cutânea, eritema, bolhas semelhantes à provocados por queimaduras com sintomas intensos na pele do corpo todo e mucosas da boca e olhos.
Distúrbio funcional do fígado	Sensação de corpo pesado, icterícia (pele e olhos amarelados).
Distúrbios do rim	Pode ocorrer diminuição do volume urinário, inchaço no corpo todo acompanhado de falta de ar, corpo pesado, náuseas, vômitos, presença de proteína e sangue na urina.
Meningite asséptica	Dor de cabeça intensa, acompanhado de rigidez da nuca, febre, náuseas, vômitos (esses sintomas são mais relatados por pessoas que estão em tratamento de lúpus eritematoso sistêmico ou doenças do tecido conjuntivo).
Pneumonia intersticial	Tosse seca (tosse sem catarro) acompanhado por falta de ar, dificuldade respiratória e febre (esses sintomas são de difícil diagnóstico diferencial com o resfriado, portanto, caso a tosse seca ou a febre agravarem suspenda o medicamento e procure consultar o médico).
Asma	

- (2) Se não houver melhora dos sintomas após 5~6 dias de uso deste medicamento (principalmente se a febre persistir por mais de 3 dias seguidos ou se voltar a apresentar febre).
3. No caso de persistirem ou se intensificarem os seguintes sintomas, suspenda a medicação e procure consultar o médico ou o farmacêutico.
Obstipação intestinal (intestino preso), diarreia e boca seca.
4. No caso de ocorrer urina de cor amarela, não se preocupe, este medicamento contém em sua composição a Vitamina B2.

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto guardado em lugar fresco, protegido da luz solar e da umidade.
- (2) O produto deve ser mantido fora do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não utilize este medicamento após o prazo de validade.

出典
発行



大正製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial: GASTER 10 <Pó> (ガスター10 <散>)

Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicações]

Indicado para dor de estômago, azia, indigestão, ânsia de vômitos

<Advertências>

Não use o medicamento para sintomas que não estejam mencionados na indicação.

[Composição e Ação]

1 envelope de 0,5 gramas do GASTER 10 contém:

Substância ativa	Quantidade	Ação
Famotidina	10mg	Controla a hiperacidez do estômago

[Posologia e modo de usar]

- Tome o medicamento com água fria ou morna conforme indicado abaixo.

Idade	Quantidade por dose	Vezez por dia
Adultos (acima de 15 anos até 80 anos)	1 envelope	Até 2 vezes
Crianças (menores de 15 anos)	Não usar este medicamento	
Idosos (acima de 80 anos)		

Este medicamento deve ser tomado quando surgirem os sintomas e não em horários estabelecidos. A sua ação não sofre interferências com a alimentação, portanto pode ser tomado antes, após ou nos intervalos das refeições. A dose de 1 envelope controla a hipersecreção ácida do estômago, durante mais ou menos o período de 8 horas, portanto deve se abrir um intervalo de mais de 8 horas entre uma dose e outra no caso de se tomar 2 vezes ao dia.

- Siga rigorosamente a quantidade e o modo de usar que foi estabelecido.
- Se depois de passado 8 horas após a ingestão do medicamento não houver melhora do sintoma, pode se tomar mais 1 dose de 1 envelope.
- Pare de tomar o medicamento se os sintomas desaparecerem.
- Se após 3 dias de uso do medicamento não houver melhora, suspenda a medicação e consulte o médico ou o farmacêutico.
- Não tome este medicamento por mais de 2 semanas seguidas.

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- (1) Durante o uso deste medicamento, evite de tomar bebida alcoólica. (no geral, durante o uso de medicamentos não se deve tomar bebida alcoólica).

Precauções

Leia com atenção as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações de uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

- (1) As pessoas que no passado apresentaram reação alérgica ao antagonista do receptor histamínico H₂ Famitidina (por exemplo: erupção cutânea, eritema, coceira, inchaço nos lábios, pálpebras e garganta), devido à possibilidade de desenvolver reação alérgica ao GASTER 10.
- (2) As pessoas que estão em tratamento médico de doenças hematológicas, renais, doenças do fígado, doenças do coração, doenças do estômago ou duodeno, asma, doenças imunológicas como reumatismo ou ainda, pessoas que estão em tratamento com esteróides, antibióticos, antineoplásicos ou imidazóis antifúngicos.
Nas pessoas com doenças hematológicas pode ocorrer leucopenia e plaquetopenia.
Nas pessoas com doenças renais e doenças do fígado, a excreção do medicamento fica retardada, portanto a ação deste medicamento pode ficar mais forte.
Nas pessoas portadores de doenças do coração como o infarto do miocárdio, doença valvular, miocardiopatias, pode aparecer no exame eletrocardiográfico, anormalidades acompanhando pulsações irregulares.
Nas pessoas em tratamento de doenças do estômago ou duodeno, é alta a possibilidade de estarem recebendo prescrição de Famitidina ou medicamentos semelhantes, portanto, é necessário cuidado para não fazer uso duplicado dos medicamentos).
Nas pessoas em tratamento com imidazóis antifúngicos, a absorção dos imidazóis antifúngicos diminui, portanto o seu efeito fica enfraquecido.
- (3) As pessoas com desordens do sangue, advertidos pelo médico como tendo diminuição de glóbulos vermelhos (anemia), diminuição de plaquetas (sangramento fácil, dificuldade de estancar hemorragias), diminuição de glóbulos brancos. (Se foi desencadeado por este medicamento há possibilidade de voltar a desenvolver anormalidades no sangue).
- (4) As crianças com idade inferior a 15 anos ou idosos com mais de 80 anos.
- (5) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez ou que estão amamentando.

2. Durante o período em que estiver fazendo uso do GASTER 10, não tomar os seguintes medicamentos:

Outros medicamentos para o estomago e intestino.

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas devem consultar o médico ou o farmacêutico antes de usar este medicamento:

- (1) As pessoas que estão em tratamento médico ou odontológico e ainda as que estão tomando outros medicamentos.
- (2) As pessoas com constituição alérgica ou que tem na família pessoas com constituição alérgica.
- (3) As pessoas que já apresentaram alergia a algum medicamento.
- (4) As pessoas idosas (acima de 65 anos) (geralmente as pessoas idosas têm a função fisiológica diminuída).
- (5) As pessoas que tem os seguintes sintomas:
Dor de garganta, tosse ou febre alta (pessoas com estes sintomas, leva à suspeita diagnóstica de doença infecciosa grave, podendo ocasionar diminuição no número de glóbulos vermelhos. Se antes de tomar este medicamento a pessoa já apresenta esses sintomas, a tomada deste medicamento pode provocar agravamento destes sintomas ou ainda demora para perceber os efeitos colaterais deste medicamento).
Perda de peso de causa desconhecida, dor abdominal persistente (pode ser sintomas de outra doença).

2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou farmacêutico levando consigo este folheto explicativo nos seguintes casos:

- (1) No caso de surgir os seguintes sintomas após tomar o medicamento.

Parte do corpo	Sintomas
Pele	Erupção, eritema, coceira, inchaço
Aparelho circulatório	Arritmia
Neuropsíquico	Embotamento, convulsão
Outros	Mal estar, corpo pesado, febre com dor de garganta.

Raramente ocorrem os sintomas graves abaixo relacionados. Caso aconteça suspenda imediatamente o medicamento e procure consultar o médico o mais rápido possível.

Nome do sintoma	Sintomas
Choque anafilático	Aparecimento logo após a ingestão do medicamento de urticária, edema, aperto no peito, palidez, extremidades frias, suor frio, opressão no peito.
Síndrome muco-cutâneo-ocular (Síndrome de Stevens-Johnson), Necrose tóxica epidérmica, (Síndrome de Lyell)	Febre alta acompanhada por erupção cutânea, eritema, bolhas semelhantes à provocados por queimaduras com sintomas intensos na pele do corpo todo e mucosas da boca e olhos.
rhabdomyolysis	Dores e rigidez da musculatura do corpo e das mãos e pés, acompanhado de urina avermelhada.
Distúrbio funcional do fígado	Corpo pesado, icterícia (pele e o branco do olho ficam amarelados).
Distúrbio do rim	Febre, erupção, inchaço do corpo todo, hematúria, corpo pesado, artralgia (dores nas articulações), diarreia.
Distúrbios do Sangue	Dores de garganta, febre, corpo pesado, o rosto e as pálpebras ficam esbranquiçados, sangramento fácil, (agravamento gengival, sangramento nasal), manchas azuladas (não desaparecem mesmo pressionando).

- (2) No caso de se enganar e tomar medicamento em quantidade maior do que o estabelecido.

3. No caso de persistirem ou se intensificarem os seguintes sintomas, suspenda a medicação e procure consultar o médico ou o farmacêutico.

Obstipação intestinal (intestino preso), fezes amolecidas, diarreia e boca seca.

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto guardado em lugar fresco, protegido da luz solar e da umidade.
- (2) Produto deve ser mantido fora do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não utilize este medicamento após o prazo de validade.

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial: GASTER 10 <comprimidos> (ガスター10 <錠>)
※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicações]

Indicado para dor de estômago, azia, indigestão, ânsia de vômitos

<Advertências>

Não use o medicamento para sintomas que não estejam mencionados na indicação.

[Composição e Ação]

1 comprimido de GASTER10 contém:

Substância ativa	Quantidade	Ação
Famotidina	10mg	Controla a hipersecreção ácida do estômago

[Posologia e modo de usar]

- Tome o medicamento com água fria ou morna conforme indicado abaixo.

Idade	Quantidade por dose	Veze por dia
Adultos (acima de 15 anos até 80 anos)	1 comprimido	Até 2 vezes
Crianças (menores de 15 anos)	Não usar este medicamento	
Idosos (acima de 80 anos)		

Este medicamento deve ser tomado quando surgirem os sintomas e não em horários estabelecidos. A sua ação não sofre interferências com a alimentação, portanto pode ser tomado antes, após ou nos intervalos das refeições. A dose de 1 envelope controla a hipersecreção ácida do estômago, durante mais ou menos o período de 8 horas, portanto deve se abrir um intervalo de mais de 8 horas entre uma dose e outra no caso de se tomar 2 vezes ao dia.

- Siga rigorosamente a quantidade e o modo de usar que foi estabelecido.
- Se depois de passado 8 horas após a ingestão do medicamento não houver melhora dos sintomas, pode se tomar mais 1 dose de 1 comprimido.
- Pare de tomar o medicamento se os sintomas desaparecerem.
- Se após 3 dias de uso do medicamento não houver melhora, suspenda a medicação e consulte o médico ou o farmacêutico.
- Não tome este medicamento por mais de 2 semanas seguidas

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- (1) Durante o uso deste medicamento, evite de tomar bebida alcoólica (no geral, durante o uso de medicamentos não se deve tomar bebida alcoólica)
- (2) Modo de retirar os comprimidos
 Conforme mostra a ilustração, pressione com força a parte elevada da cinta de PTP de modo que rompa a cobertura de alumínio retirando assim o comprimido a ser usado.

Precauções

Leia com atenção as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações de uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e outras consequências).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

- (1) As pessoas que no passado apresentaram reação alérgica ao antagonista do receptor histamínico H₂ Famitidina (por exemplo: erupção cutânea, eritema, coceira, inchaço nos lábios, pálpebras e garganta), devido à possibilidade de desenvolver reação alérgica ao GASTER 10.
- (2) As pessoas que estão em tratamento médico ou recebem prescrição de medicamento para as seguintes doenças: doenças hematológicas, renais, doenças do fígado, doenças do coração, doenças do estômago ou duodeno, asma, doenças imunológicas como reumatismo, tratamento com esteróides, antibióticos, antineoplásicos, imidazois antifúngicos.
As pessoas com doenças hematológicas podem ocorrer (leucopenia, plaquetopenia).
As pessoas com doenças renais e doenças do fígado podem ocorrer, a excreção do medicamento fica retardada e a ação deste medicamento pode ficar mais forte).
As pessoas portadores de doenças do coração como o infarto do miocárdio, doença valvular, miocardiopatias, podem aparecer no exame eletrocardiográfico, anormalidades acompanhando pulsações irregulares.
As pessoas em tratamento de doenças do estômago ou duodeno, é alta a possibilidade de estarem recebendo prescrição de Famitidina ou medicamentos semelhantes, portanto, é necessário cuidado para não fazer uso duplicado dos medicamentos).
As pessoas em tratamento com imidazois antifúngicos, a absorção dos imidazois antifúngicos diminui, portanto o seu efeito fica enfraquecido.
- (3) As pessoas com desordens do sangue, advertidos pelo médico como tendo diminuição de glóbulos vermelhos (anemia), diminuição de plaquetas (sangramento fácil, dificuldade de estancar hemorragias), diminuição de glóbulos brancos. (Se foi desencadeado por este medicamento há possibilidade de voltar a desenvolver anormalidades no sangue.
- (4) As crianças com idade inferior a 15 anos ou idosos com mais de 80 anos.
- (5) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez ou que estão amamentando.

2. Durante o período em que estiver fazendo uso deste medicamento, não tomar os seguintes medicamentos:

Outros medicamentos para o estômago ou intestino.

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas devem consultar o médico ou o farmacêutico antes de usar este medicamento.

- (1) As pessoas que estão em tratamento médico ou odontológico e ainda as que estão tomando outros medicamentos.
- (2) As pessoas com constituição alérgica ou que tem na família pessoas com constituição alérgica.
- (3) As pessoas que já apresentaram alergia a algum medicamento.
- (4) As pessoas idosas (acima de 65 anos) (geralmente as pessoas idosas têm a função fisiológica diminuída).
- (5) As pessoas que tem os seguintes sintomas:
Dor de garganta, tosse ou febre alta (pessoas com estes sintomas, leva à suspeita diagnóstica de doença infecciosa grave, podendo ocasionar diminuição no número de glóbulos vermelhos. Se antes de tomar este medicamento a pessoa já apresenta esses sintomas, a tomada deste medicamento pode provocar agravamento destes sintomas ou ainda demora para perceber os efeitos colaterais deste medicamento).
Perda de peso de causa desconhecida, dor abdominal persistente (pode ser sintomas de outra doença).

2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou farmacêutico levando consigo este folheto explicativo nos seguintes casos:

- (1) No caso de surgir os seguintes sintomas após tomar o medicamento

Parte do corpo	Sintoma
Pele	Erupção, eritema, coceira, inchaço
Aparelho circulatório	Arritmia
Neuropsíquico	Embotamento, convulsão
Outros	Náuseas, corpo pesado, febre com dor de garganta.

Raramente ocorrem os sintomas graves abaixo relacionados. Caso aconteça suspenda imediatamente o medicamento e procure consultar com o médico o mais rápido possível.

Nome do sintoma	Sintoma
Choque anafilático	Aparecimento logo após a ingestão do medicamento de urticária, edema, aperto no peito, palidez, extremidades frias, suor frio, opressão no peito.
Síndrome muco-cutâneo-ocular (Síndrome de Stevens-Johnson), Necrose tóxica epidérmica, (Síndrome de Lyell)	Febre alta acompanhada por erupção cutânea, eritema, bolhas semelhantes à provocados por queimaduras com sintomas intensos na pele do corpo todo e mucosas da boca e olhos.
rhabdomyolysis	Dores e rigidez da musculatura do corpo e das mãos e pés.
Distúrbio funcional do fígado	Corpo pesado, icterícia (pele e o branco do olho ficam amarelados).
Distúrbio do rim	Febre, erupção, inchaço do corpo todo, hematúria (sangue na urina), corpo pesado, artralgia (dores nas articulações), diarreia.
Distúrbios do sangue	Dores de garganta, febre, corpo pesado, o rosto e as pálpebras ficam esbranquiçados, sangramento fácil (sangramento gengival, sangramento nasal), manchas azuladas (não desaparecem mesmo pressionando).

- (2) No caso de se enganar e tomar medicamento em quantidade maior do que o estabelecido.

3. Os seguintes sintomas podem aparecer e no caso desses sintomas persistirem ou aumentarem intensidade, suspenda a medicação e consulte o médico ou o farmacêutico.

Obstipação intestinal (intestino preso), fezes amolecidas, diarreia, boca seca

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto guardado em lugar fresco, protegido da luz solar e da umidade.
- (2) O produto deve ser mantido fora do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não utilize este medicamento após o prazo de validade.

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial: **GASTER 10 S comprimidos** (ガスター10S錠)^{じょう}

※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicações]

Indicado para dor de estômago, azia, indigestão, ânsia de vômitos.

<Advertências>

- Não use o medicamento para sintomas que não estejam mencionados na indicação.

[Composição e Ação]

1 comprimido de GASTER10 S contém :

Substância ativa	Quantidade	Ação
Famotidina	10mg	Controla a hipersecreção ácida do estômago

[Posologia e modo de usar]

Tome o medicamento com água fria ou morna conforme indicado abaixo.

O comprimido pode também ser usado dissolvendo-o dentro da boca.

Idade	Quantidade por dose	Vezez por dia
Adultos (acima de 15 anos até 80 anos)	1 comprimido	Até 2 vezes
Crianças (menores de 15 anos)	Não usar este medicamento	
Idosos(acima de 80 anos)		

Este medicamento deve ser tomado quando surgirem os sintomas e não em horários estabelecidos. A sua ação não sofre interferências com a alimentação, portanto, pode ser tomado antes, após ou nos intervalos das refeições. A dose de 1 envelope controla a hipersecreção ácida do estômago durante mais ou menos o período de 8 horas, portanto deve se abrir um intervalo de mais de 8 horas entre uma dose e outra no caso de se tomar 2 vezes ao dia.

- Siga rigorosamente a quantidade e o modo de usar que foi estabelecido.
- Se depois de passado 8 horas após a ingestão do medicamento não houver melhora dos sintomas, pode se tomar mais 1 dose de 1 comprimido.
- Pare de tomar o medicamento se os sintomas desaparecerem.
- Se após 3 dias de uso do medicamento não houver melhora, suspenda a medicação e consulte o médico ou o farmacêutico.
- Não tome este medicamento por mais de 2 semanas seguidas.

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- (1) Este medicamento se dissolve facilmente dentro da boca, entretanto ele não é absorvido através da mucosa oral, portanto deve ser engolido com a saliva ou com água. O efeito deste medicamento é o mesmo, quando tomado normalmente com água fria ou morna.
- (2) Durante o uso deste medicamento ,evite de tomar bebida alcoólica.(no geral, durante o uso de medicamentos não se deve tomar bebida alcoólica).
- (3) Modo de retirar os comprimidos
Conforme mostra a ilustração, pressione com força a parte elevada da cinta de PTP de modo que rompa a cobertura de alumínio retirando assim o comprimido a ser usado.

Precauções

Leia com atenção as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações de uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

- (1) As pessoas que no passado apresentaram reação alérgica ao antagonista do receptor histamínico H₂ Famitidina (por exemplo: erupção cutânea, eritema, coceira, inchaço nos lábios, pálpebras e garganta), devido à possibilidade de desenvolver reação alérgica ao GASTER 10.
- (2) As pessoas que estão em tratamento médico de doenças hematológicas, renais, doenças do fígado, doenças do coração, doenças do estômago ou duodeno, asma, doenças imunológicas como reumatismo ou ainda, pessoas que estão em tratamento com esteróides, antibióticos, antineoplásicos ou imidazóis antifúngicos.
Nas pessoas com doenças hematológicas pode ocorrer leucopenia e plaquetopenia.
Nas pessoas com doenças renais e doenças do fígado, a excreção do medicamento fica retardada, portanto a ação deste medicamento pode ficar mais forte.
Nas pessoas portadores de doenças do coração como o infarto do miocárdio, doença valvular, miocardiopatias, pode aparecer no exame eletrocardiográfico, anormalidades acompanhando pulsações irregulares.
Nas pessoas em tratamento de doenças do estômago ou duodeno, é alta a possibilidade de estarem recebendo prescrição de Famitidina ou medicamentos semelhantes, portanto, é necessário cuidado para não fazer uso duplicado dos medicamentos).
Nas pessoas em tratamento com imidazóis antifúngicos, a absorção dos imidazóis antifúngicos diminui, portanto o seu efeito fica enfraquecido.
- (3) As pessoas com desordens do sangue, advertidos pelo médico como tendo diminuição de glóbulos vermelhos (anemia), diminuição de plaquetas (sangramento fácil, dificuldade de estancar hemorragias), diminuição de glóbulos brancos.
(Se foi desencadeado por este medicamento há possibilidade de voltar a desenvolver anormalidades no sangue).
- (4) As pessoas com fenilcetonúria (este medicamento contém aspartame (L – fenilalanina) na sua composição).
- (5) As crianças com idade inferior a 15 anos ou idosos com mais de 80 anos.
- (6) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez ou que estão amamentando.

2. Durante o período em que estiver fazendo uso deste medicamento, não tomar os seguintes medicamentos: Outros medicamentos para o estômago.

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas devem consultar o médico ou o farmacêutico antes de usar este medicamento:

- (1) As pessoas que estão em tratamento médico ou odontológico e ainda as que estão tomando outros medicamentos.
- (2) As pessoas com constituição alérgica ou que tem na família pessoas com constituição alérgica.
- (3) As pessoas que já apresentaram alergia a algum medicamento.
- (4) As pessoas idosas (acima de 65 anos) (geralmente as pessoas idosas tem a função fisiológica diminuída).
- (5) As pessoas que tem os seguintes sintomas:
Dor de garganta, tosse ou febre alta (pessoas com estes sintomas, leva à suspeita diagnóstica de doença infecciosa grave, podendo ocasionar diminuição no número de glóbulos vermelhos. Se antes de tomar este medicamento a pessoa já apresenta esses sintomas, a tomada deste medicamento pode provocar agravamento destes sintomas ou ainda demora para perceber os efeitos colaterais deste medicamento).
Perda de peso de causa desconhecida, dor abdominal persistente (pode ser sintomas de outra doença).

2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou farmacêutico levando este folheto explicativo nos seguintes casos:

- (1) No caso de surgir os seguintes sintomas após tomar o medicamento

Parte do corpo	Sintomas
Pele	Erupção, eritema, coceira, inchaço
Aparelho circulatório	Arritmia
Neuropsíquico	Embotamento convulsão
Outros	Náuseas, corpo pesado, febre com dor de garganta.

Raramente ocorrem os sintomas graves abaixo relacionados. Caso aconteça suspenda imediatamente o medicamento e procure consultar com o médico o mais rápido possível.

Nome do sintoma	Sintomas
Choque anafilático	Aparecimento logo após a ingestão do medicamento de urticária, edema, aperto no peito, palidez, extremidades frias, suor frio, opressão no peito.
Síndrome muco-cutâneo-ocular (Síndrome de Stevens-Johnson), Necrose tóxica epidérmica (Síndrome de Lyell)	Febre alta acompanhada por erupção cutânea, eritema, bolhas semelhantes à provocados por queimaduras com sintomas intensos na pele do corpo todo e mucosas da boca e olhos.
rhabdomyolysis	Dores e rigidez da musculatura do corpo e das mãos e pés.
Distúrbio funcional do fígado	Corpo pesado, icterícia (pele e o branco do olho ficam amarelados).
Distúrbio do rim	Febre, erupção, inchaço do corpo todo, hematúria (sangue na urina), corpo pesado, artralgia (dores nas articulações), diarreia.
Distúrbios do sangue	Dores de garganta, febre, corpo pesado, o rosto e as pálpebras ficam esbranquiçados, sangramento fácil, (sangramento gengival, sangramento nasal), manchas azuladas (não desaparecem mesmo pressionando).

- (2) No caso de se enganar e tomar medicamento em quantidade maior do que o estabelecido.

3. Os seguintes sintomas podem aparecer e no caso desses sintomas persistirem ou aumentarem em intensidade, suspenda a medicação e consulte o médico ou o farmacêutico.

Obstipação intestinal (intestino preso), fezes amolecidas, diarreia, boca seca.

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto guardado em lugar fresco, protegido da luz solar e da umidade.
- (2) O produto deve ser mantido fora do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não utilize este medicamento após o prazo de validade.

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial : ZADITEN AL R hinitis cápsulas (ザジテン AL 鼻炎カプセル)

※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicações]

Indicado para o alívio dos sintomas da alergia nasal causadas por pólen, poeira caseira (alergia a ácaros) como coriza, obstrução nasal.

[Composição e Ação]

1 cápsula de Zaditen AL contém:

Substância ativa	Quantidade
Fumarato de Cetotifeno(Equivalente em mg de Cetotifeno)	1.38mg (1.0mg)

[Posologia e modo de usar]

Tome 1 dose do medicamento 2 vezes ao dia, após o café da manhã e à noite antes de deitar.

Idade	1 dose
Adultos (maiores de 15 anos)	1 cápsula
Crianças menores de 15 anos	Não usar este medicamento

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- Siga rigorosamente o modo de usar e a quantidade indicados.
- Se após 3 dias de uso do medicamento não houver melhora, suspenda a medicação e consulte médico ou o farmacêutico. (dependendo da pessoa o efeito deste medicamento pode começar a se manifestar à partir da segunda semana de uso do mesmo).
- Modo de retirar as cápsulas
Pressione com força a parte elevada da cinta de PTP de modo que rompa a cobertura de alumínio e permita a retirada da cápsula a ser usada.

Precauções

Leia com atenção as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações de uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

- (1) As pessoas que no passado apresentaram reação alérgica ao ZADITEN.
- (2) As crianças menores de 15 anos de idade.

2. Durante o período em que estiver fazendo uso deste medicamento, não use nenhum dos seguintes medicamentos:

Outros medicamentos para alergia (incluindo medicamentos para doenças da pele, medicamentos de uso oral para rinite), medicamentos de uso oral que contenha anti-histamínicos (medicamentos para resfriado, para tosse e catarro, para enjôos por andar em veículos de transporte, soníferos).

3. Não dirija veículos nem opere máquinas após a ingestão deste medicamento (pode ocasionar sonolência).
4. As mulheres que estão amamentando não devem tomar este medicamento. Caso venham a tomar devem deixar de amamentar. (Foi comprovado por experimentos em animais de laboratório na excreção no leite).
5. Não tomar bebida alcoólica durante o período de uso deste medicamento.

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas deverão consultar o médico ou farmacêutico antes de usar este medicamento.
 - (1) As pessoas em tratamento médico ou odontológico.
 - (2) As pessoas em tratamento de alergia, ou terapia de hipossensibilização.
 - (3) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez.
 - (4) As pessoas idosas.
 - (5) As pessoas com constituição alérgica ou que tenha alguém na família com constituição alérgica.
 - (6) As pessoas que apresentam sintomas que não sabe com clareza se é alergia ou sintomas de outras causas.
 - (7) As pessoas que receberam os seguintes diagnósticos:
Bronquite asmática, dermatite atópica, epilepsia.
 - (8) As pessoas que apresentam dificuldade de urinar.
2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou farmacêutico levando este folheto explicativo nos seguintes casos:

- (1) No caso de surgir os seguintes sintomas após tomar o medicamento

Parte do corpo	Sintomas
Pele	Hematomas, erupção, inchaço, coceira
Nariz	Hemorragia
Neuropsíquico	Tonturas, fraqueza, corpo pesado, dor de cabeça, distúrbios do paladar, formigamentos.
Aparelho digestivo	Náuseas, vômitos, falta de apetite, mal estar gástrico, dor abdominal, estomatite.
Outros	Palpitações, calores, poliúria, dor para urinar, hematúria (presença de sangue na urina), sensação de bexiga cheia, irregularidade menstrual, aumento do peso corporal.

- (2) Se não houver melhora em 1 semana de uso do medicamento.

3. Raramente ocorrem os sintomas graves abaixo relacionados. Caso aconteça suspenda imediatamente o medicamento e procure consultar com o médico o mais rápido possível.

Nome do sintoma	Sintomas
Sintomas relacionados ao sistema nervosa central	Perda momentânea da consciência, convulsão, irritabilidade.
Distúrbios da função hepática	Febre, erupção cutânea, sensação de corpo pesado, icterícia (pele e porção branca dos olhos amarelados)

4. Os seguintes sintomas podem aparecer e no caso desses sintomas persistirem ou aumentarem em intensidade, suspenda a medicação e consulte o médico ou o farmacêutico.
Boca seca, obstipação intestinal (intestino preso), diarreia, sonolência.
5. Procure consultar com o médico ou o farmacêutico nos seguintes casos:
Se após 2 semanas de uso do medicamento não houver melhora dos sintomas.

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto guardado em lugar fresco, protegido da luz solar e da umidade.
- (2) O produto deve ser mantido for a do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não utilize este medicamento após o prazo de validade.

	製造販売元
出典	ノバルティス ファーマ株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial: PABRON Rinite cápsulas Z (パブロン^{びえん}鼻炎カプセル Z)

※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicação]

Indicado para o alívio dos sintomas da alergia nasal causadas por pólen, poeira caseira (alergia a ácaros) como coriza, obstrução nasal.

[Composição e Ação]

1 cápsula de Pabron rinite cápsulas contém :

Substância ativa	Quantidade
Fumarato de Cetotifeno(Equivalente em mg de Cetotifeno)	1.38mg (1.0mg)

[Posologia e modo de usar]

Tome 1 dose do medicamento 2 vezes ao dia, após o café da manhã e à noite antes de deitar.

Idade	1 dose
Adultos (maiores de 15 anos)	1 cápsula
Crianças menores de 15 anos	Não usar este medicamento

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- Siga rigorosamente o modo de usar e a quantidade indicados.
- Se após o 1 semana de uso deste medicamento não houver melhora dos sintomas, suspenda a medicação e consulte o médico ou o farmacêutico (dependendo da pessoa o efeito deste medicamento pode começar a se manifestar à partir da segunda semana de uso do mesmo).
- Modo de retirar as cápsulas
Pressione com força a parte elevada da cinta de PTP de modo que rompa a cobertura de alumínio e permita a retirada da cápsula a ser usada.

Precauções

Leia com atenção as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações de uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais, ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

- (1) As pessoas que no passado apresentaram reação alérgica ao ZADITEN.
- (2) As crianças menores de 15 anos de idade.

2. Durante o período em que estiver fazendo uso deste medicamento, não use nenhum dos seguintes medicamentos:

Outros medicamentos para alergia (incluindo medicamentos para doenças da pele, medicamentos de uso oral para rinite), medicamentos de uso oral que contenha anti-histamínicos (medicamentos para resfriado, para tosse e catarro, para enjôos por andar em veículos de transporte, soníferos).

3. Não dirija veículos nem opere máquinas após a ingestão deste medicamento (pode ocasionar sonolência).

4. As mulheres que estão amamentando não devem tomar este medicamento. Caso venham a tomar devem deixar de amamentar (foi comprovado por experimentos em animais de laboratório na excreção no leite).
5. Não tomar bebida alcoólica durante o período de uso deste medicamento.

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas deverão consultar o médico ou farmacêutico antes de fazer uso deste medicamento:
 - (1) As pessoas em tratamento médico ou odontológico.
 - (2) As pessoas em tratamento de alergia ou terapia de hipossensibilização.
 - (3) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez.
 - (4) As pessoas idosas.
 - (5) As pessoas com constituição alérgica ou que tenha alguém na família com constituição alérgica (pessoa com constituição alérgica tem possibilidade de desenvolver alergia com o uso deste medicamento).
 - (6) As pessoas que apresentam sintomas que não sabe com clareza se é alergia ou sintomas de outras causas.
 - (7) As pessoas que receberam os seguintes diagnósticos:
Bronquite asmática, dermatite atópica, epilepsia.
 - (8) As pessoas que apresentam dificuldade de urinar.
2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou farmacêutico levando este folheto explicativo, nos seguintes casos:

- (1) No caso de surgir os seguintes sintomas após tomar o medicamento

Parte do corpo	Sintomas
Pele	Hematomas., erupção, inchaço, coceira
Nariz	Hemorrragia
Neuropsíquico	Tonturas, fraqueza, corpo pesado, dor de cabeça, distúrbios do paladar, formigamentos.
Aparelho digestivo	Náuseas, vômitos, falta de apetite, mal estar gástrico, dor abdominal, estomatite.
Outros	Palpitações, calores, poliúria, dor para urinar, hematúria (presença de sangue na urina), sensação de bexiga cheia, irregularidade menstrual, aumento do peso corporal.

- (2) Se não houver melhora em 1 semana de uso do medicamento.

3. Raramente ocorrem os sintomas graves abaixo relacionados. Caso aconteça, suspenda imediatamente o medicamento e procure consultar o médico o mais rápido possível.

Nome do sintoma	Sintoma
Sintomas relacionados ao sistema nervoso central	Perda momentânea da consciência, convulsão, irritabilidade
Distúrbios da função hepática	Febre, erupção cutânea, sensação de corpo pesado, icterícia, (pele e porção branca dos olhos amarelados).

4. Os seguintes sintomas podem aparecer e no caso desses sintomas persistirem ou aumentarem em intensidade, suspenda a medicação e consulte o médico ou o farmacêutico.
Boca seca, obstipação intestinal (intestino preso), diarreia, sonolência.
5. Procure consultar com o médico ou o farmacêutico nos seguintes casos:
Se após 2 semanas de uso do medicamento não houver melhora dos sintomas.

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto guardado em lugar fresco, protegido da luz solar e da umidade.
- (2) O produto deve ser mantido for a do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não utilize este medicamento após o prazo de validade.

	発 売 元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial : ZADITEN AL Rhinitis Spray (ザジテン AL 鼻炎スプレー)

※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicações]

Indicado para o alívio dos sintomas da alergia nasal causadas por pólen, poeira caseira (alergia a ácaros) como coriza, obstrução nasal.

[Composição e Ação]

Cada 100 ml de ZADITEN contém: (apresentação: 8ml / frasco)

Substância ativa	Quantidade
Fumarato de Cetotifeno	75.6mg

[Posologia e modo de usar]

Aplicar em cada narina, 1 dose 4 vezes ao dia (de manhã, ao meio dia, à tarde e à noite antes de deitar). (1 jato corresponde a 0,05mg de Cetotifeno)

Idade	1 dose
Adultos (acima de 15 anos) e crianças acima de 7 anos de idade	1 vez em cada narina
Crianças com menos de 7 anos de idade	Não usar este medicamento

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- Siga rigorosamente o modo de usar e a quantidade indicados.
- No caso de uso infantil, a aplicação deve ser feita sob a supervisão de um responsável.
- Este medicamento deve ser usado apenas para administração nasal.
- Cuidado para que não entre nos olhos. No caso de entrar nos olhos, lave imediatamente com água fria ou morna, e consulte o oftalmologista o mais breve possível.

Modo de usar, conforme a figura

Antes de utilizar o medicamento pela primeira vez, inicie a função do dispositivo spray, pressionando para baixo em torno de 5 vezes, com a porção do aplicador nasal voltado para cima. A bomba fica, pronta para ser utilizada quando se pressionar e obtiver um jato uniforme.

1. Antes de fazer a aplicação, assoe ou lave as narinas.
2. Retire a tampa do frasco.
3. Mantendo o frasco ereto, insira o aplicador nasal dentro da narina.
4. Pressione a alavanca para baixo com firmeza e rapidez (pressionar leve e lentamente, faz com que o medicamento líquido não seja pulverizado e acabe escorrendo).
5. Para que o medicamento se espalhe até a porção posterior da narina, incline a cabeça para trás, e aspire suavemente através da narina.
6. Após o uso, limpe o aplicador nasal com um lenço de papel limpo e recoloque a tampa protetora.

*Não insira agulha na ponta do aplicador nasal, pois é perigoso se quebrar.



Precauções

Leia as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações de uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:
 - As crianças com menos de 7 anos .
2. Não dirigir veículos ou operar máquinas após o uso deste medicamento.(pode causar sonolência)
3. As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez ou amamentando. Caso venham a usar este medicamento devem deixar de amamentar. (Foi comprovado por experimentos em animais de laboratório na excreção no leite).

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas deverão consultar o médico ou farmacêutico antes de usar este medicamento:
 - (1) As pessoas em tratamento médico ou odontológico.
 - (2) As pessoas em tratamento de alergia ou tratamento de hipossensibilização.
 - (3) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez.
 - (4) As pessoas que já tiveram reação alérgica a algum tipo de medicamento.
 - (5) As pessoas que apresentam sintomas que não estão bem esclarecidos se são sintomas de alergia ou de outro tipo de enfermidade.

2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou o farmacêutico levando este folheto explicativo nos seguintes casos:

- (1) No caso de surgir os seguintes sintomas após o uso deste medicamento.

Parte do corpo	Sintomas
Nariz	Secura, irritação
Neuropsíquico	Fadiga , dor de cabeça

- (2) Se não houver melhora dos sintomas após 1 semana de uso).

3. Os seguintes sintomas podem aparecer e no caso desses sintomas persistirem ou aumentarem em intensidade, suspenda a medicação e consulte o médico ou o farmacêutico.

Sonolência

4. Procure o médico ou o farmacêutico nos seguintes casos:

Se ultrapassou mais de 2 semanas de uso deste medicamento, mesmo que tenha apresentado sinais de melhora.

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto em lugar fresco, protegido da luz solar e da umidade.
- (2) O produto deve ser mantido for a do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não compartilhe o uso deste medicamento com outra pessoa.
- (5) Não utilize este medicamento após o prazo de validade. Mesmo que esteja dentro do prazo de validade, uma vez aberto, procure usar logo.

	製造販売元
出典	ノバルティス ファーマ株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial: PABRON Spray Nasal Z <spray nasal>(パブロン点鼻Z)

※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicação]

Indicado para o alívio dos sintomas da alergia nasal causadas por pólen, poeira caseira (alergia a ácaros) como coriza, obstrução nasal.

[Composição e Ação]

Cada 100 ml de Pabron nasal contém : (apresentação : 8ml / frasco)

Substância ativa	Quantidade
Fumarato de Cetotifeno	75.6mg

[Posologia e modo de usar]

Aplicar em cada narina, 1 dose 4 vezes ao dia (de manhã, ao meio dia, à tarde e à noite antes de deitar).

(1 jato corresponde a 0,05mg de Cetotifeno)

Idade	1 dose
Adultos (acima de 15 anos) e crianças acima de 7 anos de idade	1 vez em cada narina
Crianças com menos de 7 anos de idade	Não usar este medicamento

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- Siga rigorosamente o modo de usar e a quantidade indicados.
- No caso de uso infantil, a aplicação deve ser feita sob a supervisão de um responsável.
- Este medicamento deve ser usado apenas para administração nasal.
- Cuidado para que não entre nos olhos. No caso de entrar nos olhos, lave imediatamente com água fria ou morna, e consulte o oftalmologista o mais breve possível.

Modo de usar conforme a figura

Antes de utilizar o medicamento pela primeira vez, inicie a função do dispositivo spray, pressionando para baixo em torno de 5 vezes, com a porção do aplicador nasal voltado para cima. A bomba fica pronta para ser utilizada quando se pressionar e obtiver um jato uniforme.

1. Antes de fazer a aplicação, assoe ou lave as narinas.
2. Retire a tampa do frasco.
3. Mantendo o frasco ereto, insira o aplicador nasal dentro da narina.
4. Pressione a alavanca para baixo com firmeza e rapidez. (pressionar leve e lentamente, faz com que o medicamento líquido não seja pulverizado e acabe escorrendo).
5. Para que o medicamento se espalhe até a porção posterior da narina, incline a cabeça para trás, e aspire suavemente através da narina.
6. Após o uso, limpe o aplicador nasal com um lenço de papel limpo e recoloque a tampa protetora.

*Não insira agulha na ponta do aplicador nasal, pois é perigoso se quebrar.

[使い方]

★初めてご使用の際は、容器の構造上薬液が霧状になりにくいので、ノズル（容器の先端部分）を上に向け、薬液が霧状になるまで5回程度押してください。



①使用前に鼻をかむか、鼻を洗浄してください。



④レバーを指で下まで、強くすばやく押してください。（弱くゆっくり押すと、薬液が霧状にならず、液だれの原因となります）



②キャップをはずしてください。



⑤噴霧後は薬剤を鼻の奥まで広く行きわたらせるために、頭を後ろに傾けた状態で、数秒間、鼻で静かに吸引してください。



③まっすぐ上向きに持って、ノズルを軽く鼻腔内に入れてください。



⑥使用後は、ノズル付近を清潔なティッシュペーパー等でふき、キャップをしてください。

ノズルの先端を針等で突つのは折れた時大変危険ですのでおやめください。

Precauções

Leia as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações de uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

*As crianças com menos de 7 anos.

2. Não dirigir veículos ou operar máquinas após o uso deste medicamento.(pode causar sonolência)

3. As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez ou amamentando. Caso venham a usar este medicamento devem deixar de amamentar.(Foi comprovado por experimentos em animais de laboratório na excreção no leite).

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas deverão consultar o médico ou farmacêutico antes de usar este medicamento:

(1) As pessoas em tratamento médico ou odontológico.

(2) As pessoas em tratamento de alergia ou tratamento de hipossensibilização.

(3) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez.

(4) As pessoas que já tiveram reação alérgica a algum tipo de medicamento.

(5) As pessoas que apresentam sintomas que não estão bem esclarecidos se são sintomas de alergia ou de outro tipo de enfermidade.

2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou o farmacêutico levando este folheto explicativo nos seguintes casos:

(1) No caso de surgir os seguintes sintomas após o uso deste medicamento.

Parte do corpo	Sintomas
Nariz	Secura, irritação
Neuropsíquico	Fadiga , dor de cabeça

(2) Se não houver melhora dos sintomas após 1 semana de uso .

3. Os seguintes sintomas podem aparecer e no caso desses sintomas persistirem ou aumentarem em intensidade, suspenda a medicação e consulte o médico ou o farmacêutico.

Sonolência

4. Procure o médico ou o farmacêutico nos seguintes casos:

Se ultrapassou mais de 2 semanas de uso deste medicamento , mesmo que tenha apresentado sinais de melhora.

Cuidados no manuseio e armazenamento:

- (1) Mantenha o produto em lugar fresco, protegido da luz solar e da umidade.
- (2) O produto deve ser mantido fora do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não compartilhe o uso deste medicamento com outra pessoa.
- (5) Não utilize este medicamento após o prazo de validade. Mesmo que esteja dentro do prazo de validade, uma vez aberto, procure usar logo.

	発 売 元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial: ZADITEN AL Colírio (ザジテン AL点眼薬<点眼液>)

※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicações]

Indicado para o alívio dos sintomas da alergia ocular causadas por pólen, poeira caseira (alergia a ácaros) como congestão ocular, coceira nos olhos (secreção purulenta abundante), lacrimejamento, sensação de corpo estranho nos olhos.

[Composição e ação]

Cada 100 ml de ZADITEN contém: Frasco contendo 8ml

Substância ativa	Quantidade
Fumarato de Cetotifeno (Equivalente em mg de Cetotifeno)	69mg(50mg)

[Posologia e modo de usar]

Instile nos olhos, 1 dose 4 vezes ao dia (de manhã, ao meio dia, à tarde e à noite antes de deitar).

Idade	1 dose
Adultos (acima de 15 anos) e crianças acima de 1 ano de idade	1 ~ 2 gotas
Crianças com menos de 1 ano de idade	Não usar este medicamento

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- Siga rigorosamente o modo de usar e a quantidade indicados.
- No caso de uso infantil, a aplicação deve ser feita sob a supervisão de um responsável.
- Logo após a instilação, enxugue o medicamento que extravasou, ao redor dos olhos.
- No momento da instilação tome cuidado para a ponta do frasco não tocar a pálpebra ou os cílios, pois pode contaminar ou turvar o medicamento com a secreção ou os microorganismos. Não usar produto, se estiver turvo.
- Usuários de lentes de contato não devem usar lentes de contacto durante a aplicação do produto nem usar o produto como líquido para colocação de lentes de contato.
- Este medicamento deve ser usado apenas como colírio.

Modo de usar, conforme a figura

1. Lave bem as mãos antes de fazer uso do produto.
2. Abaixе levemente a pálpebra inferior e instile 1 a 2 gotas no olho. Cuidado para a extremidade do frasco não tocar na pálpebra ou nos cílios durante a instilação. Também, depois do uso manuseie com cuidado, para não contaminar a ponta e a tampa do frasco.
3. Depois de instilar, feche os olhos para que o líquido se espalhe para toda a superfície do olho. Depois do uso, feche bem a tampa.
4. Enxugue o medicamento que extravasou na região ao redor dos olhos, logo em seguida.



Precauções

Leia as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações de uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

- As pessoas que já tiveram alergia ao ZADITEN.
- As crianças com menos de 1 ano.

2. No uso concomitante com medicamento intranasal, não dirija veículos nem opere máquinas. (Pode ocorrer sonolência.)

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas deverão consultar o médico ou farmacêutico antes de usar este medicamento:

- (1) As pessoas em tratamento médico ou odontológico.
- (2) As pessoas em tratamento de alergia ou tratamento de hipossensibilização.
- (3) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez.
- (4) As pessoas que já tiveram reação alérgica a algum tipo de medicamento.
- (5) As pessoas com o seguinte sintoma:
Forte dor nos olhos.
- (6) As pessoas que apresentam sintomas que não estão bem esclarecido se são sintomas de alergia ou de outro tipo de enfermidade.
Especialmente nos seguintes casos em que não se consegue definir se os sintomas são de alergia. O médico deve ser consultado antes do uso deste medicamento:
 - Quando tiver sintomas em um dos olhos somente.
 - Os sintomas se limitam aos olhos, não tem sintomas no nariz.
 - Os sintomas são acompanhados de alterações na acuidade visual.
 - Apresenta secreção ocular abundante.

2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou o farmacêutico levando este folheto explicativo nos seguintes casos:

(1) No caso de surgir os seguintes sintomas após o uso deste medicamento.

Parte do corpo	Sintomas
Pele * *	Coceira
Olhos * *	Congestão ocular, irritação *, dor * *, inchaço *, coceira * *, nos olhos e ao redor.
Outros	Sonolência

* * Conforme a pessoa, durante os primeiros 1 a 2 dias do início de uso do medicamento, pode ocorrer sintomas como coceira intensa, inchaço e dor nas pálpebras, região ao redor dos olhos e face.

(2) No caso de apresentar vista embaçada que não melhora.

(3) No caso de não apresentar melhora dos sintomas após 1 semana de uso.

3. Consulte o médico ou o farmacêutico nos seguintes casos:

Mesmo que tenha apresentado melhora, mas está usando o medicamento por mais de 2 semanas.

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto em lugar fresco , protegido da luz solar e da umidade e com a tampa bem fechada.
- (2) O produto deve ser mantido for a do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não compartilhe o uso deste medicamento com outra pessoa.
- (5) Não utilize este medicamento após o prazo de validade. Mesmo que esteja dentro do prazo de validade, uma vez aberto, procure usar logo. (Para a manutenção da qualidade do produto).

	製造販売元
出典	ノバルティス ファーマ株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Nome comercial: IRIS ARREST <Colírio> (アイリスアレスト<点眼液>)

※Leia atentamente as informações abaixo antes de utilizar o medicamento

Informações sobre o produto

[Indicações]

Indicado para o alívio dos sintomas da alergia ocular causadas por pólen, poeira caseira (alergia a ácaros) como congestão ocular, coceira nos olhos (secreção purulenta abundante), lacrimejamento, sensação de corpo estranho nos olhos.

[Composição e ação]

Frasco contendo 10 ml Cada 100 ml de IRIS ARREST contém:

Substância ativa	Quantidade
Fumarato de Cetotifeno (Equivalente em mg de Cetotifeno)	69mg (50mg)

[Posologia e modo de usar]

Instile nos olhos, 1 dose 4 vezes ao dia (de manhã, ao meio dia, à tarde e à noite antes de deitar).

Idade	1 dose
Adultos (acima de 15 anos) e crianças acima de 1 ano de idade	1 ~ 2 gotas
Crianças com menos de 1 ano de idade	Não usar este medicamento

<Cuidados a respeito da posologia e modo de usar>

- Siga rigorosamente o modo de usar e a quantidade indicados.
- No caso de uso infantil, a aplicação deve ser feita sob a supervisão de um responsável .
- Logo após a instilação, enxugue o medicamento que extravasou ,ao redor dos olhos
- No momento da instilação tome cuidado para a ponta do frasco não tocar a pálpebra ou os cílios, pois pode contaminar ou turvar o medicamento com a secreção ou microorganismos. Não usar o produto, se estiver turvo.
- Usuários de lentes de contato não devem usar lentes de contacto durante a aplicação do produto nem usar o produto como líquido para colocação de lentes de contato.
- Este medicamento deve ser usado apenas como colírio.

Modo de usar

1. Lave bem as mãos antes de fazer uso do produto.
2. Abaixar levemente a pálpebra inferior e instile 1 a 2 gotas no olho.Cuidado para a extremidade do frasco não tocar na pálpebra ou nos cílios durante a instilação.Também, depois do uso manuseie com cuidado, para não contaminar a ponta e a tampa do frasco.
3. Depois de instilar, feche os olhos para que o líquido se espalhe para toda a superfície do olho. Depois do uso, feche bem a tampa.
4. Enxugue o medicamento que extravasou na região ao redor dos olhos, logo em seguida.

Precauções

Leia as instruções abaixo e siga corretamente o modo de usar.

■ Contra-indicações de uso

(A não observância das instruções podem causar o agravamento dos sintomas atuais ou causar efeitos colaterais e acidentes).

1. Não devem fazer uso deste medicamento as seguintes pessoas:

- As pessoas que já tiveram alergia ao IRIS ARREST (o uso deste medicamento pode provocar novamente reação alérgica).
- As crianças com menos de 1 ano.

2. No uso concomitante com medicamento intranasal, não dirija veículos nem opere máquinas. (Pode ocorrer sonolência.)

■ Quando consultar

1. As seguintes pessoas deverão consultar o médico ou farmacêutico antes de usar este medicamento:

- (1) As pessoas em tratamento médico ou odontológico.
- (2) As pessoas em tratamento de alergia ou tratamento de hipossensibilização.
- (3) As mulheres grávidas ou com suspeita de gravidez .
- (4) As pessoas que já tiveram reação alérgica a algum tipo de medicamento.
- (5) As pessoas como seguinte sintoma:
Forte dor nos olhos.
- (6) As pessoas que apresentam sintomas que não estão bem esclarecidos como sintomas de alergia ou de outro tipo de enfermidade.
Especialmente nos seguintes casos em que não se consegue definir se os sintomas são de alergia.
O médico deve ser consultado antes do uso deste medicamento:

- Quando tiver sintomas em um dos olhos somente.
- O sintomas se limitam aos olhos, não tem sintomas no nariz.
- Sintomas acompanhado de alterações na acuidade visual.
- Apresenta secreção purulenta abundante.

2. Suspenda imediatamente o uso deste medicamento e consulte o médico ou o farmacêutico levando este folheto explicativo nos seguintes casos:

(1) No caso de surgir os seguintes sintomas após o uso deste medicamento.

Parte do corpo	Sintomas
Pele * *	Coceira
Olhos * *	Congestão ocular, irritação*, dor**, inchaço*, coceira**, nos olhos e ao redor.
Outros	Sonolência

* * Conforme a pessoa, durante os primeiros 1 a 2 dias do início de uso do medicamento, podem ocorrer sintomas como: coceira intensa, inchaço e dor nas pálpebras (região ao redor dos olhos e face).

(2) No caso de apresentar vista embaçada que não melhora.

(3) No caso de não apresentar melhora dos sintomas após 1 semana de uso.

3. Consulte o médico ou o farmacêutico nos seguintes casos:

Mesmo que tenha apresentado melhora, mas está usando o medicamento por mais de 2 semanas.

Cuidados no manuseio e armazenamento

- (1) Mantenha o produto em lugar fresco , protegido da luz solar e da umidade, com a tampa bem fechada.
- (2) O produto deve ser mantido fora do alcance das crianças.
- (3) Não transfira o produto para outro recipiente (isso pode causar equívocos na sua utilização ou afetar a qualidade do produto).
- (4) Não compartilhe o uso deste medicamento com outra pessoa.
- (5) Não deixe o produto em locais quentes, como por exemplo, no painel do carro. (pode modificar a qualidade do produto e deformar o frasco).
- (6) Não utilize este medicamento após o prazo de validade. Mesmo que esteja dentro do prazo de validade, uma vez aberto, procure usar logo. (Para a manutenção da qualidade do produto).

	発 売 元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: ACTIVIR Ungüento (アクチビア軟膏)^{なんこう}

※Lea atentamente las informaciones antes de usar el producto

Informaciones sobre el producto

[Indicaciones]

Indicado para el tratamiento de herpes labial repetitivo (únicamente para personas, que han sido anteriormente diagnosticadas y estuvieron con tratamiento de herpes labial).

[Composición y acción]

Cada 1g de ungüento contiene:

Principio activo	Cantidad	Acción
Aciclovir	50mg	Evita la propagación del virus de herpes labial simplex

[Posología y normas de uso]

Aplicar sobre el área afectada de 3 a 5 veces al día (aplicar en el labio o la piel alrededor, en cuanto sienta alguna molestia como picazón o irritación).

Informaciones a los pacientes

- Si siente ardor y picor, son los síntomas iniciales del herpes labial. Aplique este ungüento así que aparezcan los primeros síntomas de reincidencia.
- Como aplicarse: después de las comidas y antes de dormir.
- Tenga mucho cuidado en no hacer uso erróneo de este medicamento, no aplicar a otros miembros de su familia si presentan estos síntomas por la primera vez pensando que es herpes labial.

<Normas de uso>

- Siga correctamente la dosis y el modo de usar que le fue indicado.
- Para uso pediátrico de este medicamento, debe ser efectuada bajo supervisión de un adulto.
- Tome cuidado para que este producto no entre en contacto con los ojos. En caso de entrar en los ojos enjuáguelos inmediatamente con agua fría o tibia. En caso de tener una reacción mayor consulte a su médico oftalmólogo.
- Este medicamento es de uso exclusivamente externo.
- Aunque este producto no causa daños, evitar colocarlo dentro de la boca o ingerirlo.

Precauciones:

Lea correctamente las instrucciones a continuación y el modo de uso.

■ **Contraindicaciones:**

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben hacer uso de este medicamento las siguientes personas:

- (1) Personas que tengan estos síntomas por la primera vez, que presentan el área afectada extensa, (que presentan estos síntomas por la primera vez tienen la posibilidad de presentar lesiones graves, afectando áreas mayores, por tanto deben buscar orientación médica).
- (2) Personas que han presentado alergia al Hidrocloridrato de Velaciclovir, tienen la posibilidad de volver a presentarlas, al igual que alergia a Activir.
- (3) Este medicamento no es indicado para el uso en menores de 6 años de edad (la probabilidad de ser la primera vez que presenta estos síntomas es grande).

2. Nunca aplique este medicamento en las siguientes áreas:
 - (1) Ojos, área alrededor de los ojos (hay la probabilidad de causar irritación).
 - (2) En cualquier parte del cuerpo que no sean los labios o el área alrededor de ellos.

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de iniciar el uso de este medicamento en los siguientes casos:
 - (1) Personas que están bajo tratamiento médico u odontológico (debido a las probabilidades de interferir o de potenciar el efecto del medicamento que le fue recetado por su médico).
 - (2) Mujeres embarazadas o con probabilidad de embarazo (es necesario ir con cautela con el uso de medicamentos en esta época, consulte a su médico y siga sus orientaciones).
 - (3) Mujeres que están amamantando (porque se han encontrado residuos en la leche materna de las mujeres en tratamiento en vía oral con medicamentos conteniendo la misma sustancia activa del Activir).
 - (4) Personas con antecedentes alérgicos o que tengan alguien en la familia con antecedentes alérgicos (el uso de este medicamento puede causar alergia en personas con antecedentes alérgicos).
 - (5) Personas que ya tuvieron alergia a medicamentos (existe la posibilidad de tener una reacción alérgica a este medicamento las personas que ya tuvieron un tipo de alergia a otros medicamentos).
 - (6) Personas con secreciones o lesiones húmedas (hay la posibilidad de empeorar, por lo tanto es necesario consultar a su médico).
 - (7) Personas con dermatitis atópica (hay la posibilidad de agravar, por tanto es necesario consultar un médico especializado).

2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico llevando este prospecto informativo en los siguientes casos:

- (1) Si después de usar este medicamento aparecen los siguientes síntomas:

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel	Erupción cutánea, eritema, hinchazón, picazón, inflamación, irritación, punzadas, piel seca, ardor y descamación (descamación parecida a la caspa), urticaria.

(Los síntomas arriba mencionados pueden ser debidos a una reacción alérgica al medicamento o al fuerte efecto farmacológico de ACTIVIR ungüento, en estos casos seguir usando este medicamento puede llevar al empeoramiento de los síntomas ya existentes).

- (2) Si no hay mejoría después de 7 días de uso del medicamento (si después de 7 días de uso de este medicamento no hay mejora en los síntomas, debe ser considerado como grave, o como síntomas de otra enfermedad, en este caso necesita consultar lo más rápido posible a su médico o al farmacéutico).

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el producto bien cerrado en un lugar seco y fresco (menos de 30°C), protegido de la luz solar y la humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) Lave bien la manos antes y después del uso del medicamento.
- (4) No transfiera el producto a otro recipiente (esto puede provocar equívocos en el uso del producto y afectar su calidad).
- (5) No use este medicamento después de la fecha de caducidad y después de 6 meses de ser abierto aun dentro del plazo de validez.

出典 製造販売元：グラクソ・スミスクライン株式会社
 制作 (社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: Herpecia Ungüento (ヘルペシア軟膏)
※Lea atentamente las informaciones antes de utilizar el producto

Informaciones sobre el producto

[Indicaciones]

Indicado para el tratamiento de herpes labial repetitivo. (Uso exclusivo para personas que ya fueron anteriormente diagnosticados y fueron sometidos a tratamiento de herpes labial).

[Composición y acción]

Cada 1g de ungüento contiene:

Principio activo	Cantidad	Acción
Aciclovir	50mg	Evita la propagación del virus herpes simplex

[Posología y normas de uso]

Aplicar sobre el área afectada de 3 a 5 veces por día (aplicar en el labio o la piel alrededor, en cuanto empiece a sentir picazón o irritación).

Informaciones a los pacientes

- Si siente picazón o ardor son los síntomas iniciales del herpes labial, empiece a utilizar este ungüento así que aparezcan estos síntomas de herpes labial repetitivo.
- Forma de uso: después de las comidas y antes de dormir.
- Tome mucho cuidado en no hacer uso de este medicamento en otras personas de la familia, que estén presentando estos síntomas por la primera vez, aun cuando sus síntomas sean los mismos y piense que es herpes labial.

<Normas de uso>

- Respete correctamente la dosis y la forma de usar que le fue indicado.
- Para uso pediátrico de este medicamento debe ser efectuada bajo supervisión de un adulto.
- Tome cuidado para que este producto no entre en contacto con los ojos, en caso de entrar, lávelos inmediatamente con agua fría o tibia. Si los síntomas de agravan consulte a un oftalmólogo.
- Este medicamento es de uso externo. Solamente
- Evite colocar este medicamento dentro de la boca, aunque este producto no es nocivo, debe abstenerse de hacerlo.

Precauciones:

Lea las instrucciones abajo y siga su uso correctamente.

■ **Contraindicaciones:**

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deberán hacer uso de este medicamento las siguientes personas:

- (1) Personas que presentan los síntomas por la primera vez no deben hacer uso de este medicamento, personas que presentan un área afectada grande, (las personas que presentan los síntomas por la primera vez tienen la probabilidad de presentar lesiones graves, afectando aéreas mayores, por tanto deben buscar orientación médica).
- (2) Personas que han presentado alergia al Hidrocloridrato de Velaciclovir, tienen la probabilidad de volver a presentarlas, al igual que alergia al Herpecia.
- (3) Este medicamento no es indicado para el uso en menores de 6 años de edad (la probabilidad de ser la primera vez que presentan estos síntomas es grande).

2. Nunca apliquen el medicamento en las siguientes áreas:

- (1) En los ojos, o en el área alrededor (puede causar irritaciones).
- (2) En cualquier área del cuerpo que no sean los labios o alrededor de ellos.

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas deberán consultar con su médico o farmacéutico antes de iniciar el uso de este medicamento en los siguientes casos:

- (1) Mujeres embarazadas o con probabilidad de embarazo (es necesario ir con cautela con el uso de medicamentos en esta época, consulte a su médico y siga sus orientaciones).
- (2) Mujeres que están amamantando (se han encontrado residuos en la leche materna de las mujeres en tratamiento vía oral con medicamentos conteniendo la misma sustancia activa del Herpecia).
- (3) Personas con antecedentes alérgicos o que tengan alguien en la familia con antecedentes alérgicos (el uso de este medicamento puede causar alergia en personas con antecedentes alérgicos).
- (4) Personas que ya tuvieron alergia a medicamentos (existe la probabilidad de una reacción alérgica a este medicamento en personas que ya presentaron alergia a otros medicamentos).
- (5) Personas con secreciones o lesiones húmedas (existe la probabilidad de agravar, por lo tanto es necesario consultar a un médico especialista).
- (6) Personas con dermatitis atópica (existe la probabilidad de agravar, por lo tanto es necesario consultar a un médico especialista).
- (7) Personas con dermatitis atópica (hay la posibilidad de agravar, por tanto es necesario consultar un médico especializado).

2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico llevando este prospecto informativo en los siguientes casos:

- (1) Si después de usar este medicamento aparecieran los siguientes síntomas:

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel	Erupción cutánea, eritema, hinchazón, picazón, inflamación, irritación, punzadas, piel seca, ardor y descamación (parecida a la caspa) urticaria.

(Los síntomas arriba mencionados pueden ser debidos a una reacción alérgica al medicamento o al fuerte efecto farmacológico de HERPECIA ungüento, en estos casos seguir usando este medicamento puede llevar al empeoramiento de los síntomas ya existentes).

- (2) Si no mejorar después de 7 días del uso de este medicamento.(si después de 7 días de uso de este medicamento no hay mejora en los síntomas puede considerarse como grave o como síntomas de otra enfermedad, en este caso consulte inmediatamente a su médico o farmacéutico).

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el producto bien cerrado en un lugar seco y fresco (menos de 30°C), protegido de la luz solar y la humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) Lave bien la manos antes y después del uso del medicamento.
- (4) No transfiera el producto a otro recipiente (esto puede provocar equívocos en el uso del producto y afectar su calidad).
- (5) No use este medicamento después de la fecha de caducidad y después de 6 meses de ser abierto aun dentro del plazo de validez.

製造販売元



大正製薬株式会社

出典
制作

(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: STACEVEFINE <Tabletas> (エスタックイブファイン<錠剤>)

※Lea atentamente las informaciones antes de usar este producto

Informaciones sobre el producto

[Indicaciones]

Indicado para aliviar las molestias del resfriado (fiebre, escalofríos, tos, flemas, dolor de garganta, flujo nasal, obstrucción nasal, estornudo, dolor de cabeza, dolor de las articulaciones, dolor muscular).

[Composición y acción]

Cada 9 tabletas de STACEVEFINE (dosis diaria total para adultos)

Principio activo	Cantidad	Acción
Ibuprofeno	450mg	Alivia el dolor de cabeza, garganta y disminuye la fiebre.
Hidroclorato de ambroxol	45mg	Facilita la expectoración de las secreciones mucosas de la garganta y bronquios.
Yoduro de Isopropamide	6mg	Disminuye el flujo nasal.
Fosfato de Dihydrocodeine	24mg	Disminuye la tos a través de la acción sobre el sistema nervioso central.
dl-methylephedrine hidroclorato	60mg	Bronco dilatador, alivia la respiración y disminuye la tos.
Maleato de Chlorpheniramine	7.5mg	Calma los síntomas del estornudo y la obstrucción y flujo nasal.
Anhydro Cafeina	75mg	Alivia el dolor de cabeza
Acido ascórbico (vitamina C)	300mg	Ayuda a recuperar las vitaminas que se pierden por causa del resfriado.
Nitrato de Tiamina (nitrocloridrato de vitamina B1)	24mg	

[Posología y normas de uso]

Tomar 1 dosis 3 veces al día, de preferencia hasta 30 minutos después de los alimentos.

Edad	Dosis
Adultos mayores de 15 años	3 tabletas
Menores de 15 años	Contraindicado

<Normas de uso>

- Siga rigurosamente la dosis y el modo de uso que le fue indicado.

Precauciones:

Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el modo de uso.

■ Contraindicaciones:

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben hacer uso de este medicamento las siguientes personas:

- (1) Personas que presentaron alguna vez alergia a este medicamento.
- (2) Personas que presentaron crisis de bronquitis asmática, como consecuencia del uso de este medicamento o otros medicamentos para gripe, fiebre o dolor.
- (3) Menores de 15 años de edad.

2. Durante el tiempo que esté usando STACEVEFINE tabletas, no usar los siguientes medicamentos:
Medicamento para resfriado, dolor o fiebre, analgésicos, antitusígenos o medicamentos que contengan anti-histamínico en su composición (medicamento vía oral para rinitis, mareos o medicamentos para alergias).
3. No conduzca ni opere maquinaria después de tomar este medicamento.(Puede provocar síntomas como: somnolencia, vista nublada, sensibilidad a la luz).
4. Mujeres que están amamantando no deben tomar este medicamento. En caso de tomar este medicamento tendrán que dejar de amamantar.
5. No tome bebidas alcohólicas durante el tiempo que use este medicamento.
6. No usar este medicamento por más de 5 días seguidos.

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas, deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de usar este medicamento en los siguientes casos:
 - (1) Personas que están bajo tratamiento médico o odontológico.
 - (2) Mujeres embarazadas o con probabilidad de embarazo.
 - (3) Personas de edad avanzada.
 - (4) Personas con antecedentes alérgicos, o que tengan algún familiar con antecedentes alérgicos.
 - (5) Personas que presentaron una reacción alérgica a algún tipo de medicamento.
 - (6) Personas que presentan los siguientes síntomas:
Fiebre alta, dificultad para orinar
 - (7) Personas que recibieron alguno de los siguientes diagnósticos.
Hipertensión arterial, enfermedades cardíacas, diabetes, glaucoma, enfermedad del hígado, enfermedad del riñón, hipertiroidismo, lupus sistémico eritematoso, o enfermedad del tejido conectivo.
 - (8) Personas que tuvieron alguna de las siguientes enfermedades:
Úlcera gástrica, duodenal, colitis ulcerosa, enfermedad de Crohn
2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico, llevando consigo este prospecto informativo en los siguientes casos:
 - (1) En caso de aparecer los siguientes síntomas después de usar el medicamento.

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel	Erupción, enrojecimiento, picazón
Aparato digestivo	Náuseas, vómitos, falta de apetito, dolor de estomago, distensión gástrica, ardor retroesternal, dolor abdominal, distensión abdominal, estomatitis.
Neuropsíquico	Tontura
Otros	Visión nublada, zumbido en el oído, dificultad urinaria, inflamación, hormigueo.

Rara vez se presentan síntomas graves mencionados a continuación. En este caso suspenda inmediatamente el medicamento y consulte a su médico.

Nombre de los síntomas	Síntomas
Shock Anafiláctico	Urticaria luego de haber ingerido el medicamento, edema, opresión en el pecho, palidez, extremidades frías, sudor frío.
Síndrome Óculo-mucocutáneo (Síndrome de Stevens-Johnson) Necrolisis epidérmica tóxica (Síndrome de Lyell)	Fiebre alta, acompañada de erupción cutánea, eritema, síntomas intensos de ampollas semejantes a las causadas por quemaduras, en la piel de todo el cuerpo y en la mucosa de la boca y ojos.
Disfunción hepática	Sensación de cuerpo cansado, ictericia (piel y ojos amarillentos).
Disfunción renal	Puede disminuir el volumen de orina, hinchazón en todo el cuerpo, acompañado de falta de aire, cuerpo cansado, mal estar, vómitos, presencia de proteína y sangre en la orina.
Meningitis aséptica	Dolor de cabeza intenso, acompañado de rigidez en la nuca, fiebre, malestar, vómitos (estos síntomas son más frecuentes en personas que se encuentran con tratamiento de lupus eritematoso sistémico o enfermedad del tejido conectivo).
Neumonía intersticial.	Tos seca (sin flemas) acompañada por falta de aire, problemas respiratorios y fiebre (estos síntomas son difíciles de diagnosticar, o diferenciarlos de un resfriado, si la tos y fiebre persistentes suspenda el medicamento y consulte el tratamiento a su médico).
Asma bronquial	

- (2) Si no mejoran los síntomas después de 5-6 días de uso del medicamento (principalmente si la fiebre persiste por más de 3 días seguidos, o si se manifiesta nuevamente), consulte a su médico.
3. Los siguientes síntomas pueden aparecer, pero en el caso de que persistan o se intensifiquen, deje de usar el medicamento y consulte a su médico o farmacéutico.
Constipación intestinal, diarrea, boca seca

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el producto bien cerrado en un lugar seco y fresco, protegido de la luz solar y la humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) No transfiera el producto a otro recipiente (esto puede provocar equívocos en el uso del producto y afectar su calidad).
- (4) No manosear la tableta con las manos mojadas, podría alterar o cambiar el color del recubrimiento protector.
- (5) Para proteger los comprimidos durante su transporte, fue colocado un material dentro del envase. Ese material puede ser retirado después de abierto pues no tiene más utilidad.
- (6) No use este medicamento después de la fecha de caducidad, o después de 6 meses de ser abierto aun dentro del plazo de validez.

出典
発行



製造販売元

Eisai製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: STACEVEFINE <Gránulos> (エスタックイブファイン<顆粒>)

※Lea atentamente las informaciones antes de usar el producto

Informaciones sobre el producto

[Informaciones sobre el producto]

Indicaciones: Indicado para aliviar las molestias del resfriado (fiebre, escalofríos, tos, flemas, dolor de garganta, flujo nasal, obstrucción nasal, estornudos, dolor de cabeza, dolor de las articulaciones, dolores musculares).

[Composición y acción]

cada sobre contiene 1.3g.de STACEVEFINE.

Principio activo	Cantidad	Acción
Ibuprofeno	150mg	Alivia el dolor de cabeza, garganta y disminuye la fiebre.
Hidroclorato de ambroxol	15mg	Facilita la expectoración de las secreciones mucosas de la garganta y bronquios.
Yoduro de Isopropamide	2mg	Disminuye el flujo nasal.
Fosfato de Dihydrocodeine	8mg	Disminuye la tos a través de la acción sobre el sistema nervioso central.
dl-methylephedrine hidroclorato	20mg	Bronco dilatador, alivia la respiración y disminuye la tos
Maleato de Chlorpheniramine	2.5mg	Disminuye los síntomas del estornudo y la obstrucción nasal y flujo nasal.
Anhydrocafeina	25mg	Alivia el dolor de cabeza.
Acido ascórbico (vitamina C)	100mg	Ayuda a recuperar las vitaminas que se pierden por causa del resfriado.
Nitrato de tiamina (nitrocloridrato de vitamina B1)	8mg	

[Posología y normas de uso]

Tomar 1 dosis 3 veces al día, de preferencia hasta 30 minutos después de los alimentos.

Edad	Dosis
Adultos mayores de 15 años	1 sobre
Menores de 15 años de edad	Contraindicado

<Normas de uso>

- Siga rigurosamente la dosis y el modo de uso que le fue indicado.

Precauciones :

Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el modo de uso.

■ Contraindicaciones:

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben hacer uso de este medicamento las siguientes personas:

- (1) Personas que presentaron alguna vez alergia a este medicamento.
- (2) Personas que presentaron crisis de bronquitis asmática a consecuencia del uso de medicamento u otros medicamentos para resfriado, fiebre o dolor.
- (3) Menores de 15 años de edad.

2. Durante el tiempo que esté usando STACEVEFINE gránulos, no usar los siguientes medicamentos:
Medicamento para resfriado, dolor o fiebre, analgésico, antitusígeno, o medicamentos orales que contengan anti-histaminico en su composición.(Medicamento vía oral para rinitis, mareos o medicamentos para alergias).
3. No conduzca ni opere maquinaria después de tomar este medicamento.(Puede provocar síntomas como; somnolencia, vista nublada, sensibilidad a la luz).
4. Las mujeres que están amamantando no deben tomar este medicamento. En caso de tomar este medicamento tendrán que dejar de amamantar.
5. No tome bebidas alcohólicas durante el tiempo que use este medicamento.
6. No usar este medicamento por más de 5 días seguidos.

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas, deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de usar este medicamento en los siguientes casos:
 - (1) Personas que están bajo tratamiento médico u odontológico.
 - (2) Mujeres embarazadas o con probabilidad de embarazo.
 - (3) Personas de edad avanzada.
 - (4) Personas con antecedentes alérgicos, o que tengan algún familiar con antecedentes alérgicos.
 - (5) Personas que presentaron una reacción alérgica a algún tipo de medicamento.
 - (6) Personas que presentan los siguientes síntomas.
Fiebre alta, dificultad para orinar.
 - (7) Personas que recibieron alguno de los siguientes diagnósticos:
Hipertensión arterial, enfermedades cardíacas, diabetes, glaucoma, enfermedad del hígado, enfermedad del riñón, hipertiroidismo, lupus sistémico eritematoso, enfermedad del tejido conectivo.
 - (8) Personas que ya tuvieron alguna de las siguientes enfermedades:
Úlcera gástrica, duodenal, enfermedad de Crohn
2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico, llevando consigo este prospecto informativo en los siguientes casos:
 - (1) En caso de aparecer los siguientes síntomas después de usar el medicamento.

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel	Erupción, enrojecimiento, picazón
Aparato digestivo	Náuseas, vómitos, falta de apetito, dolor de estomago, distensión gástrica, ardor retroesternal, dolor abdominal, distensión abdominal, estomatitis.
Neuropsíquico	Tontura
Otros	Visión nublada, zumbido en el oído, dificultad urinaria, inflamación, hormigueo.

Rara vez se presentan síntomas graves mencionados a continuación. En este caso suspenda inmediatamente el medicamento y consulte a su médico.

Nombre del síntoma	Síntomas
Shock Anafiláctico	Después de haber tomado el medicamento aparece, urticaria, edema, opresión en el pecho, palidez, extremidades frías, sudor frío.
Oculo-mucocutaneous (Síndrome Stevens Johnson) Necrolise epidérmica tóxica (Síndrome de Lyell)	Fiebre alta acompañada de erupción cutánea, eritema síntomas intensos de ampollas parecidas a las causadas por quemaduras, en la piel de todo el cuerpo y en la mucosa de la boca y ojos.
Disfunción hepática	Sensación de cuerpo cansado, ictericia (piel y ojos amarillentos).
Disfunción renal	Puede disminuir el volumen de orina, hinchazón en todo el cuerpo, acompañado de falta de aire, cuerpo cansado, mal estar, vómitos, presencia de proteína y sangre en la orina.
Meningitis aséptica	Dolor de cabeza intenso, acompañado de rigidez en la nuca, fiebre, malestar, vómitos, (estos síntomas son más frecuentes en personas que se encuentran con tratamiento de lupus eritematoso sistémico o enfermedad del tejido conectivo).
Neumonía intersticial	Tos seca (sin flemas) acompañada por falta de aire, problemas respiratorios y fiebre (estos síntomas son difíciles de diagnosticar, o diferenciarlos de un resfriado, si la tos y fiebre persistenten suspenda el medicamento y consulte el tratamiento a su médico).
Asma bronquial	

- (2) Si los síntomas no mejoran después de 5 días de uso de este medicamento. (Principalmente si la fiebre persiste por más de 3 días seguidos, o si se manifiesta nuevamente), consulte a su médico.
3. Los siguientes síntomas pueden aparecer, pero en el caso de que persistan o se intensifiquen, deje de usar el medicamento y consulte a su médico o farmacéutico.
- Constipación intestinal, diarrea, boca seca.

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el producto bien cerrado en un lugar seco y fresco, protegido de la luz solar y la humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) No transfiera el producto a otro recipiente (esto puede provocar equívocos en el uso del producto y afectar su calidad).
- (4) No use este medicamento después de la fecha de caducidad.

出典
発行



製造販売元

エイス製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: PABRON ACE AX <Tabletas> (パブロンエースAX 錠 <錠剤>)

※Lea atentamente las informaciones antes usar el producto

Informaciones sobre el producto

[Indicaciones]

Indicado para aliviar las molestias del resfriado (fiebre, escalofríos, tos, flemas, dolor de garganta, flujo nasal, obstrucción nasal, estornudos, dolor de cabeza, dolores articulares, dolores musculares).

[Composición y acción]

Una dosis (3 tabletas) de PABRON ACE AX contiene:

Principio activo	Cantidad	Acción
Ibuprofeno	150mg	Alivia el dolor de cabeza, garganta y disminuye la fiebre.
Hidroclorato de ambroxol	15mg	Ayuda a expectoración de las secreciones mucosas de la garganta y bronquios.
Fosfato de dihydrocodeine	8mg	Disminuye la tos a través de la acción sobre el sistema nervioso central
dl-methylephedrine hidroclorato	20mg	Bronco dilatador alivia a la respiración y disminuye la tos.
Maleato de chlorpheniramine	2.5mg	Disminuye los síntomas del estornudo, obstrucción nasal y flujo nasal.
Anhydrocefeina	25mg	Alivia el dolor de cabeza.
Ácido ascórbico (Vitamina C)	166.7mg	Ayuda a recuperar las vitaminas que se pierden a causa del resfriado.
Nitrato de tiamina (nitrocloridrato de Vitamina B1)	8mg	
Riboflavina (Vitamina B2)	4mg	

[Posología y normas de uso]

Tomar 1 dosis 3 veces al día, de preferencia hasta 30 minutos después de los alimentos.

Edad	Cantidad por dosis
Adulto (mayores de 15 años)	3 tabletas
Menores de 15 años	Contraindicado

<Normas de uso>

- Siga correctamente la dosis y el modo de usar que le fue indicado.
- Como retirar las tabletas:

Para retirar la tableta, presiónela con la punta del dedo y levante la lámina del PTP que contiene la tableta, rompiendo de esta forma el papel aluminio que la protege.

Precauciones :

Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el modo de uso.

■ Contraindicaciones:

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben usar este medicamento las siguientes personas:

- (1) Personas que han presentado alguna vez alergia a este medicamento.
- (2) Personas que presentaron crisis de bronquitis asmática a consecuencia del uso de este medicamento o otros medicamento para resfriado, fiebre o dolores.
- (3) Menores de 15 años de edad.

2. Durante el tiempo que esté usando PABURON ACE AX tabletas, no usar los siguientes medicamentos.
Medicamento para resfriado, dolor, fiebre, analgésico, antitusígeno o medicamento vía oral que contenga anti-histaminico en su composición (medicamento para rinitis, mareos, o alergias).
3. No conduzca ni opere maquinaria después de tomar este medicamento.(Puede provocar síntomas como: somnolencia, vista nublada, sensibilidad a la luz).
4. Las mujeres que están amamantando no deben tomar este medicamento. En caso de tomar este medicamento tendrán que dejar de amamantar.(Fue comprobado en experimentos de laboratorio en animales residuos del medicamento en la leche).
5. No tome bebidas alcohólicas durante el tiempo que use este medicamento.
6. No usar este medicamento por más de 5 días seguidos.

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de usar este medicamento:
 - (1) Personas que están bajo tratamiento médico u odontológico.
 - (2) Mujeres embarazadas o con probabilidades de embarazo.
 - (3) Personas de edad avanzada.
 - (4) Personas con antecedentes alérgicos o que tengan algún familiar con antecedentes alérgicos.
 - (5) Personas que presentaron una reacción alérgica a algún tipo de medicamento.
 - (6) Personas que presentan los siguientes síntomas:
Fiebre alta, y dificultad para orinar.
 - (7) Personas que recibieron alguno de los siguientes diagnósticos:
Hipertensión arterial, enfermedades cardiacas, diabetes, glaucoma, enfermedad del hígado, enfermedad renal, hipertiroidismo, lupus sistémico eritematoso, enfermedad del tejido conectivo.
 - (8) Personas que ya tuvieron alguna de las siguientes enfermedades:
Úlcera gástrica, duodenal, colitis ulcerosa, enfermedad de Crohn
2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o al farmacéutico llevando consigo este prospecto informativo en los siguientes casos:
 - (1) En caso de aparecer los siguientes síntomas después de usar el medicamento.

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel	Erupción, enrojecimiento, picazón.
Aparato digestivo	Náuseas, vómitos, falta de apetito, dolor de estomago, distensión gástrica, ardor retroesternal, dolor abdominal, distensión abdominal, estomatitis.
Neuropsíquico	Tontura, hormigueo.
Otros	Vista nublada, zumbido en el oído, dificultad para orinar, inflamación.

Rara vez, se presentan síntomas graves mencionados continuación. En este caso suspenda inmediatamente el medicamento y consulte a su médico.

Nombre del síntoma	Síntomas
Shock Anafiláctico	Después de tomar este medicamento aparece, urticaria, edema, opresión en el pecho, palidez, extremidades frías, sudor frío.
Síndrome oculo-mucocutáneo (Síndrome de Stevens-Johnson) Necrolise epidérmica tóxica (Síndrome de Lyell)	Fiebre alta seguida de erupción cutánea, eritema, intensos brotes de ampollas parecidas a las causadas por quemaduras en el cuerpo y en la mucosa de la boca y ojos.
Disfunción hepática	Sensación del cuerpo cansado, ictericia (piel y ojos amarillentos).
Disfunción renal	Disminución del volumen de orina, hinchazón en todo el cuerpo, falta de aire, cuerpo cansado, náuseas, vómitos, presencia de proteína y sangre en la orina.
Meningitis aséptica	Dolor de cabeza intenso, acompañado de rigidez en la nuca, fiebre, náuseas, vómitos (estos síntomas son más frecuentes en personas que están con tratamiento de lupus eritematoso sistémico o enfermedades del tejido conectivo).
Neumonía intersticial	Tos seca (sin flemas) acompañada por falta de aire, problemas respiratorios y fiebre (estos síntomas son difíciles de diagnosticar o diferenciarlos de un resfriado, si la tos y fiebre persisten, suspenda el medicamento y consulte a su médico).
Asma	

- (2) Si los síntomas no mejoran después de 5-6 días del uso de este medicamento. (Principalmente si la fiebre persiste por más de 3 días seguidos, o si se manifiesta nuevamente), consulte a su médico.
3. Los siguientes síntomas pueden aparecer, pero en el caso de que persistan o se intensifiquen, deje de usar el medicamento y consulte a su médico o farmacéutico.
Constipación intestinal (estreñimiento), diarrea, boca seca.
4. Los siguientes síntomas pueden aparecer.
No se preocupe si la orina es mas amarilla, este medicamento contiene Vitamina B2, en su formula por lo que puede acontecer.

Cuidados con el manejo y conservacion:

- (1) Mantenga el producto bien cerrado en un lugar seco y fresco, protegido de la luz solar y la humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) No transfiera el producto a otro recipiente (esto puede provocar equívocos en el uso del producto o afectar su cualidad).
- (4) No use este medicamento después del plazo de caducidad. Aun dentro del plazo de validez si ha sido abierto por más de 6 meses.

出典
発行



大正製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: PABRON ACE AX <Gránulos> (パブロンエースAX<微粒>)

※Lea atentamente las informaciones antes de usar el producto

Informaciones sobre el producto

[Informaciones sobre el producto]

Indicaciones: Indicado para aliviar las molestias del resfriado (fiebre, escalofríos, tos, flemas, dolor de garganta, flujo nasal, obstrucción nasal, estornudos, dolor de cabeza, dolor de las articulaciones, dolores musculares).

[Composición y acción]

cada sobre contiene 1.3g.de PABRON ACE AX.

Principio activo	Cantidad	Acción
Ibuprofeno	150mg	Alivia el dolor de cabeza, garganta y disminuye la fiebre.
Hidroclorato de ambroxol	15mg	Facilita la expectoración de las secreciones mucosas de la garganta y bronquios.
Fosfato de Dihydrocodeine	8mg	Disminuye la tos a través de la acción sobre el sistema nervioso central.
dl-methylephedrine hidroclorato	20mg	Bronco dilatador, alivia la respiración y disminuye la tos.
Maleato de Chlorpheniramine	2.5mg	Disminuye los síntomas del estornudo y la obstrucción nasal y flujo nasal.
Anhydrocafeina	25mg	Alivia el dolor de cabeza.
Acido ascórbico (vitamina C)	166.7mg	Ayuda a recuperar las vitaminas que se pierden por causa del resfriado.
Nitrato de tiamina (nitrocloridrato de vitamina B1)	8mg	
Riboflavina (Vitamina B2)	4mg	

[Posología y normas de uso]

Tomar 1 dosis 3 veces al día, de preferencia hasta 30 minutos después de los alimentos.

Edad	Dosis
Adultos mayores de 15 años	1 sobre
Menores de 15 años de edad	Contraindicado

<Normas de uso>

- Siga rigurosamente la dosis y el modo de uso que le fue indicado.

Precauciones :

Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el modo de uso.

■ Contraindicaciones:

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben hacer uso de este medicamento las siguientes personas:

- (1) Personas que presentaron alguna vez alergia a este medicamento.
- (2) Personas que presentaron crisis de bronquitis asmática a consecuencia del uso de este medicamento u otros medicamentos para resfriado, fiebre o dolor.
- (3) Menores de 15 años de edad.

2. Durante el tiempo que esté usando PABRON ACE AX gránulos, no usar los siguientes medicamentos:
Medicamento para resfriado, dolor o fiebre, analgésico, antitusígeno, o medicamentos orales que contengan anti-histaminico en su composición.(Medicamento vía oral para rinitis, mareos o medicamentos para alergias).
3. No conduzca ni opere maquinaria después de tomar este medicamento.(Puede provocar síntomas como; somnolencia, vista nublada, sensibilidad a la luz).
4. Mujeres que están amamantando no deben tomar este medicamento. En caso de tomar este medicamento tendrán que dejar de amamantar.
5. No tome bebidas alcohólicas durante el tiempo que use este medicamento.
6. No usar este medicamento por más de 5 días seguidos.

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas, deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de usar este medicamento en los siguientes casos:
 - (1) Personas que están bajo tratamiento médico u odontológico.
 - (2) Mujeres embarazadas o con probabilidad de embarazo.
 - (3) Personas de edad avanzada.
 - (4) Personas con antecedentes alérgicos, o que tengan algún familiar con antecedentes alérgicos.
 - (5) Personas que presentaron una reacción alérgica a algún tipo de medicamento.
 - (6) Personas que presentan los siguientes síntomas.
Fiebre alta, dificultad para orinar.
 - (7) Personas que recibieron alguno de los siguientes diagnósticos:
Hipertensión arterial, enfermedades cardíacas, diabetes, glaucoma, enfermedad del hígado, enfermedad del riñón, hipertiroidismo, lupus sistémico eritematoso, enfermedad del tejido conectivo.
 - (8) Personas que ya tuvieron alguna de las siguientes enfermedades:
Úlcera gástrica, duodenal, enfermedad de Crohn
2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico, llevando consigo este prospecto informativo en los siguientes casos:
 - (1) En caso de aparecer los siguientes síntomas después de usar el medicamento.

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel	Erupción, enrojecimiento, picazón, edema
Aparato digestivo	Náuseas, vómitos, falta de apetito, dolor de estomago, distensión gástrica, ardor retroesternal, dolor abdominal, distensión abdominal, estomatitis.
Neuropsíquico	Tontura, hormigueo.
Otros	Visión nublada, zumbido en el oído, dificultad urinaria, inflamación.

Rara vez se presentan síntomas graves mencionados a continuación. En este caso suspenda inmediatamente el medicamento y consulte a su médico.

Nombre del síntoma	Síntomas
Shock Anafiláctico	Después de haber tomado el medicamento aparece, urticaria, edema, opresión en el pecho, palidez, extremidades frías, sudor frío.
Oculo-mucocutaneous(Síndrome Stevens Johnson) Necrolise epidérmica tóxica(Síndrome de Lyell)	Fiebre alta acompañada de erupción cutánea, eritema síntomas intensos de ampollas parecidas a las causadas por quemaduras, en la piel de todo el cuerpo y en la mucosa de la boca y ojos.
Disfunción hepática	Sensación de cuerpo cansado, ictericia (piel y ojos amarillentos).
Disfunción renal	Puede disminuir el volumen de orina, hinchazón en todo el cuerpo, acompañado de falta de aire, cuerpo cansado, mal estar, vómitos, presencia de proteína y sangre en la orina.
Meningitis aséptica	Dolor de cabeza intenso, acompañado de rigidez en la nuca, fiebre, malestar, vómitos (estos síntomas son más frecuentes en personas que se encuentran con tratamiento de lupus eritematoso sistémico o enfermedad del tejido conectivo).
Neumonía intersticial	Tos seca (sin flemas) acompañada por falta de aire, problemas respiratorios y fiebre, (estos síntomas son difíciles de diagnosticar, o diferenciarlo de un resfriado, si la tos y fiebre persistente suspenda el medicamento y consulte el tratamiento a su médico).
Asma bronquial	

- (2) Si los síntomas no mejoran después de 5 días de uso de este medicamento. (Principalmente si la fiebre persiste por más de 3 días seguidos, o si se manifiesta nuevamente), consulte a su médico.
3. Los siguientes síntomas pueden aparecer, pero en el caso de que persistan o se intensifiquen, deje de usar el medicamento y consulte con su médico o farmacéutico.
Constipación intestinal, diarrea, boca seca.
4. No se preocupe si la orina es mas amarilla, este medicamento contiene vitamina B2 en su formula por lo que puede ocurrir.

Cuidados con el manejo y conservacion:

- (1) Mantenga el producto bien cerrado en un lugar seco y fresco, protegido de la luz solar y la humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) No transfiera el producto a otro recipiente (esto puede provocar equívocos en el uso del producto y afectar su calidad).
- (4) No use este medicamento después de la fecha de caducidad.

出典
発行



大正製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: GASTER10 <Gránulos> (ガスター10 <散>)
※Lea atentamente las informaciones antes de usar este producto

Informaciones sobre el producto

[Indicaciones]

Indicado para el dolor de estomago, acidez, indigestión, nauseas.

<Advertencias>

No use este medicamento para síntomas que no estén mencionados en las indicaciones.

[Composición y acción]

1 sobre de 0.5 gramos de GASTER10 contiene:

Principio activo	Cantidad	Acción
Famotidina	10mg	Controla la hiperacidez del estomago

[Posología y normas de uso]

- Tome el medicamento con agua fría o templada conforme lo indicado a continuación:

Edad	Cantidad por dosis	Veces por día
Adultos (mayores de 15 anos hasta 80 anos)	1 sobres	Hasta 2 veces
Niños (menores de 15 anos)	Contraindicado	
Personas mayores de 80 anos		

Este medicamento puede ser usado cuando aparecen los síntomas y no es necesario establecer horarios. Su acción no interfiere con los alimentos por lo que puede ser tomado antes, después o entre las comidas. Una dos (1 sobre) controla la hipersecreción acida del estomago, durante un período de 8 horas (deberá esperar 8 horas para tomar otra dosis en caso de ser usado 2 veces por día).

- Respete las instrucciones sobre la dosis y el modo de administrar indicado.
- Si Los síntomas no mejoran después de 8 horas de la primer toma podrá tomar más 1 dosis (1 sobre).
- Si los síntomas desaparecen pare de tomar el medicamento.
- Si los síntomas no mejoran después de 3 días de uso, suspenda el medicamento y consulte a su médico o farmacéutico.
- No use este medicamento por más de 2 semanas seguidas.

<Normas de uso>

- (1) Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el y el modo de uso

Precauciones:

No tome bebidas alcohólicas durante el tiempo que use este medicamento. (En general no deberá tomar bebidas alcohólicas cuando esté usando medicamentos).

■ Contraindicaciones:

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben usar este medicamento las siguientes personas:

- (1) Personas con antecedentes alérgicos al antagonista del receptor de la histamina H2 Famotidina (por ejemplo: erupción cutánea, eritema, comezón, hinchazón en los labios, párpados y garganta), hay la probabilidad de presentar una reacción alérgica al GASTER 10 gránulos.
- (2) Personas que están bajo tratamiento médico o reciben medicación para tratamiento de las siguientes enfermedades: enfermedades hematológicas, renales, enfermedades del hígado, enfermedades del corazón, enfermedades del estómago o duodeno, asma, enfermedades inmunológicas como reumatismo, tratamiento con esteroides, antibióticos, antineoplásicos, imidazois antifúngicos. Personas con enfermedades hematológicas puede presentar una leucopenia o plaquetopenia. Personas con enfermedades renales y enfermedades del hígado, eliminan más lentamente el medicamento y la acción del medicamento puede se tornar más fuerte. Personas con enfermedades cardiacas como infarto al miocardio, enfermedad valvular, miocardiopatías, puede mostrar anormalidades en un electrocardiograma y alteraciones en la frecuencia del pulso. Personas con tratamiento para enfermedades del estómago o duodeno, es probable que ya tengan en su tratamiento medicamentos con Famotidina o parecidos, por lo tanto es necesario tener cuidado de no duplicar los medicamentos. Personas con tratamiento con imidazois antifúngicos, la absorción de los imidazois anti fúngicos disminuye, por lo que el efecto es menor.
- (3) Personas que han sido informadas por su médico de anormalidades en la sangre, bajo número de glóbulos rojos (anemia), disminución de plaquetas (sangrado fácil, dificultad para parar hemorragias), bajo número de glóbulos blancos. (Si fue ocasionado por el uso de este medicamento existe la probabilidad de volver a desarrollar anormalidades en la sangre).
- (4) Los niños menores de 15 años o personas mayores con más de 80 años.
- (5) Mujeres embarazadas o con probabilidades de embarazo. (es necesario ir con cautela con el uso de medicamentos en esta época). Mujeres que están amamantando.

2. Durante el tiempo que esté usando GASTER10 gránulos, no usar los siguientes medicamentos: Medicamentos para el estómago o intestino.

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas deberán consultar al médico a farmacéutico antes de usar este medicamento:
 - (1) Personas que están bajo tratamiento médico u odontológico .
 - (2) Personas con antecedentes alérgicos o que tengan algún familiar con antecedentes alérgicos..
 - (3) Personas que presentaron reacción alérgica a medicamentos (existe la probabilidad de tener una reacción alérgica a este medicamento).
 - (4) Personas mayores (más de 65 años), generalmente las personas mayores tienen sus funciones fisiológicas debilitadas.
 - (5) Personas con los siguientes síntomas:
Dolor de garganta, tos o fiebre alta (personas con estos síntomas podrían estar con una enfermedad infecciosa más grave, puede ocasionar una disminución en el número de glóbulos rojos. Si antes de usar este medicamento la persona presenta este cuadro, este medicamento puede empeorarlos y llevara un tiempo para sentir los efectos secundarios de este medicamento). Pérdida de peso sin causa, dolor abdominal persistente (pueden ser síntomas de otra enfermedad).

2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico llevando consigo prospecto informativo en los siguientes casos:

- (1) En caso de aparecer los siguientes síntomas después de usar el medicamento:

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel	Erupción, enrojecimiento, picazón, hinchazón.
Aparato circulatorio	Arritmia
Neuropsíquico	Embotamiento, convulsión
Otros	Malestar, cuerpo cansado, fiebre con dolor de garganta

Rara vez se presentan los síntomas mencionados a continuación. En este caso, suspenda inmediatamente el medicamento y consulte a su médico.

Nombre de los síntomas	Síntomas
Shock Anafiláctico	Aparece después de tomar este medicamento, urticaria, edema, palidez, extremidades frías, sudor frío, opresión en el pecho.
Síndrome Oculo-mucocutáneo (Síndrome de Stevens-Johnson) Necrolise epidérmica tóxica (Síndrome de Lyell)	Fiebre alta acompañada de erupción cutánea, eritema, ampollas parecidas a las causadas por quemaduras en todo el cuerpo y en la mucosa de la boca y ojos.
Rhabdomyolysis	Dolores y rigidez de los músculos del cuerpo, las manos y pies, orina enrojecida.
Disfunción hepática	Sensación de cuerpo cansado, ictericia (piel y ojos amarillentos).
Disfunción renal	Fiebre, erupción, hinchazón del cuerpo, hematuria, cuerpo cansado, artralgia (dolores en las articulaciones), diarrea.
Trastornos en la sangre	Dolores de garganta, fiebre, cuerpo cansado, rostro y párpados decoloridos, sangrado fácil, (se sensibilizan las encías, hemorragia nasal), moretones (que no desaparecen incluso presionándolos).

- (2) Si se equivoca y tomo una cantidad mayor a la prescrita.

3. Los siguientes síntomas pueden aparecer pero en el caso de que persistan o se intensifiquen, deje de usar el medicamento y consulte a su médico o farmacéutico.

Constipación intestinal (estreñimiento), heces blandas, diarrea y boca seca.

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el producto bien cerrado en un lugar seco y fresco, protegido de la luz solar y humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) No coloque este medicamento en otro recipiente (esto podría provocar equívocos en el uso del producto afectar su calidad).
- (4) No use este medicamento después de la fecha de caducidad.

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: GASTER 10 <Tabletas>(ガスター10 <錠>)
※Lea atentamente las informaciones antes de usar el producto

Informaciones sobre el producto

[Indicaciones]

Indicado para el dolor de estomago, acidez, indigestión, nauseas.

<Advertencias>

No use este medicamento para síntomas que no estén mencionados en las indicaciones.

[Composición y acción]

1 tableta de GASTER 10 contiene:

Principio activo	Cantidad	Acción
Famotidina	10mg	Controla la hipersecreción (acidez estomacal).

[Posología y normas de uso]

- Tome el medicamento con agua fría o templada conforme lo indicado a continuación:

Edad	Cantidad	Dosis por día
Adultos (mayores de 15 anos hasta 80 anos)	1 Tableta	2 tabletas máximo
Niños (menores de 15 anos)	Contraindicado	
Personas con mas de 80 anos		

Este medicamento puede ser usado cuando aparecen los síntomas y no es necesario establecer horarios. Su acción no interfiere con los alimentos por lo que puede ser tomado antes, después o entre las comidas. Una dosis (1 tableta) controla la hipersecreción acida gástrica, durante un periodo de 8 horas (deberá esperar 8 horas para tomar otra dosis en caso de ser usado 2 veces por día).

- Respete las instrucciones sobre la dosis y el modo de administrar indicado.
- Si los síntomas no mejoran después de 8 horas de la primera toma, puede tomar más 1 dosis (1 tableta).
- Si los síntomas desaparecen pare de usar el medicamento.
- Si los síntomas no mejoran después de 3 días de uso. Suspenda el medicamento y consulte a su médico o farmacéutico.
- No use este medicamento por más de 2 semanas seguidas.

<Normas de uso>

- (1) No tome bebidas alcohólicas durante el tiempo que use este medicamento. (En general no deberá tomar bebidas alcohólicas cuando esté usando medicamentos).
- (2) Como retirar las tabletas: Para retirar la tableta, presiónela con la punta del dedo y levante la lamina del PTP que contiene la tableta, rompiendo de esta forma el papel aluminio que la protege.

Precauciones:

Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el modo de uso.

■ Contraindicaciones:

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben usar este medicamento las siguientes personas:

- (1) Personas con antecedentes alérgicos al receptor antagonista del histaminico H2 Famotidina.
(por ejemplo: erupción cutánea, eritema, comezón, hinchazón en los labios parpados y garganta)
hay la probabilidad de presentar una reacción alérgica al GASTER 10 tabletas.
- (2) Personas que están bajo tratamiento médico o reciben medicación para tratamiento de las siguientes enfermedades: enfermedades hematológicas, renales, enfermedades del hígado, enfermedades cardiacas, enfermedades del estomago u duodeno, asma, enfermedades inmunológicas como reumatismo, tratamientos con esteroides, antibióticos, antineoplásicos, imidazois antifungicos.
Personas con enfermedades hematológicas puede presentar una leucopenia o plaquetopenia.
Personas con enfermedades renales o enfermedades del hígado eliminan el medicamento más lentamente por lo cual la acción de este medicamento puede ser más fuerte).
Personas con enfermedades cardiacas como infarto del miocardio, enfermedad valvular, miocardipatias, puede ocasionar alteraciones en la frecuencia del pulso, detectable con electrocardiograma.
Personas con tratamiento del estomago u duodeno, (es probable que ya estén tomando en su tratamiento una dosis de Famitidina o algún medicamento semejante, por lo tanto es necesario que tenga cuidado de no duplicar los medicamentos).
Personas con tratamiento con imidazois antifungicos, la absorción de los imidazois antifungicos disminuye, por lo que el efecto es menor.
- (3) Personas que han sido informadas por su médico de anormalidades en la sangre como, bajo número de glóbulos rojos (anemia), disminución de plaquetas (sangrado fácil, dificultad para parar hemorragias), bajo número de glóbulos blancos.
(Si fue ocasionado por el uso de este medicamento existe la probabilidad de volver a desarrollar anormalidades en la sangre).
- (4) Niños menores de 15 años de edad o personas mayores de 80 anos.
- (5) Mujeres embarazadas o con probabilidades de embarazo. (es necesario ir con cautela con el uso de medicamentos en esta época). Mujeres que están amamantando.

2. Durante el tiempo que esté usando GASTER 10 tabletas, no usar los siguientes medicamentos. Medicamentos para el estomago o intestino.

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de usar este medicamento:

- (1) Personas que están en tratamiento médico u odontológico.
- (2) Personas con antecedentes alérgicos o que tengan algún familiar con antecedentes alérgicos.
- (3) Personas que presentaron reacción alérgica a algún tipo de medicamentos.
- (4) Personas mayores (más de 65 anos), generalmente las personas mayores tienen sus funciones fisiológicas debilitadas.
- (5) Personas con los siguientes síntomas:
Dolor de garganta, tos, fiebre alta, (personas con estos síntomas pueden estar con una enfermedad infecciosa más grave, puede ocasionar una disminución en el número de glóbulos rojos. Si antes de usar este medicamento la persona presenta este cuadro, este medicamento puede empeorarlos y llevara un tiempo para sentir los efectos secundarios de este medicamento).
Pérdida de peso sin razón, dolor abdominal persistente (pueden ser síntomas de otra enfermedad).

2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico llevando consigo este prospecto informativo en los siguientes casos:

- (1) En caso de aparecer los siguientes síntomas después de usar el medicamento.

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel	Erupción, enrojecimiento, picazón, hinchazón
Aparato circulatorio	Arritmia
Neuropsíquico	Embotamiento, convulsiones
Otros	Malestar, cuerpo cansado, fiebre con dolor de garganta.

Rara vez se presentan los síntomas graves mencionados a continuación. En este caso suspenda inmediatamente el medicamento y consulte a su médico.

Nombre del síntoma	Síntomas
Shock Anafiláctico	Aparece después de tomar este medicamento, urticaria, edema, palidez, extremidades frías, sudor frío, opresión en el pecho.
Síndrome Oculo-mucocutáneo (Síndrome de Stevens-Johnson) Necrolise epidérmica tóxica (Síndrome de Lyell)	Fiebre alta acompañada de erupción cutánea, eritema, ampollas parecidas a las causadas por quemaduras en todo el cuerpo y en la mucosa de la boca y ojos.
Rhabdomyolysis	Dolores y rigidez en la musculatura del cuerpo manos y pies, orina enrojecida.
Disfunción hepática	Sensación de cuerpo cansado, ictericia (piel y ojos amarillentos).
Disfunción renal	Fiebre, erupción, hinchazón del cuerpo, hematuria, cuerpo cansado, artralgia (dolores en las articulaciones), diarrea.
Trastornos en la sangre	Dolores de garganta, fiebre, cuerpo cansado, rostro y párpados decoloridos, sangrado fácil, (se sensibilizan las encías, hemorragia nasal), moretones (que no desaparecen incluso presionándolos).

- (2) Si se equivoco y tomo una cantidad mayor a la prescrita.

3. Los siguientes síntomas pueden aparecer, pero en caso que persistan o se intensifiquen, deje de usar el medicamento y consulte a su médico o farmacéutico.

Constipación intestinal, heces blandas, diarrea, boca seca.

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el producto bien cerrado en un lugar seco y fresco, protegido de la luz solar y humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) No transfiera el producto en otro recipiente (esto podría provocar equívocos en el uso del producto y afectar su cualidad).
- (4) No use este medicamento después de la fecha de caducidad.

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: GASTER 10S Tablet^{じょう}as (ガスター10S錠)
※Lea atentamente las informaciones antes de usar el producto

Informaciones sobre el producto

[Indicaciones]

Indicado para el dolor de estomago, acidez, indigestión, náuseas.

<Advertencias>

- No use este medicamento para síntomas que no estén mencionados en la indicación

[Composición y acción]

1 tableta de GASTER 10 S contiene:

Principio activo	Cantidad	Acción
Famotidina	10mg	Controla la hipersecreción acida del estomago

[Posología y normas de uso]

Tome el medicamento con agua fría o tibia, la tableta puede disolverla dentro de la boca.

Edad	Cantidad	Dosis por día
Adultos (mayores de 15 anos hasta 80 anos)	1 tableta	2 tabletas máximo
Niños (menores de 15 anos)	Contraindicado	
Adultos (mayores de 80 anos)		

Este medicamento puede ser usado cuando aparecen los síntomas. Su acción no interfiere con los alimentos por lo que puede ser tomado antes, después o entre las comidas. Una dos (1 tableta) controla la hipersecreción acida gástrica, durante un periodo de 8 horas, (deberá esperar 8 horas para tomar otra dosis en caso de ser usado 2 veces por día).

- Respete las instrucciones sobre la dosis y el modo de administrar indicado.
- Si los síntomas no mejoran después de 8 horas de la primera toma puede tomar más 1 dosis (1 tableta).
- Si los síntomas desaparecen, pare de usar el medicamento.
- Si los síntomas no mejoran después de 3 días de uso. Suspenda el medicamento y consulte a su médico o farmacéutico.
- No use este medicamento por más de 2 semanas seguidas.

<Normas de uso>

- (1) Este medicamento se disuelve fácilmente dentro de la boca, no es absorbido por la mucosa oral, por lo que debe ser tragado con la saliva o agua. El efecto de este medicamento es el mismo que cuando se toma con agua fría o tibia.
- (2) No tome bebidas alcohólicas durante el tiempo que use este medicamento (en general durante el tiempo que use medicamentos no se deben tomar bebidas alcohólicas).
- (3) Como retirar las tabletas: para retirar la tableta, presiónela con la punta del dedo y levante la lamina del PTP que contiene la tableta, rompiendo de esta forma el papel aluminio que la protege.

Precauciones

Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el modo de uso.

■ Contraindicaciones:

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben usar este medicamento la siguientes personas:

- (1) Personas con antecedentes alérgicos al receptor antagonista del histaminico H2 Famotidina (por ejemplo: erupción cutánea, eritema, comezón, hinchazón en los labios parpados y garganta).
- (2) Personas que están bajo tratamiento médico o reciben medicación para tratamiento de las siguientes enfermedades: enfermedades hematológicas, renales, enfermedades del hígado, enfermedades cardiacas, enfermedades del estomago o duodeno, asma, enfermedades inmunológicas como reumatismo, tratamiento con esteroides, antibióticos, antineoplásicos, imidazois antifungicos. Personas con enfermedades hematológicas pueden tener una leucopenia, o plaquetopenia. Personas con enfermedades renales o enfermedades del hígado eliminan el medicamento más lentamente por lo cual la acción de este medicamento puede ser más fuerte). Personas con enfermedades cardiacas como infarto del miocardio, enfermedad valvular, miocardiopatías, pueden sufrir alteraciones en la frecuencia del pulso, detectable con electrocardiograma. Personas con tratamiento del estomago u duodeno (es probable que ya estén tomando en su tratamiento una dosis de Famotidina o algún medicamento semejante, por lo tanto es necesario que tengan cuidado de no repetir los medicamentos). Personas con tratamiento con imidazois antifungicos, la absorción de los imidazois antifungicos disminuye, por lo tanto el efecto es menor.
- (3) Personas que han sido informadas por sus médicos de anormalidades en la sangre como, bajo número de glóbulos rojos (anemia), disminución de plaquetas (sangrado fácil, dificultades para parar hemorragias), bajo número de glóbulos blancos. (Si fue ocasionado por el uso de este medicamento existe la probabilidad de volver a desarrollar anormalidades en la sangre).
- (4) Personas con fenilketonuria (este medicamento contiene Aspartame (L-fenilalanina) en su formula).
- (5) Niños menores de 15 años de edad o personas mayores de 80 años.
- (6) Mujeres embarazadas o con probabilidad de embarazo (es necesario ir con cautela con el uso de medicamentos en esta época).
Mujeres que están amamantando.

2. Durante el tiempo que esté usando GASTER 10S tabletas, no usar los siguientes medicamentos: Medicamentos para el estomago.

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de hacer uso de este medicamento:
 - (1) Personas que están bajo tratamiento médico u odontológico.
 - (2) Personas con antecedentes alérgicos o que tengan algún familiar con antecedentes alérgicos.
 - (3) Personas que presentaron una reacción alérgica a algún tipo de medicamento .
 - (4) Personas mayores (de más de 65 años), generalmente las personas mayores tienen sus funciones fisiológicas debilitadas.
 - (5) Personas con los siguientes síntomas:
Dolor de garganta, tos, fiebre alta (personas con estos síntomas pueden estar con una enfermedad infecciosa más grave, pudiendo ocasionarles una disminución en el número de glóbulos rojos. Si antes de tomar este medicamento la persona presenta este cuadro, este medicamento puede empeorarlo y llevara un tiempo para sentir los efectos secundarios de este medicamento).
Pérdida de peso sin razón, dolor abdominal persistente (pueden ser síntomas de otra enfermedad).

2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico llevando este prospecto informativo en los siguientes casos:

- (1) En caso de aparecer los siguientes síntomas después de usar el medicamento.

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel	Erupción, enrojecimiento, picazón, hinchazón.
Aparato circulatorio	Arritmia.
Neuropsíquico	Embotamiento, convulsiones
Otros	Malestar, cuerpo cansado, fiebre dolor con dolor de garganta

Rara vez se presentan los síntomas graves mencionados a continuación: En este caso suspenda inmediatamente el medicamento y consulte a su médico.

Nombre del síntoma	Síntomas
Shock Anafiláctico	Aparece después de tomar este medicamento, urticaria, edema, palidez, extremidades frías, sudor frío, opresión en el pecho.
Síndrome Oculo-mucocutáneo (Síndrome de Stevens-Johnson) Necrolise epidérmica tóxica (Síndrome de Lyell)	Fiebre alta acompañada de erupción cutánea, eritema, ampollas parecidas a las causadas por quemaduras en todo el cuerpo y en la mucosa de la boca y ojos.
Rhabdomyolysis	Dolores y rigidez en la musculatura del cuerpo, manos y pies, orina enrojecida.
Disfunción hepática	Sensación de cuerpo cansado, ictericia (piel y ojos amarillentos).
Disfunción renal	Fiebre, erupción, hinchazón del cuerpo, hematuria, cuerpo cansado, artralgia (dolores en las articulaciones), diarrea.
Trastornos en la sangre	Dolores de garganta, fiebre, cuerpo cansado, rostro y párpados decoloridos, sangrado fácil, (se sensibilizan las encías, hemorragia nasal), moretones (que no desaparecen incluso presionándolos).

- (2) Si se equivoco y tomo una cantidad mayor a la prescrita.

3. Los siguientes síntomas pueden aparecer, pero en caso de que persistan o se intensifiquen deje de usar el medicamento y consulte a su médico o farmacéutico.

Constipación intestinal, heces blandas, diarrea, boca seca.

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el medicamento bien cerrado en un lugar seco y fresco, protegido de la luz solar y humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) No transfiera el producto a otro recipiente, (esto puede provocar equivocaciones en el uso del producto y alterar su cualidad).
- (4) No utilice este medicamento después de la fecha de caducidad.

出典
発行



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: Zaditen AL Rinitis Tablet (ザジテン AL 鼻炎カプセル)

※Lea atentamente las informaciones antes de usar este producto

Informaciones sobre el producto

[Indicaciones]

Indicado para el alivio de los síntomas de la alergia nasal causadas por el polen, polvo casero (alergia a ácaros) como goteo nasal, obstrucción nasal.

[Composición y acción]

Cada tableta de Zaditen AL tabletas contiene:

Principio activo	Cantidad
Fumarato de Cetotifeno(equivalente en MG de Cetotifeno)	1.38 mg(1.0mg)

[Posología y normas de uso]

Tome 1 dosis del medicamento 2 veces al día, después del desayuno y en la noche antes de dormir.

Edad	1 dosis
Adultos (mayor de 15 años)	1 capsula
Niños menores de 15 años	Contraindicado

<Normas de uso>

- Siga correctamente la dosis y el modo de uso que le fue indicado.
- Si los síntomas no mejoran después 3 días de uso del medicamento, suspenda la medicación y consulte a su médico o farmacéutico. (Dependiendo de la persona este medicamento puede empezar a hacer efecto a partir de la segunda semana de uso).
- Como retirar la tableta:
Para retirar la tableta, presiónela con la punta del dedo y levante la lamina del PTP que contiene la tableta, rompiendo de esta forma el papel aluminio que la protege.

Precauciones:

Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el modo de uso.

■ **Contraindicaciones:**

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben usar este medicamento las siguientes personas:

- (1) Personas que ya tuvieron una reacción alérgica al ZADITEN AL tabletas.
- (2) Niños menores de 15 años de edad.

2. Durante el tiempo que esté usando este medicamento, no use los siguientes medicamentos:

Otros medicamentos para alergia (incluyendo medicamentos para enfermedades de la piel, o de uso oral para rinitis), medicamentos de uso oral que contengan anti-histaminicos (medicamentos para resfriado, tos, flemas, mareos, causan somnolencia).

3. No operar maquinas, no conduzca vehículos después de tomar este medicamento (puede causar somnolencia).
4. Mujeres que están amamantando no deben tomar este medicamento. En caso de tomar este medicamento tendrán que dejar de amamantar (fue comprobado en experimentos de laboratorio en animales, residuos del medicamento en la leche).
5. No tome bebidas alcohólicas durante el tiempo que use este medicamento.

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de usar este medicamento:
 - (1) Personas que están bajo tratamiento médico u odontológico.
 - (2) Personas bajo terapia de hiposensibilización o bajo tratamiento por alergia.
 - (3) Mujeres embarazadas o con probabilidad de embarazo.
 - (4) Personas de edad avanzada.
 - (5) Personas con antecedentes alérgicos o con algún familiar con antecedentes alérgicos.
 - (6) Personas con síntomas los cuales no se sabe con certeza si son causados por alergias o tienen otras causas.
 - (7) Personas que recibieron los siguientes diagnósticos:
Bronquitis asmática, dermatitis atópica, epilepsia.
 - (8) Personas que tienen dificultad para orinar.
2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico llevando este prospecto informativo en los siguientes casos:

- (1) En caso de presentarse los siguientes síntomas después de tomar el medicamento.

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel	Hematomas, enrojecimiento, hinchazón, picor.
Nariz	Hemorragias
Neuropsíquico	Mareos, debilidad, cuerpo cansado, dolor de cabeza, anomalías del paladar, boca amarga, hormigueo.
Aparato digestivo	Náuseas, vómitos, falta de apetito, malestar gástrico, dolor estómago, estomatitis.
Otros	Palpitaciones, acaloramiento, poliuria, dolor para orinar, hematuria (sangre en la orina), sensación de tener la vejiga llena, irregularidad menstrual, aumento de peso corporal.

- (2) En el caso de no mejorar una semana después de tomar el medicamento.

3. Los síntomas graves mencionados a continuación raramente ocurren. En el caso que aparezcan procure consultar a su médico lo antes posible.

Nombre del síntoma	Síntomas
Síntomas relacionados al sistema nervioso central	Pérdida momentánea de la conciencia, convulsiones, irritabilidad
Disfunción hepática	Fiebre, erupción cutánea, sensación de cuerpo cansado, ictericia (piel y ojos amarillentos).

4. Los siguientes síntomas pueden aparecer pero en caso de que persistan o se intensifiquen deje de usar el medicamento y procure consultar a su médico o farmacéutico.
Boca seca, constipación intestinal (estreñimiento), diarrea, somnolencia.
5. Consulte a su médico o al farmacéutico en los siguientes casos:
Si los síntomas no mejoran después de 2 semanas de uso del medicamento.

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el medicamento bien guardado en un lugar fresco, protegido de la luz solar y de la humedad.
- (2) El medicamento debe estar fuera del alcance de los niños.
- (3) No coloque este medicamento en otro recipiente (esto podría ocasionar equivocación en su uso y alterar la calidad del producto).
- (4) No utilice este medicamento después de la fecha de caducidad.

	製造販売元
出典	ノバルティス ファーマ株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: PABRON Rinitis Cápsulas Z (パブロン^{びえん}鼻炎カプセル Z)

※Lea atentamente las informaciones antes usar el producto

Informaciones sobre el producto:

[Indicaciones]

Indicado para aliviar los síntomas de alergia nasal causados por el polen, polvo casero (alergia a ácaros) como goteo nasal, obstrucción nasal.

[Composición y acción]

Una cápsula de Pabron Rinitis Cápsulas Z contiene:

Principio Activo	Cantidad
Fumarato de Ketotifeno (Equivalente en mg de Ketotifeno)	1.38mg (1.0mg)

[Posología y normas de uso]

Tomar 1 dosis 2 veces al día; una después del desayuno y otra antes de dormir.

Edad	Dosis
Mayores de 15 años	1 capsula
Menores de 15 años	Contraindicado

<Normas de uso>

- Siga rigurosamente las instrucciones de uso y las cantidades indicadas.
- Si después de una semana de tomar este medicamento los síntomas persisten, suspenda inmediatamente su toma y consulte a su médico o farmacéutico (en algunos casos es posible que el medicamento no empiece a hacer efecto hasta después de la segunda semanas de uso).
- Presione con fuerza la parte elevada de la cinta de PTP de manera que rompa la cobertura de aluminio y permita la retirada de la cápsula.

Precauciones:

Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el modo de uso.

■ Contraindicaciones:

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben usar este medicamento las siguientes personas:

- (1) Personas que anteriormente han presentado una reacción alérgica a PABRON RINITIS Z cápsulas (existe la posibilidad de presentar nuevamente una reacción alérgica a este medicamento).
- (2) Niños menores de 15 años.

2. Durante el periodo de administración de PABRON RINITIS Z cápsulas, no tome ninguno de los siguientes medicamentos:

Otros medicamentos para la alergia (incluyendo los medicamentos para las enfermedades de la piel y los medicamentos de uso oral para la rinitis), medicamentos de uso oral que contengan antihistamínicos como los medicamentos para el resfriado, para la tos y flemas, para el mareo, somníferos.

3. Después de tomar PABRON RINITIS Z cápsulas no conduzca ni opere maquinaria ya que el medicamento puede provocar somnolencia.

4. Mujeres que están amamantando no deben tomar este medicamento. En caso de tomar este medicamento tendrán que dejar de amamantar (en experimentos de laboratorio con animales se detectó este medicamento en la leche).
5. No tome bebidas alcohólicas durante el tiempo que use este medicamento.

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de tomar el medicamento:
 - (1) Personas que están bajo tratamiento médico u odontológico.
 - (2) Personas bajo terapia de hiposensibilización o bajo tratamiento por alergia.
 - (3) Mujeres embarazadas o con probabilidad de embarazo .
 - (4) Personas de edad avanzada.
 - (5) Personas con antecedentes alérgicos que tengan algún familiar con antecedentes alérgicos (las personas con antecedentes alérgicos tienen la probabilidad de desarrollar alergia con este medicamento).
 - (6) Personas con síntomas los cuales no se sabe con certeza si son causados por alergias o tienen otras causas.
 - (7) Personas que recibieron los siguientes diagnósticos:
Bronquitis asmática, dermatitis atópica, epilepsia.
 - (8) Personas que presentan dificultades para orinar.
2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico llevando este prospecto informativo en los siguientes casos:
 - (1) En el caso de surgir los siguientes síntomas después de tomar el medicamento.

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel	Hematomas, enrojecimiento, hinchazón, picor
Nariz	Hemorragias
Neuropsíquico	Mareos, debilidad, cuerpo cansado, dolor de cabeza, anomalías del paladar, boca amarga, hormigueos.
Aparato digestivo	Náuseas, vómitos, falta de apetito, malestar gástrico, dolor de estómago, estomatitis.
Otros	Palpitaciones, acaloramiento, poliuria, dolor al orinar, hematuria (sangre en la orina), sensación de tener la vejiga llena, irregularidad menstrual, aumento de peso corporal.

- (2) En el caso de no mejorar una semana después de tomar el medicamento.
3. Los síntomas graves mencionados a continuación raramente ocurren. En el caso que aparecer procure consultar a su médico lo antes posible.

Nombre del síntoma	Síntomas
Síntomas relacionados al sistema nervioso central	Pérdida momentánea de la conciencia, convulsiones, irritabilidad
Deficiencia de las funciones hepáticas	Fiebre, erupción cutánea, sensación de cuerpo cansado, ictericia (piel y ojos amarillentos).

4. Los siguientes síntomas pueden aparecer pero en caso de que persistan o se intensifiquen deje de suspender el medicamento y procure consultar a su médico o farmacéutico.
Boca seca, estreñimiento, diarrea, somnolencia
5. Consulte a su médico o al farmacéutico en los siguientes casos:
Si los síntomas no mejoran después de 2 semanas de uso del medicamento.

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el medicamento bien guardado en un lugar fresco, protegido de la luz solar y de la humedad.
- (2) El medicamento debe estar fuera del alcance de los niños.
- (3) No coloque este medicamento en otro recipiente (esto podría ocasionar equivocación en su uso y alterar la calidad del producto).
- (4) No utilice este medicamento después de la fecha de caducidad.

	発 売 元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: ZADITEN AL Rinitis atomizador (ザジテン AL 鼻炎スプレー)

※Lea atentamente las informaciones antes de usar este producto

Informaciones sobre el producto

[Indicaciones]

Indicado para el alivio de los síntomas de alergia nasal causados por el polen, polvo casero (alergia a ácaros) como goteo nasal, obstrucción nasal.

[Composicion y acción]

Cada 100ml de ZADITEN AL rinitis atomizador contiene (paquetes de 8ml por frasco).

Principio activo	Cantidad
Fumarato de Cetociteno	75.6mg

[Posología y normas de uso]

Atomizar una dosis en cada fosa nasal 4 veces al día (por la mañana, al mediodía, por la noche y antes de acostarse). Cada atomización corresponde a 0.05mg de Cetotifeno

Edad	Dosis
Adultos(más de 15 años) y niños de más de 7 años	Una dosis en cada fosa nasal
Menores de 7 años	Contraindicado

<Normas de uso>

- Siga correctamente la dosis y el modo de uso que le fue indicado.
- Par uso pediátrico de este medicamento, debe ser efectuada bajo supervisión de un responsable.
- Este medicamento solamente puede ser administrado por la nariz.
- Tenga cuidado de que el medicamento no entre en los ojos, en caso de entrar en los ojos lave inmediatamente con agua tibia y consulte con un oftalmólogo lo antes posible.

Modo de uso(como se muestra en las figuras)

Al contenido líquido que contiene el frasco le cuesta salir de manera pulverizada cuando se usa por primera vez, por ello es necesario presionar, manteniendo la boquilla del frasco hacia arriba, unas 5 veces hasta que el contenido salga pulverizado. En este momento el medicamento ya estará listo para su uso.

1. Antes de usar el medicamento sonarse o limpiarse la nariz.
2. Retire la tapa del frasco.
3. Mantenga el frasco en posición vertical y ponga la boquilla (aplicador nasal en la fosa nasal).
4. Presione la palanca hacia abajo con firmeza y rapidez (de modo contrario el liquido no saldrá atomizado).
5. Después de aplicar el medicamento para que este se expanda hacia el fondo de las cavidades nasales, incline la cabeza hacia atrás y aspire suavemente por la nariz.
6. Después de usar limpie la boquilla del frasco con un pañuelo de papel limpio y tape el frasco.

* No introduzca agujas a través de la boquilla, en caso de quebrarse puede ser peligroso.



Precauciones:

Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el modo de uso.

■ Contraindicaciones

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben usar este medicamento las siguientes personas:
 - Niños menores de 7 años.
2. Después de tomar ZADITEN AL rinitis atomizador, no conduzca ni opere maquinaria ya que el medicamento puede provocar somnolencia.
3. Mujeres que están amamantando no deben tomar este medicamento. En caso de tomar este medicamento tendrán que dejar de amamantar (en experimentos de laboratorio con animales se detectó este medicamento en la leche).

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de usar este medicamento:
 - (1) Personas que están bajo tratamiento médico u odontológico.
 - (2) Personas bajo terapia de hiposensibilización o bajo tratamiento por alergia.
 - (3) Mujeres embarazadas o con probabilidad de embarazo.
 - (4) Personas que presentaron una reacción alérgica a algún tipo de medicamento.
 - (5) Personas con síntomas los cuales no se sabe con certeza si son causados por alergias o tienen otras causas.

2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico llevando consigo este prospecto informativo en los siguientes casos:

- (1) En caso de aparecer los siguientes síntomas después de usar ZADITEN AL rinitis atomizador:

Parte del cuerpo	Síntomas
Nariz	Seca, irritada
Neuropsíquico	Fatiga, dolor de cabeza

- (2) Si los síntomas no mejoran después de una semana de uso.

3. Los siguientes síntomas pueden aparecer, pero en el caso de que persistan o se intensifiquen, deje de usar ZADITEN AL rinitis atomizador y consulte a su médico o farmacéutico.

Somnolencia

4. Consulte a su médico o farmacéutico en los siguientes casos:

Cuando ya han pasado más de dos semanas desde que empezó a usar ZADITEN AL rinitis atomizador, aunque haya síntomas de mejora.

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el producto en un lugar seco y fresco, protegido de la luz solar y de la humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) No transfiera el producto de recipiente (esto puede provocar equívocos en el uso del producto y afectar su cualidad).
- (4) No comparta este medicamento con otra persona.
- (5) No use este medicamento después de la fecha de caducidad, aun durante el plazo de validez, una vez abierto úselo lo antes posible.

	製造販売元
出典	ノバルティス ファーマ株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre comercial: PABRON SPRAY NASAL Z <Spray nasal>

(パブロン^{てんび}点鼻Z<鼻炎スプレー>)

※Lea atentamente las informaciones antes de usar este producto

Informaciones sobre el producto

[Indicaciones]

Indicado para el alivio de los síntomas de alergia nasal causados por el polen, polvo casero (alergia a ácaros), como goteo nasal, obstrucción nasal.

[Composición y acción]

Cada 100ml de PABRON SPRAY NASAL Z contiene: (Un frasco contiene 8ml)

Principio Activo	Cantidad
Fumarato de Ketotifeno	75.6mg

[Posología y normas de uso]

Aplicar en cada fosa nasal una dosis 4 veces al día (por la mañana, al mediodía, por la noche y antes de acostarse).

Una pulverización corresponde a 0.05mg de Ketotifeno

Edad	Dosis
Adultos (mayores de 15 años)	Una vez en cada fosa nasal
Niños menores de 7 años	Contraindicado

<Normas de uso>

- Siga correctamente las instrucciones de uso con las cantidades indicadas.
- Para uso pediátrico de este medicamento, debe ser efectuada bajo supervisión de un responsable.
- Este medicamento solamente puede ser administrado por la nariz.
- Tenga cuidado de que el medicamento no entre en los ojos, en caso de entrar en los ojos lave inmediatamente con agua fría o templada y consulte con un oftalmólogo lo antes posible.

Modo de uso(como se muestra en las figuras)

Al contenido líquido que contiene el frasco le cuesta salir de manera pulverizada cuando se usa por primera vez, por ello es necesario presionar, manteniendo la boquilla del frasco hacia arriba, unas 5 veces hasta que el contenido salga pulverizado. En este momento el medicamento ya estará listo para su uso.

1. Antes de usar el medicamento sonarse o limpiarse la nariz.
2. Retire la tapa del frasco.
3. Mantenga el frasco en posición vertical y ponga la boquilla (aplicador nasal) en la fosa nasal.
4. Presione la palanca hacia abajo con firmeza y rapidez (de modo contrario el líquido no saldrá pulverizado).
5. Después de aplicar el medicamento para que este se expanda hacia el fondo de las cavidades nasales, incline la cabeza hacia atrás y aspire suavemente por la nariz.
6. Después de usar limpie la boquilla del frasco con un pañuelo de papel limpio y tape el frasco.

* No introduzca agujas a través de la boquilla, en caso de quebrarse puede ser peligroso.

【使い方】

★初めてご使用の際は、容器の構造上薬液が霧状になりにくいので、ノズル（容器の先端部分）を上に向け、薬液が霧状になるまで5回程度押してください。



①使用前に鼻をかむか、鼻を洗浄してください。



④レバーを指で下まで、強くすばやく押してください。（弱くゆっくり押すと、薬液が霧状にならず、液だれの原因となります）



②キャップをはずしてください。



⑤噴霧後は薬剤を鼻の奥まで広く行きわたらせるために、頭を後ろに傾けた状態で、数秒間、鼻で静かに吸引してください。



③まっすぐ上向きに持って、ノズルを軽く鼻腔内に入れてください。



⑥使用後は、ノズル付近を清潔なティッシュペーパー等でふき、キャップをしてください。

ノズルの先端を針等で突つくのは折れた時大変危険ですのでおやめください。

Precauciones

Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el modo de uso.

■ Contraindicaciones

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben usar este medicamento las siguientes personas:
* Niños menores de 7 años
2. Después de tomar PABRON SPRAY NASAL Z, no conduzca ni opere maquinaria ya que el medicamento puede provocar somnolencia
3. Mujeres que están amamantando no deben tomar este medicamento. En caso de tomar este medicamento tendrán que dejar de amamantar (en experimentos de laboratorio con animales se detectó este medicamento en la leche).

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de usar este medicamento:
 - (1) Personas que están bajo tratamiento médico u odontológico.
 - (2) Personas bajo terapia de hipo-sensibilización o bajo tratamiento por alergia.
 - (3) Mujeres embarazadas o con probabilidad de embarazo.
 - (4) Personas que ya tuvieron una reacción alérgica a algún tipo de medicamento.
 - (5) Personas con síntomas los cuales no se sabe con certeza si son causados por alergias u otras causas.
2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico llevando consigo este prospecto informativo en los siguientes casos:

- (1) En caso de aparecer los siguientes síntomas después de usar PABRON SPRAY NASAL Z:

Parte del cuerpo	Síntomas
Nariz	Seca, irritada
Neuropsíquico	Fatiga, dolor de cabeza

- (2) Si los síntomas no mejoran después de una semana de uso.

3. Los siguientes síntomas pueden aparecer, pero en el caso de que persistan o se intensifiquen, deje de usar PABRON SPRAY NASAL Z y consulte a su médico o farmacéutico.
Somnolencia

4. Consulte a su médico o farmacéutico en los siguientes casos:

Cuando ya han pasado más de dos semanas desde que empezó a usar PABRON SPRAY NASAL Z, aunque haya síntomas de mejora.

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el producto en un lugar seco y fresco, protegido de la luz solar y de la humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) No transfiera el producto de recipiente (esto puede provocar equívocos en el uso del producto y afectar su calidad).
- (4) No comparta este medicamento con otra persona.
- (5) No use este medicamento después de la fecha de caducidad, aun durante el plazo de validez, una vez abierto úselo lo antes posible.

	発 売 元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre Comercial: ZADITEN AL Colirio

(ザジテン AL点眼薬<点眼液>)

※Lea atentamente las informaciones antes de usar este producto

Informaciones sobre el producto

[Indicaciones]

Indicado para el alivio de los síntomas de alergia ocular causados por polen, polvo casero (alergia a ácaros), como congestión ocular, prurito, lagrimeo, sensación de cuerpos extraños en los ojos.

[Composición y acción]

Cada 100ml de ZADITEN AL colirio contiene: 8ml por envase.

Principio Activo	Cantidad
Fumarato de Ketotifeno (Equivalente en Ketotifeno)	69mg (50mg)

[Posología y normas de uso]

En los ojos una dosis 4 veces al día (por la mañana, al mediodía, por la noche y antes de acostarse).

Edad	Dosis
Adultos(más de 15 años) y niños de más de 1 año	Una o dos gotas
Menores de 1 año	Contraindicado

<Normas de uso>

- Siga rigurosamente las instrucciones de uso con las cantidades indicadas.
- En caso de uso infantil la aplicación debe ser efectuada bajo supervisión de un responsable.
- Después de aplicar las gotas, limpie cualquier resto de gota que se haya derramado alrededor de los ojos.
- En el momento de aplicar el medicamento tenga cuidado que la punta del cuenta gotas no toque las pestañas o cejas ya que los gérmenes que hay podrían enturbiar el medicamento, si el medicamento está contaminado deje de usarlo.
- Personas que usan lentes de contacto deben sacárselas antes de aplicar este medicamento, no use este medicamento como liquido para las lentillas.
- Este medicamento solamente puede ser usado como colirio (medicamento líquido para los ojos).

Modo de usar(como se muestra em las figuras)

1. Lávese bien las antes de usar ZADITEN AL colirio.
2. Tire suavemente del párpado inferior hacia abajo con una mano y sujételo así. Eche la cabeza hacia atrás. Con la otra mano, sujete el envase hacia abajo sobre el ojo a tratar. Apriételo suavemente hasta que caiga 1 o dos gotas en el ojo. Para evitar la contaminación, no apoye la punta del cuentagotas en ninguna superficie.
3. Después de aplicar cierre los ojos para esparcir el medicamento por toda la superficie del ojo.
4. Después de aplicar las gotas, limpie cualquier resto de gota que se haya podido derramar alrededor de los ojos.



Precauciones

Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el modo de uso.

■ Contraindicaciones

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben usar este medicamento las siguientes personas:

- Personas que ya tuvieron una reacción alérgica a ZADITEN AL colirio.
- Bebés de menos de 1 año.

2. En el caso que use este medicamento juntamente con gotas nasales no conduzca ni opere maquinaria después de aplicar el medicamento (puede provocar somnolencia).

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de usar este medicamento:

- (1) Personas que están bajo tratamiento médico u odontológico (debido a las probabilidades de interferir o de potenciar el efecto del medicamento que le fue recetado por su médico o dentista).
- (2) Personas bajo terapia de hiposensibilización o bajo tratamiento por alergia.
- (3) Mujeres embarazadas o con probabilidad de embarazo (es necesario ir con cautela con el uso de medicamentos en esta época, consulte a su médico o farmacéutico y siga las orientaciones).
- (4) Personas que presentaron una reacción alérgica a algún tipo de medicamento (personas propensas a tener alergias pueden desarrollar una reacción alérgica con el uso de este medicamento).
- (5) Personas con los siguientes síntomas:
Fuerte dolor de ojos.
- (6) Personas con síntomas los cuales no se sabe con certeza si son causados por alergias u otras causas. Especialmente en los siguientes casos si no se ha podido establecer si los síntomas son debidos a alguna alergia consulte a su médico antes de usar.

- Cuando los síntomas se presentan en un solo ojo
- Cuando los síntomas no se limitan solamente a los ojos, la nariz también presenta síntomas.
- Cuando afecta a la visión.
- Cuando los ojos tienen legañas.

2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico llevando consigo este prospecto informativo en los siguientes casos:

(1) En caso de aparecer los siguientes síntomas después de usar ZADITEN AL colirio.

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel * *	Escozor
Ojos * *	Congestión ocular, irritación *, dolor *, hinchazón *, picor * *, en los ojos y alrededor de los ojos
Otros	Somnolencia

* * Algunas personas durante el primer, segundo día después empezar a usar ZADITEN AL colirio pueden presentar síntomas como intenso picor, hinchazón, dolor, en los párpados, alrededor de los ojos o en las mejillas.

(2) Si el picor en los ojos no mejora.

(3) Cuando los síntomas no mejoran después de una semana de uso.

3. Consulte a su médico o farmacéutico en los siguientes casos:

Cuando ya han pasado más de dos semanas desde que empezó a usar ZADITEN AL colirio, aunque haya síntomas de mejora.

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el producto en un lugar seco y fresco, protegido de la luz solar y de la humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) No transfiera el producto a otro recipiente (esto puede provocar equívocos en el uso del producto y afectar su calidad).
- (4) No comparta este medicamento con otra persona
- (5) No use este medicamento después de la fecha de caducidad, aun durante el plazo de validez, una vez abierto úselo lo antes posible.

	製造販売元
出典	ノバルティス ファーマ株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

Nombre Comercial: IRIS ARREST <Colirio> (アイリスアレスト<点眼液>)
※Lea atentamente las informaciones antes de usar este producto

Informaciones sobre el producto

[Indicaciones]

Indicado para el alivio de los síntomas de alergia ocular causados por polen, polvo casero (alergia a ácaros), como congestión ocular, prurito, lagrimeo, sensación de cuerpos extraños en los ojos.

[Composición y acción]

Cada 100ml de IRIS ARREST colirio contiene 8ml por envase.

Principio Activo	Cantidad
Fumarato de Ketotifeno (Equivalente en Ketotifeno)	69mg (50mg)

[Posología y normas de uso]

Gotas para los ojos, una dosis 4 veces al día (por la mañana, al mediodía, por la noche y antes de acostarse)

Edad	Dosis
Adultos(más de 15 años) y niños de más de 1 año	Una o dos gotas
Menores de 1 año	Contraindicado

<Normas de uso>

- Siga correctamente la dosis y el modo de uso que le fue indicado.
- Después de aplicar las gotas, limpie cualquier resto de gota que se haya derramado alrededor de los ojos.
- En el momento de aplicar el medicamento tenga cuidado que la punta del cuentagotas no toque las pestañas o cejas ya que los gérmenes que hay podrían enturbiar el medicamento, si el medicamento está contaminado deje de usarlo.
- Personas que usan lentes de contacto deben sacárselas antes de aplicar este medicamento, no use este medicamento como liquido para las lentillas.
- Este medicamento solamente puede ser usado como colirio (medicamento líquido para los ojos).

Modo de uso

1. Lávese bien las manos antes de usar IRIS ARREST colirio.
2. Tire suavemente del párpado inferior hacia abajo con una mano y sujételo así. Eche la cabeza hacia atrás. Con la otra mano, sujete el envase hacia abajo sobre el ojo a tratar. Apriételo suavemente hasta que caiga 1 o dos gotas en el ojo. Para evitar la contaminación, no apoye la punta del cuentagotas en ninguna superficie.
3. Después de aplicar cierre los ojos para esparcir el medicamento por toda la superficie del ojo.
4. Después de aplicar las gotas, limpie cualquier resto de gota que se haya derramado alrededor de los ojos.

Precauciones:

Lea las siguientes instrucciones y siga correctamente el modo de uso.

■ Contraindicaciones

(El no seguir las instrucciones puede causar el empeoramiento de los síntomas actuales, efectos secundarios u otras consecuencias).

1. No deben usar este medicamento las siguientes personas:

- Personas que ya tuvieron una reacción alérgica a IRIS ARREST colirio.
- Bebés de menos de 1 año.

2. En el caso que use este medicamento juntamente con gotas nasales, no conduzca ni opere maquinaria después de usar IRIS ARREST colirio (puede provocar somnolencia).

■ Cuando consultar:

1. Las siguientes personas deberán consultar a su médico o farmacéutico antes de usar este medicamento:

- (1) Personas que están bajo tratamiento médico u odontológico.
- (2) Personas bajo terapia de hiposensibilización o bajo tratamiento por alergia.
- (3) Mujeres embarazadas o con probabilidad de embarazo.
- (4) Personas que presentaron una reacción alérgica a algún tipo de medicamento.
- (5) Personas con los siguientes síntomas:
Fuerte dolor de ojos.
- (6) Personas con síntomas los cuales no se sabe con certeza si son causados por alergias u otras causas. Especialmente en los siguientes casos, si no se ha podido establecer si los síntomas son debidos a alguna alergia consulte a su médico antes de usar IRIS ARREST colirio:
 - Cuando los síntomas se presentan en un solo ojo.
 - Cuando los síntomas no se limitan solamente a los ojos, la nariz también presenta síntomas.
 - Cuando afecta a la visión.
 - Cuando los ojos tienen legañas.

2. Suspenda inmediatamente el uso de este medicamento y consulte a su médico o farmacéutico llevando consigo este prospecto informativo en los siguientes casos:

(1) En caso de aparecer los siguientes síntomas después de usar IRIS ARREST colirio.

Parte del cuerpo	Síntomas
Piel * *	Escozor
Ojos * *	Congestión ocular, irritación *, dolor *, hinchazón * *, picor *, en los ojos y alrededor de los ojos.
Otros	Somnolencia

* * Algunas personas durante el primer, segundo día después empezar el uso de IRIS ARREST colirio pueden presentar síntomas como, intenso picor, hinchazón o dolor, en los ojos, alrededor de los ojos o mejillas.

- (2) Si el picor en los ojos no mejora.
- (3) Cuando los síntomas no mejoran después de una semana de uso.

3. Consulte a su médico o farmacéutico en los siguientes casos:

Cuando ya han pasado más de dos semanas desde que empezó a usar IRIS ARREST colirio, aunque haya síntomas de mejora.

Cuidados con el manejo y conservación:

- (1) Mantenga el producto en un lugar seco y fresco, protegido de la luz solar y de la humedad.
- (2) Mantenga el producto fuera del alcance de los niños.
- (3) No transfiera el producto de recipiente (esto puede provocar equívocos en el uso del producto y afectar su calidad).
- (4) No comparta este medicamento con otra persona.
- (5) No deje el producto en locales calientes, como por ejemplo, en el salpicadero del coche. (puede modificar la calidad del producto y deformar la botella).
- (6) No use este medicamento después de la fecha de caducidad, aun durante el plazo de validez, una vez abierto úselo lo antes posible.

	発 売 元
出典	大正製薬株式会社
発行	(社) 神奈川県薬剤師会

参考文献

- 厚生労働省 HP「一般用医薬品販売制度ホームページ」
- 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構の HP「一般用医薬品の添付文書情報」

神奈川県薬剤師会 かかりつけ薬局一般用医薬品服薬指導検討委員会

(敬称略 順不同)

学識経験者 中村 健

神奈川県医師会理事 羽鳥 裕

神奈川県地域婦人団体連絡協議会 三部 雅世

財団法人かながわ国際交流財団 国際協力課長 細田 真由美

神奈川県外国籍県民相談員 行徳グラリーセ景子猪狩

神奈川県薬剤師会副会長 嶋 元

神奈川県薬剤師会常務理事 鵜飼 典男

神奈川県薬剤師会理事 島田 清文

〈作業部会〉委 員 金丸 茂樹

委 員 金子 守弘

委 員 斉藤 祐一

委 員 佐藤 弘子

委 員 田中 大一

翻 訳 外国人支援ボランティア団体

Universal Network 代表 今泉了香

協 力 神奈川県薬務課

外国籍県民のための服薬情報提供文書

平成21年3月発行

発行者 田中 英昭

発行所 社団法人 神奈川県薬剤師会

〒235-0007

神奈川県横浜市磯子区西町14-11

神奈川県総合薬事保健センター2F

TEL 045-761-3241 FAX 045-751-4460

印刷所 山王印刷 株式会社

TEL045-714-2021